



# 滋賀県立大学 2016年度 講義概要 (シラバス)

※この冊子は、Web 版シラバスを PDF に変換したものです。文字数の関係で全ての情報が記載されない場合があります。最新の情報や全文は、県大ポータル USPo (<https://sgkwe.office.usp.ac.jp/SGKWeb/>) でご確認ください。

# 目 次

1110201	英語	A	(活性化コース)	(再履修)	岡本	マイケル	前期	1
1110202	英語	B	(活性化コース)	(再履修)	岡本	マイケル	後期	3
1110411	英語	A	(応用コース)	(再履修)	Walter Klinger	前期	5	
1110412	英語	B	(応用コース)	(再履修)	Walter Klinger	後期	7	
1110621	英語	A	(充実コース)	(再履修)	村上 幸太郎	前期	9	
1110622	英語	B	(充実コース)	(再履修)	村上 幸太郎	後期	11	
1110831	英語	A	(展開コース)	(再履修)	渡 寛法	前期	13	
1110832	英語	B	(展開コース)	(再履修)	渡 寛法	後期	15	
1110981	英語	A	初習	英語	Walter Klinger	前期	17	
1110982	英語	B	初習	英語	Walter Klinger	後期	19	
1110991	英語	A	初習	英語	吉田 亞矢	前期	21	
1110992	英語	B	初習	英語	吉田 亞矢	後期	23	
1120011	ドイツ語	A	(初級コース)	(水2限)	竹内 一高	前期	25	
1120012	ドイツ語	B	(初級コース)	(水2限)	竹内 一高	後期	27	
1120021	ドイツ語	A	(初級コース)	(水3限)	小松 紀子	前期	29	
1120022	ドイツ語	B	(初級コース)	(水3限)	小松 紀子	後期	31	
1120031	ドイツ語	A	(初級コース)	(水3限)	竹内 一高	前期	33	
1120032	ドイツ語	B	(初級コース)	(水3限)	竹内 一高	後期	35	
1120041	ドイツ語	A	(初級コース)	(水4限)	小松 紀子	前期	37	
1120042	ドイツ語	B	(初級コース)	(水4限)	小松 紀子	後期	39	
1120045	ドイツ語	A	(初級コース)	(水4限)	吉村 淳一	前期	41	
1120046	ドイツ語	B	(初級コース)	(水4限)	吉村 淳一	後期	43	
1120051	ドイツ語	A	(初級コース)	(水4限)	竹内 一高	前期	45	
1120052	ドイツ語	B	(初級コース)	(水4限)	竹内 一高	後期	47	
1120056	ドイツ語	A	(初級コース)	(水2限)	小松 紀子	前期	49	
1120057	ドイツ語	B	(初級コース)	(水2限)	小松 紀子	後期	51	
1120061	ドイツ語	A	(中級コース)	(火2限)	吉村 淳一	前期	53	
1120062	ドイツ語	B	(中級コース)	(火2限)	吉村 淳一	後期	55	
1120071	ドイツ語	A	(中級コース)	(火2限)	大森 智子	前期	57	
1120072	ドイツ語	B	(中級コース)	(火2限)	大森 智子	後期	59	
1120091	ドイツ語	A	(中級コース)	(火3限)	大森 智子	前期	61	
1120092	ドイツ語	B	(中級コース)	(火3限)	大森 智子	後期	63	
1120131	フランス語	A	(初級コース)	(水3限)	辻村 暁子	前期	65	
1120132	フランス語	B	(初級コース)	(水3限)	辻村 暁子	後期	67	
1120141	フランス語	A	(初級コース)	(水4限)	辻村 暁子	前期	69	
1120142	フランス語	B	(初級コース)	(水4限)	辻村 暁子	後期	71	
1120151	フランス語	A	(初級コース)	(水2限)	辻村 暁子	前期	73	
1120152	フランス語	B	(初級コース)	(水2限)	辻村 暁子	後期	75	
1120161	フランス語	A	(初級コース)	(水3限)	桂川 久久	前期	77	
1120162	フランス語	B	(初級コース)	(水3限)	桂川 久久	後期	79	
1120171	フランス語	A	(初級コース)	(水4限)	桂川 久久	前期	81	
1120172	フランス語	B	(初級コース)	(水4限)	桂川 久久	後期	83	
1120191	フランス語	A	(中級コース)	(火2限)	桂川 久久	前期	85	
1120192	フランス語	B	(中級コース)	(火2限)	桂川 久久	後期	87	
1120201	フランス語	A	(中級コース)	(火3限)	桂川 久久	前期	89	
1120202	フランス語	B	(中級コース)	(火3限)	桂川 久久	後期	91	
1120251	中国語	A	(初級コース)	(水4限)	桜木 陽子	前期	93	
1120252	中国語	B	(初級コース)	(水4限)	桜木 陽子	後期	95	
1120271	中国語	A	(初級コース)	(水1限)	林 虹	前期	97	
1120272	中国語	B	(初級コース)	(水1限)	林 虹	後期	99	
1120281	中国語	A	(初級コース)	(水2限)	唐 楽寧	前期	101	
1120282	中国語	B	(初級コース)	(水2限)	唐 楽寧	後期	103	
1120291	中国語	A	(初級コース)	(水2限)	林 虹	前期	105	
1120292	中国語	B	(初級コース)	(水2限)	林 虹	後期	107	
1120311	中国語	A	(初級コース)	(水3限)	桜木 陽子	前期	109	
1120312	中国語	B	(初級コース)	(水3限)	桜木 陽子	後期	111	
1120321	中国語	A	(初級コース)	(水3限)	秋岡 英行	前期	113	
1120322	中国語	B	(初級コース)	(水3限)	秋岡 英行	後期	115	
1120325	中国語	A	(初級コース)	(水2限)	秋岡 英行	前期	117	
1120327	中国語	B	(初級コース)	(水2限)	秋岡 英行	後期	119	
1120351	中国語	A	(中級コース)	(火2限)	地蔵 眞二	前期	121	
1120352	中国語	B	(中級コース)	(火2限)	地蔵 眞二	後期	123	
1120361	中国語	A	(中級コース)	(火2限)	林 虹	前期	125	
1120362	中国語	B	(中級コース)	(火2限)	林 虹	後期	127	
1120406	中国語	A	(中級コース)	(火3限)	林 虹	前期	129	
1120407	中国語	B	(中級コース)	(火3限)	林 虹	後期	131	
1120411	朝鮮語	A	(初級コース)	(水2限)	吳 賢欄	前期	133	
1120412	朝鮮語	B	(初級コース)	(水2限)	吳 賢欄	後期	135	
1120421	朝鮮語	A	(初級コース)	(水3限)	吳 賢欄	前期	137	
1120422	朝鮮語	B	(初級コース)	(水3限)	吳 賢欄	後期	139	
1120431	朝鮮語	A	(中級コース)	(火2限)	崔 眞善	前期	141	
1120432	朝鮮語	B	(中級コース)	(火2限)	崔 眞善	後期	143	
1120441	朝鮮語	A	(中級コース)	(火3限)	崔 眞善	前期	145	
1120442	朝鮮語	B	(中級コース)	(火3限)	崔 眞善	後期	147	
1120461	日本語	A	柴川 真由美	前期			149	

1120462	日本語	B	柴川 真由美	後期	151
1120471	日本語	A	上野山 愛弥	前期	153
1120472	日本語	B	上野山 愛弥	後期	155
1120481	日本語	A	内田 孝	前期	157
1120482	日本語	B	内田 孝	後期	159
1120491	日本語	A	メルビル ケイコ	オオヤ 前期	161
1120492	日本語	B	メルビル ケイコ	オオヤ 後期	163
1120620	リーディング(中級)	a	谷口 真紀	後期	165
1120621	リーディング(中級)	b	谷口 真紀	後期	167
1120640	リスニング(中級)	a	小栗 裕子	前期	169
1120641	リスニング(中級)	b	小栗 裕子	前期	171
1120650	ディベート&ディスカッション	a	Martin Hawkes	前期	173
1120651	ディベート&ディスカッション	b	Martin Hawkes	前期	175
1120653	Introduction to Discussion & Debate	a	Martin Hawkes	前期	177
1120654	Introduction to Discussion & Debate	b	Martin Hawkes	前期	179
1120670	エッセイ・ライティング		John Rippey	後期	181
1120675	Essay Writing		John Rippey	後期	183
1120685	留学英語対策基礎講座		John Rippey	前期集中	185
1120686	Intermediate Academic English		John Rippey	前期集中	187
1120690	留学英語対策講座		Martin Hawkes	後期	189
1120695	Advanced Academic English I		Martin Hawkes	後期	191
1120700	留学英語対策講座		John Rippey	後期	193
1120705	Advanced Academic English II		John Rippey	後期	195
1120715	English for Business		Fuisting Bjorn	前期集中	197
1120720	メディアの英語		Walter Klinger	後期	199
1120725	English in Media		Walter Klinger	後期	201
1120730	実用英語演習	A	(火1限) 吉田 亞矢	前期	203
1120731	実用英語演習	A	(火1限) 村上 幸太郎	前期	205
1120732	実用英語演習	A	(火2限) 吉田 亞矢	前期	207
1120733	実用英語演習	A	(火2限) 坂元 敦子	前期	209
1120734	実用英語演習	A	(火2限) 村上 幸太郎	前期	211
1120735	実用英語演習	A	(火2限) 岡本 マイケル	前期	213
1120736	実用英語演習	A	(火3限) Graham Jones	前期	215
1120737	実用英語演習	A	(火3限) Walter Klinger	前期	217
1120738	実用英語演習	A	(火3限) 坂元 敦子	前期	219
1120739	実用英語演習	A	(火3限) 渡 寛法	前期	221
1120740	実用英語演習	B	(火1限) 村上 幸太郎	後期	223
1120741	実用英語演習	B	(火1限) 吉田 亞矢	後期	225
1120742	実用英語演習	B	(火2限) 村上 幸太郎	後期	227
1120743	実用英語演習	B	(火2限) 岡本 マイケル	後期	229
1120744	実用英語演習	B	(火2限) 吉田 亞矢	後期	231
1120745	実用英語演習	B	(火2限) 坂元 敦子	後期	233
1120746	実用英語演習	B	(火3限) 坂元 敦子	後期	235
1120747	実用英語演習	B	(火3限) 渡 寛法	後期	237
1120748	実用英語演習	B	(火3限) Graham Jones	後期	239
1120749	実用英語演習	B	(火3限) Walter Klinger	後期	241
1120771	日本語基礎(初級)	A	柴川 真由美	前期	243
1120772	日本語基礎(初級)	B	柴川 真由美	後期	245
1120773	日本語基礎(初級)	A	柴川 真由美	前期	247
1120774	日本語基礎(初級)	B	柴川 真由美	後期	249
1120775	日本語基礎(初級)	A	柴川 真由美	前期	251
1120776	日本語基礎(初級)	B	柴川 真由美	後期	253
1120777	日本語基礎(初中級)	A	柴川 真由美	前期	255
1120778	日本語基礎(初中級)	B	柴川 真由美	後期	257
1120779	日本語基礎(初中級)	A	柴川 真由美	前期	259
1120780	日本語基礎(初中級)	B	柴川 真由美	後期	261
1120781	日本語基礎(初中級)	A	柴川 真由美	前期	263
1120782	日本語基礎(初中級)	B	柴川 真由美	後期	265
1120783	日本語基礎(初中級)	A	上野山 愛弥	前期	267
1120784	日本語基礎(初中級)	B	上野山 愛弥	後期	269
1120785	日本語基礎(中級)	A	柴川 真由美	前期	271
1120786	日本語基礎(中級)	B	柴川 真由美	後期	273
1120787	日本語基礎(中級)	A	上野山 愛弥	前期	275
1120788	日本語基礎(中級)	B	上野山 愛弥	後期	277
1120789	日本語基礎(中級)	A	内田 孝	前期	279
1120790	日本語基礎(中級)	B	内田 孝	後期	281
1130372	プログラミン	基礎	宮城 茂幸	後期集中	283
1140010	健康・体力科学	(運動処方)	中井 直也	後期	285
1140040	健康・体力科学	(サッカー)	中村 力	後期	287
1140060	健康・体力科学	(スキー・スノーボード)	東田 一彦	後期集中	289
1140090	健康・体力科学	(卓球)	芳田 哲也	後期	291
1140120	健康・体力科学	(テニス)	多胡 陽介	後期	293
1140150	健康・体力科学	(ニュースポーツ)	東田 一彦	後期	295
1140180	健康・体力科学	(バスケット)	岩瀬 雅紀	後期	297
1140210	健康・体力科学	(バドミントン)	岩瀬 雅紀	後期	299
1140400	健康・体力科学	(ゴルフ)	東田 一彦	前期	301
1140410	健康・体力科学	(ソフトボール)	岩瀬 雅紀	前期	303
1140415	健康・体力科学	(テニス)	芳田 哲也	前期	305
1140420	健康・体力科学	(バドミントン)	多胡 陽介	前期	307
1140430	健康・体力科学	(バレーボール)	多胡 陽介	前期	309

1140440	健康・体力科学 (運動処方) 中井 直也 前期	311
1140450	健康・体力科学 (海洋スポーツ) 中井 直也 前期集中	313
1140460	健康・体力科学 (卓球) 中村 力 前期	315
1150000	Medieval Japan Peter Morris 前期	317
1150001	Modernizing Japan Peter Morris 後期	319
1150003	Medieval Japan in the World Peter Morris 前期	321
1150004	Modernizing Japan in the World Peter Morris 後期	323
1150005	Contemporary Japanese Culture Peter Morris 前期	325
1150006	Contemporary Japanese Culture Peter Morris 後期	327
1150007	Intensive Japanese Language and Culture (4-week) 倉茂 好匡 前期集中	329
1150008	Intensive Japanese Language and Culture (9-week) 倉茂 好匡 前期集中	331
1150009	Japan Studies: Influences of Geography on Culture & Society 倉茂 好匡 前期	333
1150020	異文化理解A 国際交流委員会 前期集中	335
1150030	異文化理解B 国際交流委員会 後期集中	337
1150035	栄養と人間 小澤 恵子 後期	339
1150040	近江文化論 京樂 真帆子 後期	341
1150060	環境マネジメント総論 鷓飼 修 前期	343
1150090	機械技術と人間 山根 浩二 後期	345
1150110	現代経済論 鈴木 康夫 後期	347
1150113	国際環境マネジメント 丸尾 雅啓 後期集中	349
1150114	国際環境マネジメント 丸尾 雅啓 後期集中	351
1150115	国際協力論 島村 一平 前期	353
1150130	こころのテクノロジー 細馬 宏通 後期	355
1150140	材料史 Balachandran Jeyadevan 前期	357
1150150	差別と人権(同和問題) 大脇 万起子 前期	359
1150180	自然科学の視点 松岡 純 後期	361
1150185	自然現象のしくみ 倉茂 好匡 後期	363
1150190	自然保護論 西田 隆義 後期	365
1150200	持続的農業論 泉 泰弘 後期	367
1150220	社会福祉論 富永 豊 後期	369
1150223	植物の病気 鈴木 一実 後期	371
1150225	生活と健康 大脇 万起子 前期	373
1150230	生命・人間・倫理 糸島 陽子 後期	375
1150260	地域探求学 鷓飼 修 前期集中	377
1150270	電子社会と人間 柳澤 淳一 後期	379
1150430	人間と病気 安原 治 前期	381
1150450	人間にとって環境とは何か 未定* 後期	383
1150452	人間の行動と空間 村上 修一 前期	385
1150455	農業問題入門 増田 佳昭 後期	387
1150460	比較住居論 藤木 庸介 前期	389
1150470	比較都市論 川井 操 前期	391
1150510	思索の視点 菊地 憲次 後期	393
1150520	機械の再発見 山根 浩二 後期	395
1150530	キャリアデザイン 菊地 憲次 前期	397
1170010	地域共生論 鷓飼 修 前期	399
1170040	地域診断法 鷓飼 修 後期	401
1170050	システム思考法 萩原 和 前期	403
1170060	問題解決デザイン論 鷓飼 修 後期	405
1170070	地域デザインA 鷓飼 修 前期	407
1170080	地域デザインB 鷓飼 修 後期	409
1170090	地域デザインC 上田 洋平 前期	411
1170100	地域デザインD 萩原 和 後期	413
1170110	近江の歴史と文化 京樂 真帆子 後期	415
1170120	地域社会福祉論 富永 豊 後期	417
1170130	地域コミュニケーション論 鷓飼 修 前期集中	419
1170140	地域づくり人材論 上田 洋平 前期	421
1170150	びわこ環境行政論 井手 慎司 後期	423
1170180	地域産業・企業から学ぶ社長講義 菊地 憲次 前期	425
1170190	近江の暮らしとなりわい 上田 洋平 後期	427
1170200	近江の美 印南 比呂志 前期	429
1170210	経営学序論 未定* 前期	431
1170220	地域社会と女性キャリア創生 上田 洋平 前期	433
1400510	教育学概論 杉浦 由香里 前期	435
1400530	教育心理学 黒田 真由美 前期	437
1400540	教育制度論 杉浦 由香里 後期	439
1400550	教育方法の理論と技術 木村 裕 前期	441
1400555	教育方法論 木村 裕 前期	443
1403036	モンゴル語 A 島村 一平 前期	445
1403037	モンゴル語 B 島村 一平 前期	447
1403038	モンゴル語 A 内田 孝 後期	449
1403039	モンゴル語 B 島村 一平 後期	451
1600010	教育実習・事前事後指導(高等学校免許) 福井 雅英	453
1600020	教育実習・事前事後指導 福井 雅英	455
1600030	教育実習・事前事後指導(養護教諭) 未定*	457
1600040	教育実習・事前事後指導(中学校免許) 福井 雅英	459
1600050	教育実習・事前事後指導(養護教諭) 未定*	461
1600070	教育相談・進路指導 田中 容子 前期集中	463
1600090	教科教育法 (家庭) 大塚 真理子 後期集中	465
1600110	教科教育法 (公民) 未定* 前期集中	467
		469

1600120	教科教育法	(社会)	奥村 好美	前期集中	471
1600130	教科教育法	(地理歴史)	鎌田 ユリ	前期	473
1600140	教科教育法	(農業)	森 太郎	前期	475
1600150	教科教育法	(理科)	石川 聡子	前期集中	477
1600151	教科教育法	(英語)	小栗 裕子	前期	479
1600160	教科教育法	(家庭)	大塚 真理子	前期集中	481
1600180	教科教育法	(公民)	未定*	後期集中	483
1600190	教科教育法	(社会)	小林 忠伸	後期	485
1600200	教科教育法	(地理歴史)	山口 康雄	後期	487
1600210	教科教育法	(農業)	川崎 四朗	後期	489
1600220	教科教育法	(理科)	宮下 ゆたか	前期集中	491
1600221	教科教育法	(英語)	小栗 裕子	後期	493
1600241	教科教育法	(英語)	小栗 裕子	後期	495
1600242	教科教育法	(英語)	小栗 裕子	前期	497
1600251	教育課程論		木村 裕	後期	499
1600260	教職実践演習	(栄養教諭)	廣瀬 潤子	後期集中	501
1600270	教職実践演習	(高等学校)	福井 雅英	後期集中	503
1600280	教職実践演習	(中学校)	福井 雅英	後期集中	505
1600290	教職実践演習	(養護教諭)	八木 利津子	後期集中	507
1600300	教職論		福井 雅英	前期	509
1600320	憲法		橋本 豪志	後期	511
1600360	職業指導		中島 由佳	前期	513
1600370	生徒指導論		福井 雅英	後期	515
1600390	道徳教育論		福井 雅英	前期	517
1600400	特別活動論		福井 雅英	後期	519
1600410	被服学		道明 美保子	前期	521
1600420	服飾製作実習		法月 紀江	前期	523
1600440	保育学		吉村 啓子	前期	525
1600450	学校看護論		加納 亜紀	前期	527
1600460	学校保健論		未定*	前期	529
1600470	家庭電気・機械		廣谷 明	前期	531
1600480	栄養教育実習・事前事後指導		山川 佐代子		533
1600490	栄養教育実習・事前事後指導		山川 佐代子		535
1600500	学校栄養指導論		平木 敦子	前期	537
1600551	博物館学概論		市川 秀之	前期	539
1600552	博物館資料論		定森 秀夫	前期	541
1600553	博物館資料保存論		野間 直彦	後期	543
1600554	博物館情報・メディア論		嶋田 容子	後期集中	545
1600555	博物館教育論		斎藤 修啓	前期集中	547
1600556	博物館実習		市川 秀之	前期	549
1601015	キャリアデザイン特論		菊地 憲次	後期	551
1601020	インターンシップA		就職指導担当教員	前期集中	553
1601030	インターンシップB		就職指導担当教員	前期集中	555
1601033	インターンシップE		就職指導担当教員	前期集中	557
1601060	ボランティア活動(前期)		福井 雅英	前期集中	559
1601070	ボランティア活動(後期)		福井 雅英	後期集中	561
1901010	地域行動論		鷓飼 修	後期	563
1901021	地域実践学		鷓飼 修	前期集中	565
1901031	地域実践学		上田 洋平	後期集中	565



講義名	英語 A (活性化コース) (再履修)				担当教員	岡本 マイケル	
講義コード	1110201	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101ENG101						

#### 授業概要

This class is an introduction to academic skills. You will develop all four of your English skills (listening, speaking, reading, and writing). You will read articles, listen to stories, watch videos, and talk about each topic. At the same time that you use English to learn about real-world content, you will apply it to your life and compare and contrast it with Japan.

In this class, we will start to develop skills that you need not only in English but also in Japanese. These include (1) Give, agree with, and politely disagree with opinions. (2) Analyze new facts and apply them to your life. (3) Decide when information is reliable and important. (4) Understand the basic structure of conversations, things you hear, and articles you read. (5) Provide support for your ideas. (6) Participate in pair and small group discussions.

#### 到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation, (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly, memorize required material) and (3) good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech, apply class material such as vocabulary). Their English will also be (4) grammatically correct.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60	Interview exam 20% Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade. Story Presentation 15%, Writing and Speaking Objectives 1,2, and 3 are worth 50% each of the total grade.
レポート課題	15	Research Paper 15% Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Writing Objective 2 is worth 50% of the total grade.
上記以外	25	Home work 15% and In Class participation 10%

Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Reading Adventures 2		Cengage National Geographic Learning	978-0-8400-3036-8
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	英語 A (活性化コース) (再履修)					担当教員	岡本 マイケル
講義コード	1110201	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101ENG101						

### 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Orientation	Introduce the course, ice breaking activities, self-introductions
第2回	Unit 1A: A Hidden World	Talk about brainstorming and giving good self-introductions
第3回	Unit 1B: The Lost World	Talk about sequencing and why it's important when reading
第4回	Unit 2: Dangerous Jobs	Go over both units A and B, review for interview test
第5回	Unit 1-2 Progress Check/Role-play	Interview test
第6回	Unit 3A: Crystal Palace	Talk about indentifying good sources of information
第7回	Unit 3B: Crystal Skulls	Talk about topic sentences and supporting sentences
第8回	Unit 4: animal migration	Go over both units A and B, review for research paper
第9回	Report due. Unit 5: the senses	Talk about cause and effect and its importance in language. Talk about different kinds of poetry and poems
第10回	Unit 6A: stealing the Mona Lisa	Talk about sequencing and have a Poetry Day!
第11回	Unit 6B: Leonardo the Inventor	Talk about ideas for the research paper
第12回	Report due. Unit 7: Korean Festival	Students will present research papers in small groups. Talk about festivals in Japan
第13回	Unit 7: Unit 8A: Hero for the Planet	Students will talk about their heroes. Talk about the final exam.
第14回	Unit 8B: Saving India's Forests	Continue to talk about heros and review for Final Presentation
第15回	Final evaluation/presentation	Students present on their heroes.

### 担当者から一言

Please come to class each week—and come prepared. English and sports are similar. You need to work on them each week to improve!

講義名	英語 B (活性化コース) (再履修)				担当教員	岡本 マイケル	
講義コード	1110202	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101ENG102						

#### 授業概要

In this communication skills course, you will develop all four of your English skills (listening, speaking, reading, and writing). You will also improve your ability to connect different ideas to one another when speaking and listening. Finally, you will gain an understanding of different countries and develop your ability to communicate with people from different cultures and languages.

Each week, you will study a different country or culture. You will then be asked to write and talk about that place in class. There will be weekly writing homework assignments. Although I don't expect perfect grammar or conversation skills, I do expect you to try your best.

#### 到達目標

Students will be able to speak English with (1) good pronunciation, (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly, memorize required material) and (3) good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech, apply class material such as vocabulary). Their English will also be (4) grammatically correct.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	Interview exam 15% Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade.
レポート課題	25	Weekly Culture report 25% Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Writing Objective 2 is worth 50% of the total grade.
上記以外	25	Homework 10% and In Class participation 15%

Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Globe Trotters	Carmella Lieske	Cengage Learning	978-1-285-19750-0
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (再履修)					担当教員	岡本 マイケル
講義コード	1110202	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	101ENG102						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Class orientation	Introduce the course, self introductions, ice breaking activities
第2回	Spain	Talk about Spanish culture. Talk about customs and immigration.
第3回	China	Talk about Chinese culture. Talk about asking questions at a hotel reception desk.
第4回	Peru	Talk about Peruvian culture. Talk about checking-in at a hotel.
第5回	Pair interview test	In pairs, students will recite one of the units we have covered in class. Unit to be determined at random.
第6回	Japan	Talk about Japanese culture. Students will describe their home culture.
第7回	U.S.A, New York	Talk about American culture. Students will practice giving and receiving directions.
第8回	Antartica	Talk about Frozen, Karaoke, and the effects of understanding multiple languages.
第9回	India	Talk about Indian culture. Students will practice how to bargain and negotiate
第10回	New Zealand	Talk about New Zealand culture and extreme sports.
第11回	Africa	Talk about African culture. Students will practice describing items.
第12回	Culture research paper	Culture research paper is due. Students will talk about their paper in pairs and small groups in English. If time, talk about Cambodian culture.
第13回	Egypt	Talk about Egyptian and Italian culture. Talk about ordering at a restaurant. Explain Final presentation.
第14回	Review for Final	Give students time to prepare and practice for Final group presentation.
第15回	Final presentation	Students give final presentation in groups.

担当者から一言

You must do your homework before class each week so that you can fully participate in the classroom activities. Please bring a dictionary to class.

講義名	英語 A (応用コース) (再履修)				担当教員	Walter Klinger	
講義コード	1110411	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101ENG103						

#### 授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities such as card games and TV comedy skits. Students write a one-page essay or story. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives grades for writing and speaking.

#### 到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	Picture Test (4 pictures, each 25%). Each Speaking Objective is worth 25%. Students meet with the teacher one-by-one and describe what is happening in four Action English pictures that we studied in the class.
レポート課題		
上記以外	50	25% Mid-term Speaking test. Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade for the Speaking test. 25% Mid-term Writing test. Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Writing Objective 3 is worth 50% of the total grade for the Writing test.

#### 授業外学習

宿題 Homework: One hour a week. Write and read aloud your story/essay (4 hours). Practice saying the Action English Pictures (4 hours). Read a movie textbook (7 hours).

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

handouts

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 B (応用コース) (再履修)				担当教員	Walter Klinger	
講義コード	1110412	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101ENG104						

#### 授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities such as card games and TV comedy skits. Students write a one-page essay or story. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives grades for writing and speaking.

#### 到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	50% TV Skit Performance. Read aloud one of the TV skits we studied in class. Each Speaking Objective is worth 25%.
レポート課題		
上記以外	50	25% Mid-term Speaking test. Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade for the Speaking test. 25% Mid-term Writing test. Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Writing Objective 3 is worth 50% of the total grade for the Writing test.

#### 授業外学習

宿題 Homework: One hour a week. Write and read aloud your story/essay (4 hours). Practice saying a TV skit (4 hours). Read a movie textbook (7 hours).

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

handouts

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 A (充実コース) (再履修)				担当教員	村上 幸太郎	
講義コード	1110621	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG201						

#### 授業概要

この授業では、映画『ブラダを着た悪魔』の鑑賞を通じて、ビジネスやプライベートの場で用いられることの多い会話表現を学習することを目的とする。スクリプト(脚本)のディクテーションや、発音練習、ペアでのロールプレイなどを行って、聞き取りとスピーキング能力を高めてもらいたい。また、教科書の学習以外にも1分間スピーチなどを行うので、積極的に英語でコミュニケーションを取るしせいも重要となる。

#### 到達目標

- (1) ビジネス・プライベート両方の場で用いられる会話表現の習得
- (2) スクリプトのディクテーションによるリスニング能力向上
- (3) 英語らしい発音の習得
- (4) 単語テストによる語彙の増強
- (5) スピーチ練習による英語によるコミュニケーションの上達

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	評価基準の詳細は下記に添付するファイルを参照のこと。
レポート課題		
上記以外	60%	中間テスト...20% 単語テスト...10% 平常授業への貢献度...30%

欠席が4回を超えた場合は評価の対象としない。  
10分以上遅刻した場合は冒頭で行う単語テストを受けられないので、必然的に平常点が下がります。

#### 授業外学習

事前に映画を鑑賞しておく必要はありませんが、毎回の授業で出てくる単語やフレーズは事前に予習しておくこと。毎回の単語テストの範囲は前の週にこちらで指示します。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『ブラダを着た悪魔』で学ぶコミュニケーション英語	Aline Brosh McKenna	松柏社	9784881987124
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 B (充実コース) (再履修)				担当教員	村上 幸太郎	
講義コード	1110622	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG202						

#### 授業概要

この授業では、イギリスとアメリカの社会、文化、風土などの比較するテキストを用いて、異文化に対する理解を深めることを目的とする。読解・リスニング・ライティングの演習を行うので、総合的な英語力を高めていくことになる。また、その他にも1分間スピーチや、英米比較をグループで調べ、発表を行うといった活動も行う。積極的に英語で話す姿勢、主体的に調べ学習を行う姿勢を持って授業に臨んでもらいたい。

#### 到達目標

- (1) 英米比較を通じて、異文化に対する理解を深める
- (2) リーディング・リスニング・ライティング能力の向上させる
- (3) 単語テストによる語彙の増強
- (4) 1分間スピーチによるスピーキング能力の向上
- (5) グループ学習による主体的な学習能力の向上

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	教科書の内容中心の筆記試験を行う。評価の詳細は下記に添付するファイルを参照のこと。
レポート課題	30%	グループ発表と事後レポートを総合的に判断する。詳細は下記に添付するファイルを参照のこと。
上記以外	30%	単語テスト...10点 平常授業への貢献度...20点

欠席が4回を超えた場合は評価の対象としない。  
10分以上遅刻した場合は冒頭で行う単語テストを受けられないので、必然的に平常点が下がります。

#### 授業外学習

- ・毎回冒頭で単語テストを実施するので、新出単語は事前に覚えておくこと (リストは毎回こちらで準備します)
- ・授業の前に教科書にある文章には目を通し、演習問題は解いておくこと

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	英米比較で英語を学ぶ	テリー・オブライエン	南雲堂	9784523176428
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (再履修)				担当教員	村上 幸太郎	
講義コード	1110622	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG202						

**授業計画**

回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	自己紹介、授業の進め方・評価方法の説明
第2回	Lesson 1 Terror in the City	単語テスト、1分間スピーチ、読解・リスニング・ライティング演習
第3回	Lesson 2 Walls	単語テスト、1分間スピーチ、読解・リスニング・ライティング演習
第4回	Lesson 3 British History	単語テスト、1分間スピーチ、読解・リスニング・ライティング演習
第5回	Lesson 4 The Elephant and the Mouse	単語テスト、1分間スピーチ、読解・リスニング・ライティング演習
第6回	Lesson 5 American History	単語テスト、1分間スピーチ、読解・リスニング・ライティング演習
第7回	Lesson 6 Names	単語テスト、1分間スピーチ、読解・リスニング・ライティング演習
第8回	グループ発表	グループ発表
第9回	Lesson 7 Rain in the UK	単語テスト、1分間スピーチ、読解・リスニング・ライティング演習
第10回	Lesson 8 Sport	単語テスト、1分間スピーチ、読解・リスニング・ライティング演習
第11回	Lesson 9 Universities in the UK	単語テスト、1分間スピーチ、読解・リスニング・ライティング演習
第12回	Lesson 10 Glamour and Glitz	単語テスト、1分間スピーチ、読解・リスニング・ライティング演習
第13回	Lesson 11 Bathes	単語テスト、1分間スピーチ、読解・リスニング・ライティング演習
第14回	Lesson 12 9/11 Part 1: The Shock	単語テスト、1分間スピーチ、読解・リスニング・ライティング演習
第15回	Lesson 13 9/11 Part 2: The Aftermath	単語テスト、1分間スピーチ、読解・リスニング・ライティング演習

**担当者から一言**

経験談も交えて欧米文化をいろいろと紹介したいと思っています。授業を通じて海外に対する関心を深めてもらえれば幸いです。

講義名	英語 A (展開コース) (再履修)				担当教員	渡 寛法	
講義コード	1110831	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG203						

#### 授業概要

本授業では、TOEICの問題を教材に、英語能力、とくにリスニング能力の向上を目指します。聴く力を伸ばすためには、まず自分自身で発音できることが重要です。そこで授業では、リスニング問題を解くだけでなく、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアやグループワークを通して英語に慣れる活動も行います。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、120分に耐える集中力や、英語を聞いて即座に反応する瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、リスニング能力向上に向けたトレーニングを行います。

#### 到達目標

- (1) TOEICリスニング問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。(2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。  
(3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標(1)に関しては、到達度確認テスト、および期末試験で評価します(40%)。
レポート課題		
上記以外	60	到達目標(2)に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し(30%)、到達目標(3)に関しては、各回の小テストで評価します(30%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

#### 授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『STRIKE UP THE TOEIC TEST LISTENING』	塚田幸光	金星堂	978-4-7647-4005-1
2				
3				

初回授業には時間を測れるストップウォッチ(スマートフォンでも計測機能があればOK)を持ってきてください。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	英語 A（展開コース）（再履修）					担当教員	渡 寛法
講義コード	1110831	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	201ENG203						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	自己紹介、授業の進め方についての説明、ワークシートの記入。
第2回	Unit 1	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第3回	Unit 2	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第4回	Unit 3	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第5回	Unit 4	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第6回	Unit 5	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第7回	Unit 6	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第8回	Review 1	ここまでの到達度確認テストを行う。
第9回	Unit 7	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第10回	Unit 8	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第11回	Unit 9	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第12回	Unit 10	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第13回	Unit 11	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第14回	Unit 12	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第15回	Review 2	到達度確認テスト、および、振り返りシートの作成。

担当者から一言

英語学習の基本は音読です。まずはTOEICレベルの英文をスラスラ声に出して読めるようにトレーニングしていきましょう！

講義名	英語 B (展開コース) (再履修)				担当教員	渡 寛法	
講義コード	1110832	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG204						

#### 授業概要

本授業では、TOEICの問題を教材に、英語能力、とくにリスニング能力の向上を目指します。聴く力を伸ばすためには、まず自分自身で発音できることが重要です。そこで授業では、リスニング問題を解くだけでなく、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアやグループワークを通して英語に慣れる活動も行います。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、120分に耐える集中力や、英語を聞いて即座に反応する瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、リスニング能力向上に向けたトレーニングを行います。

#### 到達目標

- (1) TOEICリスニング問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。(2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。(3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標 (1) に関しては、到達度確認テスト、および期末試験で評価します (40%)。
レポート課題		
上記以外	60	到達目標 (2) に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し (30%)、到達目標 (3) に関しては、各回の小テストで評価します (30%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

#### 授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『STRIKE UP THE TOEICR TEST LISTENING』	塚田幸光	金星堂	978-4-7647-4005-1
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	英語 B（展開コース）（再履修）					担当教員	渡 寛法
講義コード	1110832	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201ENG204						

#### 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	TOEIC概論と、今学期の目標確認。
第2回	Unit 13	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第3回	Unit 14	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第4回	Unit 15	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第5回	Unit 16	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第6回	Unit 17	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第7回	Unit 18	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第8回	Review 1	ここまでの到達度確認テストを行う。
第9回	Unit 19	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第10回	Unit 20	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第11回	Unit 21	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第12回	Unit 22	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第13回	Unit 23	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第14回	Unit 24	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第15回	Review 2	到達度確認テスト、および、振り返りシートの作成。
担当者から一言		
音読のスラスラ度をさらに磨いていきましょう！		

講義名	初習英語 A				担当教員	Walter Klinger	
講義コード	1110981	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101ENG105						

#### 授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities such as card games and TV comedy skits. Students write a one-page essay or story. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives grades for writing and speaking.

#### 到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	Picture Test (4 pictures, each 25%). Each Speaking Objective is worth 25%. Students meet with the teacher one-by-one and describe what is happening in four Action English pictures that we studied in the class.
レポート課題		
上記以外	50	25% Mid-term Speaking test. Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade for the Speaking test. 25% Mid-term Writing test. Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Writing Objective 3 is worth 50% of the total grade for the Writing test.

#### 授業外学習

宿題 Homework: One hour a week. Write and read aloud your story/essay (4 hours). Practice saying the Action English Pictures (4 hours). Read a movie textbook (7 hours).

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

handouts

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	初習英語 B				担当教員	Walter Klinger	
講義コード	1110982	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101ENG106						

#### 授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities such as card games and TV comedy skits. Students write a one-page essay or story. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives grades for writing and speaking.

#### 到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	50% TV Skit Performance. Read aloud one of the TV skits we studied in class. Each Speaking Objective is worth 25%.
レポート課題		
上記以外	50	25% Mid-term Speaking test. Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade for the Speaking test. 25% Mid-term Writing test. Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Writing Objective 3 is worth 50% of the total grade for the Writing test.

#### 授業外学習

宿題 Homework: One hour a week. Write and read aloud your story/essay (4 hours). Practice saying a TV skit (4 hours). Read a movie textbook (7 hours).

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

handouts

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	初習英語 A				担当教員	吉田 亞矢	
講義コード	1110991	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG205						

#### 授業概要

本授業は、『シャレード』（1963年、アメリカ）の鑑賞を通じて、英語ならびに英語圏以外の言語や文化についての理解を深めると同時に、本映画を題材にしたTOEIC形式のテキストを用いて、TOEICの問題形式に慣れることを主眼とする。TOEICで高スコアを取得しておくことは、将来の就職活動において有利となるばかりではなく、自身の英語学習の上達度を知るうえで参考かつ励みとなる。パリを舞台とする本編を通じて、英語母語話者以外の人々による英語にも慣れ親しむことは、2006年以降の新TOEICのリスニング対策にも大変効果的であろう。また、どの場面でも見られるユーモアと皮肉に満ちた台詞は、暗唱するに値する。LL教室の設備を活用し、登場人物たちの台詞を練習・録音し、英語の美しいリズムと機知に富む表現を体得する。

#### 到達目標

- (1) 本編の前半部分の見所を字幕なしで鑑賞する
- (2) TOEICや本編に関する課題に、ペアまたはグループで協調して取り組み、解答を導く
- (3) 予習・復習の習慣を定着させ、語彙知識と本編の内容理解を深める

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標(1)について、期末テストで評価。
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標(2)について、到達度確認テストを2回行い、全体の30%として評価。 到達目標(3)について、毎回小テストを行い、全体の30%として評価。

<出席について>

授業への積極的な参加は前提である。よって、出欠状況は毎回確認するが、いわゆる出席点というものはない。なお、正当な理由なく4回以上授業を欠席した場合は、単位を認めない。遅刻は3回で欠席1回とみなし、30分以上の遅刻は欠席扱いとなる。

#### 授業外学習

これまでの学習内容、これからの学習内容を効果的に定着させるため、授業の復習・予習などの授業外学習は欠かさず行うこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	名作映画でTOEIC(2) めざせ! 500 シャレード	Kay Nakagoほか	英宝社	978-4-269-66029-8
2				
3				

初回授業でテキストの説明・導入を予定しているため、各自必ず購入を済ませて持参すること。また、受講者自らが問題に取り組み、理解を深めて

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	シャレード(名作映画完全セルフ集スクリーンプレイ・シリーズ)	曽根田 憲三	フォーインスクリーンプレイ事業部	978-4894074309
2	名作映画で英会話 3 シャレード	藤田 英時	宝島社	978-4796658249
3				

#### 前提学力等

<辞書について>

外国語学習にとって辞書は必須アイテムである。英語の電子辞書または紙媒体の辞書を必ず持参すること。なお、携帯電話やスマートフォンなどの

#### 履修資格



講義名	初習英語 B				担当教員	吉田 亞矢	
講義コード	1110992	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG206						

#### 授業概要

本授業は、『シャレード』（1963年、アメリカ）の鑑賞を通じて、英語ならびに英語圏以外の言語や文化についての理解を深めると同時に、本映画を題材にしたTOEIC形式のテキストを用いて、TOEICの問題形式に慣れることを主眼とする。TOEICで高スコアを取得しておくことは、将来の就職活動において有利となるばかりではなく、自身の英語学習の上達度を知らずして参考かつ励みとなる。パリを舞台とする本編を通じて、英語母語話者以外の人々による英語にも慣れ親しむことは、2006年以降の新TOEICのリスニング対策にも大変効果的であろう。また、どの場面でも見られるユーモアと皮肉に満ちた台詞は、暗唱するに値する。LL教室の設備を活用し、登場人物たちの台詞を練習・録音し、英語の美しいリズムと機能に富む表現を体得する。

#### 到達目標

- (1) 本編の後半部分の見所を字幕なしで鑑賞する
- (2) TOEICや本編に関する課題に、ペアまたはグループで協調して取り組み、解答を導く
- (3) 予習・復習の習慣を定着させ、語彙知識と本編の内容理解を深める

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標(1)について、期末テストで評価。
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標(2)について、到達度確認テストを2回行い、全体の30%として評価。 到達目標(3)について、毎回小テストを行い、全体の30%として評価。

<出席について>

授業への積極的な参加は前提である。よって、出欠状況は毎回確認するが、いわゆる出席点というものはない。なお、正当な理由なく4回以上授業を欠席した場合は、単位を認めない。遅刻は3回で欠席1回とみなし、30分以上の遅刻は欠席扱いとなる。

#### 授業外学習

これまでの学習内容、これからの学習内容を効果的に定着させるため、授業の復習・予習などの授業外学習は欠かさず行うこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	名作映画でTOEIC(2)めざせ!500 シャレード	Kay Nakagoほか	英宝社	978-4-269-66029-8
2				
3				

初回授業でテキストの説明・導入を予定しているため、各自必ず購入を済ませて持参すること。また、受講者自らが問題に取り組み、理解を深めて

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	シャレード(名作映画完全セルフ集スクリーンプレイ・シリーズ)	曽根田 憲三	フォーインスクリーンプレイ事業部	978-4894074309
2	名作映画で英会話3 シャレード	藤田 英時	宝島社	978-4796658249
3				

・適宜、授業中にプリント配布する。

#### 前提学力等

<辞書について>

外国語学習にとって辞書は必須アイテムである。英語の電子辞書または紙媒体の辞書を必ず持参すること。なお、携帯電話やスマートフォンなどの

#### 履修資格

講義名	初習英語 B					担当教員	吉田 亜矢
講義コード	1110992	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201ENG206						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	・前期の振り返り ・後期の目標確認
第2回	Unit 7 Who's Lying? (1) - Listening	【前半】 ・小テスト
第3回	Unit 7 Who's Lying? (1) - Reading	【前半】 ・小テスト
第4回	Unit 8 Who's Lying? (2) - Listening	【前半】 ・小テスト
第5回	Unit 8 Who's Lying? (2) - Reading	【前半】 ・小テスト
第6回	Unit 9 Still Hungry (1) - Listening	【前半】 ・小テスト
第7回	Unit 9 Still Hungry (1) - Reading	【前半】 ・小テスト
第8回	到達度確認テスト(1)	・Unit 7 - 9 の範囲の会話をペアで発表
第9回	Unit 10 Still Hungry (2) - Listening	【前半】 ・小テスト
第10回	Unit 10 Still Hungry (2) - Reading	【前半】 ・小テスト
第11回	Unit 11 Charade (1) - Listening	【前半】 ・小テスト
第12回	Unit 11 Charade (1) - Reading	【前半】 ・小テスト
第13回	Unit 12 Charade (2) - Listening	【前半】 ・小テスト
第14回	Unit 12 Charade (2) - Reading	【前半】 ・小テスト
第15回	到達度確認テスト(2)	・グループで総まとめ課題に取り組む (具体的な内容に関しては第14回目で告知)

担当者から一言

映画の後半部分は、目まぐるしく展開していきます。前期で得た背景知識をフル活用して、楽しみながら英語力を鍛えてください！

講義名	ドイツ語 A (初級コース) (水2限)				担当教員	竹内 一高	
講義コード	1120011	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL101						

#### 授業概要

ドイツ語によるコミュニケーションができることを目標にした授業です。日常的な場面を具体的に設定しながら、その場面に相応しい語彙や会話を提示します。それらを学習者自身によるアレンジと練習を経て、自らの力で表現したいことを身につけることができます。つまり、学習者自身の主体的な、あるいは自主的な、授業内外でのコミュニケーションへの参加や学習者同士の協力によってはじめて、この授業を履修する意義が生まれます。

#### 到達目標

- (1) 挨拶やちょっとした場面（提案やお礼など）ですぐにドイツ語を使える。
- (2) ドイツ語の会話を聴きながら、重要な情報を聴き取ることができる。
- (3) ドイツ語の会話文や文章を手がかりに、授業内で習得すべき内容を察知できる。
- (4) 習得すべき内容は、学習者同士の反復練習によって身につけられることを実感する。
- (5) 学習内容をまとめたプレゼンテーションを、さまざまなメディアを用いて完成させることができる。
- (6) プレゼンテーション内容を学習者同士で評価しあえる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	約60%	学習者、あるいは学習者同士のドイツ語によるプレゼンテーション
レポート課題		
上記以外	約40%	授業内活動による、筆記課題や音声ファイルの提出

#### 授業外学習

ドイツ語学習は、毎回の積み重ねによって理解できる、あるいは表現できる内容が増えていきます。つまり、授業内では毎回ほぼ同じ活動を繰り返します。学習方法に慣れてしまって機械的に活動を処理することなく、学習者自身で毎回学習目標を見つけながら、それらを達成するという気持ち

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	MOTIVE A1, Kursbuch	Wilfried Krenn, Herbert Puchta	Hueber	978-3-19-001880-2
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	ドイツ語 B (初級コース) (水2限)				担当教員	竹内 一高	
講義コード	1120012	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101FRL102						

#### 授業概要

ドイツ語IAの同項目を参照してください。

#### 到達目標

ドイツ語IAの同項目を参照してください。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	約60%	ドイツ語IAの同項目を参照してください。
レポート課題		
上記以外	約40%	ドイツ語IAの同項目を参照してください。

#### 授業外学習

ドイツ語IAの同項目を参照してください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	MOTIVE A1, Kursbuch	Wilfried Krenn, Herbert Puchta?	Hueber	978-3-19-001880-2
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	ドイツ語 A (初級コース) (水3限)				担当教員	小松 紀子	
講義コード	1120021	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL101						

#### 授業概要

ドイツ語の基礎を学びます。ドイツ語会話のパートナー練習や発音練習を中心に、作文の練習や聞き取りの訓練などを重ね、日常生活でのさまざまな場面で用いられる基本的で実用的なドイツ語を身に付けます。またドイツ語圏の文化にも親しむ授業です。

#### 到達目標

- (1) ドイツ語の正しい発音を身に付ける。
- (2) ドイツ語の基本的な文法知識を習得する。
- (3) 辞書を用いて簡単なドイツ語の文章を読み書けるようになる。
- (4) ドイツ語で簡単な会話が交わせるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30%	到達目標(1)と(4)について口述試験を行う。
レポート課題		
上記以外	70%	到達目標(2)と(3)について課題提出と小テストを行う。

欠席した場合や遅刻をした場合は、全体の評点から減点します。  
全授業回数の3分の1以上を欠席した場合は、評価の対象としません。

#### 授業外学習

復習をしっかりとすることが大切です。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ゲナウ! コミュニケーションのドイツ語ノイ	新倉真矢子 / 他	第三書房	978-4-8086-1190-3
2				
3				

辞書は毎回必ず持ってきて使用すること。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

補足資料として、授業中にプリントを随時配布。

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	ドイツ語 A (初級コース) (水3限)					担当教員	小松 紀子
講義コード	1120021	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101FRL101						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	前期授業への導入、アルファベットの発音、あいさつ ( 1 )
第2回	第1課「あいさつ・人と知り合う」( 1 )	発音練習 ( 1 )、あいさつ ( 2 )、0 ~ 1 0 の数字
第3回	第1課「あいさつ・人と知り合う」( 2 )	発音練習 ( 2 )、自己紹介 ( 1 )、人称代名詞の1格、動詞の現在人称変化 ( 1 ) 規則動詞、語順
第4回	第2課「人物について」( 1 )	自己紹介 ( 2 )、動詞の現在人称変化 ( 2 ) sein
第5回	第2課「人物について」( 2 )	インタビュー、他己紹介
第6回	第3課「持ち物について」( 1 )	持ち物について ( 1 )、名詞の性、定冠詞と不定冠詞と否定冠詞の1格
第7回	第3課「持ち物について」( 2 )	持ち物について ( 2 )、複数形、1 1 ~ 1 0 0 の数字
第8回	第4課「食べ物と飲み物」( 1 )	食べ物と飲み物について ( 1 )、動詞の現在人称変化 ( 3 ) haben、4格目的語
第9回	第4課「食べ物と飲み物」( 2 )	食べ物と飲み物について ( 2 )、レストランでの注文
第10回	第5課「私の家族」( 1 )	家族について ( 1 )、所有冠詞の1格と4格
第11回	第5課「私の家族」( 2 )	家族について ( 2 )、人称代名詞の4格
第12回	第6課「私の趣味」( 1 )	趣味について ( 1 )、不規則動詞の現在人称変化
第13回	第6課「私の趣味」( 2 )	趣味について ( 2 )、人を誘う
第14回	前期のまとめ ( 1 )	前期の総復習 ( 1 )
第15回	前期のまとめ ( 2 )	前期の総復習 ( 2 )

担当者から一言

講義名	ドイツ語 B (初級コース) (水3限)				担当教員	小松 紀子	
講義コード	1120022	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101FRL102						

#### 授業概要

ドイツ語の基礎を学びます。ドイツ語会話のパートナー練習や発音練習を中心に、作文の練習や聞き取りの訓練などを重ね、日常生活でのさまざまな場面で用いられる基本的で実用的なドイツ語を身に付けます。またドイツ語圏の文化にも親しむ授業です。

#### 到達目標

- (1) ドイツ語の正しい発音を身に付ける。
- (2) ドイツ語の基本的な文法知識を習得する。
- (3) 辞書を用いて簡単なドイツ語の文章を読み書けるようになる。
- (4) ドイツ語で簡単な会話が交わせるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30%	到達目標(1)と(4)について口述試験を行う。
レポート課題		
上記以外	70%	到達目標(2)と(3)について課題提出と小テストを行う。

欠席した場合や遅刻をした場合は、全体の評点から減点します。  
全授業回数の3分の1以上を欠席した場合は、評価の対象としません。

#### 授業外学習

復習をしっかりとすることが大切です。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ゲナウ! コミュニケーションのドイツ語ノイ	新倉真矢子 / 他	第三書房	978-4-8086-1190-3
2				
3				

辞書は毎回必ず持ってきて使用すること。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

補足資料として、授業中にプリントを随時配布。

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	ドイツ語 B (初級コース) (水3限)				担当教員	小松 紀子	
講義コード	1120022	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101FRL102						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	前期の復習(1)	後期授業への導入、前期の総復習(1)
第2回	前期の復習(2)	前期の総復習(2)、命令文
第3回	第7課「休暇」(1)	休暇の予定について(1)、話法の助動詞(1)
第4回	第7課「休暇」(2)	休暇の予定について(2)、話法の助動詞(2)
第5回	第8課「衣服とプレゼント」(1)	衣服について、定冠詞と不定冠詞と所有冠詞の1格2格3格4格
第6回	第8課「衣服とプレゼント」(2)	プレゼントについて、人称代名詞の3格4格
第7回	第8課「衣服とプレゼント」(3)	ブティックでの買い物
第8回	第9課「街と住居」(1)	街の建物について、3・4格支配の前置詞
第9回	第9課「街と住居」(2)	道案内、3格支配の前置詞
第10回	第9課「街と住居」(3)	住居について
第11回	第10課「私の一日」(1)	時間表現(1)、分離動詞
第12回	第10課「私の一日」(2)	一日の行動について(1)、時間表現(2)
第13回	第10課「私の一日」(3)	一日の行動について(2)、zu不定詞
第14回	後期のまとめ(1)	後期の総復習(1)
第15回	後期のまとめ(2)	後期の総復習(2)

担当者から一言

--

講義名	ドイツ語 A (初級コース) (水3限)				担当教員	竹内 一高	
講義コード	1120031	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL101						

#### 授業概要

ドイツ語によるコミュニケーションができることを目標にした授業です。日常的な場面を具体的に設定しながら、その場面に相応しい語彙や会話を提示します。それらを学習者自身によるアレンジと練習を経て、自らの力で表現したいことを身につけることができます。つまり、学習者自身の主体的な、あるいは自主的な、授業内外でのコミュニケーションへの参加や学習者同士の協力によってはじめて、この授業を履修する意義が生まれます。

#### 到達目標

- (1) 挨拶やちょっとした場面（提案やお礼など）ですぐにドイツ語を使える。
- (2) ドイツ語の会話を聴きながら、重要な情報を聴き取ることができる。
- (3) ドイツ語の会話文や文章を手がかりに、授業内で習得すべき内容を察知できる。
- (4) 習得すべき内容は、学習者同士の反復練習によって身につけられることを実感する。
- (5) 学習内容をまとめたプレゼンテーションを、さまざまなメディアを用いて完成させることができる。
- (6) プレゼンテーション内容を学習者同士で評価しあえる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	約60%	学習者、あるいは学習者同士のドイツ語によるプレゼンテーション
レポート課題		
上記以外	約40%	授業内活動による、筆記課題や音声ファイルの提出

#### 授業外学習

ドイツ語学習は、毎回の積み重ねによって理解できる、あるいは表現できる内容が増えていきます。つまり、授業内では毎回ほぼ同じ活動を繰り返します。学習方法に慣れてしまって機械的に活動を処理することなく、学習者自身で毎回学習目標を見つけながら、それらを達成するという気持ち

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	MOTIVE A1, Kursbuch	Wilfried Krenn, Herbert Puchta	Hueber	978-3-19-001880-2
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	ドイツ語 A (初級コース) (水3限)				担当教員	竹内 一高	
講義コード	1120031	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL101						

## 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	挨拶、名前、字母	場面に応じた挨拶表現を練習します。 学習者自身の名前を字母を用いて表現します。
第2回	ドイツ語の語彙、人物紹介、数詞	ドイツ語の語彙を導入します。 人物紹介の仕方を練習します。
第3回	出身地、時刻、時間帯、曜日	出身地を尋ねたり、答えたりします。 時刻を尋ねたり、時差を考えたりします。
第4回	予定、事物	学習者同士の予定を合わせる会話を練習をします。 事物の語彙を導入します。
第5回	肯定、否定、まとめ1	肯定や否定の表現を練習します。 これまでのまとめを行います。
第6回	人物紹介、活動	人物紹介文(フォーム)を理解し、同じフォームを用いて作文します。 人物をより詳しく理解するために、活動表現を学習します。
第7回	好み、家族	人物の好むものについて理解し、またそれについて表現します。 家族についての文章を読みます。
第8回	家族	家族についての語彙や表現を学びます。 学習者自身の家系図を書いて、それについて説明します。
第9回	職業、年齢、年号	職業を表す語彙を学びます。 数詞をもちいて、年齢や年号を言えるように練習します。
第10回	まとめ2	名刺を製作して、名刺交換をします。
第11回	日常生活	日常生活に関する語彙を学習します。 短い文章から、学習者自身で表現できることを探します。
第12回	日常生活	辞書を用いて、少し長めの文章を読みます。 身の回りがある事物の語彙を学習します。
第13回	日常生活、価格	学習者自身にとって必要なものを表現します。 ものの価格を表現します。
第14回	食べ物・飲み物	食べ物・飲み物に関する語彙を学習します。 必要なものや好きなもの互いに尋ねあいます。
第15回	食事の時間	食事の時間について話し合います。

## 担当者から一言

言語コミュニケーションは、決して一人では成せるものではありません。必ず二人以上で言葉や気持ちのやり取りを行います。授業では二人以上で行う作業が多いので、困ったことがあれば、まず学習者同士で相談し合います。その上で教員に質問されることを勧めます。「授業中は常に誰かと何

講義名	ドイツ語 B (初級コース) (水3限)				担当教員	竹内 一高	
講義コード	1120032	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101FRL102						

#### 授業概要

ドイツ語IAの同項目を参照してください。

#### 到達目標

ドイツ語IAの同項目を参照してください。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	約60%	ドイツ語IAの同項目を参照してください。
レポート課題		
上記以外	約40%	ドイツ語IAの同項目を参照してください。

#### 授業外学習

ドイツ語IAの同項目を参照してください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	MOTIVE A1, Kursbuch	Wilfried Krenn, Herbert Puchta?	Hueber	978-3-19-001880-2
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	ドイツ語 A (初級コース) (水4限)				担当教員	小松 紀子	
講義コード	1120041	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL101						

#### 授業概要

ドイツ語の基礎を学びます。ドイツ語会話のパートナー練習や発音練習を中心に、作文の練習や聞き取りの訓練などを重ね、日常生活でのさまざまな場面で用いられる基本的で実用的なドイツ語を身に付けます。またドイツ語圏の文化にも親しむ授業です。

#### 到達目標

- (1) ドイツ語の正しい発音を身に付ける。
- (2) ドイツ語の基本的な文法知識を習得する。
- (3) 辞書を用いて簡単なドイツ語の文章を読み書けるようになる。
- (4) ドイツ語で簡単な会話が交わせるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30%	到達目標(1)と(4)について口述試験を行う。
レポート課題		
上記以外	70%	到達目標(2)と(3)について課題提出と小テストを行う。

欠席した場合や遅刻をした場合は、全体の評点から減点します。  
全授業回数の3分の1以上を欠席した場合は、評価の対象としません。

#### 授業外学習

復習をしっかりとすることが大切です。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ゲナウ! コミュニケーションのドイツ語ノイ	新倉真矢子 / 他	第三書房	978-4-8086-1190-3
2				
3				

辞書は毎回必ず持ってきて使用すること。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

補足資料として、授業中にプリントを随時配布。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	ドイツ語 B (初級コース) (水4限)				担当教員	小松 紀子	
講義コード	1120042	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101FRL102						

#### 授業概要

ドイツ語の基礎を学びます。ドイツ語会話のパートナー練習や発音練習を中心に、作文の練習や聞き取りの訓練などを重ね、日常生活でのさまざまな場面で用いられる基本的で実用的なドイツ語を身に付けます。またドイツ語圏の文化にも親しむ授業です。

#### 到達目標

- (1) ドイツ語の正しい発音を身に付ける。
- (2) ドイツ語の基本的な文法知識を習得する。
- (3) 辞書を用いて簡単なドイツ語の文章を読み書けるようになる。
- (4) ドイツ語で簡単な会話が交わせるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30%	到達目標(1)と(4)について口述試験を行う。
レポート課題		
上記以外	70%	到達目標(2)と(3)について課題提出と小テストを行う。

欠席した場合や遅刻をした場合は、全体の評点から減点します。  
全授業回数の3分の1以上を欠席した場合は、評価の対象としません。

#### 授業外学習

復習をしっかりとすることが大切です。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ゲナウ! コミュニケーションのドイツ語ノイ	新倉真矢子 / 他	第三書房	978-4-8086-1190-3
2				
3				

辞書は毎回必ず持ってきて使用すること。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

補足資料として、授業中にプリントを随時配布。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	ドイツ語 A (初級コース) (水4限)				担当教員	吉村 淳一	
講義コード	1120045	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号							

#### 授業概要

外国語や異文化について学ぶことは、相手の立場に立つ手段を得ることであり、また母語や自国の文化への理解を深めることにも通じる。使いこなせる言語の数が増えれば、自分自身の世界も広がる。外国語を習得するためには、文法や語彙を学び、実際にそれらを使って表現してみる必要がある。この授業では、特に「話す」、「聞く」力に重点を置き、ペア練習、グループ練習、個人指導により、楽しんでドイツ語文法の基礎を学べるように配慮する。また、できるかぎり実物教材やプリントを使って、文化紹介をしたり、5分から10分程度の音楽や映像を提示したりする。

#### 到達目標

発音、語順、動詞(現在人称変化)、名詞類(性・数・格)、冠詞についての文法的な知識を習得する。単文レベルの簡単な会話ができることを目標とする。具体的には、以下のことを目標とする。(1)授業で取り扱った文法を理解し、辞書などを使って練習問題を解いたり簡単な文章を読解したりすることができる。(2)習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。(3)参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。(4)参照するものがなくても、習得した文法の知識を活用して簡単なドイツ語会話であればできる。(5)参照するものがあれば、正しい発音や簡単なドイツ語会話ができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	20	(2)と(3)に関しては筆記試験(20%)で評価する。
レポート課題		
上記以外	80	(1)に関しては学期末の課題(模擬試験:10%)、(3)に関しては小テスト(5%)、(4)に関しては口述試験(60%)、(5)に関しては会話練習(学生や教員とのペア練習:5%)の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。

#### 授業外学習

教科書や配布プリントに記載されている語彙や表現は会話練習で繰り返し使用しますので覚えてください。その他の宿題や小テストに関しては習熟度に合わせて適宜指示します。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新・文法システム15	西本美彦/Angelika Nishimoto/高田博行	同学社	978-4810208818
2				
3				

ただし、主としてプリントで授業を行う。プリントをたくさん配布するのでクリアブックを用意すること。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	ドイツ語 B (初級コース) (水4限)				担当教員	吉村 淳一	
講義コード	1120046	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号							

#### 授業概要

外国語や異文化について学ぶことは、相手の立場に立つ手段を得ることであり、また母語や自国の文化への理解を深めることにも通じる。使いこなせる言語の数が増えれば、自分自身の世界も広がる。外国語を習得するためには、文法や語彙を学び、実際にそれらを使って表現してみる必要がある。この授業では、ドイツ語 Aで習得した言語運用能力を活用しながら、特に「話す」、「聞く」力に重点を置き、ペア練習、グループ練習、個人指導により、楽しんでドイツ語文法の基礎を学べるように配慮する。また、できるときは実物教材やプリントを使って、文化紹介をしたり、5分から10分程度の音楽や映像を提示したりする。

#### 到達目標

発音、語順、動詞（現在人称変化、話法の助動詞、分離動詞）、名詞類、前置詞についての文法的な知識を習得する。単文レベルの簡単な会話ができることを目標とする。具体的には、以下のことを目標とする。(1) 授業で取り扱った文法を理解し、辞書などを使って練習問題を解いたり簡単な文章を読解したりすることができる。(2) 習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。(3) 参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。(4) 参照するものがなくても、習得した文法の知識を活用して簡単なドイツ語会話であればできる。(5) 参照するものがあれば、正しい発音や簡単なドイツ語会話ができる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	20	(2)と(3)に関しては筆記試験(20%)で評価する。
レポート課題		
上記以外	80	(1)に関しては学期末の課題(模擬試験:10%)、(4)に関しては口述試験(60%)、(5)に関しては会話練習(学生や教員とのペア練習:10%)の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。

#### 授業外学習

教科書や配布プリントに記載されている語彙や表現は会話練習で繰り返し使用しますので覚えてください。その他の宿題や小テストに関しては習熟度に合わせて適宜指示します。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新・文法システム15	西本美彦/Angelika Nishimoto/高田博行	同学社	978-4810208818
2				
3				

ただし、主としてプリントで授業を行う。プリントをたくさん配布するのでクリアブックを用意すること。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	ドイツ語 B (初級コース) (水4限)					担当教員	吉村 淳一
講義コード	1120046	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号							

**授業計画**

回数	タイトル	概要
第1回	ドイツ語 Aの復習	文法の説明：現在人称変化、冠詞の格変化、語順；会話練習：自己紹介、レストランで注文する
第2回	格と語順、人称代名詞の格変化 (1)	文法の説明
第3回	人称代名詞の格変化 (2)	会話練習：3格と4格
第4回	前置詞 (1)	文法の説明
第5回	前置詞 (2)	会話練習：待ち合わせをする
第6回	基数と序数	会話練習：時刻や誕生日の表現
第7回	話法の助動詞 (1)	文法の説明
第8回	話法の助動詞 (2)	会話練習：möchteとmüssen
第9回	話法の助動詞 (3)	会話練習：könnenとdürfen
第10回	分離動詞と非分離動詞	文法の説明
第11回	分離動詞 (1)	会話練習：予定を尋ねる (1)
第12回	分離動詞 (2)	会話練習：予定を尋ねる (2)
第13回	命令形	文法の説明と会話の練習
第14回	まとめ (1)	会話練習
第15回	まとめ (2)	課題 (模擬試験) + 口述試験

**担当者から一言**

言語を習得するには時間がかかります。失敗を恐れず到我慢強く毎回練習を積み重ねていってください。

講義名	ドイツ語 A (初級コース) (水4限)				担当教員	竹内 一高	
講義コード	1120051	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL101						

#### 授業概要

ドイツ語によるコミュニケーションができることを目標にした授業です。日常的な場面を具体的に設定しながら、その場面に相応しい語彙や会話を提示します。それらを学習者自身によるアレンジと練習を経て、自らの力で表現したいことを身につけることができます。つまり、学習者自身の主体的な、あるいは自主的な、授業内外でのコミュニケーションへの参加や学習者同士の協力によってはじめて、この授業を履修する意義が生まれます。

#### 到達目標

- (1) 挨拶やちょっとした場面（提案やお礼など）ですぐにドイツ語を使える。
- (2) ドイツ語の会話を聴きながら、重要な情報を聴き取ることができる。
- (3) ドイツ語の会話文や文章を手がかりに、授業内で習得すべき内容を察知できる。
- (4) 習得すべき内容は、学習者同士の反復練習によって身につけられることを実感する。
- (5) 学習内容をまとめたプレゼンテーションを、さまざまなメディアを用いて完成させることができる。
- (6) プレゼンテーション内容を学習者同士で評価しあえる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	約60%	学習者、あるいは学習者同士のドイツ語によるプレゼンテーション
レポート課題		
上記以外	約40%	授業内活動による、筆記課題や音声ファイルの提出

#### 授業外学習

ドイツ語学習は、毎回の積み重ねによって理解できる、あるいは表現できる内容が増えていきます。つまり、授業内では毎回ほぼ同じ活動を繰り返します。学習方法に慣れてしまって機械的に活動を処理することなく、学習者自身で毎回学習目標を見つけながら、それらを達成するという気持ち

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	MOTIVE A1, Kursbuch	Wilfried Krenn, Herbert Puchta	Hueber	978-3-19-001880-2
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	ドイツ語 B (初級コース) (水4限)				担当教員	竹内 一高	
講義コード	1120052	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101FRL102						

#### 授業概要

ドイツ語IAの同項目を参照してください。

#### 到達目標

ドイツ語IAの同項目を参照してください。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	約60%	ドイツ語IAの同項目を参照してください。
レポート課題		
上記以外	約40%	ドイツ語IAの同項目を参照してください。

#### 授業外学習

ドイツ語IAの同項目を参照してください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	MOTIVE A1, Kursbuch	Wilfried Krenn, Herbert Puchta?	Hueber	978-3-19-001880-2
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	ドイツ語 A (初級コース) (水2限)				担当教員	小松 紀子	
講義コード	1120056	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL101						

#### 授業概要

ドイツ語の基礎を学びます。ドイツ語会話のパートナー練習や発音練習を中心に、作文の練習や聞き取りの訓練などを重ね、日常生活でのさまざまな場面で用いられる基本的で実用的なドイツ語を身に付けます。またドイツ語圏の文化にも親しむ授業です。

#### 到達目標

- (1) ドイツ語の正しい発音を身に付ける。
- (2) ドイツ語の基本的な文法知識を習得する。
- (3) 辞書を用いて簡単なドイツ語の文章を読み書けるようになる。
- (4) ドイツ語で簡単な会話が交わせるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30%	到達目標(1)と(4)について口述試験を行う。
レポート課題		
上記以外	70%	到達目標(2)と(3)について課題提出と小テストを行う。

欠席した場合や遅刻をした場合は、全体の評点から減点します。  
全授業回数の3分の1以上を欠席した場合は、評価の対象としません。

#### 授業外学習

復習をしっかりとすることが大切です。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ゲナウ! コミュニケーションのドイツ語ノイ	新倉真矢子 / 他	第三書房	978-4-8086-1190-3
2				
3				

辞書は毎回必ず持ってきて使用すること。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

補足資料として、授業中にプリントを随時配布。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	ドイツ語 B (初級コース) (水2限)				担当教員	小松 紀子	
講義コード	1120057	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101FRL102						

#### 授業概要

ドイツ語の基礎を学びます。ドイツ語会話のパートナー練習や発音練習を中心に、作文の練習や聞き取りの訓練などを重ね、日常生活でのさまざまな場面で用いられる基本的で実用的なドイツ語を身に付けます。またドイツ語圏の文化にも親しむ授業です。

#### 到達目標

- (1) ドイツ語の正しい発音を身に付ける。
- (2) ドイツ語の基本的な文法知識を習得する。
- (3) 辞書を用いて簡単なドイツ語の文章を読み書けるようになる。
- (4) ドイツ語で簡単な会話が交わせるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30%	到達目標(1)と(4)について口述試験を行う。
レポート課題		
上記以外	70%	到達目標(2)と(3)について課題提出と小テストを行う。

欠席した場合や遅刻をした場合は、全体の評点から減点します。  
全授業回数の3分の1以上を欠席した場合は、評価の対象としません。

#### 授業外学習

復習をしっかりとすることが大切です。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ゲナウ! コミュニケーションのドイツ語ノイ	新倉真矢子 / 他	第三書房	978-4-8086-1190-3
2				
3				

辞書は毎回必ず持ってきて使用すること。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

補足資料として、授業中にプリントを随時配布。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	ドイツ語 A (中級コース) (火2限)				担当教員	吉村 淳一	
講義コード	1120061	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201FRL201						

#### 授業概要

ドイツ語 で習得した基礎文法を復習しながら、さらに高度な会話の練習をする。またドイツ語で書かれた短い文章を読み、読解力を身につける。その際、教科書のテーマに沿って、実物教材やプリントを用意し、ドイツ文化の知識を深めるように努める。授業の進め方に関しては、前回の復習、音読および訳出の練習、文法事項の確認、会話の練習(プリント教材)、習熟度に応じて小テストなどを行う。また文化紹介の時間を設けて、5分から10分程度の音楽や映像を提示するので、ヨーロッパ諸国の一員であるドイツを知る手がかりにしてもらいたい。

#### 到達目標

(1) zu-不定詞、現在完了形、過去形、形容詞の変化、受動態、関係代名詞、接続法などの文法の知識を身につける。(2) 書き言葉では、辞書を使って平易な文章を読みこなすことを目標とする。(3) 話し言葉では比較的難しい会話表現を習得することを目標とする。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	30	(1)は筆記試験で評価する。
レポート課題		
上記以外	70	(1)は小テスト(10%)と課題(20%)、(2)は読解練習の担当分(5%)、(3)は会話練習(5%)と口述試験(30%)で評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。

#### 授業外学習

読解練習は予習を前提としているので、担当しない場合にも必ず予習をしてもらうこと。その他の宿題や小テストに関しては習熟度に合わせて適宜指示する。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

会話練習用プリントを配布するのでクリアブックを用意すること。教科書は使用せず、読解練習用のプリントも配布することとする。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	ドイツ語 B (中級コース) (火2限)				担当教員	吉村 淳一	
講義コード	1120062	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201FRL202						

#### 授業概要

ドイツ語 で習得した基礎文法を復習しながら、さらに高度な会話の練習をする。またドイツ語で書かれた短い文章を読み、読解力を身につける。その際、教科書のテーマに沿って、実物教材やプリントを用意し、ドイツ文化の知識を深めるように努める。授業の進め方に関しては、前回の復習、音読および訳出の練習、文法事項の確認、会話の練習(プリント教材)、習熟度に応じて小テストなどを行う。また文化紹介の時間を設けて、5分から10分程度の音楽や映像を提示するので、ヨーロッパ諸国の一員であるドイツを知る手がかりにしてもらいたい。

#### 到達目標

(1) zu-不定詞、現在完了形、過去形、形容詞の変化、受動態、関係代名詞、接続法などの文法の知識を身につける。(2) 書き言葉では、辞書を使って平易な文章を読みこなすことを目標とする。(3) 話し言葉では比較的難しい会話表現を習得することを目標とする。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	30	(1)は筆記試験で評価する。
レポート課題		
上記以外	70	(1)は小テスト(10%)と課題(20%)、(2)は読解練習の担当分(5%)、(3)は会話練習(5%)と口述試験(30%)で評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。

#### 授業外学習

読解練習は予習を前提としているので、担当しない場合にも必ず予習をしてくること。その他の宿題や小テストに関しては習熟度に合わせて適宜指示する。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

会話練習用プリントを配布するのでクリアブックを用意すること。教科書は使用せず、読解練習用のプリントも配布することとする。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	ドイツ語 A (中級コース) (火2限)				担当教員	大森 智子	
講義コード	1120071	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201FRL201						

#### 授業概要

German で学習した表現や基礎文法を復習しながら、ドイツ語の実用的な会話能力を身につける。また短い読み物を精読する機会も採り入れ、辞書さえあれば平易なドイツ語の文章も読めるようにしていく。

この授業では、日常的な会話表現をペアワークで覚えていきながら、キーセンテンスや重要な語彙、文法を定着させていく。また、重要な文法事項や表現については、復習をした上で記述式の小テストを行い、会話表現については、正しく発音や理解がなされているか確認するために口述テストを行っていく。

更に、自宅でも学習する機会が増えるよう、宿題の形で読み物には予め自宅で目を通しておくように促す。

その他、視聴覚資料を用いたドイツ語圏の文化紹介も、毎回5分から10分程度設ける予定にしている。ドイツ語の社会的・文化的背景に関する知識は、語学力を必ず補ってくれるからである。

#### 到達目標

規則動詞、不規則動詞の現在人称変化、名詞や人称代名詞の格変化、前置詞や疑問詞などの文法の知識を身につける。

書き言葉では、辞書を使って平易な文章を読みこなすこと、話し言葉では、基本的な会話表現を習得することを目標とする。

具体的には、以下を目標とする。

授業で取り扱った文法を理解し、辞書などを使って練習問題を解いたり、簡単な文章を読解したりすることができる。

習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。

参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。

参照するものがなくても、習得した文法の知識を活用して簡単なドイツ語会話ができて

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	30%	習得した文法の知識や語彙を活用して、参照するものなしに簡単な文法の問題を解くことができる。また、簡単な文章を作ることができる。 また場合によっては、辞書を使用して文章を正しく読解できる。
レポート課題	20%	辞書を使用して、各課の末尾にある読み物を正しく読解できる。
上記以外	50%	記述式の小テスト 25% 参照するものなしに、学習した重要な文法事項や表現を記述することができる。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ブーメラン・エルエー	小野寿美子、中川明博、西巻文児	朝日出版社	978-4-255-25380-0 C1084
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	ドイツ語 B (中級コース) (火2限)				担当教員	大森 智子	
講義コード	1120072	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201FRL202						

#### 授業概要

German A に引き続き、学習した表現や基礎文法を復習しながら、ドイツ語の実用的な会話能力を身につける。また短い読み物を精読する機会も採り入れ、辞書さえあれば平易なドイツ語の文章も読めるようにしていく。  
この授業では、日常的な会話表現をペアワークで覚えていきながら、キーセンテンスや重要な語彙、文法を定着させていく。また、重要な文法事項や表現については、復習をした上で記述式の小テストを行い、会話表現については、正しく発音や理解がなされているか確認するために口述テストを行っていく。  
更に、自宅でも学習する機会が増えるよう、宿題の形で読み物には予め自宅で目を通しておくように促す。  
その他、視聴覚資料を用いたドイツ語圏の文化紹介も、毎回5分から10分程度設ける予定にしている。ドイツ語の社会的・文化的背景に関する知識は、語学力を必ず補ってくれるからである。

#### 到達目標

話法の助動詞を使った表現、未来形、従属接続詞を使った副文、分離動詞と非分離動詞、形容詞の格語尾変化、形容詞と副詞の比較表現、現在完了形、過去形、再帰代名詞を伴う再帰動詞、zu 不定詞、関係代名詞を使った関係文などの文法の知識を身につける。  
書き言葉では、辞書を使って平易な文章を読みこなすこと、話し言葉では、基本的な会話表現を習得することを目標とする。  
具体的には、以下を目標とする。  
授業で取り扱った文法を理解し、辞書などを使って練習問題を解いたり、簡単な文章を  
読解したりすることができる。  
習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。  
参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	30%	習得した文法の知識や語彙を活用して、参照するものなしに簡単な文法の問題を解くことができる。また、簡単な文章を作ることができる。 また場合によっては、辞書を使用して文章を正しく読解できる。
レポート課題	20%	辞書を使用して、各課の末尾にある読み物を正しく読解できる。
上記以外	50%	記述式の小テスト 25% 参照するものなしに、学習した重要な文法事項や表現を記述することができる。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ブーメラン・エルエー	小野寿美子、中川明博、西巻文児	朝日出版社	978-4-255-25380-0 C1084
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	ドイツ語 B (中級コース) (火2限)					担当教員	大森 智子
講義コード	1120072	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201FRL202						

**授業計画**

回数	タイトル	概要
第1回	Lektion 6. 文法 & 表現	話法の助動詞と未来形を復習し、習得する。不定代名詞 man を理解し、使えるようになる。
第2回	Lektion 6. 文法 & 表現	従属接続詞を確認し、副文を伴う文章を作る練習をする。分離動詞、非分離動詞も習得する。
第3回	Lektion 6. 文法 & 表現	代表的な催し物に関する語彙を増やす。更に、会話文を暗唱し、読み物を読む。
第4回	Lektion 7. 文法 & 表現	形容詞の格語尾変化を確認し、習得する。
第5回	Lektion 7. 文法 & 表現	形容詞・副詞の比較表現を確認し、習得する。
第6回	Lektion 7. 文法 & 表現	「どんな ...?」という表現の練習をする。食事や色に関する語彙を増やす。更に、会話文を暗唱し、読み物を読む。
第7回	Lektion 8. 文法 & 表現	動詞の3基本形について復習し、身につける。
第8回	Lektion 8 文法 & 表現	動詞の3基本形の中の過去分詞を使う現在完了形を理解し、習得する。
第9回	Lektion 8. 文法 & 表現	時間を表す副詞を使いながら、過去の表現を練習する。更に、会話文を暗唱し、読み物を読む。
第10回	Lektion 9. 文法 & 表現	主に書き言葉で用いられる過去形を確認し、習得する。
第11回	Lektion 9. 文法 & 表現	再帰代名詞と再帰動詞を理解し、習得する。
第12回	Lektion 9. 文法 & 表現	過去形を使う例として、童話の中の表現を見てみる。更に、会話文を暗唱し、読み物を読む。
第13回	Lektion 10. 文法 & 表現	zu 不定詞について確認し、習得する。
第14回	Lektion 10. 文法 & 表現	関係代名詞について理解し、関係文を習得する。
第15回	Lektion 10. 文法 & 表現	ドイツ語圏の祝祭について学び、お祝いの言葉が言えるようになる。更に、会話文を暗唱し、読み物を読む。
担当者から一言		

講義名	ドイツ語 A (中級コース) (火3限)				担当教員	大森 智子	
講義コード	1120091	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201FRL201						

#### 授業概要

German で学習した表現や基礎文法を復習しながら、ドイツ語の実用的な会話能力を身につける。また短い読み物を精読する機会も採り入れ、辞書さえあれば平易なドイツ語の文章も読めるようにしていく。  
 この授業では、日常的な会話表現をペアワークで覚えていきながら、キーセンテンスや重要な語彙、文法を定着させていく。また、重要な文法事項や表現については、復習をした上で記述式の小テストを行い、会話表現については、正しく発音や理解がなされているか確認するために口述テストを行っていく。  
 更に、自宅でも学習する機会が増えるよう、宿題の形で読み物には予め自宅で目を通しておくように促す。  
 その他、視聴覚資料を用いたドイツ語圏の文化紹介も、毎回5分から10分程度設ける予定にしている。ドイツ語の社会的・文化的背景に関する知識は、語学力を必ず補ってくれるからである。

#### 到達目標

規則動詞、不規則動詞の現在人称変化、名詞や人称代名詞の格変化、前置詞や疑問詞などの文法の知識を身につける。  
 書き言葉では、辞書を使って平易な文章を読みこなすこと、話し言葉では、基本的な会話表現を習得することを目標とする。  
 具体的には、以下を目標とする。  
 授業で取り扱った文法を理解し、辞書などを使って練習問題を解いたり、簡単な文章を読解したりすることができる。  
 習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。  
 参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。  
 参照するものがなくても、習得した文法の知識を活用して簡単なドイツ語会話ができて

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	30%	習得した文法の知識や語彙を活用して、参照するものなしに簡単な文法の問題を解くことができる。また、簡単な文章を作ることができる。 また場合によっては、辞書を使用して文章を正しく読解できる。
レポート課題	20%	辞書を使用して、各課の末尾にある読み物を正しく読解できる。
上記以外	50%	記述式の小テスト 25% 参照するものなしに、学習した重要な文法事項や表現を記述することができる。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ブーメラン・エルエー	小野寿美子、中川明博、西巻文児	朝日出版社	978-4-255-25380-0 C1084
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	ドイツ語 A (中級コース) (火3限)				担当教員	大森 智子	
講義コード	1120091	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201FRL201						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	German の復習	アルファベット、発音、あいさつ、数詞などの復習をする。
第2回	Lektion 1. 文法 & 表現	人称代名詞と規則動詞の現在人称変化、不規則動詞 sein, haben の現在人称変化を復習し、定着させる。
第3回	Lektion 1. 文法 & 表現	語順と ja, nein の使い方を確認する。疑問詞や国名、～人、専攻名や職業名を学習する。更に、会話文を暗唱し、読み物を読む。
第4回	Lektion 2. 文法 & 表現	名詞の性と冠詞を概観する。名詞の格の役割を復習する。定冠詞と名詞の格変化を確認し、定着させる。
第5回	Lektion 2. 文法 & 表現	不定冠詞と名詞の格変化を確認し、定着させる。名詞の複数形のタイプ分けを理解し、習得する。
第6回	Lektion 2. 文法 & 表現	紹介の das の使い方の確認をする。身のまわりのものについての語彙を増やす。更に、会話文を暗唱し、読み物を読む。
第7回	Lektion 3. 文法 & 表現	sein, haben 以外の不規則動詞の現在人称変化を復習し、定着させる。並列の接続詞を学習する。
第8回	Lektion 3. 文法 & 表現	命令形を使えるようになる。のりもの、くだもの、野菜などの語彙を増やす。
第9回	Lektion 3. 文法 & 表現	非人称の es の使い方を理解する。時刻の表現を確認し、定着させる。更に、会話文を暗唱し、読み物を読む。
第10回	Lektion 4. 文法 & 表現	定冠詞類、不定冠詞類の格変化について確認し、定着させる。kein と nicht の使い分けができるようになる。
第11回	Lektion 4. 文法 & 表現	人称代名詞の3格と4格を定着させ、3格と4格の語順も理解する。
第12回	Lektion 4. 文法 & 表現	身につけるものや家族についての語彙を増やす。更に、会話文を暗唱し、読み物を読む。
第13回	Lektion 5. 文法 & 表現	前置詞の格支配について確認し、定着させる。重要な前置詞を復習し、定着させる。
第14回	Lektion 5. 文法 & 表現	前置詞と定冠詞の融合形を理解し、使えるようになる。特定の前置詞と結びつく動詞や形容詞を学習する。
第15回	Lektion 5. 文法 & 表現	疑問詞 wer と was の格変化を定着させる。街に関する語彙を増やす。更に、会話文を暗唱し、読み物を読む。

担当者から一言

講義名	ドイツ語 B (中級コース) (火3限)				担当教員	大森 智子	
講義コード	1120092	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201FRL202						

#### 授業概要

German A に引き続き、学習した表現や基礎文法を復習しながら、ドイツ語の実用的な会話能力を身につける。また短い読み物を精読する機会も採り入れ、辞書さえあれば平易なドイツ語の文章も読めるようにしていく。  
この授業では、日常的な会話表現をペアワークで覚えていきながら、キーセンテンスや重要な語彙、文法を定着させていく。また、重要な文法事項や表現については、復習をした上で記述式の小テストを行い、会話表現については、正しく発音や理解がなされているか確認するために口述テストを行っていく。  
更に、自宅でも学習する機会が増えるよう、宿題の形で読み物には予め自宅で目を通しておくように促す。  
その他、視聴覚資料を用いたドイツ語圏の文化紹介も、毎回5分から10分程度設ける予定にしている。ドイツ語の社会的・文化的背景に関する知識は、語学力を必ず補ってくれるからである。

#### 到達目標

話法の助動詞を使った表現、未来形、従属接続詞を使った副文、分離動詞と非分離動詞、形容詞の格語尾変化、形容詞と副詞の比較表現、現在完了形、過去形、再帰代名詞を伴う再帰動詞、zu 不定詞、関係代名詞を使った関係文などの文法の知識を身につける。  
書き言葉では、辞書を使って平易な文章を読みこなすこと、話し言葉では、基本的な会話表現を習得することを目標とする。  
具体的には、以下を目標とする。  
授業で取り扱った文法を理解し、辞書などを使って練習問題を解いたり、簡単な文章を  
読解したりすることができる。  
習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。  
参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	30%	習得した文法の知識や語彙を活用して、参照するものなしに簡単な文法の問題を解くことができる。また、簡単な文章を作ることができる。 また場合によっては、辞書を使用して文章を正しく読解できる。
レポート課題	20%	辞書を使用して、各課の末尾にある読み物を正しく読解できる。
上記以外	50%	記述式の小テスト 25% 参照するものなしに、学習した重要な文法事項や表現を記述することができる。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ブーメラン・エルエー	小野寿美子、中川明博、西巻文児	朝日出版社	978-4-255-25380-0 C1084
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	ドイツ語 B (中級コース) (火3限)				担当教員	大森 智子	
講義コード	1120092	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201FRL202						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Lektion 6. 文法 & 表現	話法の助動詞と未来形を復習し、習得する。不定代名詞 man を理解し、使えるようになる。
第2回	Lektion 6. 文法 & 表現	従属接続詞を確認し、副文を伴う文章を作る練習をする。分離動詞、非分離動詞も習得する。
第3回	Lektion 6. 文法 & 表現	代表的な催し物に関する語彙を増やす。更に、会話文を暗唱し、読み物を読む。
第4回	Lektion 7. 文法 & 表現	形容詞の格語尾変化を確認し、習得する。
第5回	Lektion 7. 文法 & 表現	形容詞・副詞の比較表現を確認し、習得する。
第6回	Lektion 7. 文法 & 表現	「どんな ...?」という表現の練習をする。食事や色に関する語彙を増やす。更に、会話文を暗唱し、読み物を読む。
第7回	Lektion 8. 文法 & 表現	動詞の3基本形について復習し、身につける。
第8回	Lektion 8 文法 & 表現	動詞の3基本形の中の過去分詞を使う現在完了形を理解し、習得する。
第9回	Lektion 8. 文法 & 表現	時間を表す副詞を使いながら、過去の表現を練習する。更に、会話文を暗唱し、読み物を読む。
第10回	Lektion 9. 文法 & 表現	主に書き言葉で用いられる過去形を確認し、習得する。
第11回	Lektion 9. 文法 & 表現	再帰代名詞と再帰動詞を理解し、習得する。
第12回	Lektion 9. 文法 & 表現	過去形を使う例として、童話の中の表現を見つめる。更に、会話文を暗唱し、読み物を読む。
第13回	Lektion 10. 文法 & 表現	zu 不定詞について確認し、習得する。
第14回	Lektion 10. 文法 & 表現	関係代名詞について理解し、関係文を習得する。
第15回	Lektion 10. 文法 & 表現	ドイツ語圏の祝祭について学び、お祝いの言葉が言えるようになる。更に、会話文を暗唱し、読み物を読む。
担当者から一言		

講義名	フランス語 A (初級コース) (水3限)				担当教員	辻村 暁子	
講義コード	1120131	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL111						

#### 授業概要

フランス語への導入と基礎の習得。フランス語は、非常によく整った精緻な文法を備えた言語であり、文法の習得は学習上必要不可欠な要素であるが、所謂文法の規則を覚えることにとどまらず、実際に生きた言語を体得する過程で、使える文法としてこれを身に付ける。

#### 到達目標

- (1) フランス語におけるつづり字の読み方の規則をマスターし、フランス語を正確に読み、聞くことができるようになる。  
(2) 文法の理解に基づき、日常遭遇する可能性の高い様々な状況で、最も基本的なコミュニケーションが行なえるようになる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	文法知識、応用力、聞き取りの力を問う記述式試験を行う。
レポート課題		
上記以外	50	学期半ばに中間試験を行う。 課題への取り組み、授業中の活動により、各自が「到達目標」に向けて十分な努力をしているか評価する。

授業時間数の3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

#### 授業外学習

授業中に学んだモデル会話や練習問題が録音された音源を積極的に利用して、フランス語を聞き、発音することに慣れるよう努力してもらいたい。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	タルト・タタン	藤田裕二、東海麻衣子	駿河台出版社	978-4-411-01120-6
2				
3				

辞書については最初の授業時に指示するので、それまでは購入しなくてよい。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

高等学校卒業程度の英語力を前提とする。

#### 履修資格



講義名	フランス語 B (初級コース) (水3限)				担当教員	辻村 暁子	
講義コード	1120132	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101FRL112						

#### 授業概要

フランス語への導入と基礎の習得。フランス語は、非常によく整った精緻な文法を備えた言語であり、文法の習得は学習上必要不可欠な要素であるが、所謂文法の規則を覚えることにとどまらず、実際に生きた言語を体得する過程で、使える文法としてこれを身に付ける。

#### 到達目標

- (1) フランス語におけるつづり字の読み方の規則をマスターし、フランス語を正確に読み、聞くことができるようになる。  
(2) 文法の理解に基づき、日常遭遇する可能性の高い様々な状況で、最も基本的なコミュニケーションが行なえるようになる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	文法知識、応用力、聞き取りの力を問う記述式試験を行う。
レポート課題		
上記以外	50	学期半ばに中間試験を行う。 課題への取り組み、授業中の活動により、各自が「到達目標」に向けて十分な努力をしているか評価する。

授業時間数の3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

#### 授業外学習

授業中に学んだモデル会話や練習問題が録音された音源を積極的に利用して、フランス語を聞き、発音することに慣れるよう努力してもらいたい。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	タルト・タタン	藤田裕二、東海麻衣子	駿河台出版社	978-4-411-01120-6
2				
3				

辞書については最初の授業時に指示するので、それまでは購入しなくてよい。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

高等学校卒業程度の英語力を前提とする。

#### 履修資格

講義名	フランス語 B (初級コース) (水3限)				担当教員	辻村 暎子	
講義コード	1120132	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101FRL112						

授業計画		
------	--	--

回数	タイトル	概要
第1回	導入	前期に学んだ内容の復習
第2回	第7課 文法と会話1	疑問代名詞、定冠詞の縮約を学ぶ
第3回	第7課 会話2と練習問題	文法の復習および聞き取り問題、作文、ロールプレイを行う
第4回	第8課 文法と会話1	動詞vouloir、prendre、部分冠詞を学ぶ
第5回	第8課 会話2と練習問題	文法の復習および聞き取り問題、作文、ロールプレイを行う
第6回	第9課 文法と会話1	動詞venirと近接過去の文、第二群規則動詞、補語人称代名詞について学ぶ
第7回	第9課 会話2と練習問題	文法の復習および聞き取り問題、作文、ロールプレイを行う
第8回	中間試験、前半のまとめ	中間試験の実施、フランス文化の紹介
第9回	第10課 文法と会話1	複合過去、中性代名詞を学ぶ
第10回	第10課 会話2と練習問題	文法の復習および聞き取り問題、作文、ロールプレイを行う
第11回	第11課 文法と会話1	半過去、動詞savoirとconnaîtreを学ぶ
第12回	第11課 会話2と練習問題	文法の復習および聞き取り問題、作文、ロールプレイを行う
第13回	第12課 文法と会話1	非人称構文、代名動詞、感嘆文を学ぶ
第14回	第12課 会話2と練習問題	文法の復習および聞き取り問題、作文、ロールプレイを行う
第15回	まとめ	文法のまとめ、およびフランス文化の紹介

担当者から一言		
---------	--	--

--	--	--

講義名	フランス語 A (初級コース) (水4限)				担当教員	辻村 暁子	
講義コード	1120141	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL111						

#### 授業概要

フランス語への導入と基礎の習得。フランス語は、非常によく整った精緻な文法を備えた言語であり、文法の習得は学習上必要不可欠な要素であるが、所謂文法の規則を覚えることにとどまらず、実際に生きた言語を体得する過程で、使える文法としてこれを身に付ける。

#### 到達目標

- (1) フランス語におけるつづり字の読み方の規則をマスターし、フランス語を正確に読み、聞くことができるようになる。  
(2) 文法の理解に基づき、日常遭遇する可能性の高い様々な状況で、最も基本的なコミュニケーションが行なえるようになる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	文法知識、応用力、聞き取りの力を問う記述式試験を行う。
レポート課題		
上記以外	50	学期の半ばに中間試験を行う。課題への取り組み、授業中の活動により、各自が「到達目標」に向けて十分な努力をしているか評価する。

授業時間数の3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

#### 授業外学習

授業中に学んだモデル会話や練習問題が録音された音源を積極的に利用して、フランス語を聞き、発音することに慣れるよう努力してもらいたい。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	タルト・タタン	藤田裕二、東海麻衣子	駿河台出版社	978-4-411-01120-6
2				
3				

辞書については最初の授業時に指示するので、それまでは購入しなくてよい。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

高等学校卒業程度の英語力を前提とする。

#### 履修資格



講義名	フランス語 B (初級コース) (水4限)				担当教員	辻村 暁子	
講義コード	1120142	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101FRL112						

#### 授業概要

フランス語への導入と基礎の習得。フランス語は、非常によく整った精緻な文法を備えた言語であり、文法の習得は学習上必要不可欠な要素であるが、所謂文法の規則を覚えることにとどまらず、実際に生きた言語を体得する過程で、使える文法としてこれを身に付ける。

#### 到達目標

- (1) フランス語におけるつづり字の読み方の規則をマスターし、フランス語を正確に読み、聞くことができるようになる。  
(2) 文法の理解に基づき、日常遭遇する可能性の高い様々な状況で、最も基本的なコミュニケーションが行なえるようになる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	文法知識、応用力、聞き取りの力を問う記述式試験を行う。
レポート課題		
上記以外	50	学期半ばに中間試験を行う。 課題への取り組み、授業中の活動により、各自が「到達目標」に向けて十分な努力をしているか評価する。

授業時間数の3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

#### 授業外学習

授業中に学んだモデル会話や練習問題が録音された音源を積極的に利用して、フランス語を聞き、発音することに慣れるよう努力してもらいたい。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	タルト・タタン	藤田裕二、東海麻衣子	駿河台出版社	978-4-411-01120-6
2				
3				

辞書については最初の授業時に指示するので、それまでは購入しなくてよい。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

高等学校卒業程度の英語力を前提とする。

#### 履修資格



講義名	フランス語 A (初級コース) (水2限)				担当教員	辻村 暁子	
講義コード	1120151	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL111						

#### 授業概要

フランス語への導入と基礎の習得。フランス語は、非常によく整った精緻な文法を備えた言語であり、文法の習得は学習上必要不可欠な要素であるが、所謂文法の規則を覚えることにとどまらず、実際に生きた言語を体得する過程で、使える文法としてこれを身に付ける。

#### 到達目標

- (1) フランス語におけるつづり字の読み方の規則をマスターし、フランス語を正確に読み、聞くことができるようになる。  
(2) 文法の理解に基づき、日常遭遇する可能性の高い様々な状況で、最も基本的なコミュニケーションが行なえるようになる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	文法知識、応用力、聞きとりの力を問う記述式試験を行う。
レポート課題		
上記以外	50	各課の終わりに文法の基礎知識と語彙力を試す小テストを行う。 課題への取り組み、授業中の活動により、各自が「到達目標」に向けて十分な努力をしているか評価する。

授業時間数の3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

#### 授業外学習

授業中に学んだモデル会話や練習問題が録音された音源を積極的に利用して、フランス語を聞き、発音することに慣れるよう努力してもらいたい。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ピエールとユゴー	小笠原洋子	白水社	978-4-560-06115-2
2				
3				

辞書については最初の授業時に指示するので、それまでは購入しなくてよい。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

高等学校卒業程度の英語力を前提とする。

#### 履修資格

講義名	フランス語 A（初級コース）（水2限）				担当教員	辻村 暁子	
講義コード	1120151	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL111						

#### 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	導入	アルファベとつづり字記号、つづり字の読み方を学ぶ
第2回	第1課 文法と会話	基本のあいさつ表現、主語人称代名詞、動詞être、国籍・職業の言い方を学ぶ
第3回	第1課 練習問題	文法の復習と応用練習、書き取り、ロールプレイを行う
第4回	第2課 文法と会話	名詞と不定冠詞、動詞avoir、形容詞の性・数一致について学ぶ
第5回	第2課 練習問題	文法の復習と応用練習、書き取り、ロールプレイを行う
第6回	第3課 文法と会話	第一群規則動詞、定冠詞、否定文の作り方を学ぶ
第7回	第3課 練習問題	文法の復習と応用練習、書き取り、ロールプレイを行う
第8回	第4課 文法と会話	動詞faireとdescendre、指示形容詞、疑問文の作り方を学ぶ
第9回	第4課 練習問題	文法の復習と応用練習、書き取り、ロールプレイを行う
第10回	第5課 文法と会話	動詞allerとvenir、前置詞と定冠詞の縮約、命令形を学ぶ
第11回	第5課 練習問題	文法の復習と応用練習、書き取り、ロールプレイを行う
第12回	第6課 文法と会話	所有形容詞、疑問形容詞、強勢形人称代名詞を学ぶ
第13回	第6課 練習問題	文法の復習と応用練習、書き取り、ロールプレイを行う
第14回	第7課 文法と会話	第二群規則動詞、動詞vouloir、部分冠詞を学ぶ
第15回	第7課 練習問題	文法の復習と応用練習、書き取り、ロールプレイを行う
担当者から一言		

講義名	フランス語 B (初級コース) (水2限)				担当教員	辻村 暁子	
講義コード	1120152	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101FRL112						

#### 授業概要

フランス語への導入と基礎の習得。フランス語は、非常によく整った精緻な文法を備えた言語であり、文法の習得は学習上必要不可欠な要素であるが、所謂文法の規則を覚えることにとどまらず、実際に生きた言語を体得する過程で、使える文法としてこれを身に付ける。

#### 到達目標

- (1) フランス語におけるつづり字の読み方の規則をマスターし、フランス語を正確に読み、聞くことができるようになる。  
(2) 文法の理解に基づき、日常遭遇する可能性の高い様々な状況で、最も基本的なコミュニケーションが行なえるようになる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	文法知識、応用力、聞き取りの力を問う記述式試験を行う。
レポート課題		
上記以外	50	各課の終わりに文法の基礎知識と語彙力を試す小テストを行う。課題への取り組み、授業中の活動により、各自が「到達目標」に向けて十分な努力をしているか評価する。

授業時間数の3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

#### 授業外学習

授業中に学んだモデル会話や練習問題が録音された音源を積極的に利用して、フランス語を聞き、発音することに慣れるよう努力してもらいたい。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ピエールとユゴー	小笠原洋子	白水社	978-4-560-06115-2
2				
3				

辞書については最初の授業時に指示するので、それまでは購入しなくてよい。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

高等学校卒業程度の英語力を前提とする。

#### 履修資格

講義名	フランス語 B (初級コース) (水2限)					担当教員	辻村 暁子
講義コード	1120152	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	101FRL112						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	導入	前期に学んだ内容の復習
第2回	第8課 文法と会話	非人称構文、目的語人称代名詞(1)、動詞pouvoirを学ぶ
第3回	第8課 練習問題	文法の復習と応用練習、書き取り、ロールプレイを行う
第4回	第9課 文法と会話	目的語人称代名詞(2)、代名動詞、動詞prendreを学ぶ
第5回	第9課 練習問題	文法の復習と応用練習、書き取り、ロールプレイを行う
第6回	第10課 文法と会話	近接未来、近接過去、中性代名詞を学ぶ
第7回	第10課 練習問題	文法の復習と応用練習、書き取り、ロールプレイを行う
第8回	第11課 文法と会話	比較級と最上級を学ぶ
第9回	第11課 練習問題	文法の復習と応用練習、書き取り、ロールプレイを行う
第10回	第12課 文法と会話	複合過去を学ぶ(1)
第11回	第12課 練習問題	文法の復習と応用練習、書き取り、ロールプレイを行う
第12回	第13課 文法と会話	複合過去を学ぶ(2)
第13回	第13課 練習問題	文法の復習と応用練習、書き取り、ロールプレイを行う
第14回	第14課 文法と会話	半過去・大過去を学ぶ
第15回	第14課 練習問題	文法の復習と応用練習、書き取り、ロールプレイを行う

担当者から一言

講義名	フランス語 A (初級コース) (水3限)				担当教員	桂川 久	
講義コード	1120161	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL111						

#### 授業概要

発音, 文法, 会話, リスニングなど, できるだけバランス良く, フランス語の基礎を学ぶ.

#### 到達目標

- (1) 基本的なフランス語を聞き, 読み, 書けるようにする.
- (2) 基本的なフランス語を話せるようにする.
- (3) 辞書を使いこなせるようにする.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60%	到達目標の(1)と(3)について, リスニングを含む筆記試験を実施する. (54%) 到達目標の(2)について, 口頭試験を実施する. (6%)
レポート課題		
上記以外	40%	到達目標の(1)と(3)について, 中間テスト(リスニングを含む筆記試験)を実施する. (20%) 到達目標の(1)と(3)について, 宿題の実施を評価する. (20%)

授業時間数の2割以上欠席した場合は評価対象にしない.

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	きみと話したい! フランス語	大久保政憲	朝日出版社	9784255352473
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

辞書に関しては最初の授業で紹介するので, 購入はその後に行うこと.

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	フランス語 A (初級コース) (水3限)				担当教員	桂川 久	
講義コード	1120161	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL111						

**授業計画**

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	教科書, 授業運営, 成績評価などについての説明 アンケート
第2回	第1課: あいさつ, 自己紹介	文法・語彙・表現
第3回	第1課: あいさつ, 自己紹介	会話と読み物
第4回	第2課: ~があります	文法・語彙・表現
第5回	第2課: ~があります	会話と読み物
第6回	第3課: ~を持っている	文法・語彙・表現
第7回	第3課: ~を持っている	会話と読み物
第8回	第4課: どんな言葉?	文法・語彙・表現
第9回	第4課: どんな言葉?	会話と読み物
第10回	第5課: 買いもの	文法・語彙・表現
第11回	第5課: 買いもの	会話と読み物
第12回	第6課: どこに?	文法・語彙・表現
第13回	第6課: どこに?	会話と読み物
第14回	第7課: 何時に?	文法・語彙・表現
第15回	第7課: 何時に?	会話と読み物

**担当者から一言**

語学を勉強するのに週1回しか授業がないというのはあまりにも不十分なので、上記のサイトなどを利用して、学習時間を増やす工夫をしましょう！

講義名	フランス語 B (初級コース) (水3限)				担当教員	桂川 久	
講義コード	1120162	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101FRL112						

#### 授業概要

発音, 文法, 会話, リスニングなど, できるだけバランス良く, フランス語の基礎を学ぶ.

#### 到達目標

- (1) 基本的なフランス語を聞き, 読み, 書けるようにする.
- (2) 基本的なフランス語を話せるようにする.
- (3) 辞書を使いこなせるようにする.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60%	到達目標の(1)と(3)について, リスニングを含む筆記試験を実施する. (54%) 到達目標の(2)について, 口頭試験を実施する. (6%)
レポート課題		
上記以外	40%	到達目標の(1)と(3)について, 中間テスト(リスニングを含む筆記試験)を実施する. (20%) 到達目標の(1)と(3)について, 宿題の実施を評価する. (20%)

授業時間数の2割以上欠席した場合は評価対象にしない.

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	きみと話したい! フランス語	大久保政憲	朝日出版社	9784255352473
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	フランス語 A (初級コース) (水4限)				担当教員	桂川 久	
講義コード	1120171	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL111						

#### 授業概要

発音, 文法, 会話, リスニングなど, できるだけバランス良く, フランス語の基礎を学ぶ.

#### 到達目標

- (1) 基本的なフランス語を聞き, 読み, 書けるようにする.
- (2) 基本的なフランス語を話せるようにする.
- (3) 辞書を使いこなせるようにする.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60%	到達目標の(1)と(3)について, リスニングを含む筆記試験を実施する. (54%) 到達目標の(2)について, 口頭試験を実施する. (6%)
レポート課題		
上記以外	40%	到達目標の(1)と(3)について, 中間テスト(リスニングを含む筆記試験)を実施する. (20%) 到達目標の(1)と(3)について, 宿題の実施を評価する. (20%)

授業時間数の2割以上欠席した場合は評価対象にしない.

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	きみと話したい! フランス語	大久保政憲	朝日出版社	9784255352473
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

辞書に関しては最初の授業で紹介するので, 購入はその後に行うこと.

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	フランス語 A（初級コース）（水4限）				担当教員	桂川 久	
講義コード	1120171	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL111						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	教科書，授業運営，成績評価などについての説明 アンケート
第2回	第1課：あいさつ，自己紹介	文法・語彙・表現
第3回	第1課：あいさつ，自己紹介	会話と読み物
第4回	第2課：～があります	文法・語彙・表現
第5回	第2課：～があります	会話と読み物
第6回	第3課：～を持っている	文法・語彙・表現
第7回	第3課：～を持っている	会話と読み物
第8回	第4課：どんな言葉？	文法・語彙・表現
第9回	第4課：どんな言葉？	会話と読み物
第10回	第5課：買い物	文法・語彙・表現
第11回	第5課：買い物	会話と読み物
第12回	第6課：どこに？	文法・語彙・表現
第13回	第6課：どこに？	会話と読み物
第14回	第7課：何時に？	文法・語彙・表現
第15回	第7課：何時に？	会話と読み物

担当者から一言

語学を勉強するのに週1回しか授業がないというのはあまりにも不十分なので，上記のサイトなどを利用して，学習時間を増やす工夫をしましょう！

講義名	フランス語 B (初級コース) (水4限)				担当教員	桂川 久	
講義コード	1120172	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101FRL112						

#### 授業概要

発音, 文法, 会話, リスニングなど, できるだけバランス良く, フランス語の基礎を学ぶ.

#### 到達目標

- (1) 基本的なフランス語を聞き, 読み, 書けるようにする.
- (2) 基本的なフランス語を話せるようにする.
- (3) 辞書を使いこなせるようにする.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60%	到達目標の(1)と(3)について, リスニングを含む筆記試験を実施する. (54%) 到達目標の(2)について, 口頭試験を実施する. (6%)
レポート課題		
上記以外	40%	到達目標の(1)と(3)について, 中間テスト(リスニングを含む筆記試験)を実施する. (20%) 到達目標の(1)と(3)について, 宿題の実施を評価する. (20%)

授業時間数の2割以上欠席した場合は評価対象にしない.

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	きみと話したい! フランス語	大久保政憲	朝日出版社	9784255352473
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	フランス語 A (中級コース) (火2限)				担当教員	桂川 久	
講義コード	1120191	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201FRL211						

#### 授業概要

フランス語による基本的なコミュニケーション能力の習得を目標に、教科書に沿って、初級コースで学んだことを復習しながら、フランス語を聞き・話し・読み・書く能力を、できるだけバランス良く伸ばすことを目標とする。

#### 到達目標

- (1) 基本的なフランス語を聞き、読み、書けるようにする。
- (2) 基本的なフランス語を話せるようにする。
- (3) 辞書を使いこなせるようにする。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60%	到達目標の(1)と(3)について、リスニングを含む筆記試験を実施する。(54%) 到達目標の(2)について、口頭試験を実施する。(6%)
レポート課題		
上記以外	40%	到達目標の(1)と(3)について、中間テスト(リスニングを含む筆記試験)を実施する。(20%) 到達目標の(1)と(3)について、宿題の実施を評価する。(20%)

授業時間数の2割以上欠席した場合は評価対象にしない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	エスカパード! フランス語への旅	ジャンニック・マーニュ, 他	駿河台出版社	9784411011213
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

辞書(紙のものか電子辞書)を必ず準備して、授業に携帯すること。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	フランス語 B (中級コース) (火2限)				担当教員	桂川 久	
講義コード	1120192	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201FRL212						

#### 授業概要

フランス語による基本的なコミュニケーション能力の習得を目標に、教科書に沿って、初級コースで学んだことを復習しながら、フランス語を聞き・話し・読み・書く能力を、できるだけバランス良く伸ばすことを目標とする。

#### 到達目標

- (1) 基本的なフランス語を聞き、読み、書けるようにする。
- (2) 基本的なフランス語を話せるようにする。
- (3) 辞書を使いこなせるようにする。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60%	到達目標の(1)と(3)について、リスニングを含む筆記試験を実施する。(54%) 到達目標の(2)について、口頭試験を実施する。(6%)
レポート課題		
上記以外	40%	到達目標の(1)と(3)について、中間テスト(リスニングを含む筆記試験)を実施する。(20%) 到達目標の(1)と(3)について、宿題の実施を評価する。(20%)

授業時間数の2割以上欠席した場合は評価対象にしない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	エスカパード! フランス語への旅	ジャンニク・マーニュ, 他	駿河台出版社	9784411011213
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

辞書(紙のものか電子辞書)を必ず準備して、授業に携帯すること。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	フランス語 A (中級コース) (火3限)				担当教員	桂川 久	
講義コード	1120201	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201FRL211						

#### 授業概要

フランス語による基本的なコミュニケーション能力の習得を目標に、教科書に沿って、初級コースで学んだことを復習しながら、フランス語を聞き・話し・読み・書く能力を、できるだけバランス良く伸ばすことを目標とする。

#### 到達目標

- (1) 基本的なフランス語を聞き、読み、書けるようにする。
- (2) 基本的なフランス語を話せるようにする。
- (3) 辞書を使いこなせるようにする。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60%	到達目標の(1)と(3)について、リスニングを含む筆記試験を実施する。(54%) 到達目標の(2)について、口頭試験を実施する。(6%)
レポート課題		
上記以外	40%	到達目標の(1)と(3)について、中間テスト(リスニングを含む筆記試験)を実施する。(20%) 到達目標の(1)と(3)について、宿題の実施を評価する。(20%)

授業時間数の2割以上欠席した場合は評価対象にしない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	エスカパード! フランス語への旅	ジャンニック・マーニュ, 他	駿河台出版社	9784411011213
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

辞書(紙のものか電子辞書)を必ず準備して、授業に携帯すること。

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	フランス語 A (中級コース) (火3限)				担当教員	桂川 久	
講義コード	1120201	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201FRL211						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	教科書, 授業運営, 成績評価などの説明 アンケート
第2回	第6課	文法: aller, venirの直説法現在, 前置詞と定冠詞の縮約形など
第3回	第6課	表現: 行き先や交通手段を言う, 夏休みの予定を言う
第4回	第7課	文法1: 直説法複合過去
第5回	第7課	文法2: 比較級と最上級
第6回	第7課	表現: 過去を語る, パリのモニュメントを比べる
第7回	第8課	文法1: 非人称表現
第8回	第8課	文法2: 第二群規則動詞, 命令法
第9回	第8課	表現: 命令する, 詩を作ってみよう
第10回	第9課	文法1: 直接目的語と間接目的語, 目的語人称代名詞
第11回	第9課	文法2: 中性代名詞
第12回	第9課	表現: メールを完成させる, 数量表現を使って食べ物飲み物を言う
第13回	第10課	文法1: 代名動詞
第14回	第10課	文法2: 現在分詞, ジェロンディフ
第15回	第10課	表現: 日課を言う, 同時にできることを言う

担当者から一言

語学を勉強するのに週1回しか授業がないというのはあまりにも不十分なので, 上記のサイトなどを利用して, 学習時間を増やす工夫をしましょう!

講義名	フランス語 B (中級コース) (火3限)				担当教員	桂川 久	
講義コード	1120202	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201FRL212						

#### 授業概要

フランス語による基本的なコミュニケーション能力の習得を目標に、教科書に沿って、初級コースで学んだことを復習しながら、フランス語を聞き・話し・読み・書く能力を、できるだけバランス良く伸ばすことを目標とする。

#### 到達目標

- (1) 基本的なフランス語を聞き、読み、書けるようにする。
- (2) 基本的なフランス語を話せるようにする。
- (3) 辞書を使いこなせるようにする。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60%	到達目標の(1)と(3)について、リスニングを含む筆記試験を実施する。(54%) 到達目標の(2)について、口頭試験を実施する。(6%)
レポート課題		
上記以外	40%	到達目標の(1)と(3)について、中間テスト(リスニングを含む筆記試験)を実施する。(20%) 到達目標の(1)と(3)について、宿題の実施を評価する。(20%)

授業時間数の2割以上欠席した場合は評価対象にしない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	エスカパード! フランス語への旅	ジャンニク・マーニュ, 他	駿河台出版社	9784411011213
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

辞書(紙のものか電子辞書)を必ず準備して、授業に携帯すること。

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	フランス語 B（中級コース）（火3限）				担当教員	桂川 久	
講義コード	1120202	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201FRL212						

授業計画		
------	--	--

回数	タイトル	概要
第1回	第 1 1 課	文法 1 : 直説法半過去
第2回	第 1 1 課	文法 2 : 直説法複合過去(2)
第3回	第 1 1 課	表現 : 旅先から手紙を送る
第4回	第 1 2 課	文法 1 : 関係代名詞
第5回	第 1 2 課	文法 2 : 直接目的語と過去分詞の一致
第6回	第 1 2 課	表現 : 旅先からメッセージを書く
第7回	第 1 3 課	文法 1 : 直説法単純未来
第8回	第 1 3 課	文法 2 : 強調構文, 受動態
第9回	第 1 3 課	表現 : 関係代名詞, 強調構文で言い換える
第10回	第 1 4 課	文法 1 : 条件法現在(1)
第11回	第 1 4 課	文法 2 : 条件法現在(2)
第12回	第 1 4 課	表現 : もし条件が合えば実現したいことを話す
第13回	第 1 5 課	文法 1 : 接続法現在 (1)
第14回	第 1 5 課	文法 2 : 接続法現在 (2)
第15回	第 1 5 課	表現 : 新居のお披露目パーティーに招待するメールを書く

担当者から一言
---------

語学を勉強するのに週 1 回しか授業がないというのはあまりにも不十分なので、上記のサイトなどを利用して、学習時間を増やす工夫をしましょう！

講義名	中国語 A (初級コース) (水4限)				担当教員	桜木 陽子	
講義コード	1120251	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL121						

#### 授業概要

この授業では、中国大陸で標準語として使われている「普通話」（いわゆる中国語）を学習します。

日本語の環境で育った人にとって、中国語を学習することは、漢字を一から覚えなくて良いという有利な点と、日本語にない発音を聞き取って発音しなくてはならないという不利な点があります。

皆さんは中国語が音楽のように聞こえるという体験をしたことはありませんか？ その“音楽”を意味のある“言葉”として聞き取るために、まず乗り越えなくてはならない壁は、「普通話」の発音記号である「ピンイン」の読み方と、「声調」と呼ばれる漢字の発音のリズムをマスターすることで、その次に中国大陸で使われている漢字の字体「簡体字」に慣れることです。

授業では始めに声調とピンインの読み方を学習し、発音の習得につとめます。  
声調とピンインの読み方を一通り学習し終わったら、次に会話文を中心に、中国語の基本文法を学習します。

#### 到達目標

- (1)中国語の発音の基礎を固める。特に発音記号であるピンインが読めるようになる。
- (2)中国語で自分の名前が書けて、言えるようになる。
- (3)中国語の挨拶言葉や簡単な会話ができるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	
レポート課題		
上記以外	30	出席点、平常点、小テスト等

基本的に授業の三分の二以上出席した受講生が評価の対象となります。

#### 授業外学習

具体的には授業中に指示します。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	中国語への道 - 近きより遠きへ - 改訂版	内田慶市・奥村佳代子・塩山正純・張軼欧 著	金星堂	978-4-7647-0685-9
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に指示します。

#### 前提学力等

中国語を学習したことのない人で、日本語を母語としている学生を対象に授業を行います。  
高校等で中国語を学習した経験のある人や、日本語以外の言語を母語としている学生は、1回目の授業で申し出て下さい。

#### 履修資格



講義名	中国語 B (初級コース) (水4限)				担当教員	桜木 陽子	
講義コード	1120252	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101FRL122						

#### 授業概要

この授業では、前期に引き続いて、会話文を中心に、中国語の基本文法を学習します。  
前期の続きからはじめます。  
1年を通じて中国語の基本的な会話を養成します。

#### 到達目標

中国語の簡単な会話が聞き取れ、読み取れ、書き取れ、話せるようになる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70	
レポート課題		
上記以外	30	出席点、平常点、小テストなど

基本的に授業の三分の二以上出席した者が評価の対象となります。

#### 授業外学習

具体的には授業中に指示します。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	中国語への道 - 近きより遠きへ - 改訂版	内田慶市・奥村佳代子・塩山正純・張鞅欧	金星堂	978-4-7647-0685-9
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に指示します。

#### 前提学力等

再履修以外の受講生は、前期の授業を履修していることが望ましい。

#### 履修資格

講義名	中国語 B (初級コース) (水4限)					担当教員	桜木 陽子
講義コード	1120252	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	101FRL122						

授業計画							
回数	タイトル	概要					
第1回	第9課 (前半)	第9課 ポイント					
第2回	第9課 (後半)	第9課 対話、閲読、練習問題					
第3回	第10課 (前半)	第10課 ポイント					
第4回	第10課 (後半)	第10課 対話、閲読、練習問題					
第5回	第11課 (前半)	第11課 ポイント					
第6回	第11課 (後半)	第11課 対話、閲読、練習問題					
第7回	第12課 (前半)	第12課 ポイント					
第8回	第12課 (後半)	第12課 対話、閲読、練習問題					
第9回	第13課 (前半)	第13課 ポイント					
第10回	第13課 (後半)	第13課 対話、閲読、練習問題					
第11回	第14課 (前半)	第14課 ポイント					
第12回	第14課 (後半)	第14課 対話、閲読、練習問題					
第13回	第15課 (前半)	第15課 ポイント					
第14回	第15課 (後半)	第15課 対話、閲読、練習問題					
第15回	後期のまとめ	後期のまとめ					
担当者から一言							

講義名	中国語 A (初級コース) (水1限)				担当教員	林 虹	
講義コード	1120271	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL121						

#### 授業概要

中国語への導入のための基礎知識の習得をし、発音、会話、単語、基本文法を中心に、教師の説明を聞きながら、考えたり、書き込んだりして、教師と一体になって授業を進めていく。

#### 到達目標

- (1) 文法を理解すること
- (2) 語彙を覚えること
- (3) 正確な発音を身につけること
- (4) 宿題を提出すること

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70%	(1) 文法を理解すること 40% (2) 語彙を覚えること 10% (3) 正確な発音を身につけること 10%
レポート課題	30%	出席、宿題のでき具合、小テストのでき具合、課題などを持って総合的に評価する。
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「ジョイフル中国語ー初級編」	呉 凌非	郁文堂	978-4-261-01865-3
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	中国語 A (初級コース) (水1限)				担当教員	林 虹	
講義コード	1120271	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL121						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	第1回 基礎発音(1)	主に四声の勉強をします。
第2回	第2回 基礎発音(2)	主に母音の勉強をします。
第3回	第3回 基礎発音(3)	主に子音の勉強をし、発音全体をまとめます。
第4回	第4回 どうぞよろしく	単語、本文の内容、本文の読み方の勉強をします。
第5回	第5回 人称代名詞の勉強	本文の復習及び文法、ドリル、練習問題などの勉強をします。
第6回	第6回 花がすきですか	本文の復習及び文法、ドリル、練習問題などの勉強をします。
第7回	第7回 指示代名詞の勉強	本文の復習及び文法、ドリル、練習問題などの勉強をします。
第8回	第8回 だれに手紙を書くの？	単語、本文の内容、本文の読み方の勉強をします。
第9回	第9回 存在表現の勉強	本文の復習及び文法、ドリル、練習問題などの勉強をします。
第10回	第10回 本屋は何時に開くの？	単語、本文の内容、本文の読み方の勉強をします。
第11回	単語、本文の内容、本文の読み方の勉強をします。	本文の復習及び文法、ドリル、練習問題などの勉強をします。
第12回	第12回 風邪を引いたの？	単語、本文の内容、本文の読み方の勉強をします。
第13回	第13回 過去形の勉強	本文の復習及び文法、ドリル、練習問題などの勉強をします。
第14回	第14回 映像教材	映像を見ながら、単語や文の聞き取りの勉強をします。
第15回	第15回 まとめ	これまで勉強してきた内容を整理し、まとめます。

担当者から一言

講義名	中国語 B (初級コース) (水1限)				担当教員	林 虹	
講義コード	1120272	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101FRL122						

#### 授業概要

中国語への導入のための基礎知識の習得をし、発音、会話、単語、基本文法を中心に、教師の説明を聞きながら、考えたり、書き込んだりして、教師と一体になって授業を進めていく。

#### 到達目標

- (1) 文法を理解すること
- (2) 語彙を覚えること
- (3) 正確な発音を身につけること
- (4) 宿題を提出すること

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70%	(1) 文法を理解すること 40% (2) 語彙を覚えること 10% (3) 正確な発音を身につけること 10%
レポート課題	30%	小テスト・宿題・レポートで評価する。
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ジョイフル中国語-初級編	呉 凌非	郁文堂	978-4-261-01865-3
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	中国語 B (初級コース) (水1限)				担当教員	林 虹	
講義コード	1120272	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101FRL122						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	第1回 ご家族は何人？	本文の新出語句、本文の内容、本文の読みの練習などを勉強します。
第2回	第2回 受け身文の勉強	受け身文、前置詞文、時間副詞などの文法知識を学習します。
第3回	第3回 勉強しているの？	本文の新出語句、本文の内容、本文の読みの練習などを勉強します。
第4回	第4回 進行形の勉強	中国語の進行形、経験表現、補語などの文法知識を学習します。
第5回	第5回 何科目を選んだ？	本文の新出語句、本文の内容、本文の読みの練習などを勉強します。
第6回	第6回 使役文の勉強	使役文、伝言表現、程度補語などの文法知識を学習します。
第7回	第7回 クイズを当てる	本文の新出語句、本文の内容、本文の読みの練習などを勉強します。
第8回	第8回 動詞の重ね型の勉強	動詞の重ね型、可能補語、反復疑問文などの文法知識を学習します。
第9回	第9回 プレゼント	本文の新出語句、本文の内容、本文の読みの練習などを勉強します。
第10回	第10回 願望表現、アドバイス表現	願望表現、アドバイス表現などの文法知識を学習します。
第11回	第11回 カラオケ	本文の新出語句、本文の内容、本文の読みの練習などを勉強します。
第12回	第12回 可能表現の勉強	中国語の可能表現の学習をします。
第13回	第13回 一緒に日本に行こう	本文の新出語句、本文の内容、本文の読みの練習などを勉強します。
第14回	第14回 慣用表現の勉強	重要日常慣用表現の学習。
第15回	第15回 まとめ	これまで勉強してきた内容を復習し、まとめます。

担当者から一言

講義名	中国語 A (初級コース) (水2限)				担当教員	唐 楽寧	
講義コード	1120281	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL121						

#### 授業概要

中国語への導入のための基礎知識の習得をし、発音、会話、単語、基本文法を中心に、教員の説明を聞きながら、考えたり、書き込んだりして、教員と一体になって授業を進めていく。

#### 到達目標

- (1) 文法を理解すること
- (2) 語彙を覚えること
- (3) 正確な発音を身につけること
- (4) 宿題を提出すること

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70	(1) 文法を理解すること 40% (2) 語彙を覚えること 10% (3) 正確な発音を身につけること 10%
レポート課題	30	出席、宿題のでき具合、小テストのでき具合、課題などを持って総合的に評価する。
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ジョイフル中国語 - 初級編	呉凌非	郁文堂	978-4-261-01865-3
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	中国語 A (初級コース) (水2限)				担当教員	唐 楽寧	
講義コード	1120281	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL121						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	第1回 基礎発音(1)	主に四声の勉強をします。
第2回	第2回 基礎発音(2)	主に母音の勉強をします。
第3回	第3回 基礎発音(3)	主に子音の勉強をし、発音全体をまとめます。
第4回	第4回 どうぞよろしく	単語、本文の内容、本文の読み方の勉強をします。
第5回	第5回 人称代名詞の勉強	本文の復習及び文法、ドリル、練習問題などの勉強をします。
第6回	第6回 花が好きですか	単語、本文の内容、本文の読み方の勉強をします。
第7回	第7回 指示代名詞の勉強	本文の復習及び文法、ドリル、練習問題などの勉強をします。
第8回	第8回 だれに手紙を書くの?	単語、本文の内容、本文の読み方の勉強をします。
第9回	第9回 存在表現の勉強	本文の復習及び文法、ドリル、練習問題などの勉強をします。
第10回	第10回 本屋は何時に開くの?	単語、本文の内容、本文の読み方の勉強をします。
第11回	第11回 数量表現の勉強	本文の復習及び文法、ドリル、練習問題などの勉強をします。
第12回	第12回 風邪を引いたの?	単語、本文の内容、本文の読み方の勉強をします。
第13回	第13回 過去形の勉強	本文の復習及び文法、ドリル、練習問題などの勉強をします。
第14回	第14回 映像教材	映像を見ながら、単語や文の聞き取りの勉強をします。
第15回	第15回 まとめ	これまで勉強してきた内容を整理し、まとめます。
担当者から一言		

講義名	中国語 B (初級コース) (水2限)				担当教員	唐 楽寧	
講義コード	1120282	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101FRL122						

#### 授業概要

中国語への導入のための基礎知識の習得をし、発音、会話、単語、基本文法を中心に、教員の説明を聞きながら、考えたり、書き込んだりして、教員と一体になって授業を進めていく。

#### 到達目標

- (1) 文法を理解すること
- (2) 語彙を覚えること
- (3) 正確な発音を身につけること
- (4) 宿題を提出すること

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70	(1) 文法を理解すること (2) 語彙を覚えること (3) 正確な発音を身につけること
レポート課題	30	出席、宿題のでき具合、小テストのでき具合、課題などを持って総合的に評価する。
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ジョイフル中国語 - 初級編	呉凌非	郁文堂	978-4-261-01865-3
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	中国語 B (初級コース) (水2限)				担当教員	唐 染寧	
講義コード	1120282	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101FRL122						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	第1回 ご家族は何人？	本文の新出語句、本文の内容、本文の読みの練習などを勉強します。
第2回	第2回 受け身文の勉強	受け身文、前置詞文、時間副詞などの文法知識を学習します。
第3回	第3回 勉強しているの？	本文の新出語句、本文の内容、本文の読みの練習などを勉強します。
第4回	第4回 進行形の勉強	中国語の進行形、経験表現、補語などの文法知識を学習します。
第5回	第5回 何科目を選んだ？	本文の新出語句、本文の内容、本文の読みの練習などを勉強します。
第6回	第6回 使役文の勉強	使役文、伝言表現、程度補語などの文法知識を学習します。
第7回	第7回 クイズを当てる	本文の新出語句、本文の内容、本文の読みの練習などを勉強します。
第8回	第8回 動詞の重ね型の勉強	動詞の重ね型、可能補語、反復疑問文などの文法知識を学習します。
第9回	第9回 プレゼント	本文の新出語句、本文の内容、本文の読みの練習などを勉強します。
第10回	第10回 願望表現、アドバイス表現	願望表現、アドバイス表現などの文法知識を学習します。
第11回	第11回 カラオケ	本文の新出語句、本文の内容、本文の読みの練習などを勉強します。
第12回	第12回 可能表現の勉強	中国語の可能表現の学習をします。
第13回	第13回 一緒に日本に行こう	本文の新出語句、本文の内容、本文の読みの練習などを勉強します。
第14回	第14回 慣用表現の勉強	重要日常慣用表現の学習。
第15回	第15回 まとめ	これまで勉強してきた内容を復習し、まとめます。
担当者から一言		

講義名	中国語 A (初級コース) (水2限)				担当教員	林 虹	
講義コード	1120291	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL121						

#### 授業概要

中国語への導入のための基礎知識の習得をし、発音、会話、単語、基本文法を中心に、教師の説明を聞きながら、考えたり、書き込んだりして、教師と一体になって授業を進めていく。

#### 到達目標

- (1) 文法を理解すること
- (2) 語彙を覚えること
- (3) 正確な発音を身につけること
- (4) 宿題を提出すること

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70%	(1) 文法を理解すること 40% (2) 語彙を覚えること 10% (3) 正確な発音を身につけること 10%
レポート課題	30%	出席、宿題のでき具合、小テストのでき具合、課題などを持って総合的に評価する。
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「ジョイフル中国語ー初級編」	呉 凌非	郁文堂	978-4-261-01865-3
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	中国語 B (初級コース) (水2限)				担当教員	林 虹	
講義コード	1120292	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101FRL122						

#### 授業概要

中国語への導入のための基礎知識の習得をし、発音、会話、単語、基本文法を中心に、教師の説明を聞きながら、考えたり、書き込んだりして、教師と一体になって授業を進めていく。

#### 到達目標

- (1) 文法を理解すること
- (2) 語彙を覚えること
- (3) 正確な発音を身につけること
- (4) 宿題を提出すること

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70%	(1) 文法を理解すること 40% (2) 語彙を覚えること 10% (3) 正確な発音を身につけること 10%
レポート課題	30%	小テスト・宿題・レポートで評価する。
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ジョイフル中国語-初級編	呉 凌非	郁文堂	978-4-261-01865-3
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	中国語 B（初級コース）（水2限）				担当教員	林 虹	
講義コード	1120292	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101FRL122						

#### 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	第1回 ご家族は何人？	本文の新出語句、本文の内容、本文の読みの練習などを勉強します。
第2回	第2回 受け身文の勉強	受け身文、前置詞文、時間副詞などの文法知識を学習します。
第3回	第3回 勉強しているの？	本文の新出語句、本文の内容、本文の読みの練習などを勉強します。
第4回	第4回 進行形の勉強	中国語の進行形、経験表現、補語などの文法知識を学習します。
第5回	第5回 何科目を選んだ？	本文の新出語句、本文の内容、本文の読みの練習などを勉強します。
第6回	第6回 使役文の勉強	使役文、伝言表現、程度補語などの文法知識を学習します。
第7回	第7回 クイズを当てる	本文の新出語句、本文の内容、本文の読みの練習などを勉強します。
第8回	第8回 動詞の重ね型の勉強	動詞の重ね型、可能補語、反復疑問文などの文法知識を学習します。
第9回	第9回 プレゼント	本文の新出語句、本文の内容、本文の読みの練習などを勉強します。
第10回	第10回 願望表現、アドバイス表現	願望表現、アドバイス表現などの文法知識を学習します。
第11回	第11回 カラオケ	本文の新出語句、本文の内容、本文の読みの練習などを勉強します。
第12回	第12回 可能表現の勉強	中国語の可能表現の学習をします。
第13回	第13回 一緒に日本に行こう	本文の新出語句、本文の内容、本文の読みの練習などを勉強します。
第14回	第14回 慣用表現の勉強	重要日常慣用表現の学習。
第15回	第15回 まとめ	これまで勉強してきた内容を復習し、まとめます。

担当者から一言

講義名	中国語 A (初級コース) (水3限)				担当教員	桜木 陽子	
講義コード	1120311	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL121						

#### 授業概要

この授業では、中国大陸で標準語として使われている「普通話」（いわゆる中国語）を学習します。

日本語の環境で育った人にとって、中国語を学習することは、漢字を一から覚えなくて良いという有利な点と、日本語にない発音を聞き取って発音しなくてはならないという不利な点があります。

皆さんは中国語が音楽のように聞こえるという体験をしたことはありませんか？ その“音楽”を意味のある“言葉”として聞き取るために、まず乗り越えなくてはならない壁は、「普通話」の発音記号である「ピンイン」の読み方と、「声調」と呼ばれる漢字の発音のリズムをマスターすることで、その次に中国大陸で使われている漢字の字体「簡体字」に慣れることです。

授業では始めに声調とピンインの読み方を学習し、発音の習得につとめます。  
声調とピンインの読み方を一通り学習し終わったら、次に会話文を中心に、中国語の基本文法を学習します。

#### 到達目標

- (1)中国語の発音の基礎を固める。特に発音記号であるピンインが読めるようになる。
- (2)中国語で自分の名前が書けて、言えるようになる。
- (3)中国語の挨拶言葉や簡単な会話ができるようになる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70	
レポート課題		
上記以外	30	出席点、平常点、小テスト等

基本的に授業の三分の二以上出席した受講生が評価の対象となります。

#### 授業外学習

具体的には授業中に指示します。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	中国語への道 - 近きより遠きへ - 改訂版	内田慶市・奥村佳代子・塩山正純・張軼欧 著	金星堂	978-4-7647-0685-9
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に指示します。

#### 前提学力等

中国語を学習したことのない人で、日本語を母語としている学生を対象に授業を行います。  
高校等で中国語を学習した経験のある人や、日本語以外の言語を母語としている学生は、1回目の授業で申し出て下さい。

#### 履修資格



講義名	中国語 B (初級コース) (水3限)				担当教員	桜木 陽子	
講義コード	1120312	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101FRL122						

#### 授業概要

この授業では、前期に引き続いて、会話文を中心に、中国語の基本文法を学習します。  
前期の続きからはじめます。  
1年を通じて中国語の基本的な会話を養成します。

#### 到達目標

中国語の簡単な会話が聞き取れ、読み取れ、書き取れ、話せるようになる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70	
レポート課題		
上記以外	30	出席点、平常点、小テストなど

基本的に授業の三分の二以上出席した者が評価の対象となります。

#### 授業外学習

具体的には授業中に指示します。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	中国語への道 - 近きより遠きへ - 改訂版	内田慶市・奥村佳代子・塩山正純・張軼欧	金星堂	978-4-7647-0685-9
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に指示します。

#### 前提学力等

再履修以外の受講生は、前期の授業を履修していることが望ましい。

#### 履修資格



講義名	中国語 A (初級コース) (水3限)				担当教員	秋岡 英行	
講義コード	1120321	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL121						

#### 授業概要

中国語をマスターするのに最も大切なことは、正しい発音を習得することと、基本文型を把握することである。とりわけこの授業では正しい発音を習得することに重点を置きながら、文法の学習とリスニングの練習を併せて行う。

#### 到達目標

- (1) 正しい発音と基礎的な文法の習得。
- (2) 初歩的な日常会話ができるようになること。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	80	筆記試験と聞き取り試験を行う。
レポート課題		
上記以外	20	学期中に2回程度、復習小テストを行う。

授業数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。  
正当な理由のない遅刻・欠席は減点する。

#### 授業外学習

読む、聞く、話すを繰り返し練習することが大切である。とくに教室では、大きな声で発音練習することを求める。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	はじめまして！中国語	喜多山幸子、鄭幸枝	白水社	978-4-560-06921-9
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	中国語 B (初級コース) (水3限)				担当教員	秋岡 英行	
講義コード	1120322	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101FRL122						

#### 授業概要

中国語をマスターするのに最も大切なことは、正しい発音を習得することと、基本句型を把握することである。とりわけこの授業では正しい発音を習得することに重点を置きながら、文法の学習とリスニングの練習を併せて行う。

#### 到達目標

- (1) 正しい発音と基礎的な文法の習得。
- (2) 初歩的な日常会話ができるようになること。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	80	筆記試験と聞き取り試験を行う。
レポート課題		
上記以外	20	学期中に2回程度、復習小テストを行う。

授業数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。  
正当な理由のない遅刻・欠席は減点する。

#### 授業外学習

読む、聞く、話すを繰り返し練習することが大切である。とくに教室では、大きな声で発音練習することを求める。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	はじめまして！中国語	喜多山幸子、鄭幸枝	白水社	978-4-560-06921-9
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	中国語 B (初級コース) (水3限)				担当教員	秋岡 英行	
講義コード	1120322	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101FRL122						

## 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	第6課 王先生の研究室で(1)	「動詞“在”」「動詞の重ね型」「時を表す語」
第2回	第6課 王先生の研究室で(2)	練習問題、発音・リスニング練習
第3回	第7課 コンビニで(1)	「量詞」「実現・完了の“了”」「助動詞“想”」
第4回	第7課 コンビニで(2)	練習問題、発音・リスニング練習
第5回	第8課 バス停で(1)	「連動文」「前置詞“在”」「時刻」
第6回	第8課 バス停で(2)	練習問題、発音・リスニング練習
第7回	復習2 鈴木君の一日	第5-8課の内容に関して
第8回	第9課 放課後に(1)	「可能を表す助動詞」「前置詞“跟”“给”」「主述述語文」
第9回	第9課 放課後に(2)	練習問題、発音・リスニング練習
第10回	第10課 卓球の中継を見ながら(1)	「状態補語」「経験を表す“过”」「比較の文」
第11回	第10課 卓球の中継を見ながら(2)	練習問題、発音・リスニング練習
第12回	第11課 ディズニーランドで待ち合わせ(1)	「進行を表す“在”」「方向補語」「選択疑問文」
第13回	第11課 ディズニーランドで待ち合わせ(2)	練習問題、発音・リスニング練習
第14回	第12課 カフェテラスで(1)	「“是～的”の文」「結果補語」「時間の長さ・動作の回数」
第15回	第12課 カフェテラスで(2)	練習問題、発音・リスニング練習

担当者から一言

講義名	中国語 A (初級コース) (水2限)				担当教員	秋岡 英行	
講義コード	1120325	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL121						

#### 授業概要

中国語をマスターするのに最も大切なことは、正しい発音を習得することと、基本句型を把握することである。とりわけこの授業では正しい発音を習得することに重点を置きながら、文法の学習とリスニングの練習を併せて行う。

#### 到達目標

- (1) 正しい発音と基礎的な文法の習得。
- (2) 初歩的な日常会話ができるようになること。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	80	筆記試験と聞き取り試験を行う。
レポート課題		
上記以外	20	学期中に2回程度、復習小テストを行う。

授業数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。  
正当な理由のない遅刻・欠席は減点する。

#### 授業外学習

読む、聞く、話すを繰り返し練習することが大切である。とくに教室では、大きな声で発音練習することを求める。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	はじめまして！中国語	喜多山幸子、鄭幸枝	白水社	978-4-560-06921-9
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	中国語 A（初級コース）（水2限）				担当教員	秋岡 英行	
講義コード	1120325	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL121						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	中国語について	簡体字、ピンインなどの解説
第2回	発音練習（１）	「声調」「単母音」「複母音」
第3回	発音練習（２）	「子音」「鼻音」
第4回	発音練習（３）	「軽声」「声調の変化」「アル化」「声調の組み合わせ」
第5回	第1課 校門で（１）	「人称代名詞」「動詞“是”」「疑問文“喝”」
第6回	第1課 校門で（２）	練習問題、発音・リスニング練習
第7回	第2課 廊下で（１）	「動詞述語文」「疑問詞疑問文」「省略疑問文」
第8回	第2課 廊下で（２）	練習問題、発音・リスニング練習
第9回	第3課 キャンパスで（１）	「指示代名詞」「形容詞述語文」「“的”」「“吧”」
第10回	第3課 キャンパスで（２）	練習問題、発音・リスニング練習
第11回	第4課 携帯を見ながら（１）	「“有”」「反復疑問文」「数詞」
第12回	第4課 携帯を見ながら（２）	練習問題、発音・リスニング練習
第13回	復習1 自己紹介	第1～4課の内容に関して
第14回	第5課 学生食堂で（１）	「存在の“有”」「副詞“也”ど都”」「二重目的語文」
第15回	第5課 学生食堂で（２）	練習問題、発音・リスニング練習
担当者から一言		

講義名	中国語 B (初級コース) (水2限)				担当教員	秋岡 英行	
講義コード	1120327	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101FRL122						

#### 授業概要

中国語をマスターするのに最も大切なことは、正しい発音を習得することと、基本句型を把握することである。とりわけこの授業では正しい発音を習得することに重点を置きながら、文法の学習とリスニングの練習を併せて行う。

#### 到達目標

- (1) 正しい発音と基礎的な文法の習得。
- (2) 初歩的な日常会話ができるようになること。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	80	筆記試験と聞き取り試験を行う。
レポート課題		
上記以外	20	学期中に2回程度、復習小テストを行う。

授業数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。  
正当な理由のない遅刻・欠席は減点する。

#### 授業外学習

読む、聞く、話すを繰り返し練習することが大切である。とくに教室では、大きな声で発音練習することを求める。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	はじめまして！中国語	喜多山幸子、鄭幸枝	白水社	978-4-560-06921-9
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	中国語 A (中級コース) (火2限)				担当教員	地蔵堂 貞二	
講義コード	1120351	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201FRL221						

#### 授業概要

中国語 の単位を取得した学生を対象に、テキストに沿って、既習の文法知識 (基本文型) を整理・復習しながら、大量の練習問題を行うことで、初級中国語から中級中国語へと導入します。

#### 到達目標

- (1) 中国語の「基本文型を復習することで、応用作文ができるようになる。
- (2) 簡単なコミュニケーションがはかれるようになる。
- (3) 中国語検定試験の4級レベルの実力を身につけることができる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100%	到達目標 (1) (2) (3) について筆記試験を行う。(100%)
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	初級から中級へ 中国語作文 (改訂版)	郭春貴など	白帝社	978-4-89174-483-0
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	中国語 A (中級コース) (火2限)				担当教員	地蔵堂 貞二	
講義コード	1120351	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201FRL221						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	“是”字文	A是B (AはBである)。A不是B (AはBではない)。
第2回	“有”字文	(1) 所有・所属を表す“有”について (2) 存在を表す“有”について
第3回	“在”について	(1) 存在を表す動詞 (2) 動詞句にかかる介詞“在”+場所語
第4回	復習 ( )	(1) “是”“有”“在”の用法 (2) 否定形について
第5回	形容詞述語文	(1) 形容詞述語文の文法的特徴 (2) 文法的制約について
第6回	動詞述語文	(1) 動詞述語文の文法的特徴 (2) 文法的制約について
第7回	連動文	(1) S (主語) + V P1 + V P2...。 (2) 連動文の文法的意味
第8回	名詞述語文	(1) 名詞(連語)の特徴について (2) 肯定形と否定形について
第9回	復習 ( )	(1) 形容詞述語文、動詞述語文、名詞述語文の特徴について (2) 連動文と兼語文について
第10回	疑問助詞を用いた疑問文	(1) 当否疑問文 (2) 省略疑問文
第11回	疑問詞を用いた「疑問文	指定疑問文について
第12回	反復疑問文	(1) 当否疑問文との違いについて (2) 選択疑問文について
第13回	疑問数詞を用いた疑問文	疑問数詞“几”と“多少”の意味的違いと文法的違いについて
第14回	疑問(数)詞の非疑問用法	(1) 「不定(数)」用法について (2) 疑問詞+副詞“都”/“也”+肯定・否定形
第15回	復習 ( )	疑問文の総復習
担当者から一言		

講義名	中国語 B (中級コース) (火2限)				担当教員	地蔵堂 貞二	
講義コード	1120352	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201FRL222						

#### 授業概要

中国語 の単位を取得した学生を対象に、テキストに沿って、既習の文法知識 (基本文型) を整理・復習しながら、大量の練習問題を行うことで、初級中国語から中級中国語へと導入します。

#### 到達目標

- (1) 中国語の基本文型を復習することで、応用作文ができるようになる。
- (2) 簡単なコミュニケーションがはかれるようになる。
- (3) 中国語検定試験の4級レベルの実力を身につけることができる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100%	到達目標 (1) (2) (3) について筆記試験を行う。
レポート課題		
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	初級から中級へ 中国語作文 (改訂版)	郭春貴など	白帝社	978-4-89174-483-0
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	中国語 B (中級コース) (火2限)					担当教員	地蔵堂 貞二
講義コード	1120352	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201FRL222						

授業計画							
回数	タイトル		概要				

回数	タイトル		概要				
第1回	動態助詞“了”		(1) 動作・行為の完了 (2) 否定副詞“没(有)”				
第2回	語気助詞“了”		(1) 事態・状況の変化 (2) 否定形について				
第3回	動態助詞“着”		(1) 動作の持続について (2) 状態の持続について				
第4回	動態助詞“过”		(1) 経験を表す場合と表さない場合 (2) 特殊な補語“过”との違いについて				
第5回	復習( )		(1) 動態助詞“了”と語気助詞“了”の違い (2) 動作の持続と状態の持続の違い				
第6回	“是～V的”構文		(1) “他昨天来了”と“他是昨天来的”の違い (2) 否定形について				
第7回	構造助詞“的”“地”“得”		(1) 定語(連体修飾語)のマーカ-“的” (2) 状語(連用修飾語)のマーカ-“地”				
第8回	復習( )		構造助詞“的”“地”“得”の違いを練習問題を解きながら把握する。				
第9回	願望の助動詞		“想”と“要” (1) 両者の違いについて				
第10回	必要・義務の助動詞		“要”と“該”について				
第11回	possible の助動詞( )		“会” (1) 練習を経て得られる能力				
第12回	possible の助動詞( )		“能” (1) 性能・持ち合わせの能力				
第13回	possible の助動詞( )		“可以” (1) 条件				
第14回	可能補語		possible の助動詞を用いた文との違いについて				
第15回	復習( )		可能表現全般の復習をする。				

担当者から一言							

講義名	中国語 A (中級コース) (火2限)				担当教員	林 虹	
講義コード	1120361	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201FRL221						

#### 授業概要

この授業は学生が中国語 A・Bを履修することを条件とします。授業は中国語の文法を最新の文法理論に基づいて、より細かく解説し、その文法内容に関連性の強い内容を文章に選び、それをわかりやすく説明し、その説明を踏まえて、受講生同士がディスカッションを交えながら意見を述べるという流れで進めていきます。

#### 到達目標

##### 到達目標

- (1) 文法を理解すること
- (2) 語彙を覚えること
- (3) 文章の読解力を身につけること
- (4) 宿題を提出すること

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	75%	定期試験のでき具合に基づいて判断します。
レポート課題	25%	出席、授業態度、課題提出などに基づいて評価します。
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ジョイフル中国語	呉 凌非	郁文堂	978-4-261-01858-5
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

中国語 を履修されていることが望ましい。

#### 履修資格



講義名	中国語 B (中級コース) (火2限)				担当教員	林 虹	
講義コード	1120362	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201FRL222						

#### 授業概要

この授業は学生が中国語コミュニケーション Bを履修することを条件とします。授業は中国語の文法を最新の文法理論に基づいて、より細かく解説し、その文法内容に関連性の強い内容を文章に選び、それをわかりやすく説明し、その説明を踏まえて、受講生同士がディスカッションを交えながら意見を述べるという流れで進めていきます。

#### 到達目標

- (1) 文法を理解すること
- (2) 語彙を覚えること
- (3) 文章の読解力を身につけること
- (4) 宿題を提出すること

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	75%	定期試験のでき具合に基づいて評点します。
レポート課題	25%	出席、授業態度、課題などを総合的に評点します。
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ジョイフル中国語	呉 凌非	郁文堂	978-4-261-01858-5
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

中国語 A, Bと中国語 Aを履修していることが望ましい。

#### 履修資格

講義名	中国語 B (中級コース) (火2限)					担当教員	林 虹
講義コード	1120362	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201FRL222						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	困難と成功	本文の新出語句、本文の内容の読解などの内容を勉強します。
第2回	疑問文のいろいろ	中国語のさまざまな疑問文について勉強します。
第3回	新しい社長	本文の新出語句、本文の内容の読解などの内容を勉強します。
第4回	テンス・アスペクトの勉強	中国語のテンス・アスペクトについて勉強します。
第5回	珍重な魚	本文の新出語句、本文の内容の読解などの内容を勉強します。
第6回	可能表現のいろいろ	中国語のさまざまな可能表現について勉強します。
第7回	箱に入ってもらえませんか	本文の新出語句、本文の内容の読解などの内容を勉強します。
第8回	「要」などの使い方	中国語の「要」などの助動詞について勉強します。
第9回	愛している	本文の新出語句、本文の内容の読解などの内容を勉強します。
第10回	複文のいろいろ	中国語のさまざまな複文について勉強します。
第11回	梁啓超の物語	本文の新出語句、本文の内容の読解などの内容を勉強します。
第12回	敬語表現の勉強	中国語の敬語表現について勉強します。
第13回	お母さん、どこにいるの？	本文の新出語句、本文の内容の読解などの内容を勉強します。
第14回	前置詞の勉強	中国語の前置詞について勉強します。
第15回	まとめ	これまで学んだ知識を復習し、まとめます。
担当者から一言		

講義名	中国語 A (中級コース) (火3限)				担当教員	林 虹	
講義コード	1120406	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201FRL221						

#### 授業概要

この授業は学生が中国語 A・Bを履修することを条件とします。授業は中国語の文法を最新の文法理論に基づいて、より細かく解説し、その文法内容に関連 性の強い内容を文章に選び、それをわかりやすく説明し、その説明を踏まえて、受講生同士がディスカッションを交えながら意見を述べるといった流れで進めていきます。

#### 到達目標

##### 到達目標

- (1) 文法を理解すること
- (2) 語彙を覚えること
- (3) 文章の読解力を身につけること
- (4) 宿題を提出すること

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	75%	定期試験のでき具合に基づいて判断します。
レポート課題	25%	出席、授業態度、課題提出などに基づいて評価します。
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ジョイフル中国語	呉 凌非	郁文堂	978-4-261-01858-5
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

中国語 を履修されていることが望ましい。

#### 履修資格



講義名	中国語 B (中級コース) (火3限)				担当教員	林 虹	
講義コード	1120407	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201FRL222						

#### 授業概要

この授業は学生が中国語コミュニケーション Bを履修することを条件とします。授業は中国語の文法を最新の文法理論に基づいて、より細かく解説し、その文法内容に関連性の強い内容を文章に選び、それをわかりやすく説明し、その説明を踏まえて、受講生同士がディスカッションを交えながら意見を述べるという流れで進めていきます。

#### 到達目標

- (1) 文法を理解すること
- (2) 語彙を覚えること
- (3) 文章の読解力を身につけること
- (4) 宿題を提出すること

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	75%	定期試験のでき具合に基づいて評点します。
レポート課題	25%	出席、授業態度、課題などを総合的に評点します。
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ジョイフル中国語	呉 凌非	郁文堂	978-4-261-01858-5
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

中国語 A, Bと中国語 Aを履修していることが望ましい。

#### 履修資格



講義名	朝鮮語 A (初級コース) (水2限)				担当教員	呉 賢欄	
講義コード	1120411	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL131						

#### 授業概要

・文字を覚え、覚えた文字を活用しながら、必要な文法を学びます。・繰り返し練習しながら学習事項の定着をはかり、次年度以降の勉強につなげます。

#### 到達目標

朝鮮語の文字や発音、基礎的な文法を習得する。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	定期試験を実施する。
レポート課題	50%	宿題および小試験を随時に行う。
上記以外	10%	欠席一回につき2点減点を目安とする。

3分の2以上の出席を望む。

#### 授業外学習

復習・予習を90分程度毎回続けるよう心構えてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	改訂版 基礎から学ぶ韓国語講座 初級	木内明	国書刊行会	ISBN 9 7 8 - 4 - 3 3 6 - 0 5 7 5 0 - 1
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	パスポート朝鮮語小辞典	熊谷明泰編	白水社	ISBN 4 - 5 6 0 - 0 0 0 9 1 - 3
2				
3				

#### 前提学力等

初めて朝鮮語を学ぶ学生のためのクラスです。

#### 履修資格

講義名	朝鮮語 A (初級コース) (水2限)					担当教員	呉 賢欄
講義コード	1120411	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101FRL131						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	基本母音	テキストの学習進度は、おおよそ以下の通りです。第1回目から第7回目までは基礎を学習する。
第2回	基本子音	基本子音・激音・濃音を学習する。p.19まで
第3回	複合母音	総合母音と簡単な単語を学習する。p.23まで
第4回	パッチム	パッチムについて学習する。p.29まで
第5回	発音の変化(1)	発音の変化(1)について学習する。p.31まで
第6回	発音の変化(2)	発音の変化(2)について学習する。p.34まで
第7回	あいさつ	簡単な挨拶を学習する。p.39まで
第8回	「～は」、「～です」	第1課：簡単な自己紹介を学習する。p.45まで
第9回	「～が～ですか」	第2課：(～ですか)を学習する。p.51まで
第10回	「～ではありません(か)」	第3課：否定形を学習する。p.57まで
第11回	“イッサムニダ、オプスムニダ”	第4課：存在形を学習する。p.63まで
第12回	“ハムニダ”、「何」	第5課：(～します・しますか)を学習する。p.69まで
第13回	“ヨ体”、“イッソヨ・オプソヨ”	第6課：“ヨ体”である(～します)を学習する。p.75まで
第14回	“ハムニダ体”	第7課：“ハダ”動詞以外の動詞を学習する。p.81まで
第15回	期末のまとめ	用言の丁寧な形などを学習する。p.81まで

担当者から一言

講義名	朝鮮語 B (初級コース) (水2限)				担当教員	呉 賢欄	
講義コード	1120412	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101FRL132						

#### 授業概要

文字を覚え、覚えた文字を活用しながら、必要な文法を学びます。・繰り返し練習しながら学習事項の定着をはかり、次年度以降の勉強につなげます。

#### 到達目標

朝鮮語で簡単な会話ができるようになることが目標です。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	定期試験を実施する。
レポート課題	50%	宿題や小試験を随時に行う。
上記以外	10%	欠席一回つき2点減点を目安とする。

3分の2以上の出席を望む。

#### 授業外学習

90分程度の復習と予習を毎回続けてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	改訂版 基礎から学ぶ韓国語講座 初級	木内明	国書刊行会	ISBN 9 7 8 - 4 - 3 3 6 - 0 5 7 5 0 - 1
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	パスポート朝鮮語小辞典	熊谷明泰編	白水社	ISBN 4 - 5 6 0 - 0 0 0 9 1 - 3
2				
3				

#### 前提学力等

朝鮮語 A (初級コース) の履修者であること。

#### 履修資格

講義名	朝鮮語 B (初級コース) (水2限)				担当教員	呉 賢欄	
講義コード	1120412	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101FRL132						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	“ヨ体”、「～しに(行く・来る)」	朝鮮語 Aに引き続き、テキストの学習進度は、おおよそ以下の通りです。 第8課：“ヨ体”を学習する。p.89まで
第2回	指定詞の“ヨ体”、漢数詞	第9課：漢数字を学習する。 p.97まで
第3回	時間の表現、固有数詞	第10課：固有数字と時計の読み方を学習する。 p.105まで
第4回	尊敬語	第11課：敬語(尊敬形)を学習する。 p.111まで
第5回	用言の否定文、「～するといい」	第12課：用言の否定形を学習する。 p.117まで
第6回	過去形(1)	第13課：用言の過去形(1)を学習する。 p.123まで
第7回	過去形(2)	引き続き、過去形(2)や縮約ルールなどを学習する。 p.125まで
第8回	勧誘の表現、「何の～」	第14課：勧誘の言葉を学習する。 p.133まで
第9回	「～している」、「～してください」	第15課：用言の現在進行形を学習する。 p.139まで
第10回	可能表現	第16課：可能・不可能の表現を学習する。 p.147まで
第11回	「～したい」、「～してください」	第17課：(～したい)という表現を学習する。 p.153まで
第12回	「～してもいい」、「～しないでください」	第18課：禁止の表現を学習する。 p.159まで
第13回	「～しなければならない」、意志の表現	第19課：義務の表現を学習する。 p.165まで
第14回	「～するつもりです」	第20課：意志・推量を学習する。 p.171まで
第15回	期末まとめ	期末まとめを行う。 p.202まで

担当者から一言

講義名	朝鮮語 A (初級コース) (水3限)				担当教員	呉 賢欄	
講義コード	1120421	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL131						

#### 授業概要

・文字を覚え、覚えた文字を活用しながら、必要な文法を学びます。・繰り返し練習しながら学習事項の定着をはかり、次年度以降の勉強につなげます。

#### 到達目標

朝鮮語の文字や発音、基礎的な文法を習得する。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	定期試験を実施する。
レポート課題	50%	宿題および小試験を随時に行う。
上記以外	10%	欠席一回につき2点減点を目安とする。

3分の2以上の出席を望む。

#### 授業外学習

復習・予習を90分程度毎回続けるよう心構えてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	改訂版 基礎から学ぶ韓国語講 初級座	木内明	国書刊行会	ISBN 9 7 8 - 4 - 3 3 6 - 0 5 7 5 0 - 1
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	パスポート朝鮮語小辞典	熊谷明泰編	白水社	ISBN 4 - 5 6 0 - 0 0 0 9 1 - 3
2				
3				

#### 前提学力等

初めて朝鮮語を学ぶ学生のためのクラスです。

#### 履修資格



講義名	朝鮮語 B (初級コース) (水3限)				担当教員	呉 賢欄	
講義コード	1120422	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101FRL132						

#### 授業概要

・文字を覚え、覚えた文字を活用しながら、必要な文法を学びます。・繰り返し練習しながら学習事項の定着をはかり、次年度以降の勉強につなげます。

#### 到達目標

朝鮮語で簡単な会話ができるようになることが目標です。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	定期試験を実施する。
レポート課題	50%	宿題や小試験を随時に行う。
上記以外	10%	欠席一回につき2点減点を目安とする

3分の2以上の出席を望む。

#### 授業外学習

90分程度の復習や予習を毎回続けてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	改訂版 基礎から学ぶ韓国語講 初級	木内明	国書刊行会	ISBN 9 7 8 - 4 - 3 3 6 - 0 5 7 5 0 - 1
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	パスポート朝鮮語小辞典	熊谷明泰編	白水社	ISBN 4 - 5 6 0 - 0 0 0 9 1 - 3
2				
3				

#### 前提学力等

朝鮮語 A (初級コース) の履修者であること。

#### 履修資格



講義名	朝鮮語 A (中級コース) (火2限)				担当教員	崔 眞善	
講義コード	1120431	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201FRL231						

#### 授業概要

「朝鮮語」で学習したことを基本として、より韓国・朝鮮語らしい表現、より複雑な表現を学ぶ。文化的な事柄に関する知識に基づいて日常会話で使える定型の表現パターンを練習する。実際のコミュニケーションに適用できる発音練習や文法の習得に中点を置く。

#### 到達目標

簡単な会話が可能になるように読み、書きの練習をすることで、中級のレベルの会話力や表現力を身につける。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	各課の内容に対する理解程度や中級レベルの作文、または読解能力を評価する
レポート課題	20%	授業内容の復習、必要な単語や慣用句などの暗記
上記以外	30%	出席を含め、授業中の発表、単語テストなどの小テスト

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国語中級1講義ノート	李昌圭	白帝社	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	朝鮮語 A (中級コース) (火2限)				担当教員	崔 眞善	
講義コード	1120431	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201FRL231						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	助詞のまとめ	初級編助詞のまとめ 中級編助詞のまとめ
第2回	가	予定、意図に関する表現
第3回	가	予定、意図に関する表現
第4回	?	ㄷ 不規則変則
第5回	?	ㄷ 不規則変則
第6回	復習 1, 2, 3 課	文型復習 復習問題
第7回	復習 1, 2, 3 課	動詞の連体形 関連文型練習
第8回		ㄹ 不規則変則
第9回		ㄹ 不規則変則
第10回	?	動詞の連体形
第11回	?	動詞の連体形練習 形容詞の連体形
第12回		不規則変則
第13回		関連文型練習
第14回	復習 7, 8, 9 課	文型練習 復習問題
第15回	復習 7, 8, 9 課	文型練習 復習問題
第16回	?	可能に関する表現
第17回	?	関連文型練習
第18回		仮定、完了に関する表現
第19回		関連文型練習
第20回	가	推測に関する表現
第21回	가	関連文型練習
第22回	復習 9, 10, 11 課	文型練習 復習問題
第23回	復習 9, 10, 11 課	文型練習 復習問題
第24回		状態に関する表現
第25回		関連文型練習
第26回	?	許可に関する表現
第27回	?	許可に関する表現 関連文型練習
第28回	가 ?	助言、充足に関する表現
第29回	가 ?	応用表現
第30回	復習 13, 14, 15 課	文型復習 復習問題

担当者から一言

講義名	朝鮮語 B (中級コース) (火2限)				担当教員	崔 眞善	
講義コード	1120432	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201FRL232						

#### 授業概要

「朝鮮語」で学習したことを基本として、より韓国・朝鮮語らしい表現、より複雑な表現を学ぶ。文化的な事柄に関する知識に基づいて日常会話で使える定型の表現パターンを練習する。実際のコミュニケーションに適用できる発音練習や文法の習得に中点を置く。

#### 到達目標

簡単な会話が可能になるように読み、書きの練習をすることで、中級のレベルの会話力や表現力を身につける。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	各課の内容に対する理解程度や中級レベルの作文、または読解能力を評価する
レポート課題	20%	授業内容の復習、必要な単語や慣用句などの暗記
上記以外	30%	出席を含め、授業中の発表、単語テストなどの小テスト

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国語中級1 講義ノート	李昌圭	白帝社	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	朝鮮語 B (中級コース) (火2限)				担当教員	崔 眞善	
講義コード	1120432	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201FRL232						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	助詞のまとめ	初級編助詞のまとめ 中級編助詞のまとめ
第2回	가	予定、意図に関する表現
第3回	가	予定、意図に関する表現
第4回	?	ㄷ 不規則変則
第5回	?	ㄷ 不規則変則
第6回	復習 1, 2, 3 課	文型復習 復習問題
第7回	復習 1, 2, 3 課	動詞の連体形 関連文型練習
第8回		ㄹ 不規則変則
第9回		ㄹ 不規則変則
第10回	?	動詞の連体形
第11回	?	動詞の連体形練習 形容詞の連体形
第12回		不規則変則
第13回		関連文型練習
第14回	復習 7, 8, 9 課	文型練習 復習問題
第15回	復習 7, 8, 9 課	文型練習 復習問題
第16回	?	可能に関する表現
第17回	?	関連文型練習
第18回		仮定、完了に関する表現
第19回		関連文型練習
第20回	가	推測に関する表現
第21回	가	関連文型練習
第22回	復習 9, 10, 11 課	文型練習 復習問題
第23回	復習 9, 10, 11 課	文型練習 復習問題
第24回		状態に関する表現
第25回		関連文型練習
第26回	?	許可に関する表現
第27回	?	許可に関する表現 関連文型練習
第28回	가 ?	助言、充足に関する表現
第29回	가 ?	応用表現
第30回	復習 13, 14, 15 課	文型復習 復習問題

担当者から一言

講義名	朝鮮語 A (中級コース) (火3限)				担当教員	崔 眞善	
講義コード	1120441	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201FRL231						

#### 授業概要

「朝鮮語」で学習したことを基本として、より韓国・朝鮮語らしい表現、より複雑な表現を学ぶ。文化的な事柄に関する知識に基づいて日常会話で使える定型の表現パターンを練習する。実際のコミュニケーションに適用できる発音練習や文法の習得に中点を置く。

#### 到達目標

簡単な会話が可能になるように読み、書きの練習をすることで、中級のレベルの会話力や表現力を身につける。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	各課の内容に対する理解程度や中級レベルの作文、または読解能力を評価する
レポート課題	20%	授業内容の復習、必要な単語や慣用句などの暗記
上記以外	30%	出席を含め、授業中の発表、単語テストなどの小テスト

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国語中級1 講義ノート	李昌圭	白帝社	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	朝鮮語 A (中級コース) (火3限)				担当教員	崔 眞善	
講義コード	1120441	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201FRL231						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	助詞のまとめ	初級編助詞のまとめ 中級編助詞のまとめ
第2回	가	予定、意図に関する表現
第3回	가	予定、意図に関する表現
第4回	?	ㄷ 不規則変則
第5回	?	ㄷ 不規則変則
第6回	復習 1, 2, 3 課	文型復習 復習問題
第7回	復習 1, 2, 3 課	動詞の連体形 関連文型練習
第8回		ㄹ 不規則変則
第9回		ㄹ 不規則変則
第10回	?	動詞の連体形
第11回	?	動詞の連体形練習 形容詞の連体形
第12回		不規則変則
第13回		関連文型練習
第14回	復習 7, 8, 9 課	文型練習 復習問題
第15回	復習 7, 8, 9 課	文型練習 復習問題
第16回	?	可能に関する表現
第17回	?	関連文型練習
第18回		仮定、完了に関する表現
第19回		関連文型練習
第20回	가	推測に関する表現
第21回	가	関連文型練習
第22回	復習 9, 10, 11 課	文型練習 復習問題
第23回	復習 9, 10, 11 課	文型練習 復習問題
第24回		状態に関する表現
第25回		関連文型練習
第26回	?	許可に関する表現
第27回	?	許可に関する表現 関連文型練習
第28回	가 ?	助言、充足に関する表現
第29回	가 ?	応用表現
第30回	復習 13, 14, 15 課	文型復習 復習問題

担当者から一言

講義名	朝鮮語 B (中級コース) (火3限)				担当教員	崔 眞善	
講義コード	1120442	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201FRL232						

#### 授業概要

「朝鮮語」で学習したことを基本として、より韓国・朝鮮語らしい表現、より複雑な表現を学ぶ。文化的な事柄に関する知識に基づいて日常会話で使える定型の表現パターンを練習する。実際のコミュニケーションに適用できる発音練習や文法の習得に中点を置く。

#### 到達目標

簡単な会話が可能になるように読み、書きの練習をすることで、中級のレベルの会話力や表現力を身につける。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	各課の内容に対する理解程度や中級レベルの作文、または読解能力を評価する
レポート課題	20%	授業内容の復習、必要な単語や慣用句などの暗記
上記以外	30%	出席を含め、授業中の発表、単語テストなどの小テスト

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国語中級1 講義ノート	李昌圭	白帝社	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	朝鮮語 B (中級コース) (火3限)				担当教員	崔 眞善	
講義コード	1120442	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201FRL232						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	助詞のまとめ	初級編助詞のまとめ 中級編助詞のまとめ
第2回	가	予定、意図に関する表現
第3回	가	予定、意図に関する表現
第4回	?	ㄷ 不規則変則
第5回	?	ㄷ 不規則変則
第6回	復習 1, 2, 3 課	文型復習 復習問題
第7回	復習 1, 2, 3 課	動詞の連体形 関連文型練習
第8回		ㄹ 不規則変則
第9回		ㄹ 不規則変則
第10回	?	動詞の連体形
第11回	?	動詞の連体形練習 形容詞の連体形
第12回		不規則変則
第13回		関連文型練習
第14回	復習 7, 8, 9 課	文型練習 復習問題
第15回	復習 7, 8, 9 課	文型練習 復習問題
第16回	?	可能に関する表現
第17回	?	関連文型練習
第18回		仮定、完了に関する表現
第19回		関連文型練習
第20回	가	推測に関する表現
第21回	가	関連文型練習
第22回	復習 9, 10, 11 課	文型練習 復習問題
第23回	復習 9, 10, 11 課	文型練習 復習問題
第24回		状態に関する表現
第25回		関連文型練習
第26回	?	許可に関する表現
第27回	?	許可に関する表現 関連文型練習
第28回	가 ?	助言、充足に関する表現
第29回	가 ?	応用表現
第30回	復習 13, 14, 15 課	文型復習 復習問題

担当者から一言

講義名	日本語 A				担当教員	柴川 真由美	
講義コード	1120461	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101JPN101						

#### 授業概要

この授業では、エッセイやレポート作成に必要とされる基本的な文法事項を学ぶ。特に書き言葉に焦点を絞った文法表現、いいまわしを中心に演習問題を行う。また、論拠を提示しながら、ある視点に賛成や反対の理由を挙げ、利点と不利な点を説明できるよう、様々な分野の情報や議論を読み、まとめる練習を行う。毎週、課題として、「日本語能力試験N1」の読解問題を解く。授業で解説、質疑応答を行い、N1レベルを合格できる程度の言語能力をつけるようにする。

#### 到達目標

- (1) 簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内ものは、十分に主題を理解できる。
- (2) エッセイやレポートを書く時に、根拠を提示しながら、ある視点に賛成や反対の理由を挙げ、さまざまな選択肢の利点と不利な点を説明できる。
- (3) 論拠、論点を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。重要な点や関連する補足事項の詳細を、適切に強調することができる。
- (4) 日本語能力試験N1レベルの文法を理解できるようになる。
- (5) 日本語能力試験N1合格レベルの語彙や表現を理解できるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	期末試験（到達目標1、2、3についてのレポート提出を課す）
レポート課題		
上記以外	60	到達確認テスト40%（到達目標4、5についての筆記試験を行う） 宿題20%（毎週到達目標4、5についての演習問題を課す）

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリント配布

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

便宜紹介

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	日本語 A				担当教員	柴川 真由美	
講義コード	1120461	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101JPN101						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	内容の説明、レベル確認、自己紹介
第2回	表記の仕方	読点・記号の使い方を学ぶ。
第3回	助詞の使い方	「で・に・を・が・は」などの助詞について学ぶ。
第4回	書き言葉と話し言葉	様々なテキストを読み、書き言葉と話し言葉の違いを把握する。
第5回	書き言葉	文の種類・ジャンルと文体に注目し、書き言葉の文体を学ぶ。
第6回	直接話法・間接話法	直接話法と間接話法の使い方を学び、その演習問題を行う。
第7回	書き言葉と連用中止形	文中での連用中止形の使い方を学び、その演習問題を行う。
第8回	ひらがなと漢字の使い分け	漢字表記とひらがな表記の違いを学び、演習問題を行う。
第9回	到達確認テスト	到達目標4、5に関して確認の試験を行う。
第10回	自動詞と他動詞	自動詞と他動詞の表現の使い分けを学ぶ。
第11回	受身	直接受身と間接受身の意味と違いを学び、演習問題を行う。
第12回	カタカナの使い方	日本語のカタカナ表記の仕方を学び、演習問題を行う。
第13回	客観性のある文章	様々な例を比べ、客観的に述べる表現を学ぶ。
第14回	文末呼应	呼应する文末表現をまとめ、演習問題を行う。
第15回	復習、まとめ	今学期学んだ文法事項の復習を行う。

担当者から一言

講義名	日本語 B				担当教員	柴川 真由美	
講義コード	1120462	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101JPN102						

#### 授業概要

この授業では、エッセイやレポート作成に必要とされる基本的文法事項を学ぶ。特に書き言葉に焦点を絞った文法表現、いいまわしを中心に演習問題を行う。また、論拠を提示しながら、ある視点に賛成や反対の理由を挙げ、利点と不利な点を説明できるよう、様々な分野の情報や議論を読み、まとめる練習を行う。毎週、課題として、「日本語能力試験N1」の読解問題を解く。授業で解説、質疑応答を行い、N1レベルを合格できる程度の言語能力をつけるようにする。

#### 到達目標

- (1) 簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内ものは、十分に主題を理解できる。
- (2) エッセイやレポートを書く時に、根拠を提示しながら、ある視点に賛成や反対の理由を挙げ、さまざまな選択肢の利点と不利な点を説明できる。
- (3) 論拠、論点を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。重要な点や関連する補足事項の詳細を、適切に強調することができる。
- (4) 日本語能力試験N1レベルの文法を理解できるようになる。
- (5) 日本語能力試験N1合格レベルの語彙や表現を理解できるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	期末試験（到達目標1、2、3についてのレポート提出を課す）
レポート課題		
上記以外	60	到達確認テスト40%（到達目標4、5についての筆記試験を行う） 宿題20%（毎回到達目標4、5についての演習問題を課す）

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### プリント配布

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 便宜紹介

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	日本語 B				担当教員	柴川 真由美	
講義コード	1120462	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101JPN102						

**授業計画**

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	内容の説明、レベル確認、自己紹介
第2回	文の構造	主節・従属節を含む文章の構造を分析し、理解する。
第3回	主語と述語の関係	複雑な文章の主語・述語に注目し、演習問題を行う。
第4回	文末表現と呼応	主語と述語の呼応関係を理解し、使えるよう演習問題を行う。
第5回	修飾節	修飾語・修飾節の様々な例を参照しながら、演習問題を行う。
第6回	文の長さと言語の簡潔さ	長い文章を接続詞を用いて、短い文章にまとめて練習を行う。
第7回	文の長さを読みやすさ	前後の文章の関係に注意し、接続詞を用いて分かりやすい文章を書けるよう練習を行う。
第8回	到達確認テスト	到達目標 4、5 に関して確認の試験を行う。
第9回	指示詞	「こ・そ・あ」の使い分けの復習をする。
第10回	指示詞	文中における「こ・そ・あ」の使用例を参考に、演習問題を行う。
第11回	意見文の書き方	自分の意見を表現する言い回しを学ぶ。
第12回	接続詞	接続詞の意味や文法事項を確認、復習する。
第13回	事実と意見の表現	意見と事実を述べる際によく使われる表現を紹介し、演習問題を行う。
第14回	意見文の構成と意見を述べる論拠	意見の論拠を挙げる練習を行う。
第15回	復習、まとめ	レポートの書き方の概要を説明する。一つのレポート課題を例にとってクラス全員でディスカッションをしながら、論拠をまとめる練習を行う。
担当者から一言		

講義名	日本語 A				担当教員	上野山 愛弥	
講義コード	1120471	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101JPN103						

#### 授業概要

バランスのとれた日本語運用能力を高め、まとめる力、書く力、発表する力を身につける。また口頭発表と本格的な討論の力をつける。そのためにテーマに即したスピーチの練習をし、討論の意義およびその種類と実施方法を学ぶ。

#### 到達目標

- (1) まとめる力・書く力を磨く。
- (2) 発表の力を養う。
- (3) 聞く力を磨く。
- (4) 論点の明確化・論証・論駁の方法に慣れる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	
レポート課題	30	
上記以外	40	

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

#### 授業外学習

復習としての家庭学習を重視し、毎回宿題を課す。  
適宜小テストを行う。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業で指示する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜紹介する。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	日本語 B				担当教員	上野山 愛弥	
講義コード	1120472	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101JPN104						

#### 授業概要

バランスのとれた日本語運用能力を高め、まとめる力、書く力、発表する力を身につける。また口頭発表と本格的な討論の力をつける。そのためにテーマに即したスピーチの練習をし、討論の意義およびその種類と実施方法を学ぶ。

#### 到達目標

- (1) まとめる力・書く力を磨く。
- (2) 発表の力を養う。
- (3) 聞く力を磨く。
- (4) 論点の明確化・論証・論駁の方法に慣れる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	
レポート課題	30	
上記以外	40	

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

#### 授業外学習

復習としての家庭学習を重視し、毎回宿題を課す。  
適宜小テストを行う。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業で指示する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜紹介する。

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	日本語 B				担当教員	上野山 愛弥	
講義コード	1120472	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101JPN104						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	討論の種類とその目的	討論の種類とその目的を理解する。
第2回	討論の準備	討論のテーマを考え、資料を集める。
第3回	討論の実施	討論を実施する。
第4回	討論の相互フィードバック	討論の相互フィードバックをする。
第5回	ディバートの準備 1	テーマを決定し、グループを編成する。
第6回	ディバートの準備 2	役割分担をし、資料を収集する。
第7回	ディバートの実施 1	ディバートを実施する。
第8回	ディバートの実施 2	ディバートを実施する。
第9回	ディバートの相互フィードバック	ディバートの相互フィードバックをする。
第10回	プレゼンテーションに必要な表現	プレゼンテーションに必要な表現を学ぶ。
第11回	プレゼンテーションの原稿の作成	プレゼンテーションの原稿を作成する。
第12回	プレゼンテーションの準備と練習	プレゼンテーションの準備と練習をする。
第13回	プレゼンテーションの実施 1	プレゼンテーションを実施する。
第14回	プレゼンテーションの実施 2	プレゼンテーションを実施する。
第15回	プレゼンテーションの相互フィードバック	プレゼンテーションの相互フィードバックをする。

担当者から一言

--

講義名	日本語 A				担当教員	内田 孝	
講義コード	1120481	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201JPN201						

#### 授業概要

留学生が大学の授業を理解し、また自身が専門的な研究活動を行うために必要となる日本語のライティング能力の習得を目指す。特に本授業では、様々な文体の使い分けを学んだ後で、学術的なレポート、調査・観察・実験の説明文、論文を書く技能および読む技能を中心に伸ばすことをねらいとしている。前期は特に、内容要約文、説明文などの文章を中心に表現形式を理解し、例文や練習問題を用いながら文章表現力を向上させる。また、パソコンを用いた日本語入力、文書作成方法を習得する。

#### 到達目標

日本語による文体の使い分けができるようになる。また、パソコンを最大限に活用しつつ、適切な表現・構成・内容のレポート、調査・観察・実験の説明文、論文が書けるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	日本語による文体の使い分けができ、特にレポート・論文を書くときの文体を理解していること。
レポート課題		
上記以外	30	小テスト・発表など。

授業時間数の3分の1以上を欠席した場合は評価対象にならない。

#### 授業外学習

授業で学習した内容をしっかり復習し、既習の語彙・文法項目を定着させるよう、自ら努力すること。毎回の予習は不可欠である。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義の中で紹介する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義の中で紹介する。

#### 前提学力等

日本語能力試験N1かN2に合格程度が望ましい。

#### 履修資格



講義名	日本語 B				担当教員	内田 孝	
講義コード	1120482	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201JPN202						

#### 授業概要

留学生が大学の授業を理解し、また自身が専門的な研究活動を行うために必要となる日本語のライティング能力の習得を目指す。特に本授業では、様々な文体の使い分けを学んだ後で、学術的なレポート、調査・観察・実験の説明文、論文を書く技能および読む技能を中心に伸ばすことをねらいとしている。前期は特に、内容要約文、説明文などの文章を中心に表現形式を理解し、例文や練習問題を用いながら文章表現力を向上させる。また、実際に自身で選んだテーマで小論文を執筆する。

#### 到達目標

日本語による文体の使い分けができるようになる。また、パソコンを最大限に活用しつつ、適切な表現・構成・内容のレポート、調査・観察・実験の説明文、論文が書けるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	日本語による文体の使い分けができ、特にレポート・論文を書くときの文体を理解していること。
レポート課題		
上記以外	30	小テスト・発表など。

授業時間数の3分の1以上を欠席した場合は評価対象にならない。

#### 授業外学習

授業で学習した内容をしっかり復習し、既習の語彙・文法項目を定着させるよう、自ら努力すること。毎回の予習は不可欠である。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義の中で紹介する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義の中で紹介する。

#### 前提学力等

日本語能力試験N1かN2に合格程度が望ましい。

#### 履修資格

講義名	日本語 B					担当教員	内田 孝
講義コード	1120482	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201JPN202						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	授業内容の説明、日本語レベルの確認、授業への要望があれば提出。
第2回	日本語の文体・文章 1	論文の構成 1。
第3回	日本語の文体・文章 2	論文の構成 2。
第4回	日本語の文体・文章 3	文のつながり、段落。
第5回	日本語の文体・文章 4	資料の引用、参考文献の表記。
第6回	日本語の文体・文章 5	図表・統計データの提示と説明。
第7回	日本語の文体・文章 6	アンケートの作成と説明。
第8回	まとめ・復習 1	これまでのまとめ・復習。
第9回	日本語の文体・文章 7	基本的な数式や単位の表現。
第10回	日本語の文体・文章 8	観察・実験の作業経過。
第11回	文章作成 1	小論文作成 1。
第12回	文章作成 2	小論文作成 2。
第13回	文章作成 3	小論文作成 3。
第14回	文章作成 4	小論文作成 4 (ハンドアウト作成)。
第15回	まとめ・復習 2	これまでのまとめ・復習。

担当者から一言

--

講義名	日本語 A				担当教員	メルビル ケイコ オオヤ	
講義コード	1120491	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201JPN205						

#### 授業概要

プレゼンテーションの流れを理解し、プレゼンテーションに必要なスキルを学び、学生が関心がある身近なテーマのレポートを日本語で発表する。また、質疑応答をする為に必要とされる、メモの取り方、メモに基づき質問をする仕方も練習する。

#### 到達目標

- (1) プレゼンテーションとは何か、そして流れを理解する。
- (2) プレゼンテーションで使用する表現を学び、使えるようになる。
- (3) スライドの作り方に慣れる。
- (4) 発表を聞いてメモを取り、質疑応答の仕方を身につける。
- (5) 自分のプレゼンテーションを自己評価し、改善できるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	期末口頭発表 (講義の中で評価項目と点数の配分を提示する)
レポート課題		
上記以外	60%	課題の達成度と小テスト 20% 授業の参加度 40%

授業時間数の3分の1以上欠席した者、また期末口頭発表を欠席した者は評価対象にしない。  
課題の提出日を守ること。

#### 授業外学習

適宜小テストを行うので、毎回の授業の復習をしておくこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義で指示する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義の中で適宜紹介する。

#### 前提学力等

「実用日本語検定(J-TEST)B」程度 または 「日本語能力試験N1」合格程度が望ましい。

#### 履修資格



講義名	日本語 B				担当教員	メルビル ケイコ オオヤ	
講義コード	1120492	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201JPN206						

#### 授業概要

アンケート調査を使ったプレゼンテーションの流れを理解し、調査の仕方、考察、結論のスライド、レジュメ、資料の作り方を学び、専門に役立つテーマを選び、アンケート調査を行い、それをまとめて日本語で発表し、質疑応答をできるようにする。

#### 到達目標

- (1) アンケート調査の方法を学ぶ。
- (2) データの入力と分析ができるようになる。
- (3) 分析結果と考察、結論を書けるようになる。
- (4) データから表やグラフなどの図が描けるようになる。
- (5) データからレジュメや資料が作成できるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	期末口頭発表 (講義の中で評価項目と点数の配分を提示する)
レポート課題		
上記以外	60%	課題の達成度と小テスト 20% 授業の参加度 40%

授業時間数の3分の1以上欠席した者、また期末口頭発表を欠席した者は評価対象にしない。  
課題の提出日を守ること。

#### 授業外学習

適宜小テストを行うので、毎回の授業の復習をしておくこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	最初の一步から始める日本語学習者と日本人大学生のためのアカデミックプレゼンテーション	三浦香苗・岡澤孝雄、深澤のぞみ、ヒルマン小林恭子	ひつじ書房	4-89476-337-0
2				
3				

その他の講義で指示する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義の中で適宜紹介する。

#### 前提学力等

「実用日本語検定(J.TEST)準A」程度 または 「日本語能力試験N1」合格程度が望ましい。

#### 履修資格

講義名	日本語 B					担当教員	メルビル ケイコ オオヤ
講義コード	1120492	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201JPN206						

#### 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	授業オリエンテーション	プレゼンテーションとは何か アンケート調査のプロジェクトの流れ
第2回	アンケートを使った実例を見る	
第3回	テーマを決める	
第4回	アンケートを使用する発表の仮の アウトラインを書く	
第5回	アンケート調査を行う	
第6回	調査データの処理の仕方	
第7回	データ分析の方法(1)	
第8回	データ分析の方法(2)	
第9回	データから表やグラフを描く	
第10回	データから考察と結論をまとめる	
第11回	アウトラインを訂正して発表のレ ポートを書く	
第12回	スライド、レジユメ、提示資料を 作成する	
第13回	発表のための準備(1)	学生間で発表のレジユメやスライドの表現やわかりやすさを見直す
第14回	発表のための準備(2)	自己評価と他者評価
第15回	期末発表 まとめ	

#### 担当者から一言

分析を行うときに統計知識が必要になるために、統計の用語やソフトの使い方を上記した参考書の第6章を読んで予習しておくことを勧めます。

講義名	リーディング(中級) a				担当教員	谷口 真紀	
講義コード	1120620	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	301ENG302, 137ENG202						

#### 授業概要

この科目の目的は世界を動かす考えや活動についての英文の読解能力を磨くことです。自ら使いこなせるまでに内容を理解する受信力、解釈した内容を他者に分かりやすく伝える発信力の両方に働きかけて、読解の力を養っていきます。その両方をつなぐのは教養の力です。グローバルな課題をめぐり見識を広げておくことも読解力そのものの助けとなります。国際社会で活躍していけるよう、英文の能動的な読み手となり、情報を駆使する技術を身につけることを目指します。積極的に相互の学びを深めていくために、ペアワークやグループワークが中心の参加型の授業形態で進めます。

#### 到達目標

受信：本文の要点を一段落の英語で要約できる。  
 受信：五文以上の英文を別の英語で書き換えることができる。  
 発信：意味を踏まえて相手に伝えるように二段落以上の英文を音読できる。  
 発信：本文を読んで考えたことを一段落以上の英語で書き表すことができる。  
 見識：ひとつの国際的な課題に関して一分間以上日本語で説明できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	要約テスト(授業内小テスト)20% 到達目標 を評価 書き換えテスト(第15回の授業で実施)20% 到達目標 を評価 音読テスト(第15回の授業で実施)20% 到達目標 を評価

四回以上遅刻または欠席した受講生は評価の対象としません。語学は遅刻や欠席によって自分やクラスメイトの学習の効果を損なうからです。

#### 授業外学習

YouTubeを使ったオンライン学習で本文の内容を理解しておくことが授業出席の大前提です。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	21st Century Reading	Laurie Blass, Mari Vargo, Ingrid Wisniewska	National Geographic Learning / Cengage Learning	13: 978-1-305-26571-4
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	リーディング(中級) b				担当教員	谷口 真紀	
講義コード	1120621	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	301ENG302, 137ENG202						

#### 授業概要

この科目の目的は世界を動かす考えや活動についての英文の読解能力を磨くことです。自ら使いこなせるまでに内容を理解する受信力、解釈した内容を他者に分かりやすく伝える発信力の両方に働きかけて、読解の力を養っていきます。その両方をつなぐのは教養の力です。グローバルな課題をめぐる見識を広げておくことも読解力そのものの助けとなります。国際社会で活躍していけるよう、英文の能動的な読み手となり、情報を駆使する技術を身につけることを目指します。積極的に相互の学びを深めていくために、ペアワークやグループワークが中心の参加型の授業形態で進めます。

#### 到達目標

受信：本文の要点を一段落の英語で要約できる。  
 受信：五文以上の英文を別の英語で書き換えることができる。  
 発信：意味を踏まえて相手に伝えるように二段落以上の英文を音読できる。  
 発信：本文を読んで考えたことを一段落以上の英語で書き表すことができる。  
 見識：ひとつの国際的な課題に関して一分間以上日本語で説明できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	要約テスト(授業内小テスト)20% 到達目標 を評価 書き換えテスト(第15回の授業で実施)20% 到達目標 を評価 音読テスト(第15回の授業で実施)20% 到達目標 を評価

四回以上遅刻または欠席した受講生は評価の対象としません。語学は遅刻や欠席によって自分やクラスメイトの学習の効果を損なうからです。

#### 授業外学習

YouTubeを使ったオンライン学習で本文の内容を理解しておくことが授業出席の大前提です。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	21st Century Reading	Laurie Blass, Mari Vargo, Ingrid Wisniewska	National Geographic Learning / Cengage Learning	13: 978-1-305-26571-4
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	リスニング(中級) a					担当教員	小栗 裕子
講義コード	1120640	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	301ENG301						

#### 授業概要

自然な速度で話される美術、心理学、教育、経済学、英文学、政治学などの幅広い内容について、要点を押さえながら効果的にノートを取る方法や、内容に関連のある語彙を習得する。双方向の会話とは異なったアカデミックな場面での一方の聞き取りの練習を多く行なう。

#### 到達目標

- (1) 大学で学ぶような高度な内容についての聴解力を身につける
- (2) その内容に関する語彙(大学で多く使用される)を習得する
- (3) 効果的なノートの取り方を身につける

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	10	3回のReview Exerciseから出題する
レポート課題		
上記以外	90	3回のReview Exerciseは毎回リスニングテスト(30%)と語彙テスト(30%)とする。また、毎回授業でのNote-takingを30%として評価する。

4回以上欠席の場合は評価の対象としない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	AIRWAVES-Advanced,	Dale Fuller	MACMILLAN LANGUAGEHOUSE	978-4-7773-6417-6
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	リスニング(中級) b				担当教員	小栗 裕子	
講義コード	1120641	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	301ENG301						

#### 授業概要

自然な速度で話される美術、心理学、教育、経済学、英文学、政治学などの幅広い内容について、要点を押さえながら効果的にノートを取る方法や、内容に関連のある語彙を習得する。双方向の会話とは異なったアカデミックな場面での一方の聞き取りの練習を多く行なう。

#### 到達目標

- (1) 大学で学ぶような高度な内容についての聴解力を身につける
- (2) その内容に関する語彙(大学で多く使用される)を習得する
- (3) 効果的なノートの取り方を身につける

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	10	3回のReview Exerciseから出題する
レポート課題		
上記以外	90	3回のReview Exerciseは毎回リスニングテスト(30%)と語彙テスト(30%)とする。また、毎回授業でのNote-takingを30%として評価する。

4回以上欠席の場合は評価の対象としない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	AIRWAVES-Advanced,	Dale Fuller	MACMILLAN LANGUAGEHOUSE	978-4-7773-6417-6
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	リスニング(中級) b					担当教員	小栗 裕子
講義コード	1120641	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	301ENG301						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	
第2回	Art Appreciation	
第3回	Regaining a Beautiful Mind	
第4回	Social Issues of the Day	
第5回	Review Exercise	リスニングと語彙のreview test
第6回	Music's Impact on Our World	
第7回	A Closer Look at Democracy	
第8回	Argentina: Land of Diversity	
第9回	Review Exercise	
第10回	Understanding Economics Systems	
第11回	Education Matters	
第12回	Group work	
第13回	The Great Debate in Science	
第14回	Health and Nutrition	
第15回	Review Exercise	

担当者から一言

--

講義名	ディベート&ディスカッション a					担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1120650	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号							

#### 授業概要

On this course we will explore some engaging topics that are often found in mass media to practice discussion and debating skills. After an introduction to a theme, we will examine an article and discuss the ideas contained within it. Next, after a session practising internet research skills, students will find their own articles and lead a discussion in small groups. To conclude each theme, we will have a debate on some of the key issues. The course will cover two broad themes. In the final part of the course, students will prepare and give a poster presentation about their research.

#### 到達目標

The primary goals of this course are as follows:

- to develop discussion and debating skills
- to practise internet research skills
- to introduce a common poster presentation format
- to practice giving a poster presentation

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		Participation: 50% Internet research: 25% Presentation: 25%

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There is no required textbook for the course. Materials will be distributed in class.

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	ディベート&ディスカッションb					担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1120651	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号							

#### 授業概要

On this course we will explore some engaging topics that are often found in mass media to practice discussion and debating skills. After an introduction to a theme, we will examine an article and discuss the ideas contained within it. Next, after a session practising internet research skills, students will find their own articles and lead a discussion in small groups. To conclude each theme, we will have a debate on some of the key issues. The course will cover two broad themes. In the final part of the course, students will prepare and give a poster presentation about their research.

#### 到達目標

The primary goals of this course are as follows:

- to develop discussion and debating skills
- to practise internet research skills
- to introduce a common poster presentation format
- to practice giving a poster presentation

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		Participation: 50% Internet research: 25% Presentation: 25%

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There is no required textbook for the course. Materials will be distributed in class.

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	ディベート&ディスカッションb					担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1120651	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Orientation	
第2回	Theme 1 (Pop culture) introduction	
第3回	Theme 1 discussions	
第4回	Students' research (a) discussions	
第5回	Students' research (b) discussions	
第6回	Debating skills	
第7回	Theme 1 debate	
第8回	Theme 2 (21st century society) introduction	
第9回	Theme 2 discussion	
第10回	Students' research (a) discussion	
第11回	Students' research (b) discussion	
第12回	Theme 2 debate	
第13回	Presentation I	
第14回	Presentation II	
第15回	Presentation III	

担当者から一言

--

講義名	Introduction to Discussion & Debate a				担当教員	Martin Hawkes	
講義コード	1120653	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	301ENG401,237ENG207						

#### 授業概要

On this course we will explore some engaging topics that are often found in mass media to practice discussion and debating skills. After an introduction to a theme, we will examine an article and discuss the ideas contained within it. Next, after a session practising internet research skills, students will find their own articles and lead a discussion in small groups. To conclude each theme, we will have a debate on some of the key issues. The course will cover two broad themes. In the final part of the course, students will prepare and give a poster presentation about their research.

#### 到達目標

The primary goals of this course are as follows:

- to develop discussion and debating skills
- to practise internet research skills
- to introduce a common poster presentation format
- to practice giving a poster presentation

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		Participation: 50% Internet research: 25% Presentation: 25%

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There is no required textbook for the course. Materials will be distributed in class.

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	Introduction to Discussion & Debate b				担当教員	Martin Hawkes	
講義コード	1120654	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	301ENG401,237ENG207						

#### 授業概要

On this course we will explore some engaging topics that are often found in mass media to practice discussion and debating skills. After an introduction to a theme, we will examine an article and discuss the ideas contained within it. Next, after a session practising internet research skills, students will find their own articles and lead a discussion in small groups. To conclude each theme, we will have a debate on some of the key issues. The course will cover two broad themes. In the final part of the course, students will prepare and give a poster presentation about their research.

#### 到達目標

The primary goals of this course are as follows:

- to develop discussion and debating skills
- to practise internet research skills
- to introduce a common poster presentation format
- to practice giving a poster presentation

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		Participation: 50% Internet research: 25% Presentation: 25%

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There is no required textbook for the course. Materials will be distributed in class.

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	エッセイ・ライティング					担当教員	John Rippey
講義コード	1120670	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号							

#### 授業概要

In this course, students improve their writing skills in English by composing works in four related writing genres: personal narrative, speculative essay, fictional narrative, and extended dialogue. The course offers students a chance to clarify their thoughts, deepen their self-understanding, and enhance their powers of expression on subjects which interest them. The course also represents an opportunity for students to experience the pleasure of writing. The four papers that students produce in the course are each approximately 1,000 words in length.

#### 到達目標

- (1) Ability to generate an extended account of an actual event in accurate and natural written English.
- (2) Ability to express an extended and persuasive argument in accurate and natural written English.
- (3) Ability to relate an evocative extended narrative in accurate and natural written English.
- (4) Ability to render a complex extended conversation in accurate and natural written English.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	(1) 25%, as expressed in the overall quality of the personal narrative. (2) 25%, as expressed in the overall quality of the speculative essay. (3) 25%, as expressed in the overall quality of the fictional narrative.

More than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	Essay Writing					担当教員	John Rippey
講義コード	1120675	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	301ENG402,237ENG206						

#### 授業概要

In this course, students improve their writing skills in English by composing works in four related writing genres: personal narrative, speculative essay, fictional narrative, and extended dialogue. The course offers students a chance to clarify their thoughts, deepen their self-understanding, and enhance their powers of expression on subjects which interest them. The course also represents an opportunity for students to experience the pleasure of writing. The four papers that students produce in the course are each approximately 1,000 words in length.

#### 到達目標

- (1) Ability to generate an extended account of an actual event in accurate and natural written English.
- (2) Ability to express an extended and persuasive argument in accurate and natural written English.
- (3) Ability to relate an evocative extended narrative in accurate and natural written English.
- (4) Ability to render a complex extended conversation in accurate and natural written English.

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	(1) 25%, as expressed in the overall quality of the personal narrative. (2) 25%, as expressed in the overall quality of the speculative essay. (3) 25%, as expressed in the overall quality of the fictional narrative.

More than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	留学英語対策基礎講座				担当教員	John Rippey	
講義コード	1120685	単位数	1	開講期			前期集中
ナンバリング番号							

#### 授業概要

This course provides students the opportunity for better understanding of and more practice for the TOEFL ITP paper test. Students increase their knowledge of the structure and content of the TOEFL ITP test. Students also engage in a sustained and intensive program of practice exercises for the test in order to further strengthen their academic English skills. The most immediate aim of the course is to assist long-term efforts to raise individual TOEFL ITP scores, bridging other coursework done in the spring and fall semesters.

#### 到達目標

- (1) Students will increase their knowledge of and their working familiarity with the content and characteristics (topics, vocabulary, grammar, question types) of the TOEFL ITP test.  
(2) Students will strengthen their performance on TOEFL ITP style exam questions.

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	67%	Achievement of learning goal (1) is measured by performance on the final achievement (review) exam of all coursework.
レポート課題		
上記以外	33%	Achievement of learning goal (2) is measured by degree of documented completion of homework assignments.

More than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Longman Introductory Course for the TOEFL Test: The Paper Test, with Answer Key	Deborah Phillips	Pearson Longman	9780131847187
2	Longman Introductory Course for the TOEFL Test: The Paper Test, CD set	Deborah Phillips	Pearson Longman	9780131847163
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	Intermediate Academic English				担当教員	John Rippey	
講義コード	1120686	単位数	1	開講期			前期集中
ナンバリング番号	301ENG403,137PEN102						

#### 授業概要

This course provides students the opportunity for better understanding of and more practice for the TOEFL ITP paper test. Students increase their knowledge of the structure and content of the TOEFL ITP test. Students also engage in a sustained and intensive program of practice exercises for the test in order to further strengthen their academic English skills. The most immediate aim of the course is to assist long-term efforts to raise individual TOEFL ITP scores, bridging other coursework done in the spring and fall semesters.

#### 到達目標

- (1) Students will increase their knowledge of and their working familiarity with the content and characteristics (topics, vocabulary, grammar, question types) of the TOEFL ITP test.  
(2) Students will strengthen their performance on TOEFL ITP style exam questions.

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	67%	Achievement of learning goal (1) is measured by performance on the final achievement (review) exam of all coursework.
レポート課題		
上記以外	33%	Achievement of learning goal (2) is measured by degree of documented completion of homework assignments.

More than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Longman Introductory Course for the TOEFL Test: The Paper Test, with Answer Key	Deborah Phillips	Pearson Longman	9780131847187
2	Longman Introductory Course for the TOEFL Test: The Paper Test, CD set	Deborah Phillips	Pearson Longman	9780131847163
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	留学英語対策講座					担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1120690	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号							

#### 授業概要

To succeed on the TOEFL, linguistic knowledge is of course vital. On the paper-based test, the language skills of listening and reading are also important. However, to maximise your potential score it is also essential to have a deep understanding of the test format and the strategies that can help you on the different sections. In this course, we will look in detail at the three sections — Listening Comprehension, Structure and Written Expression, and Reading Comprehension — and discover some of the techniques and strategies to tackle the questions in each. We will also study key vocabulary frequently found in the TOEFL. Finally, students will use this knowledge to create TOEFL-style questions.

#### 到達目標

The overall goal of this course is to improve the students' TOEFL scores. Specifically, the course aims to further familiarise students with the various sections of the TOEFL paper-based test, and to look at test taking strategies and key vocabulary.

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	Participation: 30% Quizzes: 40% Question making projects: 30%

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	The complete guide to the TOEFL test (PBT edition)	Rogers, B.	HEINLE CENGAGE	978-1-111-22059-4
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	Advanced Academic English I				担当教員	Martin Hawkes	
講義コード	1120695	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	301ENG304, 137PEN209						

#### 授業概要

To succeed on the TOEFL, linguistic knowledge is of course vital. On the paper-based test, the language skills of listening and reading are also important. However, to maximise your potential score it is also essential to have a deep understanding of the test format and the strategies that can help you on the different sections. In this course, we will look in detail at the three sections — Listening Comprehension, Structure and Written Expression, and Reading Comprehension — and discover some of the techniques and strategies to tackle the questions in each. We will also study key vocabulary frequently found in the TOEFL. Finally, students will use this knowledge to create TOEFL-style questions.

#### 到達目標

The overall goal of this course is to improve the students' TOEFL scores. Specifically, the course aims to further familiarise students with the various sections of the TOEFL paper-based test, and to look at test taking strategies and key vocabulary.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	Participation: 30% Quizzes: 40% Question making projects: 30%

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	The complete guide to the TOEFL test (PBT edition)	Rogers, B.	HEINLE CENGAGE	978-1-111-22059-4
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	留学英語対策講座					担当教員	John Rippey
講義コード	1120700	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号							

#### 授業概要

This course introduces students to the TOEFL iBT (Internet-based test) and provides the opportunity to prepare for that test through practice exercises, both receptive and productive. Through the course, students become familiar with the structure and content of the TOEFL iBT. Students also do significant amounts of academic reading, speaking, and writing. The coursework also further prepares students for the TOEFL ITP (paper-based test). The aims of the course are to strengthen academic English abilities and raise individual TOEFL scores.

#### 到達目標

- (1) Students increase their knowledge of and their working familiarity with the content and characteristics (skills, topics, vocabulary, grammar, question types) of the TOEFL iBT test.
- (2) Students strengthen their performance on TOEFL iBT style exam questions.

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	Achievement of learning goal (1) is measured by performance on a final achievement (review) exam.
レポート課題		
上記以外	50%	Achievement of learning goal (2) is measured by performance on weekly quizzes on homework assignments.

More than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Longman Preparation Course for the TOEFL Test, iBT Speaking	Deborah Phillips	Pearson Longman	978-0-13-515460-1
2	Longman Preparation Course for the TOEFL Test, iBT Writing	Deborah Phillips	Pearson Longman	978-0-13-612657-7
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	留学英语対策講座				担当教員	John Rippey	
講義コード	1120700	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号							

#### 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Course Introduction	Overview of the TOEFL-iBT test, study strategies, and course materials.
第2回	Independent Writing	Homework reading review, overview and practice of independent writing questions.
第3回	Independent Speaking	Homework reading review, overview and practice of independent speaking questions.
第4回	Integrated Writing	Homework reading review, overview and practice of integrated writing questions.
第5回	Integrated Speaking	Homework reading review, overview and practice of integrated speaking questions.
第6回	Writing Practice Tests (1)	Homework reading review, writing section rehearsal and discussion.
第7回	Speaking Practice Tests (1)	Homework reading review, speaking section rehearsal and discussion.
第8回	Writing Practice Tests (2)	Homework reading review, writing section rehearsal and discussion.
第9回	Speaking Practice Tests (2)	Homework reading review, speaking section rehearsal and discussion.
第10回	Writing Practice Tests (3)	Homework reading review, writing section rehearsal and discussion.
第11回	Speaking Practice Tests (3)	Homework reading review, speaking section rehearsal and discussion.
第12回	Writing Practice Tests (4)	Homework reading review, writing section rehearsal and discussion.
第13回	Speaking Practice Tests (4)	Homework reading review, speaking section rehearsal and discussion.
第14回	Review	Overview of all coursework and preview of the final examination.
第15回	Plans of Study	Consultation and generation of individual plans for future TOEFL study.

#### 担当者から一言

Homework is assigned each week and characteristically consists of TOEFL reading sections. The TOEFL-iBT is a challenging test, and this course involves a relatively heavy workload.

講義名	Advanced Academic English II				担当教員	John Rippey	
講義コード	1120705	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	301ENG404, 137PEN210						

#### 授業概要

This course introduces students to the TOEFL iBT (Internet-based test) and provides the opportunity to prepare for that test through practice exercises, both receptive and productive. Through the course, students become familiar with the structure and content of the TOEFL iBT. Students also do significant amounts of academic reading, speaking, and writing. The coursework also further prepares students for the TOEFL ITP (paper-based test). The aims of the course are to strengthen academic English abilities and raise individual TOEFL scores.

#### 到達目標

- (1) Students increase their knowledge of and their working familiarity with the content and characteristics (skills, topics, vocabulary, grammar, question types) of the TOEFL iBT test.  
(2) Students strengthen their performance on TOEFL iBT style exam questions.

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	Achievement of learning goal (1) is measured by performance on a final achievement (review) exam.
レポート課題		
上記以外	50%	Achievement of learning goal (2) is measured by performance on weekly quizzes on homework assignments.

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Longman Preparation Course for the TOEFL Test, iBT Speaking	Deborah Phillips	Pearson Longman	978-0-13-515460-1
2	Longman Preparation Course for the TOEFL Test, iBT Writing	Deborah Phillips	Pearson Longman	978-0-13-612657-7
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	English for Business				担当教員	Fuisting Bjorn	
講義コード	1120715	単位数	1	開講期			前期集中
ナンバリング番号	301ENG405,237PEN308						

#### 授業概要

In this course the emphasis is on communication in business situations. Students will develop their oral and communication skills. They will learn the some key business skills such as introduction, business presentations and discussing graphs.

By the end of this course you should be able to:

- be comfortable meeting business partners
- be able to make bookings and requests
- be able to discuss graphs
- be able to make a short business presentation

#### 到達目標

This is a 3 day Business English course and the focus will be on communication and pair/group work.

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	Attendance & active participation: 40% Quizzes & homework: 20%

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Handouts will be provided.

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	English for Business					担当教員	Fuisting Bjorn
講義コード	1120715	単位数	1	開講期	前期集中		
ナンバリング番号	301ENG405,237PEN308						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Class 1	Introductions and small talk
第2回	Class 2	Making bookings and requests
第3回	Class 3	Business emails
第4回	Class 4	Introduction to business presentations
第5回	Class 5	Discussing graphs and charts
第6回	Class 6	Presentation outlines and slides
第7回	Class 7	Presentation practice and peer feedback
第8回	Class 8	Business Presentations

担当者から一言

--

講義名	メディアの英語					担当教員	Walter Klinger
講義コード	1120720	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号							

#### 授業概要

この授業では、生きた英語4技能の総合的な向上を目指す。特に発音とリハーサルに力を入れる。そして、アメリカの歴史を学ぶとともに、楽しみながらコミュニケーション力を身につける。Gone With The Wind 風と共に去りぬ(1939)の脚本と一緒に音読し、映画を見る。テーマについて議論する。前の週の内容の要点をまとめる。学生が選んだシーンを演じ、毎週のシーンのコメントを書いて、エッセイとして作成する。完成したエッセイを教師にメールで送る。宝塚劇場のミュージカル、フランスのミュージカル、アメリカのテレビ・パロディも参考にする。

#### 到達目標

Students will be able to speak English with (1)good pronunciation, (2)fluency, (3)good delivery, and (4)grammatical accuracy. Students will be able to write (5)grammatically correct (6)complex sentences and paragraphs (proficient use of a wide range of structures & stylistic devices), and (7)spell and punctuate accurately.

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	Essay: 50%. Write your comments for the scenes studied in each class. Collect them into one essay. The teacher will check your essay in class and correct your errors and give you a grade.
上記以外	50	Performance: 50%. Students in pairs or small groups will perform a scene studied in class.

国際コミュニケーション学科:欠席が4回を超える場合は評価の対象としない

#### 授業外学習

Practice and memorize the scene for performance (6 hours).  
Write your comments for each class (9 hours).

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	風と共に去りぬ Gone With the Wind	豊泉暁子/Walter Klinger (編集)	フォーイン スクリーンプレイ	978-489407-422-4
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Went with the Wind: The Carol Burnett Show's Parody of Gone with the Wind	Walter Klinger	滋賀県立大学国際教育センター研究紀要 No.15.	
2	Introduction to Screenplay's Gone with the Wind	Walter Klinger	滋賀県立大学国際教育センター研究紀要 No. 14	
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	メディアの英語					担当教員	Walter Klinger
講義コード	1120720	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Love of the Land	ガイダンス。授業の概要、成績評価の方法について。映画の「Love of the Land (土地への愛情)」の朗読、視聴。コメントを書く
第2回	Twelve Oaks	先週の復習。Twelve Oaks (トゥエルヴ・オークス)の朗読、視聴、コメントを書く
第3回	Young Widow	Young Widow (若い未亡人)の朗読、視聴、コメントを書く
第4回	When the war is over	When the war is over (戦争が終わったら)の朗読、視聴、コメントを書く
第5回	Panic in Atlanta	Panic in Atlanta (大混乱のアトランタ)の朗読、視聴、コメントを書く
第6回	Going Home	Going Home (故郷に帰る)の朗読、視聴、コメントを書く
第7回	Yankee Deserter	Yankee Deserter (北軍の脱走兵)の朗読、視聴、コメントを書く
第8回	Ashley Returns	Ashley Returns (アシュレーの帰還)の朗読、視聴、コメントを書く
第9回	Shantytown Attack	Shantytown Attack (貧民街の襲撃)の朗読、視聴、コメントを書く
第10回	Marriage to Rhett	Marriage to Rhett (レットとの結婚) & Tomorrow Is Another Day (明日はまた新しい日)の朗読、視聴、コメントを書く
第11回	Went with the Wind	参考エッセイを朗読、テレビ・パロディを視聴。演技のためのシーンの選択
第12回	Rehearsal	ペア又はグループで選択したシーンのリハーサル
第13回	Performance	ひとつのグループが演技をし、他の学生が評価をする
第14回	Commentary	Part 1のエッセイを作成し、教師に見せる。宝塚劇場のミュージカルの視聴
第15回	Commentary	Part 2のエッセイを作成し、教師に見せる。宝塚劇場のミュージカルの視聴
担当者から一言		

講義名	English in Media					担当教員	Walter Klinger
講義コード	1120725	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	301ENG305, 337LAC208						

#### 授業概要

この授業では、生きた英語 4 技能の総合的な向上を目指す。特に発音とリハーサルに力を入れる。そして、アメリカの歴史を学ぶとともに、楽しみながらコミュニケーション力を身につける。Gone With The Wind 風と共に去りぬ (1939) の脚本と一緒に音読し、映画を見る。テーマについて議論する。前の週の内容の要点をまとめる。学生が選んだシーンを演じ、毎週のシーンのコメントを書いて、エッセイとして作成する。完成したエッセイを教師にメールで送る。宝塚劇場のミュージカル、フランスのミュージカル、アメリカのテレビ・パロディも参考にする。

#### 到達目標

Students will be able to speak English with (1)good pronunciation, (2)fluency, (3)good delivery, and (4)grammatical accuracy. Students will be able to write (5)grammatically correct (6)complex sentences and paragraphs (proficient use of a wide range of structures & stylistic devices), and (7)spell and punctuate accurately.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	Essay: 50%. Write your comments for the scenes studied in each class. Collect them into one essay. The teacher will check your essay in class and correct your errors and give you a grade.
上記以外	50	Performance: 50%. Students in pairs or small groups will perform a scene studied in class.

国際コミュニケーション学科:欠席が4回を超える場合は評価の対象としない

#### 授業外学習

Practice and memorize the scene for performance (6 hours).  
Write your comments for each class (9 hours).

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	風と共に去りぬ Gone With the Wind	豊泉暁子/Walter Klinger (編集)	フォーイン スクリーンプレイ	978-489407-422-4
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Went with the Wind: The Carol Burnett Show 's Parody of Gone with the Wind	Walter Klinger	滋賀県立大学国際教育センター研究紀要 No.15.	
2	Introduction to Screenplay 's Gone with the Wind	Walter Klinger	滋賀県立大学国際教育センター研究紀要 No. 14	
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	実用英語演習 A (火1限)				担当教員	吉田 亞矢	
講義コード	1120730	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG207						

#### 授業概要

名作映画『カサブランカ』を鑑賞しながら、本映画を題材にしたTOEIC形式のテキストを用いて、TOEIC受験に対応できる英語力養成を目指す。文理の如何に関わらず、TOEICに慣れ親しみ、高スコアを取得しておくことは、将来の就職活動において有利となるばかりではなく、自身の英語学習の上達を知るうえで参考かつ励みとなる。また、ヴィシー政府の支配下にあったフランス領モロッコのカサブランカを舞台とする本編を通じて、英語母語話者以外の人々による英語にも慣れ親しむことは、2006年以降の新TOEICのリスニング対策にも大変効果的であろう。アメリカ映画協会名台詞ベスト100の中に、本編の台詞が6つランクインしている。どの場面でも見られるユーモアと皮肉に満ちた台詞は、暗唱するに値する。LL教室の設備を活用し、心に残る歌詞や名台詞を練習・録音し、美しい英語のリズムを最大限に味わいたい。

#### 到達目標

- (1) TOEICの出題形式と解き方を十分に理解して解答するスキルを習得する
- (2) 本編の見所を字幕なしで鑑賞する
- (3) 予習・復習の習慣を定着させ、語彙知識と本編の内容理解を深める

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30%	到達目標(1)について、期末テストで評価。
レポート課題		
上記以外	70%	到達目標(2)について、到達度確認テストを2回行い、全体の40%として評価。 到達目標(3)について、毎回小テストを行い、全体の30%として評価。

履修登録時点で、到達目標であるTOEICスコア500点を達成している(IPテストでのスコアも可)場合は、本科目の単位を認定する(評価は「認定」)。

#### 授業外学習

これまでの学習内容、これからの学習内容を効果的に定着させるため、授業の復習・予習などの授業外学習は欠かさず行うこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	めざせ!600 名作映画でTOEIC カサブランカ	Kay Nakagoほか	英宝社	978-4-269-66028-1
2				
3				

初回授業でテキストの説明・導入を予定しているため、各自必ず購入を済ませて持参すること。また、受講者自らが問題に取り組み、理解を深めて

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	カサブランカ(名作映画完全セリフ集スクリーンプレイ・シリーズ)	曽根田 純子	フォーインスクリーンプレイ事業部	978-4894074194
2	カサブランカ(別冊宝島1407名作映画で英会話シリーズ2)	藤田 英時	宝島社	978-4796657358
3				

・参考書1『カサブランカ(名作映画完全セリフ集スクリーンプレイ・シリーズ)』は、学内図書館に蔵書あり。

#### 前提学力等

<辞書について>  
外国語学習にとって辞書は必須アイテムである。英語の電子辞書または紙媒体の辞書を必ず持参すること。なお、携帯電話やスマートフォンなどの

#### 履修資格



講義名	実用英語演習 A (火1限)				担当教員	村上 幸太郎	
講義コード	1120731	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG207						

#### 授業概要

この授業では、TOEICで高得点を獲得することを目指し、TOEIC形式の問題演習を行う。リスニング・リーディングの両方の能力を高め、前期終了後にはTOEICを受験してもらいたい。また、1分間スピーチなど、英語を話す時間も設けているので、積極的に英語で話す姿勢を持って授業に臨むこと。

#### 到達目標

- (1) TOEIC形式の問題演習を積むことによるスコアの向上
- (2) 単語テストによる語彙の増強
- (3) 1分間スピーチによるスピーキング能力の向上

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	試験の内容は教科書に準拠します。評価の詳細は下記に添付するファイルを参照のこと。
レポート課題		
上記以外	60%	中間テスト...20% 単語テスト...10% 平常授業への貢献度...30%

欠席が4回を超えた場合は評価の対象としない。  
10分以上遅刻した場合は冒頭で行う単語テストを受けられないので、必然的に平常点が下がります。

#### 授業外学習

新出単語は事前に覚えておくこと。  
インターネットを利用したリンガポルタでの学習も推奨します(詳しくは下記URL参照)。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	TOEICテスト究極アプローチ	松本恵美子	成美堂	9784791947898
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	実用英語演習 A (火2限)				担当教員	吉田 亞矢	
講義コード	1120732	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG207						

#### 授業概要

名作映画『カサブランカ』を鑑賞しながら、本映画を題材にしたTOEIC形式のテキストを用いて、TOEIC受験に対応できる英語力養成を目指す。文理の如何に関わらず、TOEICに慣れ親しみ、高スコアを取得しておくことは、将来の就職活動において有利となるばかりではなく、自身の英語学習の上達を知るうえで参考かつ励みとなる。また、ヴィシー政府の支配下にあったフランス領モロッコのカサブランカを舞台とする本編を通じて、英語母語話者以外の人々による英語にも慣れ親しむことは、2006年以降の新TOEICのリスニング対策にも大変効果的であろう。アメリカ映画協会名台詞ベスト100の中に、本編の台詞が6つランクインしている。どの場面でも見られるユーモアと皮肉に満ちた台詞は、暗唱するに値する。LL教室の設備を活用し、心に残る歌詞や名台詞を練習・録音し、美しい英語のリズムを最大限に味わいたい。

#### 到達目標

- (1) TOEICの出題形式と解き方を十分に理解して解答するスキルを習得する
- (2) 本編の見所を字幕なしで鑑賞する
- (3) 予習・復習の習慣を定着させ、語彙知識と本編の内容理解を深める

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30%	到達目標(1)について、期末テストで評価。
レポート課題		
上記以外	70%	到達目標(2)について、到達度確認テストを2回行い、全体の40%として評価。 到達目標(3)について、毎回小テストを行い、全体の30%として評価。

履修登録時点で、到達目標であるTOEICスコア500点を達成している(IPテストでのスコアも可)場合は、本科目の単位を認定する(評価は「認定」)。

#### 授業外学習

これまでの学習内容、これからの学習内容を効果的に定着させるため、授業の復習・予習などの授業外学習は欠かさず行うこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	めざせ!600 名作映画でTOEIC カサブランカ	Kay Nakagoほか	英宝社	978-4-269-66028-1
2				
3				

初回授業でテキストの説明・導入を予定しているため、各自必ず購入を済ませて持参すること。また、受講者自らが問題に取り組み、理解を深めて

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	カサブランカ(名作映画完全セリフ集スクリーンプレイ・シリーズ)	曽根田 純子	フォーインスクリーンプレイ事業部	978-4894074194
2	カサブランカ(別冊宝島 1407 名作映画で英会話シリーズ 2)	藤田 英時	宝島社	978-4796657358
3				

・参考書1『カサブランカ(名作映画完全セリフ集スクリーンプレイ・シリーズ)』は、学内図書館に蔵書あり。

#### 前提学力等

<辞書について>  
外国語学習にとって辞書は必須アイテムである。英語の電子辞書または紙媒体の辞書を必ず持参すること。なお、携帯電話やスマートフォンなどの

#### 履修資格

講義名	実用英語演習 A (火2限)				担当教員	吉田 亜矢	
講義コード	1120732	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG207						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	・授業概要や方針についての説明 ・映画紹介
第2回	Act 1 Everybody comes to Rick's	【前半】 ・小テスト
第3回	Act 2 Waiting in Casablanca	【前半】 ・小テスト
第4回	Act 3 I stick my neck out for nobody	【前半】 ・小テスト
第5回	Act 4 Your business is politics	【前半】 ・小テスト
第6回	Act 5 A lot of water under the bridge	【前半】 ・小テスト
第7回	Act 6 Here's looking at you, kid	【前半】 ・小テスト
第8回	到達度確認テスト(1)	本編前半 (Act 1 - 6) の内容に関するテストを実施
第9回	Act 7 It hasn't changed	【前半】 ・小テスト
第10回	Act 8 At a Blue Parrot	【前半】 ・小テスト
第11回	Act 9 Pro-Vichy or Free French	【前半】 ・小テスト
第12回	Act 10 La Marseillaise	【前半】 ・小テスト
第13回	Act 11 Destiny has taken a hand	【前半】 ・小テスト
第14回	Act 12 We'll always have Paris	【前半】 ・小テスト
第15回	到達度確認テスト(2)	本編後半 (Act 7 - 12) の内容に関するテストを実施

担当者から一言

通年で進めても盛りだくさんの内容のテキストを半期でこなします。そのためには、毎回の予習・復習はもちろんのこと、授業への積極的な参加が前提となります。モノカラーの映画ですので古臭く感じたり、また、なぜ名作と呼ばれているのか疑問に思う受講者もいるかもしれませんが、本授業

講義名	実用英語演習 A (火2限)				担当教員	坂元 敦子	
講義コード	1120733	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG207						

#### 授業概要

この授業ではTOEIC形式のテキストを使用し、基礎的な語彙力をつけながら試験の形式に慣れ、試験で高得点を取得することを目指す。テキストは各章が「ショッピング」・「健康」・「レジャー」といったひとつのトピックを扱っており、英語圏の生活や文化を学びながら試験問題に取り組むことができる。またテキストのトピックに関連した、トラベルやショッピング等のスキット(プリント)を配布し、TOEICのトピックや表現がどのように実生活に応用できるかも確認する。授業では毎回、ペアワークやグループワークを行い、シチュエーションに応じた会話の練習をする。また語彙力をつけるために毎回単語のテストを行う。  
授業計画等は、授業の進度によって変更する場合がある。

#### 到達目標

TOEICの形式に慣れ、どのパートでもスムーズに解答できるようにする。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	TOEICの形式に慣れ、リスニングとリーディング能力を高める。
レポート課題	10%	自宅でリサーチをしたり単語を調べたりする。
上記以外	40%	単語テストで単語力を確認する。 ペアやグループでクラスの活動を積極的にする。

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

#### 授業外学習

必ず自宅で予習をすること。単語を調べて単語帳を作る。関連するスキットについては、授業中に指示する資料やホームページ等を参考にする。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Basic Skills for the TOIEC Test 550	David Farnellほか	英宝社	9784269660274
2	新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000		旺文社	9784010900765
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	実用英語演習 A (火2限)				担当教員	坂元 敦子	
講義コード	1120733	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG207						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション、Lesson 1	授業概要の説明と紹介、TOEICについて、サンプルテスト
第2回	Lesson 1	単語試験、リスニング/リーディング問題
第3回	Lesson 2	単語試験、リスニング/リーディング問題、スキット練習
第4回	Lesson 3	単語試験、リスニング/リーディング問題
第5回	Lesson 4	単語試験、リスニング/リーディング問題、スキット練習
第6回	Lesson 5	単語試験、リスニング/リーディング問題
第7回	Lesson 6/プリント	単語試験、リスニング/リーディング問題、スキット練習
第8回	中間発表と確認テスト	課題の発表と確認テスト
第9回	Lesson 7	単語試験、リスニング/リーディング問題、スキット練習
第10回	Lesson 8	単語試験、リスニング/リーディング問題
第11回	Lesson 9	単語試験、リスニング/リーディング問題、スキット練習
第12回	Lesson 10	単語試験、リスニング/リーディング問題
第13回	Lesson 11	単語試験、リスニング/リーディング問題、スキット練習
第14回	課題の発表	発表とサンプルテスト
第15回	まとめと発表	課題の発表とTOEIC試験についての再確認
担当者から一言		

講義名	実用英語演習 A (火2限)				担当教員	村上 幸太郎	
講義コード	1120734	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG207						

#### 授業概要

この授業では、TOEICで高得点を獲得することを目指し、TOEIC形式の問題演習を行う。リスニング・リーディングの両方の能力を高め、前期終了後にはTOEICを受験してもらいたい。また、1分間スピーチなど、英語を話す時間も設けているので、積極的に英語で話す姿勢を持って授業に臨むこと。

#### 到達目標

- (1) TOEIC形式の問題演習を積むことによるスコアの向上
- (2) 単語テストによる語彙の増強
- (3) 1分間スピーチによるスピーキング能力の向上

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	試験の内容は教科書に準拠します。評価の詳細は下記に添付するファイルを参照のこと。
レポート課題		
上記以外	60%	中間テスト...20% 単語テスト...10% 平常授業への貢献度...30%

欠席が4回を超えた場合は評価の対象としない。  
10分以上遅刻した場合は冒頭で行う単語テストを受けられないので、必然的に平常点が下がります。

#### 授業外学習

新出単語は事前に覚えておくこと。  
インターネットを利用したリンガポルタでの学習も推奨します(詳しくは下記URL参照)。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	TOEICテスト究極アプローチ	松本恵美子	成美堂	9784791947898
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	実用英語演習 A (火2限)					担当教員	村上 幸太郎
講義コード	1120734	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	201ENG207						

### 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	自己紹介、授業の進め方・評価方法の説明
第2回	Unit 1 Entertainment	単語テスト、1分間スピーチ、問題演習
第3回	Unit 2 Transportation/Airport	単語テスト、1分間スピーチ、問題演習
第4回	Unit 3 Technology/Office Supplies	単語テスト、1分間スピーチ、問題演習
第5回	Unit 4 Housing/Building/Construction	単語テスト、1分間スピーチ、問題演習
第6回	Unit 5 Sightseeing/Guided Tour	単語テスト、1分間スピーチ、問題演習
第7回	Unit 6 Eating out/ Restaurant	単語テスト、1分間スピーチ、問題演習
第8回	中間テスト、総まとめ	中間テスト、総復習
第9回	Unit 7 Hospital/Health	単語テスト、1分間スピーチ、問題演習
第10回	Unit 8 Finance/Budget/Salary	単語テスト、1分間スピーチ、問題演習
第11回	Unit 9 Hobby/Sport/Art	単語テスト、1分間スピーチ、問題演習
第12回	Unit 10 Education/Schools	単語テスト、1分間スピーチ、問題演習
第13回	Unit 11 Hotel/Service	単語テスト、1分間スピーチ、問題演習
第14回	Unit 12 Shopping/Purchases	単語テスト、1分間スピーチ、問題演習
第15回	Unit 13 Personnel/Training	単語テスト、1分間スピーチ、問題演習

### 担当者から一言

TOEICのスコア向上は皆さんの海外への扉を開ききっかけとなると思います。一緒に頑張りましょう！

講義名	実用英語演習 A (火2限)				担当教員	岡本 マイケル	
講義コード	1120735	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG207						

#### 授業概要

Through this course, students will learn various techniques and skills to receive a higher score on the TOEIC test. Although time will be spent on studying the TOEIC test, students will also encounter other sources of media that will assist with their studying through a variety of in-class and out-of-class homework activities.

#### 到達目標

This course aims to develop and expand on the learners' existing knowledge of English in general, particular knowledge relating to TOEIC. All four language skills will be covered with primary emphasis on listening and reading. Students will also be introduced to learning techniques with a focus on vocabulary through technology.

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	55	15% for evaluation based on listening abilities. 15% for evaluation based on reading abilities. 25% for final evaluation based on both reading and listening abilities.
レポート課題		
上記以外	45	25% weekly homework and vocabulary study on memrise.com 20% for active in-class participation

If students miss more than 3 classes, 3 points will be reduced for each additional absence.

#### 授業外学習

Students are expected to use the memrise.com website to study vocabulary every week.

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	TOEIC テスト 新公式問題集Vol.6		ETS TOEIC	978-4-906033-46-1
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	10 Weird and Strange English Stories	Michael Okamoto	Createspace Independent Publishing Platform	978-1519613066
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	実用英語演習 A (火3限)				担当教員	Graham Jones	
講義コード	1120736	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG207						

#### 授業概要

This class will help students use English as a practical tool for working with others, sharing thoughts and ideas, and making things happen.

The 15-week course is built around the movie Europa Report (2013): students will improve their language skills through watching the movie, reading the script, and doing practical activities on the themes of enquiry, teamwork and exploration.

We will also look at why it is OK for students to make mistakes (!) when using English, and discuss ways students can continue to develop their practical English skills in the future.

#### 到達目標

Students will be more effective at using English as a practical tool for working with others, sharing thoughts and ideas, and making things happen.

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	The teacher will have a 5-minute, 1-to-1 meeting with each student. The student will be given 3 minutes to talk about the most interesting thing (or things) he or she learned on this course. This will be followed by a short discussion.
レポート課題		
上記以外		

#### 授業外学習

Reading script (3 hours)  
Practising dialogue (3 hours)

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

The teacher will provide handouts (for example, pages from the script) each week

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

該当なし。

#### 履修資格

講義名	実用英語演習 A (火3限)					担当教員	Graham Jones
講義コード	1120736	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	201ENG207						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Introduction	About you, and your aims for this course
第2回	English as a tool for global communication	The Copernican Principle, and how it applies to English
第3回	It is OK to make mistakes	Everyone makes mistakes! We look at two high-profile language mistakes from the Apollo 11 mission
第4回	Practical English and the world of movies	Using movies and movie scripts to develop English skills
第5回	Theme 1 - enquiry	Introduction to the theme
第6回	Europa Report - part 1 - movie	We watch the opening third of the movie
第7回	Europa Report - part 1 - script	We do activities using the opening third of the script
第8回	Theme 2 - teamwork	Introduction to the theme
第9回	Europa Report - part 2 - movie	We watch the middle third of the movie
第10回	Europa Report - part 2 - script	We do activities using the middle third of the script
第11回	Theme 3 - exploration	Introduction to the theme
第12回	Europa Report - part 3 - movie	We watch the final third of the movie
第13回	Europa Report - part 3 - script	We do activities using the final third of the script
第14回	Review	Feedback, review, and ways to continue to develop your English skills in the future
第15回	Test	Speaking test

担当者から一言

講義名	実用英語演習 A (火3限)				担当教員	Walter Klinger	
講義コード	1120737	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG207						

#### 授業概要

We read aloud the scenario dialogue of the movie The Wizard of Oz オズの魔法使 (1939) and watch the scenes. Then we will write in missing words into a handout of the dialogue script. Students in pairs will perform one page of the script.

#### 到達目標

Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly, memorize required material) and (3) good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech, apply class material such as vocabulary and sentence patterns). Their English will also be (4) grammatically correct.

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	Oral Presentation 100% (Teacher 's evaluation: Objectives 1,2,3,4. Each 25%)

Evaluation criteria 評価基準:  
Pronunciation 発音 (especially "l" and "th")  
Fluency 流ちょうさ (ためらう無し)

#### 授業外学習

(1週間に約1時間) Read the scenario script and pay attention to the sentence structures and spelling. Practice your Oral Presentation.

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

handouts

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	実用英語演習 A (火3限)					担当教員	Walter Klinger
講義コード	1120737	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	201ENG207						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	Home in Kansas	Course outline and grading information. Movie Scenes: Home in Kansas – Professor Marvel.
第2回	Munchkinland	Summary of last week's scenes. Movie Scenes: The Tornado - Munchkinland.
第3回	Scarecrow-Tin Man	Summary of last week's scenes. Movie Scenes: Munchkinland - Tin Man.
第4回	Lion-Poppies	Summary of last week's scenes. Movie Scenes: Tin Man - Poppies.
第5回	The Wizard	Summary of last week's scenes. Movie Scenes: Emerald City – The Wizard.
第6回	Witch's Castle	Summary of last week's scenes. Movie Scenes: The Wizard - Witch's Castle.
第7回	The Promises	Summary of last week's scenes. Movie Scenes Witch's Castle - The Promises.
第8回	No Place Like Home	Summary of last week's scenes. Movie Scenes: The Balloon - No Place Like Home.
第9回	Choose a section.	Two students together study about three columns of the script, reading aloud together.
第10回	Read aloud.	Continue practicing your dialogue.
第11回	Read aloud.	Oral Presentation. Read aloud to the teacher.
第12回	Read aloud.	Oral Presentation continued.
第13回	Scene 1	Read the script and watch the scenes of another movie.
第14回	Scene 2	Continue reading the script and watching the scenes.
第15回	Scene 3	Continue reading the script and watching the scenes.
担当者から一言		

講義名	実用英語演習 A (火3限)				担当教員	坂元 敦子	
講義コード	1120738	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG207						

#### 授業概要

この授業ではTOEIC形式のテキストを使用し、基礎的な語彙力をつけながら試験の形式に慣れ、試験で高得点を取得することを目指す。テキストは各章が「ショッピング」・「健康」・「レジャー」といったひとつのトピックを扱っており、英語圏の生活や文化を学びながら試験問題に取り組むことができる。またテキストのトピックに関連した、トラベルやショッピング等のスキット(プリント)を配布し、TOEICのトピックや表現がどのように実生活に応用できるかも確認する。授業では毎回、ペアワークやグループワークを行い、シチュエーションに応じた会話の練習をする。また語彙力をつけるために毎回単語のテストを行う。  
授業計画等は、授業の進度によって変更する場合がある。

#### 到達目標

TOEICの形式に慣れ、どのパートでもスムーズに解答できるようにする。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	TOEICの形式に慣れ、リスニングとリーディング能力を高める。
レポート課題	10%	自宅でリサーチをしたり単語を調べたりする。
上記以外	40%	単語テストで単語力を確認する。 ペアやグループでクラスの活動を積極的にする。

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

#### 授業外学習

必ず自宅で予習をすること。単語を調べて単語帳を作る。関連するスキットについては、授業中に指示する資料やホームページ等を参考にする。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Basic Skills for the TOIEC Test 550	David Farnellほか	英宝社	9784269660274
2	新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000		旺文社	9784010900765
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	実用英語演習 A (火3限)				担当教員	渡 寛法	
講義コード	1120739	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG207						

#### 授業概要

本授業は、TOEICのスコアアップを目指し、リスニングおよびリーディング能力の養成を目的とします。毎回テキストに沿ってTOEICで求められる基本的な文法事項を確認し、問題演習を行います。授業では、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアワークやグループワークで実際に英語を使う訓練も積み重ねていきます。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、120分に耐える集中力や、200問を解ききる瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、英語力向上に向けたトレーニングを行います。

#### 到達目標

- (1) TOEICの出題形式や出題意図を理解し、時間内に解答することができる。(2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。(3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標(1)に関しては、到達度確認テスト、および期末試験で評価します(40%)。
レポート課題		
上記以外	60	到達目標(2)に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し(30%)、到達目標(3)に関しては、各回の小テストで評価します(30%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

#### 授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『SEIZE THE CORE OF THE TOEIC TEST』	安丸雅子ほか	金星堂	978-4-7647-4004-4
2				
3				

初回授業には時間を測れるストップウォッチ(スマートフォンでも計測機能があればOK)を持ってきてください。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「意味順」で学ぶ英会話	田田野彰(監修)	日本能率協会マネジメントセンター	978-4820749592
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	実用英語演習 A (火3限)				担当教員	渡 寛法	
講義コード	1120739	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG207						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	自己紹介、授業の進め方についての説明、ワークシートの記入。
第2回	Unit 1	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第3回	Unit 2	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第4回	Unit 3	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第5回	Unit 4	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第6回	Unit 5	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第7回	Unit 6	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第8回	Review 1	ここまでの到達度確認テストを行う。
第9回	Unit 7	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第10回	Unit 8	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第11回	Unit 9	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第12回	Unit 10	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第13回	Unit 11	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第14回	Unit 12	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第15回	Review 2	到達度確認テスト、および、振り返りシートの作成。

担当者から一言

「飛行機はいつも遅れ、頼んだ荷物は届かず、職場のコピー機はしょっちゅうインク切れ...」、そんなハードなTOEICワールドを楽しみつつ、英語力を磨いていきましょう!

講義名	実用英語演習 B (火1限)				担当教員	村上 幸太郎	
講義コード	1120740	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG208						

#### 授業概要

この授業では、TOEICで高得点を獲得することを目指し、TOEIC形式の問題演習を行う。リスニング・リーディングの両方の能力を高め、後期終了後にはTOEICを受験してもらいたい。また、1分間スピーチなど、英語を話す時間も設けているので、積極的に英語で話す姿勢を持って授業に臨むこと。

#### 到達目標

- (1) TOEIC形式の問題演習を積むことによるスコアの向上
- (2) 単語テストによる語彙の増強
- (3) 1分間スピーチによるスピーキング能力の向上

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	試験の内容は教科書に準拠します。評価の詳細は下記に添付するファイルを参照のこと。
レポート課題		
上記以外	60%	中間テスト...20% 単語テスト...10% 平常授業への貢献度...30%

欠席が4回を超えた場合は評価の対象としない。  
10分以上遅刻した場合は冒頭で行う単語テストを受けられないので、必然的に平常点が下がります。

#### 授業外学習

新出単語は事前に覚えておくこと。  
インターネットを利用したリンガポルタでの学習も推奨します(詳しくは下記URL参照)。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	TOEICテスト実践と徹底理解	Miles Craven	成美堂	978479190199
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	実用英語演習 B (火1限)				担当教員	村上 幸太郎	
講義コード	1120740	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG208						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	自己紹介、授業の進め方・評価方法の説明
第2回	Unit 1 Photographs 1	単語テスト、1分間スピーチ、問題演習
第3回	Unit 9 Incomplete Sentences	単語テスト、1分間スピーチ、問題演習
第4回	Unit 2 Question-Responses 1	単語テスト、1分間スピーチ、問題演習
第5回	Unit 11 Text-Completion 1	単語テスト、1分間スピーチ、問題演習
第6回	Unit 3 Conversations 1	単語テスト、1分間スピーチ、問題演習
第7回	Unit 13 Reading Comprehension 1	単語テスト、1分間スピーチ、問題演習
第8回	中間テスト、総まとめ	中間テスト、総復習
第9回	Unit 2 Photographs 2	単語テスト、1分間スピーチ、問題演習
第10回	Unit 10 Incomplete Sentences 2	単語テスト、1分間スピーチ、問題演習
第11回	Unit 4 Question-Response 2	単語テスト、1分間スピーチ、問題演習
第12回	Unit 12 Text Completion 2	単語テスト、1分間スピーチ、問題演習
第13回	Unit 6 Conversations 2	単語テスト、1分間スピーチ、問題演習
第14回	Unit 14 Reading Comprehension 2	単語テスト、1分間スピーチ、問題演習
第15回	Unit 7, 8 Short Talks	単語テスト、1分間スピーチ、問題演習

担当者から一言

TOEICのスコア向上は皆さんの海外への扉を開ききっかけとなると思います。一緒に頑張りましょう！

講義名	実用英語演習 B (火1限)				担当教員	吉田 亜矢	
講義コード	1120741	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG208						

#### 授業概要

本授業は、総合的な英語の運用能力を育成することを目的とする。数ある英語の検定試験の中でも、主にTOEICで必要とされるスキルを習得し、さらなるスコアアップを目指す。各パートの出題傾向を把握し、時間配分を守って効率的に解答する術を身に付け、前回受験時のスコア記録を塗り替えよう。TOEICに特有な語彙の強化を図るとともに、時間内に確実に解答を済ませることができるよう、その取り組みの一環として授業ではパソコンを利用して受講者の積極的かつ確実な解答を促す。解答結果や正答率を即座に確認することで、各設問の難易度およびクラス内における自らの正解度の立ち位置を認識することが可能となる。受講者同士で切磋琢磨しながら、試験対策に日頃より緊張感を持って取り組む姿勢を養う。また、TOEICで必要なリスニング力・リーディング力を伸ばすためにも、音読練習やディクテーションなどの発信型技能の鍛錬に励み、最終的にはその他の英語検定試験も視野に入れた勉強法を習得する。

#### 到達目標

- (1) TOEICの出題形式と解き方を十分に理解し、正答率の高い解答をする
- (2) 日常・ビジネス会話における英語の四技能（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養う
- (3) 予復習を徹底させ、TOEIC頻出単語の語彙力強化を目指す

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	到達目標(1)について、授業中の解答・正答率(20%)で評価。 到達目標(2)について、到達度確認テスト(40%)および12月実施予定の学内TOEIC IPまたはTOEIC個人受験の結果(10%)で評価。

履修登録時点で、到達目標であるTOEICスコア700点を達成している（IPテストでのスコアも可）場合は、本科目の単位を認定する（評価は「認定」）。

#### 授業外学習

これまでの学習内容、これからの学習内容を効果的に定着させるため、授業の復習・予習などの授業外学習は欠かさず行うこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Seize the Core of the TOEIC Test	Masako Yasumaruほか	金星堂	978-4-7647-4004-4
2	CNNニュースリスニング2016年秋冬号	CNN English Express (編)	朝日出版社	
3				

教科書1・2共に、初回授業で使用する。各自必ず新しいものを一冊購入して持参すること。教科書がないと固有IDを用いた教科書登録ができず、

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

・適宜、授業中にプリント配布する。

#### 前提学力等

<辞書について>  
外国語学習にとって辞書は必須アイテムである。英語の電子辞書または紙媒体の辞書を必ず持参すること。なお、携帯電話やスマートフォンなどの

#### 履修資格

講義名	実用英語演習 B (火1限)				担当教員	吉田 亞矢	
講義コード	1120741	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG208						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	・授業概要や方針についての説明 ・テキストを用い、教科書登録作業
第2回	Unit 1 Daily Life	【前半 スピーキング&リーディング】 ・オーバーラッピング練習
第3回	Unit 2 Eating Out & Leisure Activities	【前半 スピーキング&リーディング】 ・オーバーラッピング練習
第4回	Unit 3 Cooking & Purchasing	【前半 スピーキング&リーディング】 ・オーバーラッピング練習
第5回	Unit 4 Traffic & Travel	【前半 スピーキング&リーディング】 ・オーバーラッピング練習
第6回	Unit 5 Advertising & ICT	【前半 スピーキング&リーディング】 ・オーバーラッピング練習
第7回	Unit 6 Production & Logistics	【前半 スピーキング&リーディング】 ・オーバーラッピング練習
第8回	到達度確認テスト(1)	・第7回目までの学習内容の確認テストを実施 ・各種英語検定試験の紹介
第9回	Unit 7 Business & Economics	【前半 スピーキング&リーディング】 ・シャドーイング練習
第10回	Unit 8 Employment & Personnel	【前半 スピーキング&リーディング】 ・シャドーイング練習
第11回	Unit 9 Office Work & Correspondence	【前半 スピーキング&リーディング】 ・シャドーイング練習
第12回	Unit 10 Health & the Environment	【前半 スピーキング&リーディング】 ・シャドーイング練習
第13回	Unit 11 Finance & Banking	【前半 スピーキング&リーディング】 ・シャドーイング練習
第14回	Unit 12 Law & Administration	【前半 スピーキング&リーディング】 ・シャドーイング練習
第15回	到達度確認テスト(2)	第14回目までの学習内容の確認テストおよび簡略版TOEIC模擬試験を実施

担当者から一言

今年12月の学内TOEIC IPテストが、現TOEIC IP受験の最後のチャンスとなるでしょう。授業で培った英語力で前回のスコアを大幅に上回って下さい!

講義名	実用英語演習 B (火2限)				担当教員	村上 幸太郎	
講義コード	1120742	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG208						

#### 授業概要

この授業では、TOEICで高得点を獲得することを目指し、TOEIC形式の問題演習を行う。リスニング・リーディングの両方の能力を高め、後期終了後にはTOEICを受験してもらいたい。また、1分間スピーチなど、英語を話す時間も設けているので、積極的に英語で話す姿勢を持って授業に臨むこと。

#### 到達目標

- (1) TOEIC形式の問題演習を積むことによるスコアの向上
- (2) 単語テストによる語彙の増強
- (3) 1分間スピーチによるスピーキング能力の向上

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	試験の内容は教科書に準拠します。評価の詳細は下記に添付するファイルを参照のこと。
レポート課題		
上記以外	60%	中間テスト...20% 単語テスト...10% 平常授業への貢献度...30%

欠席が4回を超えた場合は評価の対象としない。  
10分以上遅刻した場合は冒頭で行う単語テストを受けられないので、必然的に平常点が下がります。

#### 授業外学習

新出単語は事前に覚えておくこと。  
インターネットを利用したリンガポルタでの学習も推奨します(詳しくは下記URL参照)。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	TOEICテスト実践と徹底解説	Miles Craven	成美堂	978479190199
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	実用英語演習 B (火2限)				担当教員	岡本 マイケル	
講義コード	1120743	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG208						

#### 授業概要

Through this course, students will learn various techniques and skills to receive a higher score on the TOEIC test. Although time will be spent on studying the TOEIC test, students will also encounter other sources of media that will assist with their studying through a variety of in-class and out-of-class homework activities.

#### 到達目標

This course aims to develop and expand on the learners' existing knowledge of English in general, particular knowledge relating to TOEIC. All four language skills will be covered with primary emphasis on listening and reading. Students will also be introduced to learning techniques with a focus on vocabulary through technology.

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	55	15% for evaluation based on listening abilities. 15% for evaluation based on reading abilities. 25% for final evaluation based on both reading and listening abilities.
レポート課題		
上記以外	45	25% weekly homework and vocabulary study on memrise.com 20% for active in-class participation

If students miss more than 3 classes, 3 points will be reduced for each additional absence.

#### 授業外学習

Students are expected to use the memrise.com website to study vocabulary every week.

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	TOEIC テスト 新公式問題集Vol.6		ETS TOEIC	978-4-906033-46-1
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	10 Weird and Strange English Stories	Michael Okamoto	Createspace Independent Publishing Platform	978-1519613066
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	実用英語演習 B (火2限)				担当教員	岡本 マイケル	
講義コード	1120743	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG208						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Class orientation	Class explanation, explain memorise.com, ice-breaker activities
第2回	Section 1 Pre-test	Listening introduction and listening section pre-test to understand students' abilities
第3回	Section 1 Part 1	Who am I? Students will study the format part 1 of the TOEIC and do Who am I? activity
第4回	Section 1 Part 2	Conversational analysis- why studying pragmatics is important.
第5回	Section 1 Part 3	Student will study the format of part 3 and use podcasts to assist in their development
第6回	Section 1 Part 4	Student will study the format of part 4 and learn how TOEFL lectures can help develop their TOEIC abilities.
第7回	Listening test	Students will take a listening test to assess their developing skills.
第8回	Section 2 Introduction	Students will learn about the second half of the TOEIC test and take a test to determine their current abilities
第9回	Section 2 Part 5	Student will study the format of part 5 and learn how Mad-libs can help develop their understanding of context.
第10回	Section 2 Part 6	Student will study the format of part 6 and develop a vocabulary dictionary for the TOEIC words they have been studying up until this point.
第11回	Section 2 Part 7	Student will study the format of part 7 and study reading comprehension technique to improve their reading.
第12回	Section 2 Part 7	Student will study the format of part 7 and study how to read quickly. Students will read and talk about short scary stories.
第13回	Reading test	Students will take a reading test to assess their developing skills.
第14回	Review material	Students will review the reading and listening material in preparation for the final exam
第15回	Final exam	Students will take a shortened version of the TOEIC test to evaluate their progress through the semester.

担当者から一言

Studying for the TOEIC shouldn't be boring as long as you know your goal. Let's set our goals and then achieve them together!

講義名	実用英語演習 B (火2限)				担当教員	吉田 亜矢	
講義コード	1120744	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG208						

#### 授業概要

本授業は、総合的な英語の運用能力を育成することを目的とする。数ある英語の検定試験の中でも、主にTOEICで必要とされるスキルを習得し、さらなるスコアアップを目指す。各パートの出題傾向を把握し、時間配分を守って効率的に解答する術を身に付け、前回受験時のスコア記録を塗り替えよう。TOEICに特有な語彙の強化を図るとともに、時間内に確実に解答を済ませることができるよう、その取り組みの一環として授業ではパソコンを利用して受講者の積極的かつ確実な解答を促す。解答結果や正答率を即座に確認することで、各設問の難易度およびクラス内における自らの正解度の立ち位置を認識することが可能となる。受講者同士で切磋琢磨しながら、試験対策に日頃より緊張感を持って取り組む姿勢を養う。また、TOEICで必要なリスニング力・リーディング力を伸ばすためにも、音読練習やディクテーションなどの発信型技能の鍛錬に励み、最終的にはその他の英語検定試験も視野に入れた勉強法を習得する。

#### 到達目標

- (1) TOEICの出題形式と解き方を十分に理解し、正答率の高い解答をする
- (2) 日常・ビジネス会話における英語の四技能（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養う
- (3) 予復習を徹底させ、TOEIC頻出単語の語彙力強化を目指す

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	到達目標(1)について、授業中の解答・正答率(20%)で評価。 到達目標(2)について、到達度確認テスト(40%)および12月実施予定の学内TOEIC IPまたはTOEIC個人受験の結果(10%)で評価。

履修登録時点で、到達目標であるTOEICスコア700点を達成している（IPテストでのスコアも可）場合は、本科目の単位を認定する（評価は「認定」）。

#### 授業外学習

これまでの学習内容、これからの学習内容を効果的に定着させるため、授業の復習・予習などの授業外学習は欠かさず行うこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Seize the Core of the TOEIC Test	Masako Yasumaruほか	金星堂	978-4-7647-4004-4
2	CNNニュースリスニング2016年秋冬号	CNN English Express (編)	朝日出版社	
3				

教科書1・2共に、初回授業で使用する。各自必ず新しいものを一冊購入して持参すること。教科書がないと固有IDを用いた教科書登録ができず、

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

・適宜、授業中にプリント配布する。

#### 前提学力等

<辞書について>  
外国語学習にとって辞書は必須アイテムである。英語の電子辞書または紙媒体の辞書を必ず持参すること。なお、携帯電話やスマートフォンなどの

#### 履修資格



講義名	実用英語演習 B (火2限)				担当教員	坂元 敦子	
講義コード	1120745	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG208						

#### 授業概要

この授業ではTOEIC形式のテキストを使用し、基礎的な語彙力をつけながら試験の形式に慣れ、試験で高得点を取得することを目指す。テキストは各章が「ショッピング」・「健康」・「レジャー」といったひとつのトピックを扱っており、英語圏の生活や文化を学びながら試験問題に取り組むことができる。またテキストのトピックに関連した、トラベルやショッピング等のスキット(プリント)を配布し、TOEICのトピックや表現がどのように実生活に応用できるかも確認する。授業では毎回、ペアワークやグループワークを行い、シチュエーションに応じた会話の練習をする。また語彙力をつけるために毎回単語のテストを行う。  
授業計画等は、授業の進度によって変更する場合がある。

#### 到達目標

TOEICの形式に慣れ、どのパートでもスムーズに解答できるようにする。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	TOEICの形式に慣れ、リスニングとリーディング能力を高める。
レポート課題	10%	自宅でリサーチをしたり単語を調べたりする。
上記以外	40%	単語テストで単語力を確認する。 ペアやグループでクラスの活動を積極的にする。

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

#### 授業外学習

必ず自宅で予習をすること。単語を調べて単語帳を作る。関連するスキットについては、授業中に指示する資料やホームページ等を参考にする。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Basic Skills for the TOIEC Test 550	David Farnellほか	英宝社	9784269660274
2	新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000		旺文社	9784010900765
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	実用英語演習 B (火2限)					担当教員	坂元 敦子
講義コード	1120745	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201ENG208						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション、Lesson 1	授業概要の説明と紹介、TOEICについて、サンプルテスト
第2回	Lesson 1	単語試験、リスニング/リーディング問題
第3回	Lesson 2	単語試験、リスニング/リーディング問題、スキット練習
第4回	Lesson 3	単語試験、リスニング/リーディング問題
第5回	Lesson 4	単語試験、リスニング/リーディング問題、スキット練習
第6回	Lesson 5	単語試験、リスニング/リーディング問題
第7回	Lesson 6	単語試験、リスニング/リーディング問題、スキット練習
第8回	中間発表と確認テスト	課題の発表と確認テスト
第9回	Lesson 7	単語試験、リスニング/リーディング問題、スキット練習
第10回	Lesson 8	単語試験、リスニング/リーディング問題
第11回	Lesson 9	単語試験、リスニング/リーディング問題、スキット練習
第12回	Lesson 10	単語試験、リスニング/リーディング問題
第13回	Lesson 11	単語試験、リスニング/リーディング問題、スキット練習
第14回	課題の発表	発表とサンプルテスト
第15回	まとめと発表	課題の発表とTOEIC試験についての再確認

担当者から一言

講義名	実用英語演習 B (火3限)				担当教員	坂元 敦子	
講義コード	1120746	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG208						

#### 授業概要

この授業ではTOEIC形式のテキストを使用し、基礎的な語彙力をつけながら試験の形式に慣れ、試験で高得点を取得することを目指す。テキストは各章が「ショッピング」・「健康」・「レジャー」といったひとつのトピックを扱っており、英語圏の生活や文化を学びながら試験問題に取り組むことができる。またテキストのトピックに関連した、トラベルやショッピング等のスキット(プリント)を配布し、TOEICのトピックや表現がどのように実生活に応用できるかも確認する。授業では毎回、ペアワークやグループワークを行い、シチュエーションに応じた会話の練習をする。また語彙力をつけるために毎回単語のテストを行う。  
授業計画等は、授業の進度によって変更する場合がある。

#### 到達目標

TOEICの形式に慣れ、どのパートでもスムーズに解答できるようにする。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	TOEICの形式に慣れ、リスニングとリーディング能力を高める。
レポート課題	10%	自宅でリサーチをしたり単語を調べたりする。
上記以外	40%	単語テストで単語力を確認する。 ペアやグループでクラスの活動を積極的にする。

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

#### 授業外学習

必ず自宅で予習をすること。単語を調べて単語帳を作る。関連するスキットについては、授業中に指示する資料やホームページ等を参考にする。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Basic Skills for the TOIEC Test 550	David Farnellほか	英宝社	9784269660274
2	新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000		旺文社	9784010900765
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	実用英語演習 B (火3限)				担当教員	坂元 敦子	
講義コード	1120746	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG208						

**授業計画**

回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション、Lesson 1	授業概要の説明と紹介、TOEICについて、サンプルテスト
第2回	Lesson 1	単語試験、リスニング/リーディング問題
第3回	Lesson 2	単語試験、リスニング/リーディング問題、スキット練習
第4回	Lesson 3	単語試験、リスニング/リーディング問題
第5回	Lesson 4	単語試験、リスニング/リーディング問題、スキット練習
第6回	Lesson 5	単語試験、リスニング/リーディング問題
第7回	Lesson 6	単語試験、リスニング/リーディング問題、スキット練習
第8回	中間発表と確認テスト	課題の発表と確認テスト
第9回	Lesson 7	単語試験、リスニング/リーディング問題、スキット練習
第10回	Lesson 8	単語試験、リスニング/リーディング問題
第11回	Lesson 9	単語試験、リスニング/リーディング問題、スキット練習
第12回	Lesson 10	単語試験、リスニング/リーディング問題
第13回	Lesson 11	単語試験、リスニング/リーディング問題、スキット練習
第14回	課題の発表	発表とサンプルテスト
第15回	まとめと発表	課題の発表とTOEIC試験についての再確認
担当者から一言		

講義名	実用英語演習 B (火3限)				担当教員	渡 寛法	
講義コード	1120747	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG208						

#### 授業概要

本授業は、TOEICのスコアアップを目指し、リスニングおよびリーディング能力の養成を目的とします。毎回テキストに沿ってTOEICで求められる基本的な文法事項を確認し、問題演習を行います。授業では、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアワークやグループワークで実際に英語を使う訓練も積み重ねていきます。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、120分に耐える集中力や、200問を解ききる瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、英語力向上に向けたトレーニングを行います。

#### 到達目標

- (1) TOEICの出題形式や出題意図を理解し、時間内に解答することができる。(2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。  
(3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標(1)に関しては、到達度確認テスト、および期末試験で評価します(40%)。
レポート課題		
上記以外	60	到達目標(2)に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し(30%)、到達目標(3)に関しては、各回の小テストで評価します(30%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

#### 授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『SEIZE THE CORE OF THE TOEIC TEST』	安丸雅子ほか	金星堂	978-4-7647-4004-4
2				
3				

初回授業には時間を測れるストップウォッチ(スマートフォンでも計測機能があればOK)を持ってきてください。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「意味順」で学ぶ英会話	田田野彰(監修)	日本能率協会マネジメントセンター	978-4820749592
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	実用英語演習 B (火3限)				担当教員	渡 寛法	
講義コード	1120747	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG208						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	自己紹介、授業の進め方についての説明、ワークシートの記入。
第2回	Unit 1	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第3回	Unit 2	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第4回	Unit 3	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第5回	Unit 4	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第6回	Unit 5	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第7回	Unit 6	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第8回	Review 1	ここまでの到達度確認テストを行う。
第9回	Unit 7	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第10回	Unit 8	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第11回	Unit 9	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第12回	Unit 10	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第13回	Unit 11	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第14回	Unit 12	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第15回	Review 2	到達度確認テスト、および、振り返りシートの作成。

担当者から一言

「飛行機はいつも遅れ、頼んだ荷物は届かず、職場のコピー機はしょっちゅうインク切れ...」、そんなハードなTOEICワールドを楽しみつつ、英語力を磨いていきましょう！

講義名	実用英語演習 B (火3限)				担当教員	Graham Jones	
講義コード	1120748	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG208						

#### 授業概要

This class will help students use English as a practical tool for working with others, sharing thoughts and ideas, and making things happen.

The 15-week course is built around the movie Europa Report (2013): students will improve their language skills through watching the movie, reading the script, and doing practical activities on the themes of enquiry, teamwork and exploration.

We will also look at why it is OK for students to make mistakes (!) when using English, and discuss ways students can continue to develop their practical English skills in the future.

#### 到達目標

Students will be more effective at using English as a practical tool for working with others, sharing thoughts and ideas, and making things happen.

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	The teacher will have a 5-minute, 1-to-1 meeting with each student. The student will be given 3 minutes to talk about the most interesting thing (or things) he or she learned on this course. This will be followed by a short discussion.
レポート課題		
上記以外		

#### 授業外学習

Reading script (3 hours)  
Practising dialogue (3 hours)

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

The teacher will provide handouts (for example, pages from the script) each week

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

該当なし。

#### 履修資格



講義名	実用英語演習 B (火3限)				担当教員	Walter Klinger	
講義コード	1120749	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG208						

#### 授業概要

We read aloud the scenario dialogue of the movie The Wizard of Oz オズの魔法使 (1939) and watch the scenes. Then we will write in missing words into a handout of the dialogue script. Students in pairs will perform one page of the script.

#### 到達目標

Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly, memorize required material) and (3) good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech, apply class material such as vocabulary and sentence patterns). Their English will also be (4) grammatically correct.

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	Oral Presentation 100% (Teacher 's evaluation: Objectives 1,2,3,4. Each 25%)

Evaluation criteria 評価基準:  
Pronunciation 発音 (especially "l" and "th")  
Fluency 流ちょうさ (ためらう無し)

#### 授業外学習

(1週間に約1時間) Read the scenario script and pay attention to the sentence structures and spelling. Practice your Oral Presentation.

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

handouts

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	日本語基礎（初級 A）				担当教員	柴川 真由美	
講義コード	1120771	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101EXG101						

#### 授業概要

日常生活の場面で必要となる基本的語彙および文法事項の習得を目標に、初級レベルの「読む」「書く」「聞く」「話す」の4スキルを総合的に学ぶ。授業では発音と日本語特有のリズムに慣れるため音声・映像教材を用いて、聴解力を養う。ペアまたは3人以上のグループでのコミュニケーション活動を通じて、日常会話を練習する。また教科書を中心にひらがな、カタカナ、漢字を順に導入し、初級の読解力を身につける。

#### 到達目標

- (1) 授業で学んだ日常生活の場面において意味がとれるように間を長くおきながら、非常にゆっくりと注意深く発音してもらえれば、発話を理解できる。
- (2) 非常に短い簡単なテキストを、身近な名前、単語や基本的な表現を一つずつ取り上げて、必要であれば読み直したりしながら、一文一節ずつ理解することができる。
- (3) 限られた日常生活の場面で簡単な方法でやり取りができる。ゆっくりとした繰り返し、言い換え、修正に全般的に頼ってコミュニケーションでき、質疑応答ができる。
- (4) 簡単な表現や文を単独に書くことができる。人物や場所について、単純な字句を並べて、述べることができる。
- (5) ひらがな、カタカナの読み書きができるようになる。授業で学んだ初級レベルの漢字の読み書きができるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	期末試験（到達目標1、2、4、5について筆記試験を行う。）
レポート課題		
上記以外	70	到達確認テスト試験30%（到達目標1、3について口頭試験を行う。） 宿題20%（各到達目標について復習問題等を課す。） 小テスト20%（各到達目標について復習小テスト、簡単な口頭試問を行う。）

授業時間数の4分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	げんきI	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパントイムス	978-4-7890-1440-3
2	げんき ワークブックI	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパントイムス	978-4-7890-1441-0
3				

便宜紹介

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

便宜紹介

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	日本語基礎(初級 A)					担当教員	柴川 真由美
講義コード	1120771	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101EXG101						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	授業内容の説明、レベル確認、自己紹介
第2回	『げんき』第1課、ひらがな	ひらがなと簡単な日常の挨拶等を学ぶ。テキストp. 18-35, p.290-293
第3回	『げんき』第2課、発音	日本語の発音について学ぶ。自己紹介を練習する。(配布プリント)
第4回	プロジェクト、『げんき』第2課文法	買い物、レストランで必要となる簡単な表現を学ぶ。テキストp.62-66
第5回	プロジェクト、『げんき』第3課文法導入	勧誘の表現や助詞について学ぶ。テキストp.88-94
第6回	『げんき』第3課文法と会話、カタカナ	カタカナを学び、3課で学んだ表現を用いて会話練習を行う。テキストp. 95-101, p.294-297
第7回	到達確認テスト、復習と解説	第3課までの確認テストを行う。
第8回	『げんき』第4課文法導入	動詞の過去形、存在動詞を学ぶ。テキストp.107-113
第9回	『げんき』第4課文法と会話	4課の文法を使った練習をする。テキスト p.115-126
第10回	『げんき』第5課文法導入	形容詞の活用について学ぶ。テキスト p. 132-136
第11回	『げんき』第5課 文法と会話	5課の文法を用いて会話練習を行う。テキスト p.137-143
第12回	『げんき』第6課文法導入	てformの導入を行い、それを使った表現を学ぶ。テキスト p.150-154
第13回	『げんき』第6課文法と会話	てformの復習と応用練習を行う。テキスト p.156-165
第14回	復習、まとめ 第1課～第4課	第1課～第4課までのまとめ練習を行う。テキスト p.42-126
第15回	復習、まとめ 第5課～第6課、総まとめ	第5課～第6課までのまとめ練習を行う。テキスト p.132-143
担当者から一言		

講義名	日本語基礎（初級 B）				担当教員	柴川 真由美	
講義コード	1120772	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101EXG102						

#### 授業概要

日常生活の場面で必要となる基本的語彙および文法事項の習得を目標に、初級レベルの「読む」「書く」「聞く」「話す」の4スキルを総合的に学ぶ。授業では発音と日本語特有のリズムに慣れるため音声・映像教材を用いて、聴解力を養う。ペアまたは3人以上のグループでのコミュニケーション活動を通じて、日常会話を練習する。また教科書を中心にひらがな、カタカナ、漢字を順に導入し、初級の読解力を身につける。

#### 到達目標

- (1) 授業で学んだ日常生活の場面において意味がとれるように間を長くおきながら、非常にゆっくりと注意深く発音してもらえれば、発話を理解できる。
- (2) 非常に短い簡単なテキストを、身近な名前、単語や基本的な表現を一つずつ取り上げて、必要であれば読み直したりしながら、一文一節ずつ理解することができる。
- (3) 限られた日常生活の場面で簡単な方法でやり取りができる。ゆっくりとした繰り返し、言い換え、修正に全般的に頼ってコミュニケーションでき、質疑応答ができる。
- (4) 簡単な表現や文を単独に書くことができる。人物や場所について、単純な字句を並べて、述べることができる。
- (5) ひらがな、カタカナの読み書きができるようになる。授業で学んだ初級レベルの漢字の読み書きができるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	期末試験（到達目標1、2、4、5について筆記試験を行う。）
レポート課題		
上記以外	70	到達確認テスト試験30%（到達目標1、3について口頭試験を行う。） 宿題20%（各到達目標について復習問題等を課す。） 小テスト20%（各到達目標について復習小テスト、簡単な口頭試問を行う。）

授業時間数の4分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	げんきI	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパントイムス	978-4-7890-1440-3
2	げんき ワークブックI	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパントイムス	978-4-7890-1441-0
3				

便宜紹介

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

便宜紹介

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	日本語基礎（初級 A）				担当教員	柴川 真由美	
講義コード	1120773	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101EXG103						

#### 授業概要

日常生活の場面で必要となる基本的語彙および文法事項の習得を目標に、初級レベルの「読む」「書く」「聞く」「話す」の4スキルを総合的に学ぶ。授業では発音と日本語特有のリズムに慣れるため音声・映像教材を用いて、聴解力を養う。ペアまたは3人以上のグループでのコミュニケーション活動を通じて、日常会話を練習する。また教科書を中心にひらがな、カタカナ、漢字を順に導入し、初級の読解力を身につける。

#### 到達目標

- (1) 授業で学んだ日常生活の場面において意味がとれるように間を長くおきながら、非常にゆっくりと注意深く発音してもらえれば、発話を理解できる。
- (2) 非常に短い簡単なテキストを、身近な名前、単語や基本的な表現を一つずつ取り上げて、必要であれば読み直したりしながら、一文一節ずつ理解することができる。
- (3) 限られた日常生活の場面で簡単な方法でやり取りができる。ゆっくりとした繰り返し、言い換え、修正に全般的に頼ってコミュニケーションでき、質疑応答ができる。
- (4) 簡単な表現や文を単独に書くことができる。人物や場所について、単純な字句を並べて、述べることができる。
- (5) ひらがな、カタカナの読み書きができるようになる。授業で学んだ初級レベルの漢字の読み書きができるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	期末試験（到達目標1、2、4、5について筆記試験を行う。）
レポート課題		
上記以外	70	到達確認テスト試験30%（到達目標1、3について口頭試験を行う。） 宿題20%（各到達目標について復習問題等を課す。） 小テスト20%（各到達目標について復習小テスト、簡単な口頭試問を行う。）

授業時間数の4分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	げんきI	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパントイムス	978-4-7890-1440-3
2	げんき ワークブックI	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパントイムス	978-4-7890-1441-0
3				

便宜紹介

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

便宜紹介

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	日本語基礎（初級 A）				担当教員	柴川 真由美	
講義コード	1120773	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101EXG103						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	授業内容の説明、レベル確認、自己紹介
第2回	『げんき』第1課、ひらがな	ひらがなと簡単な日常の挨拶等を学ぶ。テキストp. 18-35, p.290-293
第3回	『げんき』第2課、発音	日本語の発音について学ぶ。自己紹介を練習する。（配布プリント）
第4回	プロジェクト、『げんき』第2課文法	買い物、レストランで必要となる簡単な表現を学ぶ。テキストp.62-66
第5回	プロジェクト、『げんき』第3課文法導入	勧誘の表現や助詞について学ぶ。テキストp.88-94
第6回	『げんき』第3課文法と会話、カタカナ	カタカナを学び、3課で学んだ表現を用いて会話練習を行う。テキストp. 95-101, p.294-297
第7回	到達確認テスト、復習と解説	第3課までの確認テストを行う。
第8回	『げんき』第4課文法導入	動詞の過去形、存在動詞を学ぶ。テキストp.107-113
第9回	『げんき』第4課文法と会話	4課の文法を使った練習をする。テキスト p.115-126
第10回	『げんき』第5課文法導入	形容詞の活用について学ぶ。テキスト p. 132-136
第11回	『げんき』第5課 文法と会話	5課の文法を用いて会話練習を行う。テキスト p.137-143
第12回	『げんき』第6課文法導入	てformの導入を行い、それを使った表現を学ぶ。テキスト p.150-154
第13回	『げんき』第6課文法と会話	てformの復習と応用練習を行う。テキスト p.156-165
第14回	復習、まとめ 第1課～第4課	第1課～第4課までのまとめ練習を行う。テキスト p.42-126
第15回	復習、まとめ 第5課～第6課、総まとめ	第5課～第6課までのまとめ練習を行う。テキスト p.132-143

担当者から一言

--

講義名	日本語基礎（初級 B）				担当教員	柴川 真由美	
講義コード	1120774	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101EXG104						

#### 授業概要

日常生活の場面で必要となる基本的語彙および文法事項の習得を目標に、初級レベルの「読む」「書く」「聞く」「話す」の4スキルを総合的に学ぶ。授業では発音と日本語特有のリズムに慣れるため音声・映像教材を用いて、聴解力を養う。ペアまたは3人以上のグループでのコミュニケーション活動を通じて、日常会話を練習する。また教科書を中心にひらがな、カタカナ、漢字を順に導入し、初級の読解力を身につける。

#### 到達目標

- (1) 授業で学んだ日常生活の場面において意味がとれるように間を長くおきながら、非常にゆっくりと注意深く発音してもらえれば、発話を理解できる。
- (2) 非常に短い簡単なテキストを、身近な名前、単語や基本的な表現を一つずつ取り上げて、必要であれば読み直したりしながら、一文一節ずつ理解することができる。
- (3) 限られた日常生活の場面で簡単な方法でやり取りができる。ゆっくりとした繰り返し、言い換え、修正に全般的に頼ってコミュニケーションでき、質疑応答ができる。
- (4) 簡単な表現や文を単独に書くことができる。人物や場所について、単純な字句を並べて、述べることができる。
- (5) ひらがな、カタカナの読み書きができるようになる。授業で学んだ初級レベルの漢字の読み書きができるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	期末試験（到達目標1、2、4、5について筆記試験を行う。）
レポート課題		
上記以外	70	到達確認テスト試験30%（到達目標1、3について口頭試験を行う。） 宿題20%（各到達目標について復習問題等を課す。） 小テスト20%（各到達目標について復習小テスト、簡単な口頭試問を行う。）

授業時間数の4分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	げんきI	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパントイムス	978-4-7890-1440-3
2	げんき ワークブックI	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパントイムス	978-4-7890-1441-0
3				

便宜紹介

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

便宜紹介

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	日本語基礎（初級 A）				担当教員	柴川 真由美	
講義コード	1120775	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101EXG105						

#### 授業概要

日常生活の場面で必要となる基本的語彙および文法事項の習得を目標に、初級レベルの「読む」「書く」「聞く」「話す」の4スキルを総合的に学ぶ。授業では発音と日本語特有のリズムに慣れるため音声・映像教材を用いて、聴解力を養う。ペアまたは3人以上のグループでのコミュニケーション活動を通じて、日常会話を練習する。また教科書を中心にひらがな、カタカナ、漢字を順に導入し、初級の読解力を身につける。

#### 到達目標

- (1) 授業で学んだ日常生活の場面において意味がとれるように間を長くおきながら、非常にゆっくりと注意深く発音してもらえれば、発話を理解できる。
- (2) 非常に短い簡単なテキストを、身近な名前、単語や基本的な表現を一つずつ取り上げて、必要であれば読み直したりしながら、一文一節ずつ理解することができる。
- (3) 限られた日常生活の場面で簡単な方法でやり取りができる。ゆっくりとした繰り返し、言い換え、修正に全般的に頼ってコミュニケーションでき、質疑応答ができる。
- (4) 簡単な表現や文を単独に書くことができる。人物や場所について、単純な字句を並べて、述べることができる。
- (5) ひらがな、カタカナの読み書きができるようになる。授業で学んだ初級レベルの漢字の読み書きができるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	期末試験（到達目標1、2、4、5について筆記試験を行う。）
レポート課題		
上記以外	70	到達確認テスト試験30%（到達目標1、3について口頭試験を行う。） 宿題20%（各到達目標について復習問題等を課す。） 小テスト20%（各到達目標について復習小テスト、簡単な口頭試問を行う。）

授業時間数の4分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	げんきI	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパントイムス	978-4-7890-1440-3
2	げんき ワークブックI	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパントイムス	978-4-7890-1441-0
3				

便宜紹介

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

便宜紹介

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	日本語基礎（初級 B）				担当教員	柴川 真由美	
講義コード	1120776	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101EXG106						

#### 授業概要

日常生活の場面で必要となる基本的語彙および文法事項の習得を目標に、初級レベルの「読む」「書く」「聞く」「話す」の4スキルを総合的に学ぶ。授業では発音と日本語特有のリズムに慣れるため音声・映像教材を用いて、聴解力を養う。ペアまたは3人以上のグループでのコミュニケーション活動を通じて、日常会話を練習する。また教科書を中心にひらがな、カタカナ、漢字を順に導入し、初級の読解力を身につける。

#### 到達目標

- (1) 授業で学んだ日常生活の場面において意味がとれるように間を長くおきながら、非常にゆっくりと注意深く発音してもらえれば、発話を理解できる。
- (2) 非常に短い簡単なテキストを、身近な名前、単語や基本的な表現を一つずつ取り上げて、必要であれば読み直したりしながら、一文一節ずつ理解することができる。
- (3) 限られた日常生活の場面で簡単な方法でやり取りができる。ゆっくりとした繰り返し、言い換え、修正に全般的に頼ってコミュニケーションでき、質疑応答ができる。
- (4) 簡単な表現や文を単独に書くことができる。人物や場所について、単純な字句を並べて、述べることができる。
- (5) ひらがな、カタカナの読み書きができるようになる。授業で学んだ初級レベルの漢字の読み書きができるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	期末試験（到達目標1、2、4、5について筆記試験を行う。）
レポート課題		
上記以外	70	到達確認テスト試験30%（到達目標1、3について口頭試験を行う。） 宿題20%（各到達目標について復習問題等を課す。） 小テスト20%（各到達目標について復習小テスト、簡単な口頭試問を行う。）

授業時間数の4分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	げんきI	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパントイムス	978-4-7890-1440-3
2	げんき ワークブックI	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパントイムス	978-4-7890-1441-0
3				

便宜紹介

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

便宜紹介

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	日本語基礎（初中級 A）				担当教員	柴川 真由美	
講義コード	1120777	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101EXG107						

#### 授業概要

日常生活の場面で必要となる基本的語彙および文法事項の習得を目標に、初中級レベルの「読む」「書く」「聞く」「話す」の4スキルを総合的に学ぶ。授業では発音と日本語特有のリズムに慣れるため音声・映像教材を用いて、聴解力を養う。ペアまたは3人以上のグループでのコミュニケーション活動を通じて、日常会話を練習する。また教科書を中心に漢字を導入し、初中級の読解力を身につける。

#### 到達目標

- (1) 発話をはっきりとゆっくりとした発音ならば、最も直接的な優先事項の領域（例：ごく基本的な個人や家族の情報、買い物、その地域の地理、仕事・雇用）に関連した句や表現が理解できる。
- (2) よく使われる語で書かれた、国際的共通語彙もかなり多い、短い簡単なテキストが理解できる。
- (3) 人物や生活・職場環境、日課、好き嫌いなどについて、単純な記述やプレゼンテーションができる。
- (4) 「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた簡単な表現や文を書くことができる。
- (5) 大学生活や自由時間に関わる身近な日々の事柄について、直接的で簡単な情報交換を必要とする通常の課題ならコミュニケーションできる。非常に短い社交的なやり取りには対応できるが、自分から会話を進められるほどの理解はない。
- (6) 授業で学んだ初中級レベルの漢字の読み書きができるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	期末試験（到達目標2、4、5、6について筆記試験を行う）
レポート課題		
上記以外	70	プレゼンテーション30%（到達目標1、2、3、5についてプレゼンテーションを課す）、宿題20%（毎回到達目標1、2、4、6について、復習問題を課す。）小テスト20%（到達目標2、6について、小テストを行う。）

授業時間数の4分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	げんきII	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパントイムス	978-4789014434
2	げんき ワークブックII	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷 恭子	ジャパントイムス	978-4789014441
3				

#### 適宜紹介

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 適宜紹介

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	日本語基礎(初中級 A)				担当教員	柴川 真由美	
講義コード	1120777	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101EXG107						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	授業内容の説明、レベル確認、自己紹介
第2回	『げんき』 第7課文法導入	て形を用いた文法などを学ぶ。テキストp.170 ~ p.175
第3回	『げんき』 第7課文法と会話	家族について話す練習を行う。テキストp.176 ~ p.183
第4回	『げんき』 第8課文法導入	動詞の普通体の活用等を学ぶ。テキストp.190 ~ p.196
第5回	『げんき』 第8課文法と会話	普通体を用いた会話練習を行う。テキストp.198 ~ p.207
第6回	『げんき』 第9課文法導入	動詞普通体の過去形、名刺修飾節等を学ぶ。テキストp.212 ~ p.216
第7回	『げんき』 第9課文法と会話	普通体過去形を用いた会話練習を行う。テキストp.217 ~ p.226
第8回	プレゼンテーション	家族について発表する準備をし、授業内でプレゼンテーションを行う。
第9回	『げんき』 第10課文法導入	比較文の表現等を学ぶ。テキストp.232 ~ p.236
第10回	『げんき』 第10課文法と会話	日本と比較しながら自国のことを紹介する練習などを行う。テキストp.237 ~ p.249
第11回	『げんき』 第11課文法導入	第11課の文法を学び、自分の経験や希望を表現する練習を行う。テキストp.254 ~ p.265
第12回	『げんき』 第12課文法導入	アドバイスや提案の表現などを学ぶ。テキストp.270 ~ p.275
第13回	『げんき』 第12課文法と会話	第12課文法を用いながら、病院でのロールプレイ練習を行う。テキストp.276 ~ p.288
第14回	復習、まとめ	第1課から第8課の文法の復習と会話練習を行う。テキストp.42 ~ p.207
第15回	復習、まとめ	第9課から第12課の文法の復習と会話練習を行う。テキストp.212 ~ p.288
担当者から一言		

講義名	日本語基礎（初中級 B）				担当教員	柴川 真由美	
講義コード	1120778	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101EXG108						

#### 授業概要

日常生活の場面で必要となる基本的語彙および文法事項の習得を目標に、初中級レベルの「読む」「書く」「聞く」「話す」の4スキルを総合的に学ぶ。授業では発音と日本語特有のリズムに慣れるため音声・映像教材を用いて、聴解力を養う。ペアまたは3人以上のグループでのコミュニケーション活動を通じて、日常会話を練習する。また教科書を中心に漢字を導入し、初中級の読解力を身につける。

#### 到達目標

- (1) 発話をはっきりとゆっくりとした発音ならば、最も直接的な優先事項の領域（例：ごく基本的な個人や家族の情報、買い物、その地域の地理、仕事・雇用）に関連した句や表現が理解できる。
- (2) よく使われる語で書かれた、国際的共通語彙もかなり多い、短い簡単なテキストが理解できる。
- (3) 人物や生活・職場環境、日課、好き嫌いなどについて、単純な記述やプレゼンテーションができる。
- (4) 「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた簡単な表現や文を書くことができる。
- (5) 大学生活や自由時間に関わる身近な日々の事柄について、直接的で簡単な情報交換を必要とする通常の課題ならコミュニケーションできる。非常に短い社交的なやり取りには対応できるが、自分から会話を進められるほどの理解はない。
- (6) 授業で学んだ初中級レベルの漢字の読み書きができるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	期末試験（到達目標2、4、5、6について筆記試験を行う）
レポート課題		
上記以外	70	プレゼンテーション30%（到達目標1、2、3、5についてプレゼンテーションを課す）、宿題20%（毎回到達目標1、2、4、6について、復習問題を課す。）小テスト20%（到達目標2、6について、小テストを行う。）

授業時間数の4分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	げんきII	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパントイムス	978-4789014434
2	げんき ワークブックII	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷 恭子	ジャパントイムス	978-4789014441
3				

適宜紹介

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜紹介

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	日本語基礎（初中級 A）				担当教員	柴川 真由美	
講義コード	1120779	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101EXG109						

#### 授業概要

日常生活の場面で必要となる基本的語彙および文法事項の習得を目標に、初中級レベルの「読む」「書く」「聞く」「話す」の4スキルを総合的に学ぶ。授業では発音と日本語特有のリズムに慣れるため音声・映像教材を用いて、聴解力を養う。ペアまたは3人以上のグループでのコミュニケーション活動を通じて、日常会話を練習する。また教科書を中心に漢字を導入し、初中級の読解力を身につける。

#### 到達目標

- (1) 発話をはっきりとゆっくりとした発音ならば、最も直接的な優先事項の領域（例：ごく基本的な個人や家族の情報、買い物、その地域の地理、仕事・雇用）に関連した句や表現が理解できる。
- (2) よく使われる語で書かれた、国際的共通語彙もかなり多い、短い簡単なテキストが理解できる。
- (3) 人物や生活・職場環境、日課、好き嫌いなどについて、単純な記述やプレゼンテーションができる。
- (4) 「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた簡単な表現や文を書くことができる。
- (5) 大学生活や自由時間に関わる身近な日々の事柄について、直接的で簡単な情報交換を必要とする通常の課題ならコミュニケーションできる。非常に短い社交的なやり取りには対応できるが、自分から会話を進められるほどの理解はない。
- (6) 授業で学んだ初中級レベルの漢字の読み書きができるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	期末試験（到達目標2、4、5、6について筆記試験を行う）
レポート課題		
上記以外	70	プレゼンテーション30%（到達目標1、2、3、5についてプレゼンテーションを課す）、宿題20%（毎回到達目標1、2、4、6について、復習問題を課す。）小テスト20%（到達目標2、6について、小テストを行う。）

授業時間数の4分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	げんきII	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパントイムス	978-4789014434
2	げんき ワークブックII	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷 恭子	ジャパントイムス	978-4789014441
3				

適宜紹介

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜紹介

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	日本語基礎（初中級 B）				担当教員	柴川 真由美	
講義コード	1120780	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101EXG110						

#### 授業概要

日常生活の場面で必要となる基本的語彙および文法事項の習得を目標に、初中級レベルの「読む」「書く」「聞く」「話す」の4スキルを総合的に学ぶ。授業では発音と日本語特有のリズムに慣れるため音声・映像教材を用いて、聴解力を養う。ペアまたは3人以上のグループでのコミュニケーション活動を通じて、日常会話を練習する。また教科書を中心に漢字を導入し、初中級の読解力を身につける。

#### 到達目標

- (1) 発話をはっきりとゆっくりとした発音ならば、最も直接的な優先事項の領域（例：ごく基本的な個人や家族の情報、買い物、その地域の地理、仕事・雇用）に関連した句や表現が理解できる。
- (2) よく使われる語で書かれた、国際的共通語彙もかなり多い、短い簡単なテキストが理解できる。
- (3) 人物や生活・職場環境、日課、好き嫌いなどについて、単純な記述やプレゼンテーションができる。
- (4) 「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた簡単な表現や文を書くことができる。
- (5) 大学生活や自由時間に関わる身近な日々の事柄について、直接的で簡単な情報交換を必要とする通常の課題ならコミュニケーションできる。非常に短い社交的なやり取りには対応できるが、自分から会話を進められるほどの理解はない。
- (6) 授業で学んだ初中級レベルの漢字の読み書きができるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	期末試験（到達目標2、4、5、6について筆記試験を行う）
レポート課題		
上記以外	70	プレゼンテーション30%（到達目標1、2、3、5についてプレゼンテーションを課す）、宿題20%（毎回到達目標1、2、4、6について、復習問題を課す。）小テスト20%（到達目標2、6について、小テストを行う。）

授業時間数の4分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	げんきII	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパントイムス	978-4789014434
2	げんき ワークブックII	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷 恭子	ジャパントイムス	978-4789014441
3				

適宜紹介

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜紹介

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	日本語基礎（初中級 A）				担当教員	柴川 真由美	
講義コード	1120781	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101EXG111						

#### 授業概要

日常生活の場面で必要となる基本的語彙および文法事項の習得を目標に、初中級レベルの「読む」「書く」「聞く」「話す」の4スキルを総合的に学ぶ。授業では発音と日本語特有のリズムに慣れるため音声・映像教材を用いて、聴解力を養う。ペアまたは3人以上のグループでのコミュニケーション活動を通じて、日常会話を練習する。また教科書を中心に漢字を導入し、初中級の読解力を身につける。

#### 到達目標

- (1) 発話をはっきりとゆっくりとした発音ならば、最も直接的な優先事項の領域（例：ごく基本的な個人や家族の情報、買い物、その地域の地理、仕事・雇用）に関連した句や表現が理解できる。
- (2) よく使われる語で書かれた、国際的共通語彙もかなり多い、短い簡単なテキストが理解できる。
- (3) 人物や生活・職場環境、日課、好き嫌いなどについて、単純な記述やプレゼンテーションができる。
- (4) 「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた簡単な表現や文を書くことができる。
- (5) 大学生活や自由時間に関わる身近な日々の事柄について、直接的で簡単な情報交換を必要とする通常の課題ならコミュニケーションできる。非常に短い社交的なやり取りには対応できるが、自分から会話を進められるほどの理解はない。
- (6) 授業で学んだ初中級レベルの漢字の読み書きができるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	期末試験（到達目標2、4、5、6について筆記試験を行う）
レポート課題		
上記以外	70	プレゼンテーション30%（到達目標1、2、3、5についてプレゼンテーションを課す）、宿題20%（毎回到達目標1、2、4、6について、復習問題を課す。）小テスト20%（到達目標2、6について、小テストを行う。）

授業時間数の4分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	げんきII	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパントイムス	978-4789014434
2	げんき ワークブックII	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷 恭子	ジャパントイムス	978-4789014441
3				

#### 適宜紹介

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 適宜紹介

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	日本語基礎（初中級 A）					担当教員	柴川 真由美
講義コード	1120781	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101EXG111						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	授業内容の説明、レベル確認、自己紹介
第2回	『げんき』 第7課文法導入	て形を用いた文法などを学ぶ。テキストp.170 ~ p.175
第3回	『げんき』 第7課文法と会話	家族について話す練習を行う。テキストp.176 ~ p.183
第4回	『げんき』 第8課文法導入	動詞の普通体の活用等を学ぶ。テキストp.190 ~ p.196
第5回	『げんき』 第8課文法と会話	普通体を用いた会話練習を行う。テキストp.198 ~ p.207
第6回	『げんき』 第9課文法導入	動詞普通体の過去形、名刺修飾節等を学ぶ。テキストp.212 ~ p.216
第7回	『げんき』 第9課文法と会話	普通体過去形を用いた会話練習を行う。テキストp.217 ~ p.226
第8回	プレゼンテーション	家族について発表する準備をし、授業内でプレゼンテーションを行う。
第9回	『げんき』 第10課文法導入	比較文の表現等を学ぶ。テキストp.232 ~ p.236
第10回	『げんき』 第10課文法と会話	日本と比較しながら自国のことを紹介する練習などを行う。テキストp.237 ~ p.249
第11回	『げんき』 第11課文法導入	第11課の文法を学び、自分の経験や希望を表現する練習を行う。テキストp.254 ~ p.265
第12回	『げんき』 第12課文法導入	アドバイスや提案の表現などを学ぶ。テキストp.270 ~ p.275
第13回	『げんき』 第12課文法と会話	第12課文法を用いながら、病院でのロールプレイ練習を行う。テキストp.276 ~ p.288
第14回	復習、まとめ	第1課から第8課の文法の復習と会話練習を行う。テキストp.42 ~ p.207
第15回	復習、まとめ	第9課から第12課の文法の復習と会話練習を行う。テキストp.212 ~ p.288

担当者から一言

講義名	日本語基礎（初中級 B）				担当教員	柴川 真由美	
講義コード	1120782	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101EXG112						

#### 授業概要

日常生活の場面で必要となる基本的語彙および文法事項の習得を目標に、初中級レベルの「読む」「書く」「聞く」「話す」の4スキルを総合的に学ぶ。授業では発音と日本語特有のリズムに慣れるため音声・映像教材を用いて、聴解力を養う。ペアまたは3人以上のグループでのコミュニケーション活動を通じて、日常会話を練習する。また教科書を中心に漢字を導入し、初中級の読解力を身につける。

#### 到達目標

- (1) 発話をはっきりとゆっくりとした発音ならば、最も直接的な優先事項の領域（例：ごく基本的な個人や家族の情報、買い物、その地域の地理、仕事・雇用）に関連した句や表現が理解できる。
- (2) よく使われる語で書かれた、国際的共通語彙もかなり多い、短い簡単なテキストが理解できる。
- (3) 人物や生活・職場環境、日課、好き嫌いなどについて、単純な記述やプレゼンテーションができる。
- (4) 「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた簡単な表現や文を書くことができる。
- (5) 大学生活や自由時間に関わる身近な日々の事柄について、直接的で簡単な情報交換を必要とする通常の課題ならコミュニケーションできる。非常に短い社交的なやり取りには対応できるが、自分から会話を進められるほどの理解はない。
- (6) 授業で学んだ初中級レベルの漢字の読み書きができるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	期末試験（到達目標2、4、5、6について筆記試験を行う）
レポート課題		
上記以外	70	プレゼンテーション30%（到達目標1、2、3、5についてプレゼンテーションを課す）、宿題20%（毎回到達目標1、2、4、6について、復習問題を課す。）小テスト20%（到達目標2、6について、小テストを行う。）

授業時間数の4分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	げんきII	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパントイムス	978-4789014434
2	げんき ワークブックII	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷 恭子	ジャパントイムス	978-4789014441
3				

#### 適宜紹介

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 適宜紹介

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	日本語基礎（初中級 A）				担当教員	上野山 愛弥	
講義コード	1120783	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101EXG113						

#### 授業概要

初級で学んだ基礎項目を復習しながら、日本の大学で学ぶために必要な4技能のバランスがとれた日本語能力を養う。日常会話を練習し、初級より自然で円滑なコミュニケーションの方法を身につける。

#### 到達目標

- (1) 日本の大学の授業が理解できるように「聴解」の力をつける。
- (2) レポートが書けるように読解・作文の力をつける。
- (3) 初級より複雑な、目的に合った日本語を運用できるようにする。
- (4) 自分の考えが話せるように談話能力をつける。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	
レポート課題		
上記以外	70	中間試験30%、授業への参加度40%

#### 授業外学習

復習としての家庭学習を重視し、毎回宿題を課す。  
適宜小テストを行う。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	みんなの日本級		スリーエーネットワーク	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	日本語基礎 ( 初中級 A )				担当教員	上野山 愛弥	
講義コード	1120783	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101EXG113						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	授業の進め方、レベルチェック	授業の進め方を紹介し、レベルチェックをする。
第2回	『みんなの日本語中級』 1	第1課
第3回	『みんなの日本語中級』 2	第1課
第4回	『みんなの日本語中級』 3	第2課
第5回	『みんなの日本語中級』 4	第2課
第6回	『みんなの日本語中級』 5	第3課
第7回	『みんなの日本語中級』 6	第3課
第8回	復習	第1課から第3課までの復習をする。
第9回	『みんなの日本語中級』 7	第4課
第10回	『みんなの日本語中級』 8	第4課
第11回	『みんなの日本語中級』 9	第5課
第12回	『みんなの日本語中級』 10	第5課
第13回	『みんなの日本語中級』 11	第6課
第14回	『みんなの日本語中級』 12	第6課
第15回	復習、まとめ	第4課から第6課までの復習をする。
担当者から一言		

講義名	日本語基礎（初中級 B）				担当教員	上野山 愛弥	
講義コード	1120784	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101EXG114						

#### 授業概要

初級で学んだ基礎項目を復習しながら、日本の大学で学ぶために必要な4技能のバランスがとれた日本語能力を養う。日常会話を練習し、初級より自然で円滑なコミュニケーションの方法を身につける。

#### 到達目標

- (1) 日本の大学の授業が理解できるように「聴解」の力をつける。
- (2) レポートが書けるように読解・作文の力をつける。
- (3) 初級より複雑な、目的に合った日本語を運用できるようにする。
- (4) 自分の考えが話せるように談話能力をつける。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	
レポート課題		
上記以外	70	中間試験30%、授業への参加度40%

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

#### 授業外学習

復習としての家庭学習を重視し、毎回宿題を課す。適宜小テストを行う。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	みんなの日本語中級		スリーエーネットワーク	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	日本語基礎（初中級 B）				担当教員	上野山 愛弥	
講義コード	1120784	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101EXG114						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	『みんなの日本語中級』1	第7課
第2回	『みんなの日本語中級』2	第7課
第3回	『みんなの日本語中級』3	第8課
第4回	『みんなの日本語中級』4	第8課
第5回	『みんなの日本語中級』5	第9課
第6回	『みんなの日本語中級』6	第9課
第7回	復習	第7課から第9課までの復習をする。
第8回	『みんなの日本語中級』7	第10課
第9回	『みんなの日本語中級』8	第10課
第10回	『みんなの日本語中級』9	第11課
第11回	『みんなの日本語中級』10	第11課
第12回	『みんなの日本語中級』11	第13課
第13回	『みんなの日本語中級』12	第13課
第14回	復習	第10課から第13課までの復習をする。
第15回	復習、まとめ	第7課から第13課までの復習をする。

担当者から一言

講義名	日本語基礎（中級 A）				担当教員	柴川 真由美	
講義コード	1120785	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101EXG115						

#### 授業概要

「日本語能力試験N2」のテスト対策に特化した問題演習を主に行う。授業では中級レベルからの文型を復習しながら、N2レベルの文型を学び、語彙を増やしていく。毎週、課題として、「日本語能力試験N2」の文法問題を解く。授業で解説、質疑応答を行い、N2レベルを合格できる程度の言語能力をつけるようにする。

#### 到達目標

- (1) 日本語能力試験N2レベルの文法を理解できるようになる。
- (2) 日本語能力試験N2合格レベルの語彙や表現を身につける。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標 1、2 について期末試験を行う
レポート課題		
上記以外	60	筆記試験40%（到達目標 1、2 について到達確認テストを行う。） 宿題20%（到達目標 1、2 について毎週宿題を課す。）

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### プリント配布

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 便宜紹介

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	日本語基礎（中級 B）				担当教員	柴川 真由美	
講義コード	1120786	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101EXG116						

#### 授業概要

「日本語能力試験N2」のテスト対策に特化した問題演習を主に行う。授業では中級レベルからの文型を復習しながら、N2レベルの文型を学び、語彙を増やしていく。毎週、課題として、「日本語能力試験N2」の文法問題を解く。授業で解説、質疑応答を行い、N2レベルを合格できる程度の言語能力をつけるようにする。

#### 到達目標

- (1) 日本語能力試験N2レベルの文法を理解できるようになる。
- (2) 日本語能力試験N2合格レベルの語彙や表現を身につける。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標1、2について期末試験を行う
レポート課題		
上記以外	60	筆記試験40%（到達目標1、2について到達確認テストを行う。） 宿題20%（到達目標1、2について毎週宿題を課す。）

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### プリント配布

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 便宜紹介

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	日本語基礎（中級 A）				担当教員	上野山 愛弥	
講義コード	1120787	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101EXG117						

#### 授業概要

「日本語能力試験N2」レベルの問題を解き、合格できる力を身につけていく。

#### 到達目標

- (1) 幅広い話題について書かれた文章の内容が理解できる。  
(2) 日本語能力試験N2に合格できる力を身につけ、総合的な日本語能力を高める。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	
レポート課題		
上記以外	70	小テスト 30%、授業への参加度 40%

#### 授業外学習

復習を重視し、毎回宿題を課す。  
適宜小テストを行う。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

資料を配布する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	日本語基礎(中級 A)				担当教員	上野山 愛弥	
講義コード	1120787	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101EXG117						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	授業の進め方、レベルチェック	授業の進め方を紹介し、レベルチェックをする。
第2回	読解 1	文章を読み、問題を解く。
第3回	読解 2	文章を読み、問題を解く。
第4回	読解 3	文章を読み、問題を解く。
第5回	読解 4	文章を読み、問題を解く。
第6回	読解 5	文章を読み、問題を解く。
第7回	読解 6	文章を読み、問題を解く。
第8回	読解 7	文章を読み、問題を解く。
第9回	読解 8	文章を読み、問題を解く。
第10回	読解 9	文章を読み、問題を解く。
第11回	読解10	文章を読み、問題を解く。
第12回	読解11	文章を読み、問題を解く。
第13回	読解12	文章を読み、問題を解く。
第14回	読解13	文章を読み、問題を解く。
第15回	復習、まとめ	復習をする。

担当者から一言

講義名	日本語基礎（中級 B）				担当教員	上野山 愛弥	
講義コード	1120788	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101EXG118						

#### 授業概要

「日本語能力試験N2」レベルの問題を解き、合格できる力を身につけていく。

#### 到達目標

- (1) 幅広い話題について書かれた文章の内容が理解できる。  
(2) 日本語能力試験N2に合格できる力を身につけ、総合的な日本語能力を高める。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	
レポート課題		
上記以外	70	中間テスト 30%、授業への参加度 40%

#### 授業外学習

復習を重視し、毎回宿題を課す。  
適宜小テストを行う。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

資料を配布する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	日本語基礎（中級 B）				担当教員	上野山 愛弥	
講義コード	1120788	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101EXG118						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	読解1	文章を読み、問題を解く。
第2回	読解2	文章を読み、問題を解く。
第3回	読解3	文章を読み、問題を解く。
第4回	読解4	文章を読み、問題を解く。
第5回	読解5	文章を読み、問題を解く。
第6回	読解6	文章を読み、問題を解く。
第7回	読解7	文章を読み、問題を解く。
第8回	読解8	文章を読み、問題を解く。
第9回	読解9	文章を読み、問題を解く。
第10回	読解10	文章を読み、問題を解く。
第11回	読解11	文章を読み、問題を解く。
第12回	読解12	文章を読み、問題を解く。
第13回	読解13	文章を読み、問題を解く。
第14回	読解14	文章を読み、問題を解く。
第15回	復習、まとめ	復習をする。

担当者から一言

担当者から一言
---------

講義名	日本語基礎（中級 A）				担当教員	内田 孝	
講義コード	1120789	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101EXG119						

#### 授業概要

この授業では、中級レベルの学習者を対象に、日本語の聴解能力とコミュニケーション能力の向上を目指す。まず、大学生生活・日本の日常生活・などの様々なトピックに関する幅広い日本語を聞きながら、より正確に聞き取りと内容理解ができるようになることを目指す。例えば、ややゆっくり～自然な速さ、フォーマル～インフォーマルな場面、標準語～関西弁といった様々な日本語を用意する。また、聴解能力を向上させると同時に、実際に自分がその日本語を用いながら話す練習もする。こうした活動によって単語・表現・文法知識を増やし、日本語コミュニケーション能力を高めるように目指す。

#### 到達目標

- 1) 幅広い日本語を聞きながら、より正確に聞き取りと内容理解ができるようになる。
- 2) 語彙・表現・文法知識を増やし、日本語でのコミュニケーション能力を高める。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	さまざまな日本語を聞いて正しく聞き取り、内容の理解ができていること。
レポート課題		
上記以外	50	小テスト、発表など。

授業時間数の3分の1以上を欠席した者は評価対象にしない。

#### 授業外学習

授業で学習した内容をしっかり復習し、既習の語彙・表現・文法項目を定着させるよう、自ら努力すること。理解度を確認するため、小テストを行うことがある。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義の中で紹介する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義の中で紹介する。

#### 前提学力等

中級レベルの学習者を対象としている。

#### 履修資格

講義名	日本語基礎（中級 A）				担当教員	内田 孝	
講義コード	1120789	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101EXG119						

#### 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	授業内容の説明、日本語レベルの確認、授業への要望があれば提出。
第2回	聴解演習 1	関西弁と標準語 1
第3回	聴解演習 2	関西弁と標準語 2
第4回	聴解演習 3	キャンパスの中で使う会話 1
第5回	聴解演習 4	キャンパスの中で使う会話 2
第6回	聴解演習 5	授業例の聞き取り 1
第7回	聴解演習 6	授業例の聞き取り 2
第8回	まとめ・復習 1	これまで学んだことのまとめ・復習
第9回	聴解演習 7	映像資料の聞き取り 1
第10回	聴解演習 8	映像資料の聞き取り 2
第11回	聴解演習 9	映像資料の聞き取り 3
第12回	聴解演習 10	仕事で使う会話の聞き取り 1
第13回	聴解演習 11	仕事で使う会話の聞き取り 2
第14回	聴解演習 12	仕事で使う会話の聞き取り 3
第15回	まとめ・復習 2	これまで学んだことのまとめ・復習

#### 担当者から一言

担当者から一言		
---------	--	--

講義名	日本語基礎（中級 B）					担当教員	内田 孝
講義コード	1120790	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	101EXG120						

#### 授業概要

この授業では、中級レベルの学習者を対象に、日本語の聴解能力とコミュニケーション能力の向上を目指す。まず、大学生生活・日本の日常生活・などの様々なトピックに関する幅広い日本語を聞きながら、より正確に聞き取りと内容理解ができるようになることを目指す。例えば、ややゆっくり～自然な速さ、フォーマル～インフォーマルな場面、標準語～関西弁といった様々な日本語を用意する。また、聴解能力を向上させると同時に、実際に自分がその日本語を用いながら話す練習もする。こうした活動によって単語・表現・文法知識を増やし、日本語コミュニケーション能力を高めるように目指す。

#### 到達目標

- 1) 幅広い日本語を聞きながら、より正確に聞き取りと内容理解ができるようになる。
- 2) 語彙・表現・文法知識を増やし、日本語でのコミュニケーション能力を高める。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	さまざまな日本語を聞いて正しく聞き取り、内容の理解ができていること。
レポート課題		
上記以外	50	小テスト、発表など。

授業時間数の3分の1以上を欠席した者は評価対象にしない。

#### 授業外学習

授業で学習した内容をしっかり復習し、既習の語彙・表現・文法項目を定着させるよう、自ら努力すること。理解度を確認するため、小テストを行うことがある。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義の中で紹介する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義の中で紹介する。

#### 前提学力等

中級レベルの学習者を対象としている。

#### 履修資格



講義名	プログラミング基礎					担当教員	宮城 茂幸
講義コード	1130372	単位数	2	開講期	後期集中		
ナンバリング番号							

#### 授業概要

プログラム言語の種類やその特徴を学とともに、具体的な言語としてC言語を取り上げる。C言語を用いて簡単な計算問題のプログラムが作成できるように、変数の準備方法、各種演算処理、分岐処理、繰り返し計算といった基本的なプログラミングの技法を学ぶ。

#### 到達目標

- (1) C言語の基本的な文法について説明できること。
- (2) 文字情報を画面に表示することと、キーボードから入力できること。
- (3) 条件付けによりプログラムの実行を分岐できること。
- (4) 繰り返し命令をりようしたプログラムが作成できること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	各到達目標について、小テスト40%、演習問題60%で評価する。

#### 授業外学習

進度に応じて演習問題を宿題とすることがある。小テストを適宜実施する。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

資料配布

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

平成21年度以前入学生については「情報処理演習I」および「情報科学概論」の単位を取得していること。

#### 履修資格



講義名	健康・体力科学（運動処方）				担当教員	中井 直也	
講義コード	1140010	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101EXR102						

#### 授業概要

健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、運動処方を通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し、スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。

#### 到達目標

- (1)健康・体力の維持増進に必要な運動の科学的知識を理解する。
- (2)各自の目的（健康維持、体力向上、肥満予防および解消等）に応じた安全で効果的な運動を処方する。
- (3)身体の状態を把握、体力テストに基づき運動の種類、運動強度、運動時間、運動頻度をプログラムする。
- (4)運動処方の内容に従い実践し、生理的变化や運動の効果を確認、処方の内容を考察する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	40%	到達目標（1）および（4）についてレポートを提出する。
上記以外	60%	毎回の授業における到達目標（2）（3）および（4）について「実習計画・記録用紙」を記入し、提出する。

欠席回数が4回以上の場合は、原則として当該科目の単位は認めない。  
遅刻や早退は1/3欠席扱いとする。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業に必要な資料は適宜配布する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	健康・体力科学（サッカー）				担当教員	中村 力 / 中井 直也 / 東田 一彦	
講義コード	1140040	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101EXR102						

#### 授業概要

健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、サッカーを通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し、スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。

#### 到達目標

- (1) サッカーの練習やゲームを通じて、技能や体力の向上を図る。
- (2) 生涯にわたるスポーツライフを設計し、実践する能力を育成する。
- (3) グループでの活動に必要な態度を身につける。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40%	(2) レポートにより40%で評価する チームの活動計画の時間配分および内容が適切かどうか
上記以外	60%	(1)(3)を実技学習課題により60%で評価する サッカーのゲームに必要な体力および技能を身につけられたか、または積極的にチームの活動に貢献できたかどうか

欠席回数が4回以上（1単位につき）のときは、原則として当該科目の単位は認めない。  
ただし、怪我・病気等で欠席の場合は担当教員に事情を説明し、対応の指示を受けること。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	健康・体力科学（スキー・スノーボード）				担当教員	東田 一彦	
講義コード	1140060	単位数	1	開講期			後期集中
ナンバリング番号	101EXR102						

#### 授業概要

健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、スキー・スノーボードを通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し、スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。

#### 到達目標

- (1)スキー・スノーボード運動による健康・体力の維持増進および自然環境への理解を深める。
- (2)スキー・スノーボード実習を通してライフスキルの能力を養う。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	(1)(2)実習レポート
上記以外	60	(1)(2)実技学習課題

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	健康・体力科学（卓球）				担当教員	芳田 哲也 / 中井 直也 / 東田 一彦	
講義コード	1140090	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101EXR102						

#### 授業概要

健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、卓球を通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し、スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。

#### 到達目標

- (1) 卓球の基本技術を習得し、ゲームをする楽しさを味わう。
- (2) 生涯スポーツとしての卓球を楽しむための練習計画を作成できるようになる。
- (3) 運動学的あるいは力学的観点から卓球の技術を分析し技術の習得を目指す。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40%	到達目標である(2)および(3)を題材にしたレポートにより、それらの達成度について評価する。
上記以外	60%	到達目標である(1)および(3)を実技学習課題として、それらの達成度について評価する。

- (1) 「実技学習課題」60%と「試験またはレポート」40%で評価する。
- (2) 欠席回数が4回以上(1単位につき)のときは、原則として当該科目の単位は認めない。
- (3) ただし、怪我・病気等で欠席の場合は担当教員に事情を説明し、対応の指示を受けること。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	健康・体力科学（卓球）					担当教員	芳田 哲也 / 中井 直也 / 東田 一彦
講義コード	1140090	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	101EXR102						

#### 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	全体ガイダンス	健康・体力科学 および の授業の進め方，種目説明，種目希望調査
第2回	基本技術の習得1	グリップの特性と持ち方・技能テスト ・簡易ゲーム（班内）
第3回	基本技術の習得2	フォアハンドストローク（ショート，ロング）・簡易ゲーム（班内）
第4回	基本技術の習得3	バックハンドストローク（ショート，ロング）・簡易ゲーム（順位別）
第5回	基本技術の習得4	サーブとスマッシュ・簡易ゲーム（順位別）
第6回	基本技術の応用1	トップスピンやバックスピンのストローク・簡易ゲーム（班別対抗）
第7回	基本技術の応用2	トップ，バック，サイドスピンのサーブ・簡易ゲーム（班別対抗）
第8回	基本技術の応用3	フォア&バックの切り替えとスマッシュのタイミングと角度
第9回	ゲーム1	シングルスゲームの正式ルール・班内リーグ戦
第10回	ゲーム2	シングルスゲームのスタイル（前陣型，後陣型）・順位別リーグ戦
第11回	ゲーム3	ダブルスゲームの正式ルール・班内対抗リーグ戦
第12回	ゲーム4	ダブルスゲームのフォーメーション・順位別リーグ戦
第13回	ゲーム5	シングルスとダブルスによる班別対抗リーグ戦
第14回	技能テスト	自己技能の変化とその原因及び効果的な練習方法に関する考察
第15回	まとめ	身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性の理解と，生涯スポーツへの動機づけ

担当者から一言

講義名	健康・体力科学（テニス）				担当教員	多胡 陽介 / 中井 直也 / 東田 一彦	
講義コード	1140120	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101EXR102						

#### 授業概要

健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、テニスを通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し、スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。

#### 到達目標

- (1) テニスの練習やゲームを通じて、技能や体力の向上を図る。
- (2) 自己の課題を明確にし、改善方法を考えることができる。
- (3) テニスの指導計画を立て、グループのメンバーに実践できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60%	到達目標の(1)に応じて技能向上の程度や授業への積極性を実技学習課題として評価する。
レポート課題	40%	到達目標の(2)(3)に応じてレポート課題を課し、記述の具体性について評価する。
上記以外		

#### 授業外学習

テニスの動画や書籍をみることにより技術の要点について理解しておくこと

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	健康・体力科学（ニュースポーツ）				担当教員	東田 一彦	
講義コード	1140150	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101EXR102						

#### 授業概要

健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、ニュースポーツを通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し、スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。

#### 到達目標

- (1)身体活動の科学的法則性を理解し、望ましい健康増進の手法を学ぶ。
- (2)生涯スポーツとしてのニュースポーツの文化的意義を理解し、基本技術を習得する。
- (3)地域や職域における生涯スポーツの普及発展の中心的な役割を担う人材の育成をめざす。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	(3)レポートで評価する
上記以外	60	(1)(2)実技学習課題で評価する

- ・欠席回数が4回以上（1単位につき）のときは、原則として当該科目の単位は認めない。
- ・ただし、怪我・病気等で欠席の場合は担当教員に事情を説明し、対応の指示を受けること。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	健康・体力科学（バスケット）				担当教員	岩瀬 雅紀 / 中井 直也 / 東田 一彦	
講義コード	1140180	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101EXR102						

#### 授業概要

健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、バスケットボールを通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し、スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。

#### 到達目標

- ・ ゲームに必要な基礎技術、持久力、素早さ、瞬発力、動きの柔軟性、的確な判断力を養う。
- ・ バスケットボールの戦術を理解し、ゲームでの攻防を楽しむ。 ・ グループワークを通して、コミュニケーション能力や協調性、自主性を養う。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40%	(1), (2), (3) は毎回の提出課題と自己評価及びチーム評価
上記以外	60%	(1), (2), (3) は実技の達成度とチームワーク

- ・ 「実技学習課題」60%と「試験またはレポート」40%で評価する。
- ・ 欠席回数が4回以上（1単位につき）のときは、原則として当該科目の単位は認めない。
- ・ ただし、怪我・病気等で欠席の場合は担当教員に事情を説明し、対応の指示を受けること。

#### 授業外学習

グループの練習担当者が、各回の授業でのテーマを中心に一日の練習を計画してくる。その練習計画を基に練習し、授業の後半のリーグ戦で練習の成果を試す。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	健康・体力科学（バスケット）				担当教員	岩瀬 雅紀 / 中井 直也 / 東田 一彦	
講義コード	1140180	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101EXR102						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	全体ガイダンス	健康・体力科学 および の授業の進め方, 種目説明, 種目希望調査
第2回	コースガイダンス	グループ分け
第3回	ボールワーク、シューティングのポイント	セットポジションからのシューティング
第4回	ドリブルワーク	ドリブルシュート
第5回	1対1の攻防	ディフェンスの基本、リバウンドワーク
第6回	2対1の攻防	パスワーク、オフェンスの連携
第7回	2対2の攻防	オフェンス・ディフェンスの連携、ボールを持たない時の動き
第8回	3対3の攻防	ポストプレイ、スペースの有効利用
第9回	ハーフコートでの3on3のリーグ戦	ルールの確認、審判法
第10回	ハーフコートでの5on5のリーグ戦	前回のゲームのフィードバック
第11回	4対4の攻防	ファストブレイクの意義、スクリーンの利用
第12回	5on5のリーグ戦	ルールの確認、審判法
第13回	5on5のリーグ戦	前回のゲームのフィードバック
第14回	5on5のリーグ戦	前回のゲームのフィードバック

担当者から一言

常識・節度ある受講姿勢と積極的な実技への参加  
実技を通しての積極的なコミュニケーション

講義名	健康・体力科学（バドミントン）				担当教員	岩瀬 雅紀 / 中井 直也 / 東田 一彦	
講義コード	1140210	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101EXR102						

#### 授業概要

健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、バドミントンを通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し、スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。

#### 到達目標

- (1) ゲームに必要な基礎技術、持久力、素早さ、瞬発力、動きの柔軟性、的確な判断力を養う。
- (2) シングルスゲームおよびダブルスゲームの戦術を理解し、ゲームでの攻防を楽しむ。
- (3) グループワークを通して、コミュニケーション能力や協調性、自主性を養う。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40%	(1), (2), (3)は毎回の提出課題と自己評価及びチーム評価
上記以外	60%	(1), (2), (3)は実技の達成度とチームワーク

- ・「実技学習課題」60%と「試験またはレポート」40%で評価する。
- ・欠席回数が4回以上(1単位につき)のときは、原則として当該科目の単位は認めない。
- ・ただし、怪我・病気等で欠席の場合は担当教員に事情を説明し、対応の指示を受けること。

#### 授業外学習

グループの練習担当者が、各回の授業でのテーマを中心に一日の練習を計画してくる。その練習計画を基に練習し、授業の後半のリーグ戦で練習の成果を試す。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	健康・体力科学（ゴルフ）				担当教員	東田 一彦	
講義コード	1140400	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201EXR101						

#### 授業概要

健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、ゴルフを通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し、スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。

#### 到達目標

- (1) ゴルフ・ゲームの特性（自己申告制，自然との対話，心・技・体のバランス，ハンディキャップ制など）を生かし，生涯にわたってゴルフが楽しめる基礎をつくる。  
(2) コースのラウンド実習では，エチケット・マナーをまもりより豊かな人間性と社会性を養う。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	(1)(2)実技レポート
上記以外	60	(1)(2)実技学習課題

- ・欠席回数が4回以上(1単位につき)のときは，原則として当該科目の単位は認めない。
- ・ただし，怪我・病気等で欠席の場合は担当教員に事情を説明し，対応の指示を受けること。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	健康・体力科学 (ゴルフ)				担当教員	東田 一彦	
講義コード	1140400	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201EXR101						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	全体ガイダンス	コース別ガイダンス - 授業方針, 実習内容等
第2回	スイング形成ドリル	正しいグリップとは, クラブシャフトスイングを身につける
第3回	スイング形成ドリル	スイングを身につける
第4回	フルスイング	コントロールショットで飛距離を調節
第5回	コントロールスイング	ビデオによるフォームチェック
第6回	アプローチ	チップショット
第7回	アプローチ	飛距離を調節
第8回	ターゲットバードゴルフ	初めてのゲーム
第9回	バンカーショット	砂場でのショット
第10回	パッティング	距離と方向性を合わせる
第11回	エラー矯正	自分でできるエラー矯正法
第12回	エチケット・マナー	プレー上のエチケット・マナー
第13回	ショートコース・ラウンド実習	ラウンドをスムーズに進行するための方法について考える
第14回	ショートコース・ラウンド実習	ラウンドをスムーズに進行するための方法について考える
第15回	ショートコース・ラウンド実習	ラウンドをスムーズに進行するための方法について考える

担当者から一言

練習用ボール代および実習経費として学生負担金が必要 練習用ボール代および実習経費として学生負担金が必要

講義名	健康・体力科学（ソフトボール）				担当教員	岩瀬 雅紀 / 中井 直也 / 東田 一彦	
講義コード	1140410	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201EXR101						

#### 授業概要

健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、ソフトボールを通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し、スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。

#### 到達目標

- (1) ソフトボールの練習やゲームを通じて、技能や体力の向上を図る。
- (2) 生涯にわたるスポーツライフを設計し、実践する能力を育成する。
- (3) グループでの活動に必要な態度を身につける。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40%	(1), (2), (3) は毎回の提出課題と自己評価及びチーム評価
上記以外	60%	(1), (2), (3) は実技の達成度とチームワーク

- ・「実技学習課題」60%と「試験またはレポート」40%で評価する。
- ・欠席回数が4回以上（1単位につき）のときは、原則として当該科目の単位は認めない。
- ・ただし、怪我・病気等で欠席の場合は担当教員に事情を説明し、対応の指示を受けること。

#### 授業外学習

グループの練習担当者が、各回の授業でのテーマを中心に一日の練習を計画してくる。その練習計画を基に練習し、授業の後半のリーグ戦で練習の成果を試す。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	健康・体力科学 (テニス)				担当教員	芳田 哲也 / 中井 直也 / 東田 一彦	
講義コード	1140415	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201EXR101						

#### 授業概要

健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、テニスを通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し、スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。

#### 到達目標

- (1) テニスの練習やゲームを通じて、技能や体力の向上を図る。
- (2) 生涯にわたるスポーツライフを設計し、実践する能力を育成する。
- (3) グループワークを通して、コミュニケーション能力や協調性、自主性を養う。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40%	到達目標である(2)を題材にしたレポートにより、その達成度について評価する。
上記以外	60%	到達目標である(1)および(3)を実技学習課題として、それらの達成度について評価する。

- (1) 「実技学習課題」60%と「試験またはレポート」40%で評価する。
- (2) 欠席回数が4回以上(1単位につき)のときは、原則として当該科目の単位は認めない。
- (3) ただし、怪我・病気等で欠席の場合は担当教員に事情を説明し、対応の指示を受けること。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	健康・体力科学（バドミントン）				担当教員	多胡 陽介 / 中井 直也 / 東田 一彦	
講義コード	1140420	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201EXR101						

#### 授業概要

健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、バドミントンを通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し、スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。

#### 到達目標

- (1)バドミントンの練習やゲームを通じて、技能や体力の向上を図る。
- (2)自己の課題を明確にし、改善方法を考えることができる。
- (3)バドミントンの指導計画を立て、グループのメンバーに実践できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60%	到達目標の(1)に応じて技能向上の程度や授業への積極性を実技学習課題として評価する。
レポート課題	40%	到達目標の(2)(3)に応じてレポート課題を課し、記述の具体性について評価する。
上記以外		

#### 授業外学習

バドミントンの動画や書籍をみることにより技術の要点について理解しておくこと

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	健康・体力科学（バレーボール）				担当教員	多胡 陽介 / 中井 直也 / 東田 一彦	
講義コード	1140430	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201EXR101						

#### 授業概要

健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、バレーボールを通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し、スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。

#### 到達目標

- (1)バレーボールの練習やゲームを通じて、技能や体力の向上を図る。
- (2)自己の課題を明確にし、改善方法を考えることができる。
- (3)バレーボールの指導計画を立て、グループのメンバーに実践できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60%	到達目標の(1)に応じて技能向上の程度や授業への積極性を実技学習課題として評価する。
レポート課題	40%	到達目標の(2)(3)に応じてレポート課題を課し、記述の具体性について評価する。
上記以外		

#### 授業外学習

バレーボールの動画や書籍をみることにより技術の要点について理解しておくこと

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	健康・体力科学（バレーボール）					担当教員	多胡 陽介 / 中井 直也 / 東田 一彦
講義コード	1140430	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	201EXR101						

**授業計画**

回数	タイトル	概要
第1回	コース（種目）別ガイダンス	授業の進め方，授業内容等
第2回	レシーブとサーブ	各種レシーブ練習とサーブ
第3回	トスとスパイク，ゲーム	各種トス・スパイクとミニバレーボールゲーム，ルール（ラリーポイント）
第4回	トスとスパイク，ゲーム	各種トス・スパイクとミニバレーボールゲーム，ルール（ラリーポイント）
第5回	ブロックとゲーム	各種ブロックフォーメーションとミニバレーボールゲーム
第6回	アタックレシーブとゲーム	アタックレシーブフォーメーションとミニバレーボールゲーム
第7回	アタックレシーブとゲーム	アタックレシーブフォーメーションとミニバレーボールゲーム
第8回	ゲーム	グループ学習、ゲーム（25点2セット），審判の方法
第9回	ゲーム	グループ学習、ゲーム（25点2セット）
第10回	ゲーム	グループ学習、ゲーム（25点2セット）
第11回	ゲーム	グループ学習、ゲーム（25点2セット）
第12回	ゲーム	グループ学習、ゲーム（25点2セット）
第13回	ゲーム	グループ学習、ゲーム（25点2セット）
第14回	ゲーム	ゲーム（25点2セット）
第15回	まとめ	授業全体を振り返る
担当者から一言		

講義名	健康・体力科学（運動処方）					担当教員	中井 直也
講義コード	1140440	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	201EXR101						

#### 授業概要

健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、運動処方を通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し、スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。

#### 到達目標

- (1)健康・体力の維持増進に必要な運動の科学的知識を理解する。
- (2)各自の目的（健康維持、体力向上、肥満予防および解消等）に応じた安全で効果的な運動を処方する。
- (3)身体の状態を把握、体力テストに基づき運動の種類、運動強度、運動時間、運動頻度をプログラムする。
- (4)運動処方の内容に従い実践し、生理的变化や運動の効果を確認、処方の内容を考察する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	40%	到達目標（1）および（4）についてレポートを提出する。
上記以外	60%	毎回の授業における到達目標（2）（3）および（4）について「実習計画・記録用紙」を記入し、提出する。

欠席回数が4回以上の場合は、原則として当該科目の単位は認めない。  
遅刻や早退は1/3欠席扱いとする。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業に必要な資料は適宜配布する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	健康・体力科学（運動処方）				担当教員	中井 直也	
講義コード	1140440	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201EXR101						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	全体ガイダンスと履修コース（種目）の決定	健康・体力科学の授業の進め方、種目の説明の後、履修コース（種目）を決定する。
第2回	運動処方クラスのガイダンスと体力測定 1	運動処方クラスの授業について説明する。その後、体力測定を行う。
第3回	体力測定 2	体力測定の後半部分を行う。
第4回	目標設定	体力測定の結果から現在の体力レベルを理解する。運動処方の理論を理解し、自らの体力および健康について達成すべき目標を立てる。
第5回	運動処方の理論 1 と運動実践	運動が身体に及ぼす栄養を理解し、運動実践を行う。
第6回	運動処方の理論 2 と運動実践	有酸素運動能力を高める運動処方の理論を理解し、運動実践を行う。
第7回	運動処方の理論 3 と運動実践	最大筋力および筋持久力を高める運動処方の理論を理解し、運動実践を行う。
第8回	栄養素の機能 1 と運動実践	3大栄養素の役割および摂取方法を理解し、運動実践を行う。
第9回	栄養素の機能 2 と運動実践	ビタミン、ミネラルの役割および摂取方法を理解し、運動実践を行う。
第10回	水分補給と運動実践	熱中症と水分補給の重要性を理解し、運動実践を行う。
第11回	疲労・休養と運動実践	疲労のメカニズムと休養の意義を理解し、運動実践を行う。
第12回	生活習慣病と運動実践	生活習慣病と運動との関係を理解し、運動実践を行う。
第13回	サプリメントと運動実践	サプリメントの種類と機能を理解し、運動実践を行う。
第14回	加齢と運動実践	加齢による身体機能の変化と生涯スポーツの重要性を理解し、運動実践を行う。
第15回	体力測定	体力測定を行い、これまでの運動実践が身体機能に及ぼす影響を理解する。

担当者から一言

講義名	健康・体力科学（海洋スポーツ）				担当教員	中井 直也 / 東田 一彦	
講義コード	1140450	単位数	1	開講期			前期集中
ナンバリング番号	201EXR101						

#### 授業概要

健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、海洋スポーツを通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し、スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。

#### 到達目標

- (1) 海洋スポーツ（カヤックカヌー、ヨットおよびボードセーリング）の基礎技術を習得する。
- (2) 海洋スポーツの実践により自主性、自律性、自己の責任、安全管理（危機回避）等の能力を養う。
- (3) 滋賀の自然と親しみ、スポーツフィールドとしての側面から琵琶湖の抱えている問題を理解する。
- (4) 生涯スポーツとしての海洋スポーツを理解する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40%	到達目標の(1)～(4)について、レポートを提出する。
上記以外	60%	到達目標の(1)と(2)を実技学習課題とする。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要な資料はすべてプリントして配布する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	健康・体力科学（卓球）				担当教員	中村 力 / 中井 直也 / 東田 一彦	
講義コード	1140460	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201EXR101						

#### 授業概要

健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、卓球を通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し、スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。

#### 到達目標

- (1)卓球の基本技術を習得し、ゲームをする楽しさを味わう。
- (2)生涯スポーツとしての卓球を楽しむための練習計画を作成できるようになる。
- (3)運動学的あるいは力学的観点から卓球の技術を分析し技術の習得を目指す。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40%	(2)レポートにより40%で評価する 練習計画の時間配分および内容が適切かどうか
上記以外	60%	(1)(3)を実技学習課題により60%で評価する 卓球のルールを正しく理解できているか、また様々な打法の打ち方と効果を理解できているかどうか

- ・「実技学習課題」60%と「試験またはレポート」40%で評価する。
- ・欠席回数が4回以上（1単位につき）のときは、原則として当該科目の単位は認めない。
- ・ただし、怪我・病気等で欠席の場合は担当教員に事情を説明し、対応の指示を受けること。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	Medieval Japan				担当教員	Peter Morris	
講義コード	1150000	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	101HUM120						

#### 授業概要

This course focuses on the development of Japanese Culture and the People. It will study the origins of Imperial Japan with its deeply religious and philosophical elements. We will also follow Japan as it evolves from hunters and gatherers to a powerful, globally known people. The course will breakdown and analyze things which are inherently Japanese and continue to be matters of intrigue today.

#### 到達目標

This course focuses on the development of Japanese Culture and People. It will study the origins of Imperial Japan with its deeply religious and philosophical elements. We will also follow Japan as it evolves from Paleolithic hunters and gatherers to a powerful, globally known people. The course will breakdown and analyze things which are inherently Japanese and remain matters of intrigue today.

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	
レポート課題	30	
上記以外	40	Attendance

#### 授業外学習

You will be required to submit a midterm and final paper.

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	Modernizing Japan				担当教員	Peter Morris	
講義コード	1150001	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	101HUM121						

#### 授業概要

This course focuses on history and culture around the modernization of Japan and her struggle to join the fraternity of nations in the West. We will observe the evolution of Modern Japan by examining the cultural development of Japan's culture with the influences and interaction of other nations. We will observe Japan's attempts in joining the fraternity of nations. We will study WWII as a pivotal event that launched Japan into becoming a substantial presence in the world. We will finally discuss Japan today and its economic and social conditions.

#### 到達目標

This course focuses on history and culture around the modernization of Japan and her struggle to join the fraternity of nations in the West. We will observe the evolution of Modern Japan by examining the cultural development of Japan's culture with the influences and interaction of other nations. We will observe Japan's attempts in joining the fraternity of nations. We will finally discuss Japan today and its economic and social conditions.

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	
レポート課題	30	
上記以外	40	Attendance and Participation

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	Modernizing Japan				担当教員	Peter Morris	
講義コード	1150001	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	101HUM121						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Intro: What is Modern?	The Warring States and the West
第2回	Tokugawa Political Organization	Central Management of the Country via the Domain System
第3回	Travel: Edo Period Roads through Omi	Tokaido, Nakasendo, Chosenjinkaido 道 State Sponsored Foreign Interaction
第4回	External Threats to the Bakufu	The West continues to encroach upon Japan. Japan is forced to make policy to keep Japan closed...leading to its inevitable opening
第5回	Threats to the Bakufu Word relations	Samurai power dwindles with no wars to fight and the merchant class evolves. The opening of Japan and the fall of the Bakufu
第6回	Meiji Japan	The Iwakura Mission and Tsuda Umeko With the Samurai removed from power, Japan sets out to join the rest of the world.
第7回	Joining the Fraternity of Nations	Japan is poised to join. War with China causes the world to take a new look at Japan. After beating China, Japan faces Russia.
第8回	Review / Midterm Quiz: Paper Due:	After beating Russia, the West sits up and takes notice with the onset of WW1 and the League of Nations.
第9回	Rejected by the Fraternity	The Fraternity becomes cautious as Japan puts forth an aggressive program throughout Asia.
第10回	War in the Pacific War Propaganda	Events leading the most horrific war in the history of the world. A new world for both the Japanese and the U.S.
第11回	The War's End	After the dust clears, we see Japan quickly evolve into a new world power. Rebuilding infrastructure through the 50's.
第12回	The 60s and 70s	Japan strengthens economically to become the 2nd biggest economic power in the world
第13回	The 80's and 90's	Japan makes dramatic changes during this time period. Economically and Globally, Japan evolves. The Bubble Economy and Political Corruption
第14回	Japan in the 21st Century	A look at Japan today... Population and aging issues, security and social issues. The economic and political climate in Asia and Japan's standing.
第15回	FINAL TEST	

担当者から一言

講義名	Medieval Japan in the World				担当教員	Peter Morris	
講義コード	1150003	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	101HUM122						

#### 授業概要

#### 到達目標

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	Modernizing Japan in the World				担当教員	Peter Morris	
講義コード	1150004	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	101HUM123						

#### 授業概要

Overview of World History along the line of Japan's Modern History.

#### 到達目標

This course focuses on world history and association along the timeline of the modernization of Japan as she struggles to adapt to the ever changing world around her.. As we observe the evolution of Modern Japan we will focus on what is happening in the World around them.

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	
レポート課題	30	
上記以外	40	Attendance and Participation

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	Contemporary Japanese Culture					担当教員	Peter Morris
講義コード	1150005	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	101EXG121						

#### 授業概要

This course is a thematic series of lectures aimed at attaining a comprehensive understanding of the rich culture of Japan, both past and present. Students will become familiar with Japanese Culture through lectures and hands-on participation. Through this series, students will be introduced and gain a general understanding of such subjects as language arts, history, art, environmental science, and basic martial arts.

#### 到達目標

Students will be introduced and gain a general understanding of such subjects as language arts, history, art, environmental science, and basic martial arts.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	Final Presentation In teams of 2-3, each group is required to give 10-minute presentations in class. Students can choose the topic from class themes. Power-Point presentation with visual aids is required.
レポート課題	30	Three Short Essays Students write three short essays on 1. History of Shiga
上記以外	30	Preparation and Participation: Students are expected to complete the reading assignments and prepare for the classes. Participation is an important element to your success in this course.

Plagiarism will not be tolerated and will result in termination of participation. Tardiness or lack of consideration will influence your course participation grade.

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Course Handouts will be provided

#### 前提学力等

Maximum Class Size is 15 and students who wish to enroll this class must come to the Office of International Programs and Development first.

#### 履修資格

講義名	Contemporary Japanese Culture					担当教員	Peter Morris
講義コード	1150005	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	101EXG121						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	History of Shiga	We will highlight Shiga's role in the development of Japan as a nation highlighting people and events from medieval times to the present.
第2回	Visiting Hikone City Hall and join the tour	Learn about Hikone's city administration and tourism management.
第3回	Japanese Flower Arrangement Lesson 1	Learn the history of Japanese traditional flower arrangement, Ikenobo-style, and have a lesson. Bring notebook and pen
第4回	Japanese Traditional Calligraphy Lesson 1	Learn the meaning of Kanji and practice them using ink brush
第5回	Tea Ceremony lesson	Learn the history of the Way of Tea and experience the performance.
第6回	Karate Lesson 1	This class consists of lectures of Martial Arts history in Japan and Physical Practice. Wear exercise clothes.
第7回	University's research boat "Hassaka"	Board a university's research boat "Hassaka". You will study water quality and environmental issues in Lake Biwa.
第8回	Japanese Movie	We will watch analyze, discuss, and discover elements of Japanese language and contemporary culture via a Japanese animation.
第9回	Ikebana lesson 2	Learn the history of Japanese traditional flower arrangement, Ikenobo-style, and have a lesson. Bring notebook and pen
第10回	Japanese Traditional Calligraphy Lesson 2	Learn the meaning of Kanji and practice them using ink brush
第11回	Tea Ceremony lesson	Learn the history of the Way of Tea and experience the performance.
第12回	Japanese Traditional Game	Learn Japanese traditional games. We will specially focus on "CARROM", a "strike and pocket" table game which is very famous in Hikone.
第13回	Haiku lesson	Learn about the origins and history of the haiku, the shortest and one of the most famous poetic forms in the world.
第14回	Karate Lesson 2	This class consists of lectures of Martial Arts history in Japan and Physical Practice. Wear exercise clothes.
第15回	Final Presentation	In teams of 2-3, each group is required to give 10-minute presentations in class.

担当者から一言

講義名	Contemporary Japanese Culture				担当教員	Peter Morris	
講義コード	1150006	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	101EXG121						

#### 授業概要

This course is a thematic series of lectures aimed at attaining a comprehensive understanding of the rich culture of Japan, both past and present. Students will become familiar with Japanese Culture through lectures and hands-on participation. Through this series, students will be introduced and gain a general understanding of such subjects as language arts, history, art, environmental science, and basic martial arts.

#### 到達目標

Students will be introduced and gain a general understanding of such subjects as language arts, history, art, environmental science, and basic martial arts.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	Final Presentation In teams of 2-3, each group is required to give 10-minute presentations in class. Students can choose the topic from class themes. Power-Point presentation with visual aids is required.
レポート課題	30	Three Short Essays Students write three short essays on 1. History of Shiga
上記以外	30	Preparation and Participation: Students are expected to complete the reading assignments and prepare for the classes. Participation is an important element to your success in this course.

Plagiarism will not be tolerated and will result in termination of participation. Tardiness or lack of consideration will influence your course participation grade.

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Course Handouts will be provided

#### 前提学力等

Maximum Class Size is 15 and students who wish to enroll this class must come to the Office of International Programs and Development first.

#### 履修資格



講義名	Intensive Japanese Language and Culture (4-week)				担当教員	倉茂 好匡	
講義コード	1150007	単位数	6	開講期			前期集中
ナンバリング番号	101EXG122						

#### 授業概要

This intensive summer course offers 48 hours lecture of Japanese language and history. There will be several excursions, cultural events, and daily opportunities to mix, mingle, and study with regular USP Japanese students. Weekend home-stay also will be offered and students can attain comprehensive understanding of Japanese culture throughout the program.

#### 到達目標

- 1) To attain a comprehensive understanding of the rich culture of Japan.
- 2) To learn and master level appropriate speaking, listening and reading skills with an added emphasis on grammar and vocabulary.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	30	Final presentation constitutes 30% of your grade.
レポート課題	35	Assignments and quizzes constitute 35% of your grade.
上記以外	35	Preparation and Participation: Students are expected to complete assignments and be prepared for class. Participation is an important element to your success in this course.

#### 授業外学習

There will be 30 hours of Culture Activity/ Field Trip. For more details, please see the attached syllabus.

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Course Handouts will be provided

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	Intensive Japanese Language and Culture (9-week)				担当教員	倉茂 好匡	
講義コード	1150008	単位数	12	開講期			前期集中
ナンバリング番号	101EXG123						

#### 授業概要

This intensive summer course offers more than 100 hours lecture of Japanese language and history. There will be several excursions, cultural events, and daily opportunities to mix, mingle, and study with regular USP Japanese students. Weekend home-stay also will be offered and students can attain comprehensive understanding of Japanese culture throughout the program.

#### 到達目標

- 1) To attain a comprehensive understanding of the rich culture of Japan.
- 2) To learn and master level appropriate speaking, listening and reading skills with an added emphasis on grammar and vocabulary.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	30	Final presentation constitutes 30% of your grade.
レポート課題	35	Assignments and quizzes constitute 35% of your grade.
上記以外	35	Preparation and Participation: Students are expected to complete assignments and be prepared for class. Participation is an important element to your success in this course.

#### 授業外学習

There will be 50 hours of Culture Activity/ Field Trip. For more details, please see the attached syllabus.

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Course Handouts will be provided

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	Japan Studies: Influences of Geography on Culture & Society				担当教員	倉茂 好匡	
講義コード	1150009	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	101EXG124						

#### 授業概要

This course will focus on Japan's natural scenery, in particular the general topography of Japan. Natural scenery is affected with the climate of the region. In addition, since tectonic activity is very high in Japan, topography in Japan is very unique. Thus, in this course, students will consider why such topography exists in Japan, based on basic knowledge of geomorphology. In addition, these typical topographies are closely related to culture, civilization, and the religion of the region. The students will understand how Japanese people use these topographies for their living. Moreover, such typical topography is, in many cases, related to natural hazards, so students will understand the characteristics of some of these natural hazards, as well as learn how to evacuate in these circumstances.

#### 到達目標

- (1) To provide students with a basic understanding of the nature of Japan's general topography, and how Japanese people recognizes its beauty.
- (2) To provide students with a basic understanding of Japanese general culture, civilization, and religion; and how these topographies are used in life.
- (3) To understand the nature of volcanic eruptions, earthquakes, and tsunamis; and to understand evacuation procedures in the case of such natural hazards.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	essays about unique topography in Japan
上記以外	60	Participation to group work: 30% quizzes/tests: 30%

#### 授業外学習

Homeworks are required for each lecture. The students write essays about unique topography shown in the lecture, reading some WEB sites related to the topography.

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	異文化理解 A				担当教員	国際交流委員会	
講義コード	1150020	単位数	2	開講期			前期集中
ナンバリング番号	101HUM112						

#### 授業概要

夏季休業中の3週間、アメリカミシガン州のレイクスベリオル州立大学において、下の授業計画による特別講義を履修します。これらの講義は、英語の講義と大学周辺地域でのフィールドトリップとが組み合わされています。それ以外に、出発前には本学において、専門基礎講座と英語集中講座を受講します。また現地では、週末に同大学教員宅にてホームステイを過ごし、さらにはネイティブアメリカンやバイオニスタイルの食事を体験します。

#### 到達目標

英語によるコミュニケーション能力の向上はもちろん、アメリカ・カナダの自然と文化に触れ、国際感覚を涵養するとともに、異文化の理解に努めます。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	終了後に提出するレポートおよび課題発表会。
上記以外		

修了後に提出するレポート(100%)。評価は「認定」となります。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書：特にありませんが、事前授業の中で資料を配付します。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

現地での講義や説明は全て英語で行われるので、受講者には英語で質疑応答が出来る語学力と積極性が求められます。受講希望者が定員15名を超えるときは、3・4回生を優先とし語学力(学内TOEFL模擬試験)によって受講者を5月初旬に選定します。

#### 履修資格

講義名	異文化理解 A				担当教員	国際交流委員会	
講義コード	1150020	単位数	2	開講期			前期集中
ナンバリング番号	101HUM112						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	事前講義 研修全般について	事前オリエンテーションと、昨年度参加者との質疑応答
第2回	事前講義 地質	
第3回	事前講義 英語特別講座	
第4回	事前講義 英語特別講座	
第5回	事前講義 英語特別講座	
第6回	現地特別講義 E S L	
第7回	現地特別講義 マキノ島周辺の文化人類学	
第8回	現地特別講義 E S L	
第9回	現地特別講義 湖沼と集水域の管理	
第10回	現地特別講義 E S L	
第11回	現地特別講義 森林管理と陸地生態学	
第12回	現地特別講義 スペリオル湖地域の生態	
第13回	現地特別講義 E S L	
第14回	現地特別講義 ネイティブアメリカンの文化	
第15回	課題発表会	

担当者から一言

講義名	異文化理解 B				担当教員	国際交流委員会	
講義コード	1150030	単位数	2	開講期			後期集中
ナンバリング番号	101HUM113						

#### 授業概要

春季休業中の3週間、中国湖南省の湖南師範大学において、下の授業計画による特別講義を履修します。これらの講義は、中国語の講義と大学周辺地域でのフィールドトリップや中国文化の演習とが組み合わされています。それ以外に、出発前には本学において、中国語講座を受講します。また現地では、中国湖南地方の伝統的な食事を体験します。

#### 到達目標

中国語によるコミュニケーション能力の向上はもちろん、中国の自然と文化に触れ、国際感覚を涵養するとともに、異文化の理解に努めます。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	終了後に提出。評価は「認定」となります。
上記以外		

修了後に提出するレポート(100%)。評価は「認定」となります。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書：特にありませんが、事前授業の中で資料を配付します。

#### 前提学力等

中国語の講義は英語で行われます。またフィールドトリップの説明は、湖南師範大学のスタッフにより日本語に通訳され、日常生活についても日本語での会話が可能な湖南師範大学の学生が同行しますので、中国語力は特に問いません。受講希望者が定員15名を超えるときは、3・4回生を

#### 履修資格



講義名	栄養と人間					担当教員	小澤 恵子
講義コード	1150035	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	101HUM177						

#### 授業概要

エネルギーや栄養素の必要量は、個々人によって違いがある。栄養状態のアセスメント法を習得し、評価にあわせた栄養ケアが提案できるよう、栄養素の名前、栄養素の働きを学習する。  
健康な生活を維持するため、日常の食生活を見直すと共に、臨床栄養について学習し、各種疾患に対する栄養素のかかわりと、治療食を理解する。

#### 到達目標

- (1) 栄養状態のアセスメントの重要性を理解し、アセスメント法を習得する。
- (2) 生命体および人間にとっての栄養の意義を理解する。
- (3) 人体の成長、健康の維持・増進に向けての知識・技術を習得する。
- (4) 臨床において疾患の治療に向けた知識・技術を習得する

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80	
レポート課題		
上記以外	20	レスポンスカードにより、授業の理解度と授業に対する取り組み態度を評価する。(20%)

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	系統看護学講座 専門基礎分野 栄養学 人体の構造と機能	小野 杉山 鈴木 外山 中村	医学書院	978 - 4 - 260 - 01993 - 4
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	近江文化論					担当教員	京樂 真帆子
講義コード	1150040	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号							

#### 授業概要

近江の持つ地域的特性とそれを基盤とする文化の特質を歴史学的視点から探る。近年、近江の文化・歴史に関する研究が盛んである。その成果の一端を紹介していく。特に、近江文化の持つ歴史性に注目し、古代から現代への展開を追う。

#### 到達目標

- (1)近江の歴史に関する基礎知識を理解し、それを日本の歴史との比較を通して論じることが出来る。
- (2)近江の文化に関する基礎知識を理解し、それを日本の文化との比較を通して論じることが出来る。
- (3)近江の歴史と文化の基礎知識に基づき、その保存と活用について具体的な提言が出来る。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業のレスポンスカード 30パーセント まとめの確認テスト 70パーセント

#### 授業外学習

適宜行う

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

特になし

#### 履修資格



講義名	環境マネジメント総論					担当教員	鶴飼 修 / 上田 洋平 / 萩原 和
講義コード	1150060	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号							

#### 授業概要

他者と共感し豊かな対話の中で育まれる地域共生の意義を理解し、自ら率先して地域で実践することの大切さを学ぶ。本授業は、本学学生が身につけることを目指す能力：変革力を構成する「コミュニケーション力」「構想力」「実践力」の3のうち、「コミュニケーション力」の育成に重点をおいた導入科目として位置づける。環境、工学、人間文化、人間看護の各分野から提起される「地域共生」に係る課題、提示される観点、提供される事例を踏まえ、グループ討議を繰り返しながら「自己」「他者」「地域」それぞれの特性への理解を深めるとともに、各自のスキルの向上をめざす。

#### 到達目標

- (1) 自己の強みや弱みを把握できる。(自己認識)
- (2) 自己の意見、他者意見の対話を通じて成果物を作成することができる。(協働力・統率力)
- (3) 他者・地域とのコミュニケーションをはかるための基礎的な作法を身につけている。(親和力)
- (4) 自己の考えを自分の言葉で整理し、他者に発信できる。(自信創出力)

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	個人成果物の評価、チーム成果物の評価、チームプレゼンテーションの評価

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

補助教材(ワークブック)を用いる

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業開始日前に、補助教材(ワークブック)を生協にて購入のこと

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	環境マネジメント総論				担当教員	鶴飼 修 / 上田 洋平 / 萩原 和	
講義コード	1150060	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	
第2回	コミュニケーションとは何か	
第3回	人間看護学部担当	
第4回	アセスメントテスト	(一般教室にて)
第5回	人間看護学部担当	
第6回	工学部担当	
第7回	工学部担当	
第8回	工学部担当	
第9回	環境科学部担当	
第10回	環境科学部担当	
第11回	環境科学部担当	
第12回	人間文化学部担当	
第13回	人間文化学部担当	
第14回	人間文化学部担当	
第15回	アセスメントテスト解説および授業総括	
担当者から一言		

講義名	機械技術と人間				担当教員	山根 浩二	
講義コード	1150090	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号							

#### 授業概要

授業概要：日常生活には、多くの機械や道具が使われているが、その基本となっているのは、てこ、滑車、ねじ、歯車、カムなどの紀元前に考案され使用されてきたものである。日頃から私たちが使用し親しんでいる機械や道具類の仕組みを知るとは、さらなる便利な使いやすい機械やおもしろい動作をする機械をつくるヒントになる。そこで、本講義では、日常接している機械を例にとり、いかに巧みな機械要素が利用されているのかを説明し、機械要素を再発見する。講義は、機械に興味をもっているが、機械に関する専門的な知識がない人でも理解できる内容とする。

キーワード：メカニズム、機械、器械、道具、機構、デザイン

#### 到達目標

- (1) 基本的な機械要素の名称が言える
- (2) 基本的な機械要素を説明できる
- (3) いくつかの機械要素からなる機械や道具を上げることができる
- (4) 新たなメカニズムをプレゼンテーションにより概説できる

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	到達目標(1)～(3)の到達度の総計で15ポイント、(4)に関して「将来こんな機械があったらいいな」のテーマでのプレゼンテーションで15ポイント、合計30ポイントとします。
レポート課題	70	到達目標(1)(3)に関して各25ポイント、(2)に関して各20ポイントで、合計70ポイントで評価します。講義毎のワークシートをすべて提出すれば、この70ポイント、1回欠けると10ポイント減とします。7回欠けると、この評価点が無くなります。
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリントを配付します。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要に応じて参考書を紹介します。

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	機械技術と人間				担当教員	山根 浩二
講義コード	1150090	単位数	2	開講期		
ナンバリング番号						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	講義の進め方, 身近な機械や道具を動画などを用いて紹介し, 本講義で何を身につけるか説明します. (次週事前学習として, 数名の各グループで身近な機械や道具を取り上げてその機構を簡単に紹
第2回	身近な機械や道具の話	前週の事前学習である数名の各グループによる身近な機械や道具とその機構の紹介
第3回	基礎的なメカの話	種々の機構に関する概要を説明し, 次週以降の予備知識とします.
第4回	てくークランク機構など力を拡大する話	木の板を利用して4節クランク機構を組み立て体験し, 仕組みを学びます(木片やビスなどの教材は教員側が準備します)
第5回	歯車など速度を変える話	手動鉛筆削りを分解して, 遊星歯車がどのように機能しているのか学びます(手動鉛筆削りは教員側が準備します)
第6回	バネなどを蓄える話	プルバックカーの力を蓄えるメカを, 実際にプルバックカーと組み立てて学びます(教材は教員側が準備します)
第7回	自動車部品の中のかなんなメカの話	自動車の用いられているさまざまな部品とそのメカを動画で学びます.
第8回	中間まとめ	前週まで学んだメカの復習を設問形式で答えてもらいます.
第9回	ちょっと一息 = 計算尺の話	「計算尺」を実際に使ってみて, 有効数値や数値を丸めることを学びます(紙製の計算尺は, 人数分, 教員側が準備します. 講義終了後, 計算尺は持参可)
第10回	逆止弁など方向を制限する話	ウォーターハンマー(水撃)ポンプを動画で紹介し, 水流を一方向に制限することで起こる現象とそれを利用したメカを学びます.
第11回	自動車のデザインの変遷の話 - 1	代表的な国産乗用車を例に, ボディーデザインの変遷について紹介し, デザインから使われているメカを学びます.
第12回	自動車のデザインの変遷の話 - 2	海外の乗用車を含めて機械の意匠デザインの今後について学びます.
第13回	永久機関の話	永久機関はほんとうに実現しないのか, 永久機関とは何かについて学びます.
第14回	新たな機械の再発見	3Dプリンタの原理やどんなモノが作れるのか, 実際に3Dプリンタを見学し体験する
第15回	まとめ	「将来こんな機械があったらいいな」と言う機械や道具について, 各人プレゼンテーションを行い, グループディスカッションを行う.

担当者から一言

講義名	現代経済論				担当教員	鈴木 康夫	
講義コード	1150110	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	101HUM111						

#### 授業概要

現代経済の基本的な性質や機能とその役割、問題点について概略的に学ぶ。ミクロとマクロの両面から経済の諸側面（：景気と物価、国際経済、産業、雇用、経営、財政、金融など）について初歩的な内容を学ぶ。また、日本経済の代表的な現象を参考にして、歴史・文化・制度と構造、理論、政策に関するその基本的な学習を行う。

#### 到達目標

(1) 基礎的な経済学の知識を習得する。(2) 基礎的な経済理論を理解する。(3) 新聞の経済欄やニュースを理解できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80	到達目標(1)と(2)のための基礎知識の理解度に基づき定めた配点にしたがって評価する。
レポート課題	20	到達目標(1)と(2)に基づく(3)のための基礎知識の理解度に基づき問題意識の的確さや論説の構成・整合性・重要度・説得力などの内容を評価する。
上記以外	0	

なお、授業の進行によってはレポート提出を到達度確認小テストで代替することがあります。あるいは、到達度確認小テストを加え定期試験やレポート試験の評価配分の一部を割り当てることある。

#### 授業外学習

授業は主にノート講義になる予定なので、学習した範囲について一般の経済学入門書で復習または予習を図書館等の書籍で行うことが望ましい。また、新聞や雑誌の経済欄を時々読むこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	授業で提示します。			
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	国際環境マネジメント					担当教員	丸尾 雅啓 / 高橋 卓也 / 原田 英美子 / 湯川 創太郎
講義コード	1150113	単位数	2	開講期	後期集中		
ナンバリング番号	101HUM117						

#### 授業概要

アジアの環境問題をそれが生起している場の自然条件および社会条件と合わせて理解し、その解決策を検討する能力を海外現地教員による講義、事例調査とワークショップを通じて養うことを目標とする。そのために、問題を俯瞰的にとらえる能力、異なる社会的・文化的背景を有する人々とのコミュニケーション能力、専門的知識を問題解決に応用する能力を養う。授業の形態は、海外（アジア地域）の大学と連携し、アジア地域の環境問題の現場を対象とした講義、フィールドワーク、ワークショップ形式で行うこととする。使用言語は英語とする。夏季休暇中または後期定期試験終了後に10日間程度の海外集中プログラムとして実施する。

#### 到達目標

- (1) アジアの環境問題を自然条件、社会条件を踏まえ俯瞰的にとらえることができる。
- (2) アジアの学生と具体的な問題を通じてコミュニケーションできる。
- (3) 本コースで学んだ知識に基づき、具体的な環境問題解決策を提案することができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標で示す(1)、(2)、(3)については、ワークショップ・最終プレゼンテーション(50%:(1)20%、(2)20%、(3)10%)、ならびに事前学習参加状況・最終レポート(50%:(1)20%、(2)20%、(3)10%)により評価する。

#### 授業外学習

事前学習と帰国後のレポート作成・提出を課す。また、海外での集中講義期間中に、ワークショップの準備のための課題を適宜課す。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Environmental Studies in Asia (非売品/配布予定)

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

英語でのコミュニケーションがある程度できる学力を有していること。概ねTOEICスコア550点以上の学力を基準とする。

#### 履修資格



講義名	国際環境マネジメント				担当教員	丸尾 雅啓 / 高橋 卓也 / 原田 英美子 / 湯川 創太郎	
講義コード	1150114	単位数	2	開講期			後期集中
ナンバリング番号	101HUM118						

#### 授業概要

本科目は、国際環境マネジメントの経験者が、さらに進んだ能力、すなわち異文化間での合意形成能力の養成を行うためのものである。国際環境マネジメントで養成する能力に加え、日本を除く複数のアジアの国々を俯瞰的にとらえ、コミュニケーション、問題解決につなげる能力を養成する。国際環境マネジメントのプログラムに参加し、より主導的に講義、フィールドワーク、ワークショップに臨むこととなる。

#### 到達目標

- (1) アジアの日本以外の複数の国々の環境問題を自然条件、社会条件を踏まえ俯瞰的にとらえることができる。
- (2) (1)を踏まえて、アジアの学生と具体的な問題を通じてコミュニケーションし、合意形成に主導的な役割を果たすことができる。
- (3) (1)を踏まえて、本コースで学んだ知識に基づき、具体的な環境問題解決策を提案することができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標で示す(1)、(2)、(3)については、ワークショップ・最終プレゼンテーション(50%:(1)20%、(2)20%、(3)10%)、ならびに事前学習参加状況・最終レポート(50%:(1)20%、(2)20%、(3)10%)により評価する。

#### 授業外学習

事前学習と帰国後のレポート作成・提出を課す。また、海外での集中講義期間中に、ワークショップの準備のための課題を適宜課す。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Environmental Studies in Asia (非売品/配布予定)

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

英語でのコミュニケーションがある程度できる学力を有していること。概ねTOEICスコア550点以上の学力を基準とする。

#### 履修資格



講義名	国際協力論					担当教員	島村 一平
講義コード	1150115	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	101HUM115						

#### 授業概要

この科目では、国際協力活動の理念と実際について、青年海外協力隊を中心とした国際ボランティア活動の実践者たちを招き語ってもらう。それと同時に授業の参加学生と積極的に議論を交わす講義+討論のワークショップの形をとるものとする。講師は毎回変わるオムニバス形式とし、受講生はアフリカ、アジア、南米、ヨーロッパ各地における生きた経験の語りから国際協力活動の魅力や援助を実施する上での諸問題に関する理解を深める。それぞれの講師は国際協力事業団および「びわ湖JICAボランティア応援団」の協力の下に選定した。実際に国際協力への関心が高い諸君の参加を期待する。

#### 到達目標

- (1) 講師の話から国際協力に対する関心を高める
- (2) 討論に積極的に参加することで、国際協力における諸問題に関する問題解決能力を身につける。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	80%	課題：経済格差や貧困、安全な水を確保、教育の提供といった世界の諸問題を是正するために1つの対象国(地域)を選んで、具体的なプロジェクトを起案せよ。
上記以外	20%	授業中の質問は一回につき1点加点。 ワークショップ形式の場合、優秀なグループに3点~2点加点。

質問したり、優秀な発表をすればするほど加点されるシステムです。積極的にどんどん発言していきましょう。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	若者が社会を動かすために	税所篤快	ベストセラーズ	9784584124895
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	世界と恋するおしごと 国際協力のトピラ	山本 敏晴	小学館	
2	国際協力論を学ぶ人のために	内海 成治	世界思想社	
3	前へ！前へ！前へ！ 足立区の落ちこぼれが、バングラデシュでおこした奇跡	税所篤快	木楽舎	

#### 前提学力等

なし

#### 履修資格



講義名	こころのテクノロジー				担当教員	細馬 宏通	
講義コード	1150130	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	101HUM171						

#### 授業概要

最近の神経科学の発達によって、わたしたちの言語がどのような神経学的な背景によって産み出されているのかについて、さまざまな知見が蓄積されつつあります。この講義では、初学者にもわかるよう、脳科学の基礎から始めて、ことばの理解や産出、読み書き、手話など、わたしたちのさまざまな言語活動の神経学的基盤について考えます。ことばの産み出されるしくみ、ことばをわかるしくみについて考えたい人の受講を歓迎します。

#### 到達目標

- (1) 脳科学、神経科学の基礎的な手法と考え方を自力で論じることができるようになる。
- (2) 言語がのさまざまな側面と脳科学との関係を理解することができるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	脳構造の基本的な知識、および言語の脳における基盤に関する重要概念の理解を求める。
レポート課題		
上記以外	50%	小レポート(随時): 講義中に脳構造の基本的な知識、および言語の脳における基盤に関する簡単な質問を行い小レポートとして提出してもらう。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義中に随時プリントを配布する。

#### 前提学力等

高校程度の学力があればよい。

#### 履修資格

講義名	こころのテクノロジー				担当教員	細馬 宏通	
講義コード	1150130	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	101HUM171						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	失語症研究から脳科学へ。
第2回	脳科学の基礎(1)	生物学的な神経のしくみの基礎を論じる。
第3回	脳科学の基礎(2)	脳の各部位のはたらきについて概説する。
第4回	脳科学の基礎(3)	fMRI, 脳波計など脳研究のさまざまな方法について論じる。
第5回	失語症研究その後の発展	ウェルニック、ブローカ領域の研究がもたらしたものを考え、言語処理を行う脳内機構の基礎を考える。
第6回	発語の理解	ことばの音の基礎、側頭葉で起こっていることについて論じる。
第7回	発語の産出	発語産出の二つのモデル、レンマ・モデルとディーヴァ・モデルについて論じる。
第8回	プロソディ	語の音調に関わるプロソディの問題を、情動的プロソディと言語プロソディの二側面について論じる。
第9回	読み書き	読むこと、書くことを通じて、視覚、運動系と言語との相互作用を考える。
第10回	手話	手話言語と音声言語との類似性と違いに焦点を当て、わたしたちの言語基盤がモダリティ間でどう相違しているかを論じる。
第11回	語の意味	名詞、動詞、抽象語を題材に、語の意味を処理する脳内機構について論じる。
第12回	形態	オノマトペを中心に語の形態がどのように脳内で処理されているかを論じる。
第13回	文の産出と理解	ブローカ領域と文の産出過程の関係について論じる。
第14回	談話の産出と理解	物語という長い時間単位の問題について神経言語学から考える。
第15回	まとめ	これまでのまとめ。

担当者から一言

講義名	材料史				担当教員	Balachandran Jeyadevan / 北村 千寿	
講義コード	1150140	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	101HUM132						

#### 授業概要

人類は日々の生活を便利に、快適に、そして活動しやすくするためにいろいろな材料を見だし、利用し、今日の文明を築き上げてきた。現在の豊かな暮らしは有史以来の材料の発達の結果であり、新しい材料の発見は時には歴史を変える役割もしてきた。このような材料の発達の経過と材料が社会の進歩に貢献してきた歴史について、それらの材料を金属・セラミックスなどの無機材料と繊維、高分子などの有機材料に分けて説明し、ものづくりの大切さについて理解を深める。

第1～7回はJeyadevan が担当し、第8～14回は北村 が担当する。

キーワード： 歴史、青銅、鉄、セラミックス、レアメタル、無機材料、有機材料、ゴム、紙、繊維、漆、接着剤

#### 到達目標

- (1) 青銅器時代から始まり鉄器時代に至る金属の歴史を理解すること。
- (2) セラミックスやレアメタルなどの新しい材料の発展について理解する。
- (3) 多様な有機材料の特性を理解し説明できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標で示す(1),(2)については授業中の課題・レポート(50%)で、(3)については授業中の課題・レポート(50%)で評価する。100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
上記以外		

第1回から第7回までと第8回から第14回まででそれぞれ課題・レポートを適宜与える。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	金属と日本人の歴史	桶谷繁雄	講談社	978-4061597723
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	材料史					担当教員	Balachandran Jeyadevan / 北村 千寿
講義コード	1150140	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	101HUM132						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	古代の材料	石器時代から青銅器時代へ
第2回	鉄の使用	古代の鉄の使用とその伝播
第3回	ローマ時代と中世ヨーロッパでの金属材料の発達	鉄鋼、非鉄鋼
第4回	産業革命と鉄工業の発達	精錬技術
第5回	日本における金属の歴史	銅鏡からたたら製鉄、現在の製鉄まで
第6回	セラミックスの発達の歴史	ガラス、ファインセラミックス
第7回	レアメタルおよび新しい無機材料の発展と未来	磁石材料、半導体
第8回	有機材料	有機材料の分類
第9回	紙の歴史	パピルス、羊皮紙、紙、和紙
第10回	ゴム	天然ゴム、合成ゴム
第11回	天然繊維	麻、綿、絹、羊毛
第12回	合成繊維 1	半合成繊維（天然繊維の化学的な修飾）
第13回	合成繊維 2	合成繊維（天然材料以外から作る繊維）
第14回	漆、接着剤	漆、糊
第15回	理解度の評価	まとめ

担当者から一言

--

講義名	差別と人権（同和問題）				担当教員	大脇 万起子 / 裴 敬隆 / 山田 稔	
講義コード	1150150	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	101HUM151						

#### 授業概要

山田稔：人権問題とはそもそも何か、人権問題と差別問題について踏み込んで考える。そのために、部落問題やいじめ・被害被害・労働者の人権など、人権が侵害されている具体的な事例を取りあげ、考察する。

裴敬隆：朝鮮人からみた戦後日本の差別と人権。日朝関係史において、日本にとっての朝鮮、朝鮮人とはどういう存在であったのか、を検証する。そして在日朝鮮人の歴史と「戦後民主主義」の知られざる側面を学ぶことにより、在日朝鮮人への差別が、現代日本の人権侵害を容認する社会構造とつながっていることを明らかにする。

大脇万起子：身近にある人権を脅かす事象の被害者および加害者にならないために、国内外の様々な「差別と人権」に関する事象を具体的に学習して課題意識を高め、有効な予防策や対応策について検討する。

#### 到達目標

- (1) 様々な人権問題、差別問題に対して、当事者への深い洞察力を持ち、その感情に共感できる態度を形成する。
- (2) 様々な人権問題、差別問題に対して、科学的に評価・判断し、解決のための方策を考えることができる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	100%	形態は、各担当者より、授業開始時説明する。
上記以外	0%	

山田担当および大脇担当は出席確認が行われ、各担当2回以上欠席した場合は評価の対象としない。なお、裴担当は出席確認はない。山田担当・裴担当の各レポートの提出（期日厳守）および大脇担当の毎回のレポート（小試験）3回以上の提出がある者を評価の対象とする。

#### 授業外学習

予習：特には定めませんが、各回のタイトルおよび概要に関連する日常生活で遭遇する事象や報道情報などを意識的に捉える。  
復習：予習した経験知と授業内容を統合し、レポートの記述内容および小試験の解答に反映する。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

「プリント配付」

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

「適宜紹介」

#### 前提学力等

特に定めない。

#### 履修資格

講義名	差別と人権（同和問題）				担当教員	大脇 万起子 / 裴 敬隆 / 山田 稔	
講義コード	1150150	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	101HUM151						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	人権とは何か。どうとらえればよいか	(担当：山田稔) 人権は、人々が幸せに生きるために造り出してきたものであり、つねに手入れをしなければ使えなくなる。人は誰しも、人権を侵害され、また侵すおそれがあり、それは決してひとごと
第2回	薬害被害者の人権、その回復への歩みに学ぶ	(担当：山田稔) 最近のC型肝炎問題をはじめとして、薬害エイズ、サリドマイド、森永ヒ素ミルク、スモン、薬害ヤコブ事件など、これまで数多くの薬害事件が起きてきた。それぞれの被害者の人
第3回	今日のいじめをどうとらえ、どうとりくむか	(担当：山田稔) 大津の中学生のいじめ・自死事件はどうして起きたのか。そこにはどういう問題点があったか。そのことを通して、今日のいじめをどうとらえ、どうとりくんでいけばよいかを考え
第4回	部落問題とは何か。どう解決に向かってきたか	(担当：山田稔) 部落差別とは何か。それは、どうして作り出され、なぜ近代以降も続いてきたのか。その解決へのとりくみはどうすすめられてきたか。その到達点と残された課題について考察す
第5回	労働者の人権とは何か。今、それはどうなっているか	(担当：山田稔) 労働者の人権とは何か。それはどのようにして確立されてきたか。また、今日の日本の労働者はどういう状態におかれているか。非正規労働者の増加・派遣労働やブラック・バイト
第6回	日本の近代化と朝鮮	(担当：裴敬隆) 戦前の在日朝鮮人と日本社会
第7回	敗戦と在日朝鮮人(1)	(担当：裴敬隆) GHQの占領政策を中心に
第8回	敗戦と在日朝鮮人(2)	(担当：裴敬隆) 日本政府の政策を中心に
第9回	朝鮮戦争とサンフランシスコ条約	(担当：裴敬隆) 冷戦体制構築と日本の在日朝鮮人対策
第10回	現代日本の課題	(担当：裴敬隆) 日本は差別と人権問題にとりくむ先進国家になれるのか
第11回	ジェンダーと人権	(担当：大脇万起子) リプロダクティブ・ヘルス/ライツなど性別に関する差別と人権についての講義を行う。
第12回	子どもと人権	(担当：大脇万起子) 子どもの権利条約や子どもの虐待など子どもに関する人権についての講義を行う。
第13回	医療と人権	(担当：大脇万起子) インフォームド・コンセント、リビング・ウィルなど医療に関する人権についての講義を行う。
第14回	障がいと人権	(担当：大脇万起子) 障害者差別解消法など障害児・者に関する人権についての講義を行う。
第15回	大学生生活と人権	(担当：大脇万起子) アカデミックハラスメントなど大学生活に関する人権についての講義を行う。

担当者から一言

上記に記載した以外の必要な情報は、授業時、各教員が適宜紹介・説明する。この授業を担当する教員は「差別と人権」というメインテーマに基づき、3名それぞれが独立して、それぞれのサブテーマ（授業概要を参照）をも

講義名	自然科学の視点					担当教員	松岡 純
講義コード	1150180	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	101HUM133						

#### 授業概要

##### 【概要】

現代社会は自然科学とその応用である技術を享受している。したがって「自然科学は世界をどう見るか」への理解は、科学技術や人間・社会の定量化・モデル化において重要である。モノの価値から知の価値へと豊かさの指標が転換期にある現在、自然科学という知の構造を理解する意義は大きい。しかし科学の成果に比べ、科学を生み出す過程は見え難い。そこで本講では科学史や担当教員の経験に基づく実例を多用して、自然科学の思考法について学ぶ。

##### 【キーワード】

自然科学, 思考法, 論理, 実験, 観測, 数量化, モデル, 構造, 世界観

#### 到達目標

- (1) 自然科学における世界観を, その歴史的変遷を踏まえて理解する。
- (2) 実験に基づく自然科学について, そのアプローチの方法論を理解する。
- (3) 自然科学において重要なモデル化の考え方とその方法論を理解する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	60	次の内容の3回のレポートを各20%とする。 レポート1: 自然科学における思考法の変遷について課題を纏める。(到達目標(1)) レポート2: 自然科学で使われる思考法を具体的事例へ応用する。(到達目標(2))
上記以外	40	毎回の小テスト(所要時間は数分程度)を, その回の授業内容について実施する。

毎回の小テストは7割以上の提出を必須とする。

#### 授業外学習

初回授業の配布資料で指示する。  
授業の後で復習として, 授業内容を自分なりにノートにまとめてみる, 特に「(ピザンチン帝国の崩壊) (ギリシャ系文化人のイタリアへの移

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### プリント配布

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	自然現象のしくみ				担当教員	倉茂 好匡	
講義コード	1150185	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	101HUM134						

#### 授業概要

日本ではさまざまな種類の自然災害が発生します。そのような自然環境下で生活するわれわれは、それらの自然災害と共存して生活していかざるを得ません。ある程度は人間の技術で「災害を防止する」ことも可能です。しかし、地震や火山噴火などを人間が制御することはできません。洪水を制御するにも、ダムや堤防等に対応可能な範囲のものならなんとかできますが、「想定外」のものが生じたなら相当に危険なことになります。ですから、われわれは自然環境を引き起こすような自然現象を正しく理解し、それに応じた「そなえ」をしておかなくてはなりません。そこでこの授業では、各種自然災害を引き起こすような自然現象に視点をあて、それらがどのようなメカニズムで生じるのか、どのような規模の災害が生じるのかをまず理解していただきます。それを受けて、普段からどのような「そなえ」が必要なのかを各自に考えていただきます。

#### 到達目標

- (1) 自然現象を引き起こすさまざまな自然現象について、その特徴を科学的用語を用いて説明できるようになる。
- (2) 災害発生時を想定し、その自然現象の特徴に対する理解に基づいて自らの対応策を考えることができるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	55%	A 4一枚程度の宿題(7回、各5点満点、計35点) 自らの置かれた立場に基づき、実際の災害に対する対応についての考察を求める。 0点: 読み取ることができない、要求された内容がまったく書かれていない。
上記以外	45%	毎回のレスポンスペーパー(15回、各3点、計45点) その日の授業を受講し、ノートを取っていれば十分に回答できる内容を問う。 0点: 読み取ることができない、必要事項がまったく書かれていない。

#### 授業外学習

毎回の授業内容を参考に、授業外作業を必要とする宿題を課す。  
災害に関連する小説を題材に、そこに描かれている災害と同程度の災害が身近で発生した場合、自らがどのような対応を取るか、あるいは事前にど

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

文法的に正確な日本語で記述できること。

#### 履修資格

講義名	自然現象のしくみ				担当教員	倉茂 好匡	
講義コード	1150185	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	101HUM134						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイドンス, 自然災害と向き合う必要性	東日本大震災で、日本人は津波の怖さを痛感しました。ところが、それ以前には、津波警報が出ると「津波見物に行く人」が相当数いました。そして被災した人までいます。この授業では、「災害に備
第2回	巨大地震 1: 東日本太平洋沖地震から学ぶこと その1	東日本太平洋沖地震はMo=9.0の巨大地震でした。どういふメカニズムで発生した地震なのか、マグニチュードの定義を学んだうえで、その特性を理解します。
第3回	巨大地震 2: 東日本太平洋沖地震から学ぶこと その2	東日本太平洋沖地震はなぜ予知できなかったのでしょうか。日本の地震予知体制がどのようになっていふのか、なにができて、なにができないのか、その現実を学びます。
第4回	津波 1: 東日本太平洋沖地震から学ぶこと その3	まず、津波という波の特性について学びます。これを知ったうえで、東日本太平洋地震津波が岩手県宮古市を襲ったときの貴重なDVDを視聴します。それにより、津波の特性を実感していただきま
第5回	津波 2: 東日本太平洋沖地震から学ぶこと その4	東日本太平洋地震津波が岩手県宮古市を襲ったとき、九死に一生を得た方々へインタビューしたDVDを視聴します。そのうえで、皆さんが海辺にいたときに津波警報が発令された場合、どのよう
第6回	内陸活断層性地震: 兵庫県南部地震から学ぶこと	1995年1月17日に発生した兵庫県南部地震(いわゆる阪神淡路大震災)では6400名を超える方が亡くなりました。どうしてこのような被害が出たのか、この地震の発震特性を学んだうえで、内陸活断層
第7回	火山災害 1: 火山災害の特徴, 過去の災害から学ぶこと	火山災害で最も恐ろしいもののひとつが火砕流です。1991年6月3日に雲仙普賢岳で発生した火砕流のVTRを視聴したうえで、この火砕流の火山学的規模を理解します。次に、火山泥流(ラハール)と
第8回	火山災害 2: 火山灰の影響、とくに現代社会への影響	火山灰が都市に降った場合、これまでにない大混乱が生じると考えられています。富士山が噴火して東京に厚さ数cmの降灰があったときのシミュレーションVTRを視聴し、現代ならではの被害について
第9回	火山災害 3: 「破局的噴火」は起こるのか?	約3万年前に噴火した始良カルデラの噴火では、火砕流堆積が150立方キロ、このときの火山灰は近畿でも厚さ20cmに達しています。現在に同様の噴火が日本で発生したらどうなるか、そのシミュレー
第10回	台風 1: 気象学の基本 - コリオリの力 -	台風の周りに吹く風の構造を知るためには、「コリオリの力」を定性的にでも知っておく必要があります。地球が自転していることにより生じる「みかけの力」であるコリオリの力と、その効果につい
第11回	台風 2: 台風の構造, 台風による災害の特徴 1	台風の定義とその性質についてまず学びます。また、台風が大きな被害を出した事例、とくに高緯度に至るまで台風が達し、そこで温帯低気圧化して発達したときに大きな被害を出した「洞爺丸台風」を事
第12回	台風 3: 台風による災害の特徴 2	気象庁は、2000年に台風のカテゴリー分けを改正しました。その背景には、1999年に発生した水難事故がありました。この事故のVTRを元に、台風への備えを考えます。そのうち、超大型で猛烈な台
第13回	集中豪雨: 積乱雲セルと集中豪雨	近年、都市域に発生した積乱雲が集中豪雨をもたらす災害が頻発するようになりました。積乱雲が接近してきたとき、どのような気象上の変化があるのか、その典型例について、VTRを元に学びま
第14回	洪水: 洪水の頻度, 都市型洪水	都市域での集中豪雨は、思わぬ災害を引き起こします。それに対する対策も巨費を投じて講じられていふます。都市での防災施設についてVTRで学んだ後、都市水害のVTRを視聴します。これによ
第15回	その他の災害: 降雹, 竜巻	積乱雲が発達したとき、日本でも雹が降りたり竜巻が発生したりして、大きな被害が出ていふます。特に、大型の雹が降るときには、信じられないような現象が生じます。VTRを元に、これらの災害の

担当者から一言

講義名	自然保護論				担当教員	西田 隆義	
講義コード	1150190	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	101HUM131						

#### 授業概要

生物資源を持続的に賢明に利用することは、人間の社会を安定に維持する上で鍵となる。  
この授業では以下の項目について述べ、生物資源を将来どのように利用すべきかについて考える。

- 1) 森林の崩壊と保全が社会にもたらした影響
- 2) 生物資源の賢明な利用にかかわる人間の生物学的な特性
- 3) 生物多様性の意義
- 4) 保全の歴史
- 5) 保全における賢明な情報の利用

#### 到達目標

- (1) 森林の崩壊が社会の崩壊をもたらしたことを理解すること。
- (2) 人間の精神が持つ生物学的な特性を理解すること。
- (3) 生物多様性について理解すること。
- (4) 科学と疑似科学を賢明に区別できること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業時に課題を出し、その課題についてのレポートを書いてもらい評価する。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	文明崩壊	ダイヤモンド	草思社	978-4794219398
2	科学と神秘の間	菊池誠	筑摩書房	978-4480860729
3	天敵なんてこわくない	西田隆義	八坂書房	978-4896949094

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	自然保護論					担当教員	西田 隆義
講義コード	1150190	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	101HUM131						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	自然とくに生物資源を持続可能で賢明に利用することの意義について述べる
第2回	森林の喪失：崩壊した社会1	南太平洋の島々を例にとり、崩壊した文明と崩壊しなかった文明を対比させて、森林の存続の違いを生み出したことを説明する。
第3回	森林の喪失：崩壊した社会 2	中米のマヤ、北欧のアイスランド、グリーンランドなどを例に、乾燥地や極地で生じた森林破壊が、社会の崩壊に至ったことについて述べる。
第4回	森林の持続的利用	森林の崩壊を防ぎ、存続に成功した社会もある。ニューギニア高地、江戸時代の日本などを例にとり、いかに森林の崩壊を防いできたかについて述べる。
第5回	資源保全と人間の特性	人間が持つ特性の中には、資源の乱獲をもたらすものと反対に抑制するものがある。両方について進化生物学の観点から説明する。
第6回	資源保全のための協力	資源保全のためにどんな協力が可能かについて、「囚人のジレンマ」など進化生物学の観点から述べる。
第7回	資源保全になぜ失敗するのか	生物資源を持続的に利用することは現在でもむずかしい。ここでは、マグロ・ウナギなどを例にあげて、なぜ保全に失敗するのかについて説明する。
第8回	生物多様性とはなにか	生物多様性の意味について概説する。とくに、生態系の保全にとって鍵となる「要石の種：key stone species」について説明する。
第9回	生物多様性の価値 1	生物多様性をもたらす価値として、害虫や雑草などの大発生を抑えることがある。実例をあげて説明する。
第10回	生物多様性の価値 2	生物多様性を利用した病害虫の防除について説明する。
第11回	生物多様性の価値をめぐる争い	捕鯨、外来魚の養殖などをめぐって現在でも激しい争いが続いている。問題の解決のための科学的な情報とその活用について述べる。
第12回	外来種問題	外来種の引き起こした問題（ブラックバスや雑草）とその解決にはどんな方策が必要かについて説明する
第13回	自然保護の歴史：鉱害と原生的自然	環境の破壊と修復の例として、鉱害（別子と足尾）と尾瀬をとりあげ、関連した人（伊庭貞剛・古川市兵衛・武田久吉など）とともに説明する。
第14回	保全において不確実な情報をいかに利用するか	生物資源の保全など、環境にかかわる問題では、情報はつねに不確実である。不確実な情報の中で賢明な判断をするための工夫について述べる。
第15回	不確実な情報をいかにみきわめるか	生物資源の保全など、環境にかかわる問題では、情報はつねに不確実であるが、情報がどの程度妥当かは、ある程度みきわめることができる。

担当者から一言

講義名	持続的農業論				担当教員	泉 泰弘	
講義コード	1150200	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	101HUM172						

#### 授業概要

農業は人間にとって食糧生産のための必須の営みである。この生産活動をいかに環境と調和させ、持続的に維持するかを考えるため、農業という営みの特性、人口、食糧生産量、農業の現状、生産技術、ならびにそれらと環境との関わりや持続的生産の可能性について解説する。

#### 到達目標

- (1) 世界の食料事情の現状と将来について説明することができる
- (2) 水田および畑作農業の特徴について説明することができる
- (3) 農業の持続性を脅かす要因について説明することができる
- (4) 持続的農業の実現に必要な事項について説明することができる

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	到達目標で示す(1)から(4)について全て定期試験で評価する(各25点)。100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
レポート課題		
上記以外		

#### 授業外学習

なし

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義資料を配付する

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	食料生産と環境	久馬一剛	化学同人	
2	地球環境と作物	巽二郎	博友社	
3				

#### 前提学力等

特に問わない

#### 履修資格

講義名	持続的農業論				担当教員	泉 泰弘	
講義コード	1150200	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	101HUM172						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	人口と食糧生産	人口問題と食糧生産について学ぶ
第2回	農業と環境との関わり ( 1 )	農業と環境との関わりについて学ぶ ( 1 )
第3回	農業と環境との関わり ( 2 )	農業と環境との関わりについて学ぶ ( 2 )
第4回	世界の農業形態	世界の農業形態について学ぶ
第5回	畑作農業	畑作農業の特徴について学ぶ
第6回	水田農業	水田農業の特徴について学ぶ
第7回	栽培技術と生産の持続性	栽培技術と生産の持続性の関係について学ぶ
第8回	収量ポテンシャル	収量ポテンシャルの向上の可能性について学ぶ
第9回	水資源の持続性	水資源の持続性について学ぶ
第10回	土壌 ( 耕地 ) 資源の持続性	土壌 ( 耕地 ) の持続性について学ぶ
第11回	エネルギー資源の持続性	エネルギー資源の持続性について学ぶ
第12回	有機農業	有機農業の特徴と課題について学ぶ
第13回	環境保全型農業	環境保全型農業の特徴と課題について学ぶ
第14回	持続的農業	持続的農業の特徴と課題について学ぶ
第15回	まとめ	まとめ

担当者から一言

--

講義名	社会福祉論				担当教員	富永 豊	
講義コード	1150220	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号							

#### 授業概要

大きな経済力とともに福祉国家としての高い福祉制度を持っていた日本の社会において、低成長経済の長期化や雇用形態の変化といった産業経済状況に加えて、少子高齢化や人口減少といった社会構造等の変化に伴い、孤独死や餓死さらには自殺や貧困のほか暴力といった社会問題がクローズアップされています。東日本大震災を契機に幸せとは何かは今、問い直されるようになりました。いうまでもなく社会福祉は、「人の幸せ」を目的としています。その社会福祉のあり方についてあらためて振り返り、多くの国民の安心や体験としての幸せがアップしてゆくためには何が必要なのか、この滋養の社会資源にも目を向けながら皆さんと考察できればと思います。

#### 到達目標

- (1) 我が国における社会福祉の仕組みや制度の概要について学ぶ。
- (2) 社会福祉制度の現状と課題について考察することができる。
- (3) 今後の社会福祉のあり方について考えられる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60%	到達目標(1)について、択一式試験を行う。(40点) 到達目標(2)について、記述式試験を行う。(10点) 到達目標(3)について、論述式試験を行う。(10点)
レポート課題	20%	到達目標(1)について、事前学習のためのレポート課題を課す。(5題)
上記以外	20%	到達目標(3)については、上記の外に授業に出席し質疑や発言をすることで理解を深めることを重視する。

出席カードについて、本人以外のカードを不正に作成し提出した場合は、作成した本人も含めて欠席扱いとします。

#### 授業外学習

講義資料(レジュメ)は事前に配布しますので、講義の日までに事前学習をしておいてください。授業は、事前学習をして基礎的な知識があることを前提に進めます。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「新社会福祉論」	川池智子編著	株式会社	ISBN978-4-7620-2332-3
2	「現代社会と福祉」	大橋謙策・白澤政和共著	ミネルヴァ書房	ISBN978-4-623-05396-4
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	植物の病気					担当教員	鈴木 一実
講義コード	1150223	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	101HUM179						

#### 授業概要

植物の病気の種類、特徴および原因を人間の病気と比較するとともに、とくに植物の伝染性の病原体について概説する。あわせて、農林業をとりまく微生物の世界に目を向け、植物に病気を引き起こす病原体とともに、作物保護に有用な様々な微生物について紹介する。

#### 到達目標

- (1) 植物の病気と人間の病気の特徴やちがいを理解することができる。
- (2) 植物の病気のさまざまな原因について理解することができる。
- (3) 農林業に関連する微生物の世界について興味を示すことができる。
- (4) 作物保護に有用な農業微生物について理解することができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標に示す(1)～(4)について、定期試験で評価する。評価比率はそれぞれ12.5%とする。
レポート課題	50	到達目標に示す(1)～(4)について、課題レポートで評価する。評価比率はそれぞれ12.5%とする。
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

毎回の講義でプリントを配布する。指定図書、参考書は講義の中で適宜紹介する。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	生活と健康				担当教員	大脇 万起子	
講義コード	1150225	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	101HUM178						

#### 授業概要

人間の健康について多角的に捉え、発達過程や様々な生活環境と健康との関連性を振り返り、自らの生活をより健康的に整えられるための工夫を検討する。

#### 到達目標

- (1) 生活習慣と健康との関連性を理解する
- (2) 自らの生活習慣を健康の視点から振り返り、問題点を検討することができる
- (3) 健康的な生活に向けて、行動変容をおこすことができる

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	毎回下記の小テストを携帯サイトで毎回行い、その総得点により評価する(毎回、携帯電話が必要)。 (1) 目標1に関する試験問題: 「(毎回のテーマ)について、以下の指示に従って述べて下さい。」 60%

- (1) 公欠ほか教務の証明書提出が欠席の次回までにあれば対応する(以降は欠席扱い)。
- (2) 毎回、得点積算し、その後満点を取り続けても最終評価点60点が得られないと判明した場合は、その時点で不可を通知する(通知後も授業参加は可能)。

#### 授業外学習

授業外の学習は要しないが、毎回小テストを行うので、毎回のテーマを生活の中で意識してもらっていると授業への興味・理解が深まると考える。また、配布資料を見直し、健康管理に役立てもらえればと考える。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

毎回の授業開始時にプリント配布する

#### 前提学力等

特になし

#### 履修資格



講義名	生命・人間・倫理					担当教員	糸島 陽子 / 窪田 好恵
講義コード	1150230	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	101HUM154						

#### 授業概要

人間の生命の尊厳と権利の尊重についての基本的な考え方、倫理原則、倫理理論を学ぶ。また、現代の生命倫理・医療倫理に関する具体的な問題や課題に視点を当て、看護の立場から適切な判断や解決の方略を考える。

#### 到達目標

- (1) 現代社会における倫理的課題とその解決方略について理解する。  
(2) 人に対する深い洞察力を持ち、人の尊厳と権利を擁護する倫理観を養う。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60%	到達目標(1) 30% 到達目標(2) 30%
レポート課題	20%	到達目標(1) 10% 到達目標(2) 10%
上記以外	20%	グループ討議、プレゼンテーション 到達目標(1) 10%

毎回ミニ討議を行うため、遅刻・欠席は評価の対象とします。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に紹介

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	生命・人間・倫理				担当教員	糸島 陽子 / 窪田 好恵	
講義コード	1150230	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	101HUM154						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	現代社会と倫理	生命倫理・医療倫理の歴史的背景を紹介し、現代社会における倫理的課題について考える。
第2回	倫理原則	倫理原則、看護倫理を紹介し、生命の尊厳と権利の尊重について考える。
第3回	情報倫理	個人情報保護法、OECD 8 原則を紹介し、情報のもつ意味や、医療情報の特性、範囲について考える。
第4回	生殖補助医療と倫理	生殖技術の歴史と背景を紹介し、生殖補助技術をめぐる倫理的課題について考える。
第5回	新生児医療と倫理	新生児医療、インフォームドアセントを紹介し、子どもの最善の利益について考える。
第6回	障害児・者と倫理	いのちと障害について考え、障害児・者に対する倫理的課題について考える。
第7回	臓器移植と倫理	脳死・死の定義、臓器移植の現象を紹介し、移植医療をめぐる倫理的課題について考える。
第8回	終末期医療と倫理	安楽死、尊厳死の定義や現状を紹介し、終末期医療をめぐる倫理的課題について考える。
第9回	DVD視聴	DVDを視聴して倫理問題を考え、レポートにまとめる。
第10回	高齢者医療と倫理	高齢者医療における倫理的課題を紹介し、高齢者の尊厳と権利の尊重について考える。
第11回	公衆衛生と倫理	公衆衛生における倫理的課題を紹介し、スティグマ、医療者の専門職倫理について考える。
第12回	看護倫理	看護専門職における倫理綱領の必要性を踏まえ、たうえて、「看護者の倫理綱領」について理解する。
第13回	事例検討	医療現場で遭遇する倫理的場面を事例に挙げ、グループワーク・発表を行う。事例検討を通して倫理的判断について協議し、課題を共有する。
第14回	事例検討	医療現場で遭遇する倫理的場面を事例に挙げ、グループワーク・発表を行う。事例検討を通して倫理的判断について協議し、課題を共有する。
第15回	事例検討	医療現場で遭遇する倫理的場面を事例に挙げ、グループワーク・発表を行う。事例検討を通して倫理的判断について協議し、課題を共有する。

担当者から一言

講義名	地域探求学				担当教員	鶴飼 修 / 上田 洋平 / 萩原 和	
講義コード	1150260	単位数	2	開講期			前期集中
ナンバリング番号							

#### 授業概要

コミュニケーションとは何だろうか。「自分の意見が言える」こと？「人の話が聞ける」こと？それとも「空気を読む」ことだろうか？  
 当講義では「comm nic re(分かち合う、共有する)」というこの語の由来に立ち返り、コミュニケーションとは何か、また地域社会でコミュニケーション能力が重要視される背景等について概観した上で、産官学さまざまな立場・現場で活躍する地域人との対話や共同作業を通じて、リアルな地域課題を地域に関わる皆で分かち合い、その解決策を立案するための基礎能力を身に付けること、「浴びるように他者と出会い、対話し、作業する」3日間の過程を通して「コミュニケーションの基礎体力」を養うことを目指す。

当科目は冬期実践ターム2月17日(金)、18日(土)、19日(日)の3日間、「COC+」による県内6大学(滋賀大学、聖泉大学、びわこ学院大学、成安造形大学、びわこ成蹊スポーツ大学、および滋賀県立大学)の合同科目として集中的に開講する。

#### 到達目標

- (1) 地域社会でコミュニケーション能力が重要視される背景や意味について理解し説明することができる。
- (2) 対話や課題抽出、成果のとりまとめにかかる基礎的な技法について理解し実践することができる。
- (3) 上記の理解と実践に基づきチームワークによって成果を取りまとめることができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標に示す(1)(2)(3)について、課題レポート(ワークブックに記入する方式)により評価する。(3)については、チームワークの成果に対する評価も加味する。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

・副教材としてワークブックを配布する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	電子社会と人間				担当教員	柳澤 淳一	
講義コード	1150270	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	101HUM175						

#### 授業概要

現在の私たちの生活は高度情報化社会における電子・情報分野の先端技術に支えられている。これは科学・技術の驚異的な進歩によるが、その変化があまりに急速だったため、個人の生活や社会に及ぼす影響には光の部分と影の部分が出てきた。科学・技術は、最終的には私たちの生命や社会生活に優しいものでなくてはならず、科学・技術と社会や人間との関わり合いや、科学・技術を発展させる、またはそれを利用する者としての社会的責任について認識を深めることは、社会の一員である皆さんにとって必要不可欠である。本講義では、電子・情報分野の視点から、これらについて講述する。

#### 到達目標

電子・情報技術を、単に与えられたブラックボックスとして受け身的に使うだけでなく、背後にある原理や現状の問題点まで理解することで積極的にそれぞれの専門分野に応用し、利用していけるような素養を身につけるきっかけにすることができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	初回の講義時に、電子社会との関わりに関連した話題の小レポートを課す(20%)。最終回の講義において、講義を通じて学んだことを含む総合的なレポートを課す(50%)。
上記以外	30	講義の理解度を確認する小試験を毎回行なう(30%)。

6回以上欠席した者は評価対象にしない。  
 以上を100点満点で採点し、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキスト：必要に応じて資料を配付する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書：関連した文献を講義中に適宜紹介する。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	人間と病気				担当教員	安原 治	
講義コード	1150430	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	101HUM180						

#### 授業概要

人類の歴史は病気との闘いの歴史でもある。人類はその時代時代で、生命を脅かす病気に出会い、その病を克服するために悪戦苦闘を続けてきた。その結果、多くの病気が「死に至る病」から、「克服できる病」あるいは「ともに歩む病」へと変わりつつある。しかし、その一方で新興感染症のように以前は全く知られていなかった新しい疾患が出現したり、すでに克服したかのように思われていた感染症が再び流行したりするようになり、大きな医学的課題となっている。また、寿命の延長に伴って、認知症に代表される神経難病が、今後解決すべき課題として注目を集めるようになってきている。

本講義では、胃・肝臓・心臓の病気、生活習慣病、感染症、がん、神経難病を中心に重要な疾患を取り上げ、人類がどのように病気を見つけたか、その原因を究明し、克服してきたか、病気の歴史を振り返りながら、病気がおこるしくみを解説し、将来の治療を展望する。

#### 到達目標

- (1) 胃腸、肝臓、心臓、免疫、神経のおおよそのしくみが理解できる
- (2) がん、感染症、生活習慣病、神経難病など、主要な病気の発生機序が理解できる
- (3) 病気研究の歴史をとおして、科学的思考の過程が理解できる
- (4) 主要な病気の現在の状況と今後の展望が理解できる

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	2回のレスポンスペーパーと5回のレポートを課す。 1) レスポンスペーパー 各10点(10x2=20点) 2) レポート: A(100点), B(85点), C(75点)の3段階評価
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

毎回、資料を配布する

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

高校「生物基礎」と「生物」(または旧課程「生物II」)を履修していることが望ましい。

#### 履修資格



講義名	人間にとって環境とは何か					担当教員	未定*
講義コード	1150450	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	101HUM152						

#### 授業概要

環境問題とは単なる解くべき客観的問題ではなく、かかわる自分の立ち位置も問われる難しい問題である。自然を含む環境の中に自己を位置づけ直す新しい学問体系を展開する。環境問題の複雑な絡みあいと、その中に翻弄される人間を描き出す。歴史の中で生成されてきた「環境」という概念の扱われ方を追うことで、私たちの今までをふりかえる。そのような営みの場から、これからの暮らしを考えていく上で私たち自身が何をどうとらえていくかを見つけて出そうとする。

#### 到達目標

- (1)環境からみた歴史の見方を体得すること。
- (2)人間社会の持つ無意識な暴力性について理解を深めること。
- (3)自分たちの暮らしを見直す視座を持つこと。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		到達目標(1)については、毎回の小レポート評価40%(提出回数評価20%+内容評価20%) 到達目標(2)については、毎回の小レポート評価30%(提出回数評価20%+内容評価10%) 到達目標(3)については、毎回の小レポート評価30%(内容評価30%)
上記以外		

毎回小レポート課題を課す。

#### 授業外学習

正解を探すよりは、自身の暮らし方、生き方を見つめる機会にしてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	環境社会学のすすめ	飯島伸子	丸善	4621073524
2	ペット化する現代人 自己家畜化論から	小原秀雄・羽仁進	日本放送出版協会	414001735X
3	「清潔」の近代 「衛生唱歌」から「抗菌グッズ」へ	小野芳朗	講談社	4062580985

毎回の講義でプリントを配布する。

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	人間にとって環境とは何か				担当教員	未定*	
講義コード	1150450	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	101HUM152						

#### 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	人間と進化	私たちはどこに立っているか。自己家畜化と進化。縄文文化とは。
第2回	古代文明と環境	モヘンジョダロとマチュピチュにみる環境とのつきあい方。共存の都市とは。
第3回	文明の衛生史観	私たちは何を「たれ流し」てきたのか。江戸のリサイクルとは。「清潔」とは何なのだろうか。
第4回	公害の資本主義過程	私たちは成長するために何を犠牲にしてきたのか。発展の功罪。
第5回	君は闘っているか？	私たちは闘っているか。...田尻宗昭氏の講演再現
第6回	生物的弱者と経済的弱者	経済的・生物的・社会的弱者に公害被害が集中する仕組み。環境の価値とは。
第7回	公害問題から環境問題へ	私たちは快適な生活 - アメニティ - を求めてきたのか。社会的ジレンマとは。
第8回	未成熟な科学社会のひとつの見方	映画『Silkwood』
第9回	未成熟な科学社会のひとつの見方	映画『Silkwood』 続き / 科学技術そのものが持つ暴力性
第10回	地域から地球環境問題へ	私たちは“地球号”に乗っていることができるのだろうか。地球環境問題は何を意味するか。
第11回	地球時代の都市づくり	世界ではどのような動きがあるか。エコビレッジの胎動。南インドAurovilleの挑戦。
第12回	脱温暖化社会へ	国・県・地域の動き。NPOの動き。何がはじまっているか。あなたはどうする？。
第13回	身体からの見直し	知識から身体への回帰。五感の重要性。『五環生活』の挑戦。
第14回	人間は動物では無かったか	ペットとの関係。「やさしさ」の時代。「生身」と「切り身」。
第15回	エピローグ：森と人といのち	私たちは今何をすべきか。環境学の可能性と限界。
担当者から一言		

講義名	人間の行動と空間					担当教員	村上 修一
講義コード	1150452	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	101HUM153						

#### 授業概要

本科目では、屋外における人間の行動と空間との関係を把握するための手法を学ぶ。第02～08回では、具体事例の紹介や簡単な演習を織り込みながら講義を行う。第09～12回では、受講生は、講義で紹介される手法を用いて一定期間の調査を行い、分析結果をとりまとめて提出することが求められる。提出された調査結果のうち特筆すべき成果が認められた受講生は、第13～15回において発表することが求められる。

#### 到達目標

- (1) 講述する手法により自ら調査を行い、人間の行動と空間の関係について一定の知見を得ることができるようになる。  
(2) 講述内容の理解にもとづき、他者の調査結果に対する批評を適切に行うことができるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	60	到達目標(1)について、指定される締切日時までに提出された調査結果のレポートの内容で評価する。
上記以外	40	到達目標(2)について、第13回～第15回において発表される他者の調査結果に対する批評の内容で評価する。他者の調査結果に対する批評は、携帯端末等で入力するシステム(Saai-MAS)を利用する予定である。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業で適宜紹介する。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	農業問題入門					担当教員	増田 佳昭
講義コード	1150455	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	101HUM116						

#### 授業概要

食料，農業，農村問題に関する入門的講義である。「農業の成長産業化」が言われる今日だが、問題はそう簡単ではない。主に経済学的側面からのアプローチを中心に、農業問題に関する基礎的な知識を身につけ、あわせて問題を自分の頭で考える力をつけることを目標にする。講義の主要なテーマは以下の通りである。耕作放棄地はなぜ発生するのか、その解消は可能か。農業は成長産業たりうるか。米の生産調整はなぜ長引くのか。日本農業は過保護か。自由貿易は絶対善か。諸外国は農業を保護していないのか。TPPは日本農業にどのような影響を与えるか。

#### 到達目標

- (1) 農産物の需要と供給について理解し、耕作放棄地が発生する理由を説明できる。
- (2) 自由貿易論の根拠とされるリカードの比較生産費説とその問題点を説明できる。
- (3) 先進国における農業保護政策と農産物過剰対策について説明できる。
- (4) 戦後における日本の農業政策の変遷をおおまかに説明できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	年度末に期末試験を行う。
レポート課題	40	毎回、講義終了時に小レポートを提出。
上記以外	20	中間時点で小テスト等を行う。

#### 授業外学習

期間中適宜レポートを課す。また、ふりかえりテストを行い到達度をチェックする。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	比較住居論					担当教員	藤木 庸介
講義コード	1150460	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	101HUM1761, 33RED121, 135LAH206						

#### 授業概要

世界には、生態や文化、社会の違いにより、地域に固有な（ヴァナキュラーな）さまざまな住まいが存在する。ヴァナキュラーな住まいの空間について、主に中国、東南アジアから西アジア、インド、アフリカ、ヨーロッパの事例を紹介しながら、その形式や技術、住まいに対する思想について解説するとともに、風土、歴史、文化、社会制度、生活様式など多様な観点から、その構成原理を考える。

#### 到達目標

- (1) 世界の多様な住居のあり方を理解し、事例を挙げて説明ができる。
- (2) 人々の生活と住居構成に関する相関性を理解し、説明ができる。
- (3) 様々な居住文化のあり方に対して、自らの生活を相対化して位置づけられる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標に挙げた(1)(2)(3)の内容を包含した小テスト2回により評価。成績への寄与率は小テストの合計を100%とし、60%以上を合格とする。

#### 授業外学習

授業で配布されるプリントを、復読することが望ましい。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリントを配布する。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	比較都市論					担当教員	川井 操
講義コード	1150470	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	101HUM173						

#### 授業概要

都市と何か。その定義（本質）、起源（成立）をめぐる問いは、極めて広範な領域に関わり、今日の都市を理解する上でも必要不可欠である。まずは、都市を媒介とする知の領野（都市生態学 都市地理学 都市社会学 環境心理学 都市史 都市文学 都市の現象学 都市の記号学……）を総覧しながら、原理的な問題を議論したい。そして、都市の類型、都市の歴史を理解する枠組みについて整理したい。具体的な視点とするのは、都市の形態、空間構成、計画理念である。そこでは、可能な限り多様な都市のあり方をとりあげたい。また、多様な構成原理を明らかにしたい。特に、非西欧における都市を積極的にとりあげたい。目指すは、世界都市論、世界都市（計画）史である。

#### 到達目標

都市の歴史について洋の東西を問わずその概要について基本的知識を身につける。また、都市の成り立ちに関する基本的な理論について理解するとともに、様々な分野からの都市研究の方法があることを理解する。また、都市計画の方法、まちづくりの方法について基本的知識を得る。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	20	試験20%
レポート課題	80	レポート評価80%
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書：指定図書：『都市史図集』（彰国社）

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

世界史についての基礎的知識をもっていることが望ましい。

#### 履修資格

講義名	比較都市論					担当教員	川井 操
講義コード	1150470	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	101HUM173						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	比較都市論序説・・・オリエンテーション	比較都市論序説・・・オリエンテーション
第2回	都市の起源とその類型	都市の起源とその類型
第3回	西欧都市論	西欧都市論
第4回	ヒンドゥー都市論	ヒンドゥー都市論
第5回	中国都市論	中国都市論
第6回	アジア都城論（日本）	アジア都城論（日本）
第7回	イスラーム都市論	イスラーム都市論
第8回	理想都市論	理想都市論
第9回	植民都市論	植民都市論
第10回	近代都市論	近代都市論
第11回	近代都市論（日本）	近代都市論（日本）
第12回	現代都市論・・・巨大都市論	現代都市論・・・巨大都市論
第13回	現代都市論・・・発展途上国の都市問題	現代都市論・・・発展途上国の都市問題
第14回	現代都市論・・・地球環境問題と都市問題	現代都市論・・・地球環境問題と都市問題
第15回	総括	総括

担当者から一言

--

講義名	思索の視点				担当教員	菊地 憲次 / 杉野 澄子	
講義コード	1150510	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	101HUM155						

#### 授業概要

本学のモットーの一つである「学生の育つ大学」を実現するために、学生自身に様々な視点から思考して、自己と向き合い他者を知ることを学ばせる。さらに、講師の経験を生かした講義で、学生の学習意欲向上や将来像を持たせる。このために、この講義は、様々な思索の視点をオムニバス形式で授業を展開して学ばせる。具体的には、学生個々に必要な知的能力、論理的思考や判断力の基礎を考えさせるとともに、将来設計能力を職業理解の視点から考えさせるとともに、さらに自ら学ぶための重要な要素である情報活用力について考えさせる講義をする。

この授業は、次の要素から成り立っている。

「基礎学力」や「専門的な知識やノウハウ」の上に自ら「論理的思考力」や「創造力」を養う知的能力。この実現のために人文学・言語力（読む力、書く力、聞く力、話す力）を磨く

読む力 推薦指定図書を定め、「日本文化理解 生き方考え方を学ぶ」ことを観点に推薦図書の中から数冊を必ず読む。

書く力 小論文を書く（800字～1200字） 「論理的に考え、文章にまとめる。読む人を想定した文章を書き、自己説明、説得力をつける」

聞く力 地域・地方の課題発見

#### 到達目標

読む力：読書を通じて、主人公の生き方や考え方を理解することができる。

教養を深め、考え方を知る。

書く力：経験したことを論理的に文章にまとめることおよび自己紹介や自己表現を文章にまとめることができる。

聞く力：取材したことや労働法の構成と労働者の権利と義務を理解することができる。

話す力：（表現力・プレゼンテーション能力）取材してまとめたことや将来設計について人に説明できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	内容・着眼点 30% 説得力・わかりやすさ 20% 文章力・表現力・語彙力 20%
上記以外	30	授業内での発表、討論への参加

欠席3回を越えると不合格とする。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	機械の再発見				担当教員	山根 浩二	
講義コード	1150520	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	101HUM174						

#### 授業概要

授業概要：日常生活には、多くの機械や道具が使われているが、その基本となっているのは、てこ、滑車、ねじ、歯車、カムなどの紀元前に考案され使用されてきたものである。日頃から私たちが使用し親しんでいる機械や道具類の仕組みを知るとは、さらなる便利な使いやすい機械やおもしろい動作をする機械をつくるヒントになる。そこで、本講義では、日常接している機械を例にとり、いかに巧みな機械要素が利用されているのかを説明し、機械要素を再発見する。講義は、機械に興味をもっているが、機械に関する専門的な知識がない人でも理解できる内容とする。

キーワード：メカニズム、機械、器械、道具、機構、デザイン

#### 到達目標

- (1) 基本的な機械要素の名称が言える
- (2) 基本的な機械要素を説明できる
- (3) いくつかの機械要素からなる機械や道具を上げることができる
- (4) 新たなメカニズムをプレゼンテーションにより概説できる

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	到達目標(1)～(3)の到達度の総計で15ポイント、(4)に関して「将来こんな機械があったらいいな」のテーマでのプレゼンテーションで15ポイント、合計30ポイントとします。
レポート課題	70	到達目標(1)(3)に関して各25ポイント、(2)に関して各20ポイントで、合計70ポイントで評価します。講義毎のワークシートをすべて提出すれば、この70ポイント、1回欠けると10ポイント減とします。7回欠けると、この評価点が無くなります。
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリントを配付します。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要に応じて参考書を紹介します。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	キャリアデザイン					担当教員	菊地 憲次
講義コード	1150530	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	101HUM124						

#### 授業概要

学生一人ひとりが自身の将来を描き、人間形成とキャリア・職業観の育成、職業・進路の選択および決定ができる能力を培う。このために、昭和30年以降の日本の経済成長、消費者の行動、デフレの到来などが労働環境に及ぼした影響について明らかにする。更にリアルタイムでビジネスの世界で起きている現象・出来事を知り、そこから新たなビジネスの可能性や未来予測などを自分達自身で考え、発表し、クラスで共有していく。また、自己のキャリアについて広い観点から考えることの重要性に気づき、勉学・課外活動も含めた学生生活のあり方について考える動機付けとする。

#### 到達目標

キャリアデザインの必要性に気づき、将来設計の中で自己のキャリアデザインを描き目標実現に向けた行動計画を作成するとともに、ビジネスや企業の仕組み、多様な働き方を理解し、各業界の動向を理解する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	毎回の授業ごとに課すレポート課題を授業時間内の15分で完成させて提出させる。 30%：講義の内容を理解できているか。 50%：レポート課題への解答が妥当か。
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	地域共生論				担当教員	鵜飼 修 / 伊丹 君和 / 市川 秀之 / 岩間 憲治 / 上田 洋平 / 河崎 澄 / 木村 裕 / 酒井 道 / 佐々木 一泰 / 轟 慎一 / 西田 隆義 / 萩原 和 / 林 宰司 / 安田 孝宏	
講義コード	1170010	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	102BAS101						

#### 授業概要

他者と共感し豊かな対話の中で育まれる地域共生の意義を理解し、自ら率先して地域で実践することの大切さを学ぶ。本授業は、本学学生が身につけることを目指す能力：変革力を構成する「コミュニケーション力」「構想力」「実践力」の3のうち、「コミュニケーション力」の育成に重点をおいた導入科目として位置づける。環境、工学、人間文化、人間看護の各分野から提起される「地域共生」に係る課題、提示される観点、提供される事例を踏まえ、グループ討議を繰り返しながら「自己」「他者」「地域」それぞれの特性への理解を深めるとともに、各自のスキルの向上をめざす。

#### 到達目標

- (1) 自己の強みや弱みを把握できる。(自己認識)
- (2) 自己の意見、他者意見の対話を通じて成果物を作成することができる。(協働力・統率力)
- (3) 他者・地域とのコミュニケーションをはかるための基礎的な作法を身につけている。(親和力)
- (4) 自己の考えを自分の言葉で整理し、他者に発信できる。(自信創出力)

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	個人成果物の評価、チーム成果物の評価、チームプレゼンテーションの評価

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

補助教材(ワークブック)を用いる

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業開始日前に、補助教材(ワークブック)を生協にて購入のこと

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	地域共生論					担当教員 鵜飼 修 / 伊丹 君和 / 市川 秀之 / 岩間 憲治 / 上田 洋平 / 河崎 澄 / 木村 裕 / 酒井 道 / 佐々木 一泰 / 轟 慎一 / 西田 隆義 / 萩原 和 / 林 幸司 / 安田 孝宏
講義コード	1170010	単位数	2	開講期	前期	
ナンバリング番号	102BAS101					

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	
第2回	コミュニケーションとは何か	
第3回	人間看護学部担当	
第4回	アセスメントテスト	(一般教室にて)
第5回	人間看護学部担当	
第6回	工学部担当	
第7回	工学部担当	
第8回	工学部担当	
第9回	環境科学部担当	
第10回	環境科学部担当	
第11回	環境科学部担当	
第12回	人間文化学部担当	
第13回	人間文化学部担当	
第14回	人間文化学部担当	
第15回	アセスメントテスト解説および授業総括	
担当者から一言		

講義名	地域診断法				担当教員	鵜飼 修	
講義コード	1170040	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	191CNW201						

#### 授業概要

私たちの生活は、日々判断の連続です。判断には、対象の本質を見極める能力が必要です。人とのつきあい、就職先の選定、将来のマイホーム購入、あるいは仕事上での判断、新しい発想など、物事を本質を見極め判断する機会がたくさんあります。この授業では、そうした判断を行う際の「物事の見方」を修得します。物事をうわべだけで判断するのではなく、分解・再構築してその本質的な特徴を見出す手法を「地域診断」「エコロジカルプランニング」という手法を通じて身につけます。

#### 到達目標

- (1) 地域診断の理念、意義、手法および地域における地域資源・地域特性とその「つながり」について説明することができる
- (2) 具体的地域を対象にエコロジカルプランニングを用いた簡易な地域診断を行う事ができる

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	80	地域診断の理念、意義、手法および地域における地域資源・地域特性とその「つながり」について説明することができる：ミニレポート10%×5=50% 具体的地域を対象にエコロジカルプランニングを用いた簡易な地域診断を行う事ができる：グループレポート30%
上記以外	20	理解度確認中間ふりかえりにて、中間試験を行う。

7回までは教科書と授業で配布するワークシートを使って学習します。  
9回～14回までは、グループワークの進捗管理のワークシートを用いて学習します。

#### 授業外学習

グループで成果物を作成するため時間外の活動が生じる場合がある。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	地域診断法	鵜飼修責任編集・近江環人地域再生学座編	新評論	4794808909
2				
3				

初回授業に持参すること

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	システム思考法					担当教員	萩原 和
講義コード	1170050	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	291CNW202						

#### 授業概要

システム思考の理念・手法を用いたケースワークを通じて、様々な問題に創造的な解決策を提示する能力の修得を目指す。具体的には、地域課題を整理する最初のステップとして、システムの図示化を通じた課題整理の基本を習得することを目的とする。その後の「地域デザインA、B、C、D」の実践的な学びで想定されるシチュエーションを考慮し、「社会」と「自然」をつなぐ視点、さらには「システム」としてダイナミックに動かすための助所を教授する。

#### 到達目標

- (1) システム思考の理念及び手法を理解している
- (2) 課題解決にシステム思考の手法を用いることができる
- (3) 課題解決にあたって、システム思考の手法を用いて創造的な提案ができる

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	システム思考の理念及び手法を理解している
上記以外	50	(1) 課題解決にシステム思考の手法を用いることができる：20% (2) 課題解決にあたって、システム思考の手法を用いて創造的な提案ができる：30%

#### 授業外学習

グループで成果物を作成するため時間外の活動が生じる場合がある

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	学習する組織 システム思考で未来を創造する	ピーター M センゲ	英治出版	4862761011
2	システム×システム思考で世界を変える 慶應SDM「イノベーションのつくり方」	前野隆司 (著)他	日経 B P	4822249948
3				

その他必要に応じて資料を配付する

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	問題解決デザイン論					担当教員	鶴飼 修
講義コード	1170060	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	291CNW203						

#### 授業概要

デザイン思考の理念・手法を用いた問題解決デザインのケースワークを通じて、様々な問題に創造的な解決策を提示する能力の修得を目指す。具体的には、デザイン思考が求められる社会的背景および、その理念と意義を理解し、具体的なケースを用いてデザイン思考の手法を理解し、自らが活用できるようワーキングを行い、グループで課題に対して創造的な解決方法の提示を試みる。

#### 到達目標

- (1) デザイン思考の理念及び手法を理解している
- (2) 課題解決にデザイン思考の手法を用いることができる
- (3) 課題解決にあたって、デザイン思考の手法を用いて創造的な提案ができる

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	(1) デザイン思考の理念及び手法を理解している：ミニレポート50%
上記以外	50	(2) 課題解決にデザイン思考の手法を用いることができる：理解度確認中間ふりかえり20% (3) 課題解決にあたって、デザイン思考の手法を用いて創造的な提案ができる：30%

#### 授業外学習

グループで成果物を作成するため時間外の活動が生じる場合がある

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	デザイン思考が世界を変える	ティム・ブラウン著 千葉敏生訳	バカノフィクション文庫	4150504075
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	地域デザイン A				担当教員	鶴飼 修 / 上田 洋平 / 萩原 和	
講義コード	1170070	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	291CNW301						

#### 授業概要

地域本来の力や資源を活かした地域づくり・地域再生を実現するための考え方と手法を実践的に学ぶ。具体的な地域再生の事例を参考に、フィールドワークやワークショップの企画、実施、地域再生策の提案までの過程に主導的に取り組む。こうした実践を通して、フィールドワークやワークショップの技法、ファシリテーションの手法、地域課題の把握から解決策の提案までのノウハウを修得する。

- 1) 夏期3日間の集中講義として行う(2016年度は9月17日、18日、24日を予定。フィールドワークはこのうち1日)。
- 2) 学生、院生(社会人学生含む)混成によるチームを編成し、フィールドワークやワークショップに臨む。
- 3) フィールドワーク先や課題は地域の行政等から紹介・提起を受け、ホットでリアルなフィールドや課題に挑む。
- 4) 地域住民や市民団体、地域の行政職員等、地域の方々と共に歩き、考え、具体的な企画・提案を作成する。

#### 到達目標

- (1) 様々な地域再生事業の概要及び実施手法について理解し説明できる。
- (2) フィールドワークやワークショップによって地域の現状と課題についての確に把握し整理することができる。
- (3) 地域課題・地域再生に資する事業を企画し提案することができる

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標に示す(1)については中間レポート(30%)により、(2)(3)(4)については最終レポート(50%)及びプレゼンテーション(20%)により評価する。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	地域再生 滋賀の挑戦 エコな暮らし・コミュニティ再生・人材育成	近江環人地域再生学座編	新評論	
2	地域診断法 鳥の目、虫の目、科学の目	近江環人地域再生学座編	新評論	
3	近江楽座のススメ - 学生力で地域が変わる	近江楽座学生委員会編著	ラトルズ	

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	地域デザイン B				担当教員	鶴飼 修 / 上田 洋平 / 萩原 和	
講義コード	1170080	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	291CNW302						

#### 授業概要

本学が連携自治体内に設置した「地域デザイン・カレッジ」の企画・運営に、地元関係者とともに携わる。各デザイン・カレッジの設置の趣旨や課題は多様であり、カレッジごとにステークホルダーの顔ぶれや実施事業、イベントも異なる中で企画力、合意形成力、マネジメント力の育成を図る。

具体的には、本学が彦根市、長浜市、米原市、近江八幡市、東近江市の各市内において地域の様々な主体と連携して設置・展開する5か所の「地域デザインカレッジ」のうちいずれかの運営に参画しながら、地域課題解決のために多様な主体が連携することの大切さや楽しさ、そうした連携を育み促す機会や場の意義を学び、そうした場を創出し運営する「プロデューサー」に必要な知識とスキルを獲得する。

- ・開講日程及び開講の形態はプロジェクトやチームの状況に合わせて相談しながら設定する。
- ・チームに分かれてのフィールドワークや制作・ワークショップ等を行う。
- ・優れた提案や企画については、連携企業や関係団体の支援を得ながら現実に事業化（起業支援・商品化等）することも想定している。
- ・以上の事を含めて詳細は年度当初に開催するガイダンスで説明する。

#### 到達目標

- (1)地域デザインの理念及びノウハウを理解している
- (2)地域デザインのノウハウを用いることができる

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	(1)地域デザインの理念及びノウハウを理解している：面談50% (2)地域デザインのノウハウを用いることができる：成果物50%

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

時間外の活動が生じる場合がある。  
学外で行われる講座の聴講等、学外での授業がある。

#### 履修資格



講義名	地域デザインC				担当教員	上田 洋平 / 鶴飼 修 / 萩原 和	
講義コード	1170090	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	291SEP301						

#### 授業概要

チームに分かれて、各種地域団体や地元企業・商店等のパンフレットやポスター、WEBコンテンツ等の広報媒体の作成過程に参加することを通じて、デザインの力によって様々な地域資源に光を当て、地域課題の解決につなげるための考え方や技能を学ぶとともに、地元企業・商店およびそれに携わる人びとの魅力や可能性に対する理解を深める。

実習フィールドに関しては、本学と連携して「地域デザイン・カレッジ」を運営する地域団体、企業を対象とする。地元経済団体、デザイナー、クリエイター、広告代理店、印刷業者等と連携し、実践的なマーケティング力、デザイン力、発信力を身に付ける。

- ・開講日程及び開講の形態はプロジェクトやチームの状況に合わせて相談しながら設定する。
- ・チームに分かれてのフィールドワークや制作・ワークショップ等を行う。
- ・優れた提案や企画については、連携企業や関係団体の支援を得ながら現実に事業化（起業支援・商品化等）することも想定している。
- ・以上の事を含めて詳細は年度当初に開催するガイダンスで説明する。

#### 到達目標

- (1)地域デザインの理念及びノウハウを理解している
- (2)地域デザインのノウハウを用いることができる

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	(1)地域デザインの理念及びノウハウを理解している：面談50% (2)地域デザインのノウハウを用いることができる：成果物50%

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

時間外の活動が生じる場合がある。  
学外で行われる講座の聴講等、学外での授業がある。

#### 履修資格

講義名	地域デザインC					担当教員	上田 洋平 / 鶴飼 修 / 萩原 和
講義コード	1170090	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	291SEP301						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション：地域デザインとは	
第2回	コミュニケーションノウハウ1	
第3回	コミュニケーションノウハウ2	
第4回	構想ノウハウ1	
第5回	構想ノウハウ2	
第6回	実践ノウハウ1	
第7回	実践ノウハウ2	
第8回	中間ふりかえり	
第9回	地域デザインの提案（地域実践活動）1	地元企業・経済団体、デザイナー、クリエイター、広告代理店、印刷業者等と連携
第10回	地域デザインの提案（地域実践活動）2	地元企業・経済団体、デザイナー、クリエイター、広告代理店、印刷業者等と連携
第11回	地域デザインの提案（地域実践活動）3	地元企業・経済団体、デザイナー、クリエイター、広告代理店、印刷業者等と連携
第12回	地域デザインの提案（地域実践活動）4	地元企業・経済団体、デザイナー、クリエイター、広告代理店、印刷業者等と連携
第13回	地域デザインの提案（地域実践活動）5	地元企業・経済団体、デザイナー、クリエイター、広告代理店、印刷業者等と連携
第14回	地域デザインの提案の発表	地元企業・経済団体、デザイナー、クリエイター、広告代理店、印刷業者等と連携
第15回	ふりかえりとまとめ	
担当者から一言		

講義名	地域デザインD					担当教員	萩原 和 / 上田 洋平 / 鷓飼 修
講義コード	1170100	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	291SEP302						

#### 授業概要

地元の「チャレンジショップ」制度あるいは各地「まちづくり会社」とのタイアップ、「しが新事業応援ファンド」をはじめとする県内の各種中小企業向け支援制度とリンクさせ、空家や空き店舗をはじめ様々な地域資源を活かし地元で密着した新事業プランをチームで作成・提案させる。優れた提案については実際に応募させ、起業・創業に直結するような実践型のプログラムとする。地元企業人や金融関係者、インキュベーションマネージャー等を新たにサポーター人材「地域人」として委嘱し、サポートを受ける。アントレプレナーシップ、マネジメント力の養成を図る。

- ・開講日程及び開講の形態はプロジェクトやチームの状況に合わせて相談しながら設定する。
- ・チームに分かれてのフィールドワークや制作・ワークショップ等を行う。
- ・優れた提案や企画については、連携企業や関係団体の支援を得ながら現実に事業化（起業支援・商品化等）することも想定している。
- ・以上の事を含めて詳細は年度当初に開催するガイダンスで説明する。

#### 到達目標

- (1)地域デザインの理念及びノウハウを理解している
- (2)地域デザインのノウハウを用いることができる

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	(1)地域デザインの理念及びノウハウを理解している：面談50% (2)地域デザインのノウハウを用いることができる：成果物50%

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

時間外の活動が生じる場合がある。  
学外で行われる講座の聴講等、学外での授業がある。

#### 履修資格

講義名	地域デザインD				担当教員	萩原 和 / 上田 洋平 / 鶴飼 修	
講義コード	1170100	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	291SEP302						

## 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション：地域デザインとは	
第2回	コミュニケーションノウハウ1	
第3回	コミュニケーションノウハウ2	
第4回	構想ノウハウ1	
第5回	構想ノウハウ2	
第6回	実践ノウハウ1	
第7回	実践ノウハウ2	
第8回	中間ふりかえり	
第9回	地域デザインの提案（地域実践活動）1	「しが新事業応援ファンド」をはじめとする県内の各種中小企業向け支援制度とリンク
第10回	地域デザインの提案（地域実践活動）2	「しが新事業応援ファンド」をはじめとする県内の各種中小企業向け支援制度とリンク
第11回	地域デザインの提案（地域実践活動）3	「しが新事業応援ファンド」をはじめとする県内の各種中小企業向け支援制度とリンク
第12回	地域デザインの提案（地域実践活動）4	「しが新事業応援ファンド」をはじめとする県内の各種中小企業向け支援制度とリンク
第13回	地域デザインの提案（地域実践活動）5	「しが新事業応援ファンド」をはじめとする県内の各種中小企業向け支援制度とリンク
第14回	地域デザインの提案の発表	
第15回	ふりかえりとまとめ	

担当者から一言

講義名	近江の歴史と文化					担当教員	京樂 真帆子
講義コード	1170110	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	102BAS103						

#### 授業概要

近江の持つ地域的特性とそれを基盤とする文化の特質を歴史学的視点から探る。近年、近江の文化・歴史に関する研究が盛んである。その成果の一端を紹介していく。特に、近江文化の持つ歴史性に注目し、古代から現代への展開を追う。

#### 到達目標

- (1)近江の歴史に関する基礎知識を理解し、それを日本の歴史との比較を通して論じることが出来る。
- (2)近江の文化に関する基礎知識を理解し、それを日本の文化との比較を通して論じることが出来る。
- (3)近江の歴史と文化の基礎知識に基づき、その保存と活用について具体的な提言が出来る。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業のレスポンスカード 30パーセント まとめの確認テスト 70パーセント

#### 授業外学習

適宜行う

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

高等学校で、「日本史B」を履修していることが望ましい。

#### 履修資格



講義名	地域社会福祉論				担当教員	富永 豊	
講義コード	1170120	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	102BAS104						

#### 授業概要

大きな経済力とともに福祉国家としての高い福祉制度を持っていた日本の社会において、低成長経済の長期化や雇用形態の変化といった産業経済状況に加えて、少子高齢化や人口減少といった社会構造等の変化に伴い、孤独死や餓死さらには自殺や貧困のほか暴力といった社会問題がクローズアップされています。東日本大震災を契機に幸せとは何かは今、問い直されるようになりました。いうまでもなく社会福祉は、「人の幸せ」を目的としています。その社会福祉のあり方についてあらためて振り返り、多くの国民の安心や体験としての幸せがアップしてゆくためには何が必要なのか、この滋養の社会資源にも目を向けながら皆さんと考察できればと思います。

#### 到達目標

- (1) 我が国における社会福祉の仕組みや制度の概要について学ぶ。
- (2) 社会福祉制度の現状と課題について考察することができる。
- (3) 今後の社会福祉のあり方について考えられる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60%	到達目標(1)について、択一式試験を行う。(40点) 到達目標(2)について、記述式試験を行う。(10点) 到達目標(3)について、論述式試験を行う。(10点)
レポート課題	20%	到達目標(1)について、事前学習のためのレポート課題を課す。(5題)
上記以外	20%	到達目標(3)については、上記の外に授業に出席し質疑や発言をすることで理解を深めることを重視する。

出席カードについて、本人以外のカードを不正に作成し提出した場合は、作成した本人も含めて欠席扱いとします。

#### 授業外学習

講義資料(レジュメ)は事前に配布しますので、講義の日までに事前学習をしておいてください。授業は、事前学習をして基礎的な知識があることを前提に進めます。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「新社会福祉論」	川池智子編著	株式会社	ISBN978-4-7620-2332-3
2	「現代社会と福祉」	大橋謙策・白澤政和共著	ミネルヴァ書房	ISBN978-4-623-05396-4
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	地域コミュニケーション論					担当教員	鶴飼 修 / 上田 洋平 / 萩原 和
講義コード	1170130	単位数	2	開講期	前期集中		
ナンバリング番号	102BAS102						

#### 授業概要

コミュニケーションとは何だろうか。「自分の意見が言える」こと？「人の話が聞ける」こと？それとも「空気を読む」ことだろうか？  
 当講義では「comm nic re(分かち合う、共有する)」というこの語の由来に立ち返り、コミュニケーションとは何か、また地域社会でコミュニケーション能力が重要視される背景等について概観した上で、産官学さまざまな立場・現場で活躍する地域人との対話や共同作業を通じて、リアルな地域課題を地域に関わる皆で分かち合い、その解決策を立案するための基礎能力を身に付けること、「浴びるように他者と出会い、対話し、作業する」3日間の過程を通して「コミュニケーションの基礎体力」を養うことを目指す。

当科目は冬期実践ターム2月17日(金)、18日(土)、19日(日)の3日間、「COC+」による県内6大学(滋賀大学、聖泉大学、びわこ学院大学、成安造形大学、びわこ成蹊スポーツ大学、および滋賀県立大学)の合同科目として集中的に開講する。

#### 到達目標

- (1) 地域社会でコミュニケーション能力が重要視される背景や意味について理解し説明することができる。
- (2) 対話や課題抽出、成果のとりまとめにかかる基礎的な技法について理解し実践することができる。
- (3) 上記の理解と実践に基づきチームワークによって成果を取りまとめることができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標に示す(1)(2)(3)について、課題レポート(ワークブックに記入する方式)により評価する。(3)については、チームワークの成果に対する評価も加味する。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

・副教材としてワークブックを配布する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	地域コミュニケーション論				担当教員	鶴飼 修 / 上田 洋平 / 萩原 和	
講義コード	1170130	単位数	2	開講期			前期集中
ナンバリング番号	102BAS102						

授業計画						
------	--	--	--	--	--	--

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション・自分探求	全体の説明と自分探求シートを用いた学びの目標設定
第2回	特別レクチャー&意見交換	第一線で活躍するゲストの活動から「地域で生きること」や「コミュニケーション」について学ぶ (参考:平成27年度は滋賀県知事・三日月大造氏が登壇)
第3回	インタビューワークショップ	他者との対話を通じて学ぶこと、及び学んだことを表現するためのトレーニング : 受講生同士ペアになり相互インタビュー
第4回	インタビューワークショップ	他者との対話を通じて学ぶこと、及び学んだことを表現するためのトレーニング : インタビューをもとに「人物紹介記事」を書く
第5回	インタビューワークショップ	他者との対話を通じて学ぶこと、及び学んだことを表現するためのトレーニング : 作成した記事の発表・共有
第6回	グループダイアログ	受講生でグループをつくり、ワークショップ(テーマは授業時に提示する)
第7回	特別レクチャー&意見交換	第一線で活躍するゲストの活動から「地域で生きること」や「コミュニケーション」について学ぶ (参考:平成27年度は働き方研究者・西村佳哲氏が登壇)
第8回	地域人ダイアログ(グループ) 「地域で生きるとは」	グループに分かれて、設定したテーマに沿って地域人のグループと対話する
第9回	地域人ダイアログ(グループ) 「地域で生きるとは」	グループに分かれて、設定したテーマに沿って地域人のグループと対話する
第10回	地域人ダイアログ(グループ) 「地域で生きるとは」	グループに分かれて、設定したテーマに沿って地域人のグループと対話する
第11回	グループダイアログ	受講生でグループをつくり、ワークショップ(テーマは授業時に提示する)
第12回	特別レクチャー&意見交換	第一線で活躍するゲストの活動から「地域で生きること」や「コミュニケーション」について学ぶ (参考:平成27年度は彦根市長・大久保貴氏及び平和堂社長・夏原平和氏が登壇)
第13回	地域人ダイアログ「志を生きる」	設定したテーマに沿って地域人とペアになって対話する
第14回	地域人ダイアログ「志を生きる」	設定したテーマに沿って地域人とペアになって対話する
第15回	地域人ダイアログ「志を生きる」 / 交流会	対話の結果をもとにレポートを書いて共有する。 / その後、今後に向けた交流会

担当者から一言						
---------	--	--	--	--	--	--

当科目は冬期実践チーム2月17日(金)、18日(土)、19日(日)の3日間、「COC+」による県内6大学(滋賀大学、聖泉大学、びわこ学院大学、成安造形大学、びわこ成蹊スポーツ大学、および滋賀県立大学)の合同科目として集中的に開講する。

講義名	地域づくり人材論				担当教員	上田 洋平	
講義コード	1170140	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	102BAS105						

#### 授業概要

地域には素晴らしい技能や経験をもち、あるいは素晴らしい事業を進めている魅力的な人材がたくさん存在する。しかも探せばそういう人はまだまだたくさんそこにいる。立派な施設や魅力的な場所も沢山あるし、また仮に耕作断念された田畑や空家や廃校であっても、アイデア次第で豊かな学びや体験の場所になる。

この講義ではフィールドワーク、地域の人々との対話そしてワークショップに基づき実際に地域に存在する人びとと、そこにある物や施設、機会を活用し、地域での実行を前提とした学びと体験のプログラム「(仮称)森と水の学校」のカリキュラムを開発することを通じて地域における人材と人材力とは何か、地域資源とは何か、またその活用のありかた・しかたについて具体的・実践的に学ぶ。

今年度は東近江市をフィールドに学ぶ。豊かな自然や歴史・文化に根差したエコツーリズム、グリーンツーリズムメニューとしての「森と水の学校」を想定している。

なお、当科目は環びわ湖大学・地域コンソーシアムによるインターユニバーシティ事業「おうみ学生未来塾」科目として、県内13大学の学生を対象に、8月19日～21日までの3日間にわたるフィールドワーク型の集中講義として開講する。宿泊を伴う合宿形式の授業になる予定。詳細は事前説明会等の場で連絡する。

#### 到達目標

- (1) 地域資源としての人材及び人材力について理解し説明することができる。
- (2) 地域とのコミュニケーションを通じて人を含む地域資源の特長を分析し説明することができる。
- (3) 人材及び人材力を活かした地域課題の解決策について、人を含む地域資源の分析に基づき企画し提案することができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	上記到達目標に示す(1)及び(2)については課題ワークシートの内容により評価する。
上記以外	50	上記到達目標に示す(3)については課題ワークシートの内容にチームワークによる提案の内容を加味して評価する。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	びわこ環境行政論					担当教員	井手 慎司
講義コード	1170150	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	102BAS106						

#### 授業概要

地方自治体の政策は、開発と保全の両方から地域環境に大きな影響を及ぼす。滋賀県をフィールドに各分野の政策立案にかかわる行政担当者の講義を通じて、地域環境政策の課題を学び、琵琶湖という環境資産をもつ地域の持続可能な発展への政策とその実施について考える。(なお、ゲスト講師の都合により、講義の順序が入れ替わることがある。)

#### 到達目標

- (1) 滋賀県の現行の各種環境政策を説明できる。
- (2) 滋賀県の環境政策の変遷を説明できる。
- (3) 持続可能な滋賀社会のビジョンについて自らの考えを述べることができる。
- (4) 持続可能な滋賀社会を実現する政策について自らの考えを述べるができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	25	到達目標で示す(1)(2)(3)(4)については、(1)7%、(2)7%、(2)7%、(2)4%で評価する。
レポート課題		
上記以外	75	到達目標で示す(1)(2)(3)(4)については、毎回の小テスト((1)20%、(2)20%、(2)20%、(2)15%)で評価する。

毎回、講義内容に関する小テストを課す。

#### 授業外学習

予習には関連リンクの「滋賀の環境」を、復習には授業中に配られた資料を参考にする。また授業中は、それぞれの課題にどのような環境政策が有効かを考えながら講義を聞くようにする。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	びわこ環境行政論					担当教員	井手 慎司
講義コード	1170150	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	102BAS106						

**授業計画**

回数	タイトル	概要
第1回	環境問題の変遷と環境行政	総論として「環境問題の変遷と環境行政」「今日の環境行政の課題」について解説する。
第2回	今日の環境行政の課題	
第3回	琵琶湖の総合保全の取り組み マザーレイク21計画第2期に向け	自然共生社会をめざす環境行政として「琵琶湖の総合保全」「びわ湖の現状と課題（生物多様性・水質環境）」「自然環境保全政策」「農業政策」「森林政策」「事業活動による負荷の環境管理」につ
第4回	びわ湖の現状と課題（生態環境）	
第5回	びわ湖の現状と課題（水質環境）	
第6回	自然環境保全政策の現状と課題	
第7回	環境共生をめざす農業政策	
第8回	環境共生をめざす森林政策	
第9回	水環境保全政策の現状と課題	
第10回	資源循環政策の現状と課題	循環型社会をめざす環境行政として「資源循環政策の現状と課題」「循環型社会の産業政策」について解説する。
第11回	循環型社会の産業政策	
第12回	地球温暖化対策の現状と課題	低炭素社会をめざす環境行政として「地球温暖化対策の現状と課題」「低炭素社会実現のための政策」「持続可能な滋賀社会のイメージ」について解説する。
第13回	低炭素社会実現のための政策	
第14回	持続可能な滋賀社会のイメージ	
第15回	持続可能社会と環境政策	全体のまとめとし、持続可能社会と環境政策について解説する。

担当者から一言

講義名	地域産業・企業から学ぶ社長講義					担当教員	菊地 憲次
講義コード	1170180	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	102BAS108						

#### 授業概要

滋賀県の産業・経済の特徴を行政や金融からの視点で理解するとともに地元の産業構造や地元産業界、地域企業が抱える課題や特色を学ぶ。さらに、本校が提携する6市および滋賀県の代表企業等のトップに産業界ニーズ、社会人として要求される人材、およびこれから社会人になる学生に期待される能力などについて直接学生に語っていただく。また、学生からの質問等を交えたインタラクティブな授業に構成する。

#### 到達目標

- (1) 滋賀県の経済・産業の特徴を理解すること
- (2) 情報の整理力と理解力(各講義内容を系統づけて理解できる。)
- (3) 課題発見力(講義内容から重要な情報を整理し自己のキャリアに繋げる課題を発見できる。)
- (4) コミュニケーション力(講義中の質疑応答、グループディスカッションでの質疑応答ができる。)

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	80%	30%:講義内容を理解できている。 30%:講義内容から重要な情報を見つけかつ整理出来ている。 20%:説得力・分かりやすい文章が書かれている。
上記以外	20%	20%:質疑応答やグループディスカッションに参加しているか。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	近江の暮らしとなりわい				担当教員	上田 洋平	
講義コード	1170190	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	102BAS109						

#### 授業概要

時代は成長から成熟へ、大きな転換点に差し掛かっている。地域社会には様々なひずみ、裂け目が生じている。ところがその同じ裂け目からは、新しい時代の到来を感じさせるコミュニティやなりわいづくりの営みも芽生えている。日本の縮図とも言われ、日本の歴史の舞台裏としても古来重要な位置を占めてきた近江。「里山」「人里」「里湖」「里島」それぞれの風土に根差して鍛え上げられた近江各地の暮らしとなりわいの来し方と現在そして未来を考える。各論では近江各地の具体的な人と事業に生きた例をとり、ローカルな地域に根差した暮らしとなりわいの再構築、あるいは滋賀からの「あたらしい豊かさ」創造の道筋や可能性について考える。

第2回と第4回から第15回までは毎回ゲストを招く。

#### 到達目標

- (1) 近江の風土とそれに根差した暮らしとなりわいの概要や特質を、具体的な地域の暮らしの事例を踏まえて理解し説明できること。
- (2) 近江の暮らしと文化に関する新たないとなみとそれをけん引する人々の活動内容とその意義を理解し説明できること。
- (3) 近江の事例に学びながら文化を担い創造する主体としての自己の役割と可能性について各自の意見を形成すること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標に示す(1)～(2)について、期末試験(50%)によって評価する。
レポート課題	50	到達目標に示す(3)については、毎回課す小レポートによって評価する。
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	近江の暮らしとなりわい				担当教員	上田 洋平	
講義コード	1170190	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	102BAS109						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	いま「なりわい」を問い直す	時代背景と「なりわい」の関わり、また、「なりわい」という言葉の持つ意味について考える。
第2回	つくる暮らしをつくる生き方	選ぶ・買う、に加えて「自らつくる」という選択肢も加えたくらしの未来について考える。(ゲスト)
第3回	近江のくらしとなりわい(1)	滋賀県におけるくらしとなりわいの概要について考える。
第4回	近江のくらしとなりわい(2)	滋賀県におけるくらしとなりわいの特徴について考える。
第5回	近江のくらしとなりわい(3)	基本構想や地域戦略等、滋賀県の総合的な政策の概要について学ぶ。(ゲスト・県)
第6回	里湖のくらしとなりわい(1)	里湖(さとうみ)とも呼ばれる琵琶湖とその水辺におけるくらしとなりわいについて学ぶ(ゲスト・県)
第7回	里湖のくらしとなりわい(2)	里湖(さとうみ)とも呼ばれる琵琶湖とその水辺におけるくらしとなりわいについて学ぶ(ゲスト・地元)
第8回	里島のくらしとなりわい(1)	淡水湖中の離島にして日本で唯一人が暮らす沖島のくらしとなりわい、及び離島の振興について学ぶ(ゲスト・県)
第9回	里島のくらしとなりわい(2)	淡水湖中の離島にして日本で唯一人が暮らす沖島のくらしとなりわい、及び離島の振興について学ぶ(ゲスト・地元)
第10回	人里のくらしとなりわい(1)	日本最大の盆地近江盆地で展開する農的なくらし、農村のくらしのこれまでとこれからについて学ぶ(ゲスト・県)
第11回	人里のくらしとなりわい(2)	日本最大の盆地近江盆地で展開する農的なくらし、農村のくらしとなりわいのこれまでとこれからについて学ぶ(ゲスト・地元)
第12回	里山のくらしとなりわい(1)	山林の資源に根差した中山間地域のくらしとなりわいのこれまでとこれからについて学ぶ(ゲスト・県)
第13回	里山のくらしとなりわい(2)	山林の資源に根差した中山間地域のくらしとなりわいのこれまでとこれからについて学ぶ(ゲスト・地元)
第14回	あたらしい豊かさを拓く(1)	滋賀を舞台に展開する新しい豊かさを創造するための取り組みと、それに挑戦する人びとについて学ぶ(ゲスト・県)
第15回	あたらしい豊かさを拓く(2)	滋賀を舞台に展開する新しい豊かさを創造するための取り組みと、それに挑戦する人びとについて学ぶ(ゲスト・地元)

担当者から一言

当講義は滋賀県立大学と滋賀県との連携授業にも位置付けられ、総論の一部と各論の授業にあたって毎回テーマに関わる県職員をゲスト講師として招く。

講義名	近江の美				担当教員	印南 比呂志	
講義コード	1170200	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	102BAS110						

#### 授業概要

近江の美と名づけられた当科目は、必ずしも洒落た芸術やデザインを追い求めるのではなく、日常見られる生活の中で刻まれた「美」を掘り起こすようなまなざしを養うことを重視する。  
特に、近江には、古来より琵琶湖とその山々に囲まれた豊かな自然とその恵みを活用した美術工芸が根付き、多くの職人が近江に集い、自身の技を磨いてきた。こうした営みから編み出された「美」、作品を通じて湧き上がる「感性」がどのように醸成されてきたかを振り返り、さらに最前線で活躍する職人、デザイナー、アーティストなどによるゲスト講師を通じて学びとる。

#### 到達目標

滋賀県で培われてきた伝統工芸、伝統的建築、祭事にはじまり、独自の産業として培われてきたファッション産業、地域ブランド、さらにはそうした観光資源を活用したツーリズムなどの事例を知り、本学が所在する滋賀県内で日常的に垣間見えるさまざまな「美」を意識できる。また、感銘を受けた美の要素が何であったのか表現（レポートやプレゼンテーション）でき、そこで得られた経験から、滋賀に埋もれた「美」の再認識し、自分自身の「美のまなざし」を育み、そうした視点を、第三者に伝えることを到達目標とする。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	毎回の授業でのレスポンスシート（レポート）及び、最終レポート課題により評価する。
上記以外		

#### 授業外学習

毎週の授業テーマに関する地域、人、ものについて事前に調べてチェックしておく。授業後はテーマとなった場所など訪問することを推奨する。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要に応じて、資料を配布する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

伝統工芸、地域デザイン、自然景観、職人の匠の技、歴史などに、研究対象としての視点をもっていること。

#### 履修資格



講義名	経営学序論					担当教員	未定* / 上田 洋平 / 鶴飼 修 / 秋原 和
講義コード	1170210	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	291SEP201						

#### 授業概要

企業等の経営体、経済主体はそれ自身の利益だけを自己目的に追及するのではなく、経済活動を通じて社会や地域の課題を解決するために存在する。そうした企業を理解するためには、企業経営に対する理解が不可欠である。講義では社会の現場で活躍するために必要となる基礎的な経営の知識と、基本的な企業分析のスキルの獲得を目指す。座学による基礎的な知識の獲得に加え、企業経営者とのディスカッション、投資ゲームやビジネスゲームなどにより受講生自らが経営を疑似体験しながら実践的な知の習得を図る。

#### 到達目標

- (1) 企業経営に関する基礎的な知識について理解し説明できる。
- (2) 具体的な企業を対象とした企業分析ができる。
- (3) 課題解決に向けた効果的なプレゼンテーションができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	到達目標に示す(1)についてはレポートにより評価する。
上記以外	50	到達目標に示す(2)については企業分析報告書(30%)により、(3)についてはチームによる企業分析プレゼンテーションにより評価する。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業時間内に適宜紹介、資料を配布する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業時間内に適宜紹介する。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	地域社会と女性キャリア創生				担当教員	上田 洋平 / 萩原 和	
講義コード	1170220	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	291SEP202						

#### 授業概要

本格的な人口減少時代に入るなか、日本の地域社会は制度・組織、あるいは暮らしや産業、価値観等、その全体にわたるデザイン変更・再構築を迫られており、さまざまな課題の解決と新たな可能性の開拓のためには、拡大・成長、均質型競争、徹底した分業といった旧来のモデルが変わって、多様な人材が本来の力を活かしながら活躍し生きられる全員参加型の社会を創出していく必要がある。

この講義では、上記のような問題意識を踏まえて、多様な人材が本来の力を活かしながら活躍できる仕組みや場の創出について学ぶ。とりわけ、昨今の女性の活躍推進をめぐる事案の中には、上記の問題を考えるにあたって格好の材料が見出せることから、事例研究では地域に根差した新しい事業に取り組む女性起業家やリーダー、あるいは地域に根差した新たなライフスタイルを体現するような人びとをゲストに招き、自らや家族の出産・育児・介護も含むライフストーリー全体を見通したキャリア形成と社会のあり方について、ディスカッションやワークショップも交えて具体的に議論する。

事例研究各回のゲストとテーマについては、追って連絡する。

#### 到達目標

- (1) 女性をはじめとする多様な人材が活躍できる地域社会の創造が求められる背景を理解し説明できる。
- (2) 女性をはじめとする多様な人材が活躍できる社会の創造を阻害する要因とその解決策について理解して説明できる。
- (3) 地域社会とキャリア創生の多様性をその具体例を踏まえて理解し説明できる。
- (4) 多様な事例を踏まえ、自らの可能性を拓くキャリア創生のあり方について、自分なりの意見を形成し、表現することができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標に示す、「(1)女性をはじめとする多様な人材が活躍できる地域社会の創造が求められる背景を理解し説明できる」および「(2)女性をはじめとする多様な人材が活躍できる社会の創造を阻害する要因とその解決策について理解して説明できる」
レポート課題	40	到達目標に示す「(3)地域社会とキャリア創生の多様性をその具体例を踏まえて理解し説明できる」については、毎回の授業レポートによって評価する。
上記以外	20	到達目標に示す「(4)多様な事例を踏まえ、自らの可能性を拓くキャリア創生のあり方について、自分なりの意見を形成し、表現することができる」については、授業後半の「まとめ」の回でのプレゼンテーションによって評価する。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	地域社会と女性キャリア創生					担当教員	上田 洋平 / 萩原 和
講義コード	1170220	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	291SEP202						

#### 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	総論：日本における地域社会の現状と課題	
第2回	総論：全員参加型社会とは	
第3回	総論：なぜ今女性活躍なのか	
第4回	総論：ライフストーリーとキャリア創生	
第5回	事例研究	ゲスト講師を招いたレクチャーとディスカッション（ゲストとテーマについては、追って連絡）
第6回	事例研究	ゲスト講師を招いたレクチャーとディスカッション（ゲストとテーマについては、追って連絡）
第7回	事例研究	ゲスト講師を招いたレクチャーとディスカッション（ゲストとテーマについては、追って連絡）
第8回	事例研究	ゲスト講師を招いたレクチャーとディスカッション（ゲストとテーマについては、追って連絡）
第9回	事例研究	ゲスト講師を招いたレクチャーとディスカッション（ゲストとテーマについては、追って連絡）
第10回	事例研究	ゲスト講師を招いたレクチャーとディスカッション（ゲストとテーマについては、追って連絡）
第11回	事例研究	ゲスト講師を招いたレクチャーとディスカッション（ゲストとテーマについては、追って連絡）
第12回	事例研究	ゲスト講師を招いたレクチャーとディスカッション（ゲストとテーマについては、追って連絡）
第13回	事例研究	ゲスト講師を招いたレクチャーとディスカッション（ゲストとテーマについては、追って連絡）
第14回	まとめ：わたしのキャリア創生	事例研究に基づくプレゼンテーション
第15回	まとめ：わたしのキャリア創生	事例研究に基づくプレゼンテーション

#### 担当者から一言

・ゲスト講師とのワークショップや意見交換・交流も積極的に取り入れて進めますので、各人コミュニケーションをとりあって地域でのネットワーク作りにも講義を活かして下さい。

講義名	教育学概論					担当教員	杉浦 由香里
講義コード	1400510	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	204TEA101, 235EDU202						

#### 授業概要

本授業では、歴史、思想、方法、心理、制度など多様なテーマを包摂する教育学の基本原理と今日的課題について講義する。また、教職課程の授業であることから、特に学校に関わる諸現象、諸課題については具体例を用いて検討を行う。

#### 到達目標

- (1) 教育学の基本原理(理念、歴史、思想を含む)および教育と学習の具体的な現実を往還することで、教育に関わる現代的課題を理解することができる。  
(2) 小レポート、最終レポートを通し、読み手を意識した論理的な文章を書くことができる。  
(3) 「読む、書く、話す、聞く」の一連のサイクルを共同で経験し、省察的学習の実践の方法論を身につけている。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	最終試験
レポート課題	20	中間レポート
上記以外	30	感想および授業中の作業課題

感想および授業中の作業課題と中間レポート、最終試験の結果をもとに総合的に判断する。  
3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜紹介する。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	教育心理学				担当教員	黒田 真由美	
講義コード	1400530	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	304TEA201,335PSY310						

#### 授業概要

児童期の発達・学習・記憶・動機づけ等の心理学の基本的な概念について概説する。また、教育実践の事例を通して、いじめや発達障害等の問題について理解を深める。

#### 到達目標

「学ぶ」ことの諸側面について、児童期の発達、学習、集団・適応という観点から学ぶ。心理学の用語や理論などの知識を習得すると同時に、心身の発達過程について体系的に学ぶことを目標とする。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	教育制度論					担当教員	杉浦 由香里
講義コード	1400540	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	304TEA202, 335EDU304						

#### 授業概要

本講義では、わが国の教育制度の基本原則を歴史的展開や具体例を踏まえて明らかにし、21世紀における教育制度の将来像を検討していく。したがって、講義では教育制度の成立背景や発展の展開、制度を形作る基本原則、教育実践と制度の相克に関する事例や論点を取り上げていく。

#### 到達目標

- (1) わが国の教育制度（教育の社会的、制度的および経営的事項）の基本理念、歴史的展開、法構造を理解している。
- (2) 教育制度をめぐる論点を理解し、根拠を持って意見を述べられる。
- (3) 「読む、書く、話す、聞く」の一連のサイクルを共同で経験し、省察的学習の実践の方法論を身につけている。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	最終試験
レポート課題	20	中間レポート
上記以外	30	感想および授業中の作業課題

感想および授業中の作業課題と中間レポート、最終試験の結果をもとに総合的に判断する。

#### 授業外学習

授業の予習として事前に教科書の該当箇所を必ず読むこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	【改訂版】未来を創る教育制度論	川口洋誉・中山弘之編著	北樹出版	
2				
3				

テキストを必ず入手すること。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

教職論、教育学概論を履修していることが望ましい。

#### 履修資格

講義名	教育制度論				担当教員	杉浦 由香里	
講義コード	1400540	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	304TEA202, 335EDU304						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	オリエンテーション
第2回	教育制度を学ぶ意味	教育制度とは何か
第3回	子どもの権利	子どもの権利条約
第4回	教育法のしくみ	教育法規の体系
第5回	日本国憲法と教育基本法	日本国憲法の誕生
第6回	日本国憲法と教育基本法	戦後教育基本法と新教育基本法
第7回	教育の目的と目標	教育の目的と目標
第8回	教育内容の制度	教育内容に関する制度
第9回	学校の制度	学校の制度
第10回	義務教育の制度	義務教育の制度
第11回	教育の機会均等	授業料と奨学金
第12回	教職員の制度	教職員に関する制度
第13回	教育行政の制度	教育行政のしくみ
第14回	社会教育の制度	社会教育に関する制度
第15回	まとめ	ふりかえりとまとめ

担当者から一言

--

講義名	教育方法の理論と技術					担当教員	木村 裕
講義コード	1400550	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号							

#### 授業概要

学校教育における教育実践のあり方をめぐる議論や実践事例の検討などを通して、教育目標と教材の関係、教師の指導技術、情報機器の活用方法、教育評価の役割と実践方法、学習指導案の作成方法など、教育活動を構想・実践・改善するために必要な基本的な知識と技術を習得する機会を提供することをねらいとする。

#### 到達目標

受講生一人ひとりが将来教員や人を育てる立場になったときに、自分なりの「よい授業」「よい教育活動」を構想・計画し、実践し、改善することができるようになるための基礎的な知識や技能（情報機器および教材の活用を含む）を習得するとともに、自分なりの暫定的な「めざす授業像」「めざす教育活動像」を確立し、それらをふまえて学習指導案を作成すること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	まとめのレポート
上記以外	50	講義中に提出するワークシートなど

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜、講義中に紹介する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜、講義中に紹介する。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	教育方法論					担当教員	木村 裕
講義コード	1400555	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	204TEA102, 235EDU301						

#### 授業概要

学校教育における教育実践のあり方をめぐる議論や実践事例の検討などを通して、教育目標と教材の関係、教師の指導技術、情報機器の活用方法、教育評価の役割と実践方法、学習指導案の作成方法など、教育活動を構想・実践・改善するために必要な基本的な知識と技術を習得する機会を提供することをねらいとする。

#### 到達目標

受講生一人ひとりが将来教員や人を育てる立場になったときに、自分なりの「よい授業」「よい教育活動」を構想・計画し、実践し、改善することができるようになるための基礎的な知識や技能（情報機器および教材の活用を含む）を習得するとともに、自分なりの暫定的な「めざす授業像」「めざす教育活動像」を確立し、それらをふまえて学習指導案を作成すること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	まとめのレポート
上記以外	50	講義中に提出するワークシートなど

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜、講義中に紹介する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜、講義中に紹介する。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	モンゴル語 A				担当教員	島村 一平	
講義コード	1403036	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL141, 137FLA101						

#### 授業概要

モンゴル語は、日本語と文法構造が似ており、日本人には非常に学習しやすい言語である。モンゴル語は、広義にはモンゴル国以外にも中国内モンゴル自治区やロシアのブリヤート共和国などでも話されている。本講義（I A）では、現在モンゴル国で使用されているモンゴル語標準語（ハルハ・モンゴル語）の基礎文法をマスターすることを目的とする。

1 B は、会話中心の講義を行うものとする。また、言葉を通して、現代モンゴル文化に対する理解を促進することをめざす。そのために学生の学習進度に応じて、教科書以外に映画やポピュラー音楽、民謡の歌詞などを教材に取り入れる。

#### 到達目標

モンゴル語の基礎文法を理解する。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	文法が理解できているか。
レポート課題		
上記以外	50	小テストを行う。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	初級モンゴル語	塩谷茂樹、E. プレブジャブ	大学書林	
2				
3				

初回授業に持参するもの：教科書、そして愛と好奇心。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

なし。

#### 履修資格

講義名	モンゴル語 A				担当教員	島村 一平	
講義コード	1403036	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL141, 137FLA101						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	概論	モンゴルはどんな言語なのか。どこで話されているのか。言語の社会歴史的背景を概観する。
第2回	文字	
第3回	文の基本構造 と語の基本構造	
第4回	名詞の形と変化	
第5回	主格	
第6回	指示代名詞	
第7回	人称代名詞	
第8回	疑問代名詞	
第9回	質問文の作り方	
第10回	過去形	
第11回	動詞の否定形	
第12回	属格 与位格 奪格	
第13回	共同格と造格	
第14回	後置詞	
第15回	まとめ	

担当者から一言

人とは違うことがやりたいあなた。スーホの白い馬の馬頭琴が気になる彼女。モンゴルの鉱山開発で一山当てたい山師な君。白鳳が好きでたまらない相撲女子。てか、国コミュ入ったけど、実は英語も苦手だし、ヨーロッパ言語はもうやりたくないという君。みんな歓迎します。楽しく勉強しま

講義名	モンゴル語 B				担当教員	島村 一平	
講義コード	1403037	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101FRL142, 137FLA102						

#### 授業概要

モンゴル語は、日本語と文法構造が似ており、日本人には非常に学習しやすい言語である。本講義では、簡単な日常会話ができるようになることを目的とする。また、言葉を通して、現代モンゴル文化に対する理解を促進することをめざす。

#### 到達目標

(1)モンゴル語で基本的な日常会話ができるようになる

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	簡単なモンゴル語を話し、聞き取れる。
レポート課題		
上記以外	50	小テスト 簡単なモンゴル語を話し、聞き取れる。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ゼロから話せるモンゴル語	温品廉三	三修社	
2				
3				

教科書と情熱

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	モンゴル語 B					担当教員	島村 一平
講義コード	1403037	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101FRL142, 137FLA102						

授業計画							
------	--	--	--	--	--	--	--

回数	タイトル	概要
第1回	サイン バイノー!	モンゴル語の挨拶
第2回	モンゴル語のアルファベット	
第3回	モンゴル人の名前と「～さん」の言い方	
第4回	「わたしは日本から来ました」	
第5回	お茶をお飲みになりますか	
第6回	映画を見ますか	
第7回	何時に会いましょうか	
第8回	この近くに郵便局はありますか	
第9回	バスで行きましょう	
第10回	復習	
第11回	靴がほしいんですが	
第12回	どんな料理が好きですか	
第13回	日本語がわかりますか	
第14回	もしもし - 電話で使う表現	
第15回	おめでとうございます	

担当者から一言							
---------	--	--	--	--	--	--	--

人とは違うことがやりたいあなた。スーホの白い馬の馬頭琴が気になる彼女。モンゴルの鉱山開発で一山当てたい山師な君。白鳳が好きでたまらない相撲女子。てか、国コミュ入ったけど、実は英語も苦手だし、ヨーロッパ言語はもうやりたくないという君。みんな歓迎します。楽しく勉強しま

講義名	モンゴル語 A				担当教員	内田 孝	
講義コード	1403038	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101FRL143, 137FLA215						

#### 授業概要

「モンゴル語I」に引き続き、モンゴル語文法体系についての初級・中級レベルの知識を学習し、モンゴル語での文章読解能力・実用的な筆記能力およびコミュニケーション能力を養成する。  
また、言語を通じて伝統的遊牧文化に対する理解を深めると同時に、現代モンゴルに関する幅広い知識を習得することも目指す。  
さらに、モンゴル語の特徴、モンゴル語と日本語の類似点や相違点についても考察する機会となるよう目指す。

#### 到達目標

中級レベルにおけるモンゴル語の総合的な文章読解力、筆記力、会話を習得すること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	中級レベルの文法事項を理解し、文章を正確に読解できること。
レポート課題		
上記以外	30	単語テスト、小テスト、復習プレゼンテーション。

授業時間数の3分の1以上を欠席した者は評価対象にしない。

#### 授業外学習

自身で予習・復習を行い、特に初級レベルの基礎単語はしっかり覚えること。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業は主にプリントを配布し、それにそって進めていく。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	モンゴル語四週間	小沢 重男	大学書林	978-4475010207
2	入門モンゴル語	タニ ヒロユキ	私家版電子ファイル	
3				

図書情報センターにもテキスト・参考書類はいろいろ置かれているので、それらを使って自習してください。

#### 前提学力等

モンゴル語 で学んだ語彙および文法事項を習得していること。

#### 履修資格



講義名	モンゴル語 B				担当教員	島村 一平	
講義コード	1403039	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101FRL144, 137FLA216						

#### 授業概要

本講義では、新聞や雑誌、インターネットの文章などを読みながら、文法の定着を目指す。  
また、新聞や雑誌を通して、現代モンゴル社会への理解を深めていきたい。  
そのほか、インターネットのブログやチャットなどで使われているモンゴル語なども学ぶことで、モンゴル人とインターネットを利用したコミュニケーションをする能力を身につけていく。  
実際にモンゴル人ブログに書き込むといったトレーニングにもチャレンジすることも検討している。

#### 到達目標

- (1)受講生は、モンゴル語で辞書を使いながら新聞や雑誌、インターネットのサイトを読む能力が身に付く。
- (2)ネットでモンゴル人とコミュニケーションする能力も身に付く。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	モンゴル語の新聞や雑誌を読解できるか。
レポート課題		
上記以外	50%	小テスト。 作文能力をとう。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリント配布する

#### 前提学力等

与えられたテキストは、わからない単語を辞書で前もって調べておくこと。  
予習・復習は忘れずに。

#### 履修資格

講義名	モンゴル語 B				担当教員	島村 一平	
講義コード	1403039	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101FRL144, 137FLA216						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	新聞を読もう1	モンゴル語の新聞を読むトレーニングをする。政治経済が中心。
第2回	新聞を読もう2	
第3回	新聞を読もう3	
第4回	新聞を読もう4	
第5回	新聞を読もう5	
第6回	雑誌を読もう1	モンゴル語の雑誌を読むトレーニングをする。ファッション誌や音楽誌などから若者が良く使う表現を学ぶ。占いなども扱う。
第7回	雑誌を読もう2	
第8回	雑誌を読もう3	
第9回	インターネットのモンゴル語1	
第10回	インターネットのモンゴル語2	
第11回	インターネットのモンゴル語3	
第12回	メールを書こう1	
第13回	メールを書こう2	
第14回	メールを書こう3	
第15回	まとめ	

担当者から一言

講義名	教育実習・事前事後指導（高等学校免許）				担当教員	福井 雅英 / 木村 裕 / 杉浦 由香里 / 原 未来	
講義コード	1600010	単位数	3	開講期			
ナンバリング番号	304TEA215						

#### 授業概要

教育実習とそれにかかわる事前事後の指導である。実際の教育現場での教育指導にあたり、授業技術や生徒理解の方法について直接的、体験的な学習を深める。また、このための事前の学習と事後のまとめ・評価・反省を大学において行う。

#### 到達目標

学校教育の内容の理解。授業実践力を高める。学校システムの理解。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		実習および事前事後指導への参加態度や成果をもとに成績評価を行う。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキスト：なし。適宜プリントなどを配付する。参考書：授業内に随時紹介する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

資格取得の手引きの3「各学部・学科・専攻における教育職員免許の取得について」の(4)「教育実習・事前事後指導について」を参照して、履修届けを出すこと。

#### 履修資格



講義名	教育実習・事前事後指導				担当教員	福井 雅英 / 木村 裕 / 杉浦 由香里 / 原 未来	
講義コード	1600020	単位数	5	開講期			
ナンバリング番号							

#### 授業概要

教育実習とそれにかかわる事前事後の指導である。実際の教育現場での教育指導にあたり、授業技術や生徒理解の方法について直接的、体験的な学習を深める。また、このための事前の学習と事後のまとめ・評価・反省を大学において行う。

#### 到達目標

学校教育の内容の理解。授業実践力を高める。学校システムの理解。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		模擬授業とその省察の成果をもとに成績評価を行う。遅刻、早退、欠席なく毎回出席すること。無断欠席・遅刻は認めない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜プリントなどを配付する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業内に随時紹介する。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	教育実習・事前事後指導（養護教諭）				担当教員	未定* / 伊丹 君和 / 伊藤 あゆみ / 古株 ひろみ / 八木 利津子	
講義コード	1600030	単位数	5	開講期			
ナンバリング番号	304TEA217						

#### 授業概要

教育実習（養護教諭）とそれに関わる事前事後の指導である。実際に教育現場で教育指導をするにあたり、児童・生徒を理解する方法や、養護教諭の役割について直接的、体験的な学習を深める。また、この竹の事前学習と、事後のまとめ、評価、反省を大学において行う。

#### 到達目標

- (1) 学校における教育理念や内容などが理解できる。
- (2) 教育実習において、養護教諭の役割を理解するとともに、保健管理および保健指導の実際を学ぶ。
- (3) 教育実習生としてふさわしい態度で積極的に実習に取り組む。
- (4) 学校教育を推進するための教育システムが理解できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

- (1)～(4)教育実習での記録も含めた実習評価 100%  
\*なお、教育実習、事前事後指導の完全参加が絶対条件となる。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキスト なし。適宜プリントを配布する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書 授業内に適宜紹介する。

#### 前提学力等

資格取得の手引きの3「各学部・学科・専攻における教育職員免許の取得について」の(4)「教育実習・事前事後指導について」を参照して、履修届けを出すこと。

#### 履修資格



講義名	教育実習・事前事後指導（中学校免許）				担当教員	福井 雅英 / 木村 裕 / 杉浦 由香里 / 原 未来	
講義コード	1600040	単位数	5	開講期			
ナンバリング番号	304TEA216						

#### 授業概要

教育実習とそれにかかわる事前事後の指導である。実際の教育現場での教育指導にあたり、授業技術や生徒理解の方法について直接的、体験的な学習を深める。また、このための事前の学習と事後のまとめ・評価・反省を大学において行う。

#### 到達目標

学校教育の内容の理解。授業実践力を高める。学校システムの理解。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		毎時間の授業への参加態度、教育実習の省察に基づき執筆する教育実践記録の成果を基に成績評価を行う。初回オリエンテーションには必ず出席すること。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキスト：参考書：講義の際に、適宜紹介する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

資格取得の手引きの3「各学部・学科・専攻における教育職員免許の取得について」の(4)「教育実習・事前事後指導について」を参照して、履修届けを出すこと。

#### 履修資格



講義名	教育実習・事前事後指導（養護教諭）				担当教員	未定* / 伊丹 君和 / 伊藤 あゆみ / 古株 ひろみ / 八木 利津子	
講義コード	1600050	単位数	5	開講期			
ナンバリング番号	304TEA217						

#### 授業概要

教育実習（養護教諭）とそれに関わる事前事後の指導である。実際に教育現場で教育指導をするにあたり、児童・生徒を理解する方法や、養護教諭の役割について直接的、体験的な学習を深める。また、この竹の事前学習と、事後のまとめ、評価、反省を大学において行う。

#### 到達目標

- (1) 学校における教育理念や内容などが理解できる。
- (2) 教育実習において、養護教諭の役割を理解するとともに、保健管理および保健指導の実際を学ぶ。
- (3) 教育実習生としてふさわしい態度で積極的に実習に取り組む。
- (4) 学校教育を推進するための教育システムが理解できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

(1)～(4)教育実習での記録も含めた実習評価 100%  
\*なお、教育実習、事前事後指導の完全参加が絶対条件となる。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキスト なし。適宜プリントを配布する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書 授業内に適宜紹介する。

#### 前提学力等

資格取得の手引きの3「各学部・学科・専攻における教育職員免許の取得について」の(4)「教育実習・事前事後指導について」を参照して、履修届けを出すこと。

#### 履修資格



講義名	教育相談・進路指導				担当教員	田中 容子 / 別府 悦子	
講義コード	1600070	単位数	2	開講期			前期集中
ナンバリング番号	304TEA203						

#### 授業概要

カウンセリングに関する基礎知識、発達についての心理学的見解、不登校やいじめなどの今日の問題を紹介する。その上で具体的な相談事例を検討し、個々の事例に即した教育相談・支援の考え方を学ぶ。また、生徒が主体的に自分の人生を選択していく力を育てるという観点から進路指導の理論と方法を考察する。

#### 到達目標

この授業では、教育相談を行う教員にとって必要な知識を紹介していく。学校で持ち込まれる個々の相談すべてに正しい答えがあるとは限らない。そうした一つ一つの問題に向き合うとき、カウンセリングの知識、社会的連携、時代背景など異なる水準の広範な知識が大きな助けとなる。そこで、こうした広範な知識を習得し、生徒の抱える問題を引き受けられる教員としての土台を築くことを目標とする。また、進路指導についてもその意義や理論を学ぶとともに、具体的な事例の検討を通して実践に活かす方策を考察する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	テーマに対して以下の4点が満たされていれば60点以上とする。内容の洗練度に依りて加点する。 内容がテーマに対応している。 集中講義の内容を踏まえている。
上記以外		

15回のうち、5回以上(3分の1以上)の欠席がある場合は、レポート試験の対象とならないので、注意してください。

#### 授業外学習

後半の講義では、学習対象となるテキストのページを書いていますので、事前に精読しておいてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	発達支援と相談援助	別府悦子・喜多一憲編著	三学出版	978-4-903520-86-5
2				
3				

後半の講義では、テキスト(教科書1)を使用しますので必ず用意してください。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	教科教育法 (家庭)				担当教員	大塚 真理子	
講義コード	1600090	単位数	2	開講期			後期集中
ナンバリング番号	204TEA107						

#### 授業概要

中等教育(中学・高等学校)家庭科について、教科の意義や本質を理解した上で、学習指導要領に示されている教科目標や内容、また指導計画や評価などを学ぶ。本講義では主に中学校家庭科について、教材研究や指導案の作成、模擬授業とその検討を行い、家庭科指導の実践力を養う。

#### 到達目標

- (1) 家庭科教育の意義や歩みを理解する
- (2) 高等学校家庭科の目標や内容を理解する
- (3) 授業を立案し、指導案を作成することができる
- (4) 授業実践(模擬授業)ができる
- (5) 教職に意欲をもち、家庭科教員としての資質を高める

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	(1)(2)小テスト 10% (3)学習指導案 30% ワークシート 5%

#### 授業外学習

小テスト(家庭科教育の意義や歩み、学習指導要領で示されている目標や内容、家庭科の評価など)

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新しい技術・家庭		東京書籍	
2	中学校学習指導要領解説家庭編	文部科学省	教育図書	
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	中学校高等学校家庭科指導法	中間美砂子	建帛社	
2				
3				

初回に資料を配布するので、毎回忘れずに持参すること

#### 前提学力等

2回生以上、および教職課程論を履修済みが望ましい。

#### 履修資格



講義名	教科教育法 (公民)				担当教員	未定*	
講義コード	1600110	単位数	2	開講期			前期集中
ナンバリング番号	204TEA109						

#### 授業概要

#### 到達目標

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	教科教育法 (社会)					担当教員	奥村 好美
講義コード	1600120	単位数	2	開講期	前期集中		
ナンバリング番号	204TEA113						

#### 授業概要

中学校社会科の授業づくりや評価方法など中学校社会科教育に関する基本的な事項について、具体的な実践事例などを通じて、学ぶ。また、それにもとづいて、授業の受け手のことを考えながら、教材研究を行い、授業計画および指導案を作成して模擬授業を行う。この過程において、他者と協力して自他の授業を改善することができるようになるために、受講者同士での議論や授業の検討会を積極的に取り入れる。

#### 到達目標

- (1) 中学校社会科教育に関する基本的な事項について学ぶ。  
(2) (1)を活かして、授業の受け手のことを考えながら教材研究を行い、授業計画および指導案を作成し、模擬授業を行うことができる。  
(3) 他者と議論したり、授業を検討し合ったりすることを通して、互いの授業を改善するための力量を高める。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	(1)については、基本的にレポート課題で評価する。
上記以外	40	(2)については、学習指導案などの課題で評価する。(20%) (3)については、修正版学習指導案などの課題で評価する。(20%)

基本的に、模擬授業の実施は必須とする。

#### 授業外学習

授業時に指示する。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

中学校社会科の教科内容について、理解していることが望ましい。

#### 履修資格

講義名	教科教育法 (社会)				担当教員	奥村 好美	
講義コード	1600120	単位数	2	開講期			前期集中
ナンバリング番号	204TEA113						

**授業計画**

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	本授業の見直しをもつ。また、授業の構成要素について学ぶ。
第2回	社会科教育における目的・目標	社会科で目指されるべき目的・目標について考える。
第3回	社会科教育における教材・教具	社会科の教材研究や教材開発について学ぶ。
第4回	社会科教育における指導過程	社会科の授業構造について学ぶ。
第5回	社会科教育における教育評価	社会科の教育評価のあり方について学ぶ。
第6回	実践事例の検討	これまでの学びをもとに社会科の授業を分析・検討する。
第7回	学習指導案の作成	学習指導案の作り方を学ぶ。
第8回	模擬授業と授業検討会	模擬授業および相互検討会を行う。
第9回	模擬授業と授業検討会	模擬授業および相互検討会を行う。
第10回	模擬授業と授業検討会	模擬授業および相互検討会を行う。
第11回	模擬授業と授業検討会	模擬授業および相互検討会を行う。
第12回	模擬授業と授業検討会	模擬授業および相互検討会を行う。
第13回	模擬授業と授業検討会	模擬授業および相互検討会を行う。
第14回	模擬授業と授業検討会	模擬授業および相互検討会を行う。
第15回	まとめと講義全体のふりかえり	これまでの学習の総括を行い、振り返る。
<b>担当者から一言</b>		

講義名	教科教育法 (地理歴史)				担当教員	鎌田 コリ	
講義コード	1600130	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	204TEA115						

#### 授業概要

高校の地理・歴史の授業目的を考え、授業展開を考案してみる。模擬授業でそれを実践し、また他の人の模擬授業を生徒の立場で受けてみて、展開を検討してみる。

#### 到達目標

授業を展開するには、授業者の知識と、生徒への理解が必要である。どう展開するかを考え、また他の展開を検討することで、授業の力を深めていく

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	30%	毎週模擬授業の案から試験問題を作成してみる。また歴史関係新聞の記事をまとめて提出

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

高校時代の地歴の教科書・資料集。持参のこと

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	教科教育法 (農業)					担当教員	森 太郎
講義コード	1600140	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	204TEA117						

#### 授業概要

教育現場における農業に対する多様なニーズについて、環境・食・特別支援・医療の観点から講義し、農業高校の教育に限らず、一般教育的に理解すべき基本的な事項を身につける。さらに、学習指導要領の解説、教育計画および模擬授業を通して、農業高校での講義および実習における計画・実施・評価・改善を行うことができる能力を身につける。

#### 到達目標

農の教育力を理解し、農の教育を実践できる能力を身につける。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	レポート課題が到達目標に達しているかで評価する。
上記以外	50	プロジェクト学習での発表、議論が到達目標に達しているかで評価する。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

農業と環境(高校の教科書)を持っていれば、持参ください。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	教科教育法 (理科)				担当教員	石川 聡子	
講義コード	1600150	単位数	2	開講期			前期集中
ナンバリング番号	204TEA119						

#### 授業概要

理科を学習する意義や科学の性質についてグループワークをおこなうことを導入段階に位置づけ、その後、中等レベルの理科の教育目標、内容と系統性、評価、学習指導案の構成について学んだ後、本講義の仕上げとして、また、教育実習に備えるために、学習指導案の作成およびその修正と改善をおこなう。教材研究の基礎を経て模擬授業を準備し、実際に模擬授業を通して授業のふりかえりや改善点について互いに学びあう。

#### 到達目標

- (1) 中等理科の教育目標、内容と系統性、評価について理解することができる。  
(2) 学習指導案の作成ならびに基本的な教材研究ができる。  
(3) 模擬授業およびその準備をおこなうとともに授業のふりかえりや改善について検討することができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	45	到達目標(1)について論述式試験を行う。(45%)
レポート課題	45	到達目標(2)について、学習指導案を作成する課題を課す(30%)とともに、教材研究としてワークシートを作成する課題を課す(15%)。
上記以外	10	到達目標(3)について、模擬授業時に小レポートを課す(10%)。

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

#### 授業外学習

集中講義なので予習復習はとくに指定しないが、模擬授業で用いるための簡単な演示実験やインターネット上の実験の映像などの準備を求める。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	未来へひろがるサイエンス3		啓林館	
2	中学校学習指導要領解説 理科編	文部科学省	大日本図書	9784477019796
3				

「未来へひろがるサイエンス3」は講義初日に販売します。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	教科教育法 (英語)					担当教員	小栗 裕子
講義コード	1600151	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	204TEA105						

#### 授業概要

英語教育に関するさまざまな要因について学ぶとともに、その指導法についての理解を深める。その過程から外国語としての英語を日本人学習者が学ぶ際直面する問題を考える。同時にそれらの問題を克服する手助けに必要な知識を獲得し、学習者に対する態度の滋養、さらに自分自身の指導法を省察的な態度でみることを目指す。このクラスでは特に理論面を中心に学ぶ。

#### 到達目標

英語教師に必要とされる英語教育の理論的知識の習得を目標とする。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	80	レポートは3回課し、各20%とする。 そのうち2回はレポートの内容について発表することを含む。この発表はそれぞれ10%とする。
上記以外	20	毎回のクラス討論参加

4回以上欠席した場合は、評価の対象としない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新学習指導要領にもとづく英語科教育法	望月昭彦編著	大修館	978-4-469-24558-5
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	中学校学習指導要領解説(外国語編英語編)	文科省	開隆堂	
2				
3				

最初の授業でプリントを配布する

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	教科教育法 (家庭)				担当教員	大塚 真理子	
講義コード	1600160	単位数	2	開講期			前期集中
ナンバリング番号	204TEA108						

#### 授業概要

中等教育(中学・高等学校)家庭科について、教科の意義や本質を理解するした上で、学習指導要領に示されている教科目標や内容、また指導計画や評価などを学ぶ。本講義では主に高等学校家庭科について、教材研究や指導案の作成、模擬授業とその検討を行い、家庭科指導の実践力を養う。

#### 到達目標

- (1) 家庭科教育の意義を理解する
- (2) 高等学校家庭科の目標や内容を理解する
- (3) 授業を立案し、指導案を作成することができる
- (4) 授業実践(模擬授業)ができる
- (5) 教職に意欲をもち、家庭科教員としての資質を高める

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	(1)(2)(5)小論文 15% (3)学習指導案 30% ワークシート 5%

#### 授業外学習

宿題； 学習指導案の作成、模擬授業の準備

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	高等学校家庭基礎		東京書籍	
2	高等学校学習指導要領解説家庭編	文部科学省		
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	中学校高等学校家庭科指導法	中間美砂子	建帛社	
2				
3				

初回に資料を配布するので、毎回忘れずに持参すること

#### 前提学力等

2回生以上、および教職課程論を履修済みが望ましい。

#### 履修資格



講義名	教科教育法 (公民)				担当教員	未定*	
講義コード	1600180	単位数	2	開講期			後期集中
ナンバリング番号	204TEA110						

#### 授業概要

#### 到達目標

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	教科教育法 (社会)					担当教員	小林 忠伸
講義コード	1600190	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	204TEA114						

#### 授業概要

中学校社会科授業構成の理論と方法について学習する。  
 社会科教育の歴史について学習する。  
 地理・歴史・公民の三分野の学習指導案の作成と留意点及び指導法について学習する。

#### 到達目標

- (1) 目標・授業・評価の一体化を観点に授業を構成できる。
- (2) 三分野(地理・歴史・公民)の学習指導案に基づいて授業実践ができる。
- (3) 模擬授業を通じて、社会科の教員としての望ましい知識や態度を身につける。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60%	レポートの課題内容について分析・評価
上記以外	40%	模擬授業での学習指導案作成や授業展開の評価 模擬授業での準備資料等の評価

3分の1以上の欠席は評価の対象外とする。

#### 授業外学習

学習指導案の作成  
 歴史的分野の指導計画について(演習)

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	中学校学習指導要領解説	文部科学省		
2	中学校教科書(地理・歴史・公民)		帝国書院・東京書籍	
3				

教科書については、授業中に詳しく紹介します。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	教科教育法（社会）				担当教員	小林 忠伸	
講義コード	1600190	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	204TEA114						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	社会科教育とは	社会科教育の理念と目的について
第2回	社会科教育の歴史	明治以降の社会科教育の歴史について
第3回	社会科教育の目標論と内容構成論、指導要領のねらい	社会科目標分析の視点 中学校社会科の目標
第4回	中学校地理的分野の内容及授業	地理的分野の内容構成 地理的分野の指導計画
第5回	中学校歴史的分野の内容及授業	歴史的分野の内容構成 歴史的分野の指導計画
第6回	中学校公民的分野の内容及授業	公民的分野の内容構成 公民的分野の指導計画
第7回	中学校社会科指導計画作成のポイント	目標にかかわる作成上の課題 内容にかかわる作成上の課題
第8回	中学校社会科各分野における年間指導計画と留意点	地理的分野の指導計画作成と授業づくり 歴史的分野の指導計画作成と授業づくり
第9回	中学校社会科各分野における年間指導計画と留意点	歴史的分野の指導計画作成と授業づくり 公民的分野の指導計画と授業づくり
第10回	模擬授業（地理的分野）と分析	模擬授業（地理）の課題と分析
第11回	模擬授業（地理的分野）と分析	模擬授業（地理）の課題と分析
第12回	模擬授業（歴史的分野）と分析	模擬授業（歴史）の課題と分析
第13回	模擬授業（歴史的分野）と分析	模擬授業「歴史」の課題と分析
第14回	模擬授業（公民的分野）と分析	模擬授業（公民）の課題と分析
第15回	模擬授業（公民的分野）と分析	模擬授業（公民）の課題と分析
担当者から一言		

講義名	教科教育法 (地理歴史)					担当教員	山口 康雄
講義コード	1600200	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	204TEA116						

#### 授業概要

現行及び改訂「高等学校学習指導要領地理歴史科」および「中学校学習指導要領社会科」に即し、地理歴史教育法で、履修した学習内容を踏まえて、地歴科目のねらいと教科内容に関わる教材を選択・精選・発掘し、それらを有機的に組み立てていく授業構成(学習指導案作成)、および模擬授業を通して、地歴科各科目の指導法を学習する。

#### 到達目標

中学社会科・高校地歴科の教員としての資質、教養、最低必要な指導方法を身につける。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	30%	
上記以外	70%	【内訳】 ・学習指導案(模擬授業) 40% ・小テスト 30%

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

・プリント配布 その他は講義中に指示

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	高等学校学習指導要領解説(地理歴史編)			
2				
3				

#### 前提学力等

地理歴史科教育法 の履修が望ましい

#### 履修資格



講義名	教科教育法 (農業)				担当教員	川崎 四朗	
講義コード	1600210	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	204TEA118						

#### 授業概要

戦後60数年の高等学校教育の中でも農業科教育はその時の社会情勢・経済情勢等により大きく変化してきたが、地域社会と連携しながら農林業の振興と人材の育成に大きく貢献してきた。本講義では、これらの流れや動きをよく理解して、これからの農業科教育のあるべき姿を考えていきたい。

- (1) 高等学校農業科教育に長年にわたり携わってきた者の立場から、その経験や体験を通して得た農業科教育のノウハウを具体的に展開する。
- (2) 講義の中に模擬授業などの演習を出来る限り取り入れ、受講者の積極的な学習を支援するよう努め、農業教育の担い手の育成を図る。

#### 到達目標

- (1) 高等学校農業教育の目標および教育課程の編成を理解し、わかりやすく説明することができる。
- (2) 教育活動に必要な基礎的能力(教育内容の理解、生徒理解など)と魅力ある授業実践力を身につけることができる。
- (3) 農業にとって有為な人材を育成するための農業科教育の担い手となる資質を備えることができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	50%	到達目標各項目について、本講義の最終日にレポートを課す。
上記以外	50%	到達目標各項目について、授業の取組み状況(演習、課題発表など)により総合的に評価する。

授業時間数の3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

#### 授業外学習

- (1) 模擬授業や課題発表など、出来る限り演習を取り入れた内容になるので、積極的に学習する意欲・態度が重要である。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	高等学校学習指導要領解説(農業編)	文部科学省	実教出版	978-4-303-12490-8
2	文部科学省検定済教科書「農業と環境」	塩谷哲夫ほか14名	実教出版	978-4-407-20195-6
3				

上記No.1の教科書は県立大学生生活協同組合で、上記No.2の教科書は近隣の高等学校教科書販売店(要予約)で購入のこと。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「農業」から教育を拓く	佐野 明	実教出版	4-407-30117-1
2				
3				

授業中にプリントを配布する。

#### 前提学力等

高等学校教諭一種免許「農業」の取得に必要な履修科目を把握し、計画的に単位取得できるようにすること。

#### 履修資格

講義名	教科教育法（農業）					担当教員	川崎 四朗
講義コード	1600210	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	204TEA118						

**授業計画**

回数	タイトル	概要
第1回	教科教育法の意義と農業科教育法の内容	本講義の概要と講義予定について説明とガイダンスを行う。
第2回	わが国農業教育の変遷	農業教育の発祥より現代に至るまでの変遷について講義する。
第3回	本県農業教育の変遷と現状	本県農業教育の変遷と現状の講義。担当を決め、レポート報告を実施する。
第4回	教育課程の編成と学習指導要領	教育課程編成上の留意点と学習指導要領について講義する。
第5回	学習指導要領の改訂	現行学習指導要領について、改訂の経緯と趣旨・要点を講義する。
第6回	教科「農業」の目標	教科「農業」の目標および組織について講義する。
第7回	科目「農業と環境」の解説	科目「農業と環境」の目標および学習内容を講義する。
第8回	科目「課題研究」「総合実習」の解説	科目「課題研究」「総合実習」の目標および学習内容を講義する。
第9回	科目「農業情報処理」他の解説	科目「農業情報処理」および専門科目の目標および学習内容を講義する。
第10回	学習指導計画と学習指導案の作成	学習指導計画の立案と学習指導案を作成し、模擬授業を行う。
第11回	農業教育と学校農業クラブ	学校農業クラブの意義と組織、教科学習との関連について講義する。
第12回	農業教育とプロジェクト学習	プロジェクト学習の意義と進め方について講義する。
第13回	農業教育に関する法規・法令	農業教育の視点から教育法規全般の講義と、教育法規演習の実施。
第14回	実践的な教科指導と教師としての心構え	学校農場と実験実習について講義する。
第15回	まとめ（レポート）	本講義のまとめについて講義し、レポート課題に取り組む。

**担当者から一言**

農業にかかる実体験があればよいが、無い場合であっても常に農業情勢や農業教育の現状、高等学校教育の課題等に関心を持っていることが大事です。

講義名	教科教育法 (理科)				担当教員	宮下 ゆたか	
講義コード	1600220	単位数	2	開講期			前期集中
ナンバリング番号	204TEA120						

#### 授業概要

本講義では、理科教育の目的・目標、および子どもの実態をふまえて、理科教師としての実践的力の基礎を身につけることをめざす。講義の進め方としては各人が授業プラン(学習指導案、授業プリント、板書計画など)を作成し、何らかの形で全員が模擬授業を実施する予定である。模擬授業実施後、授業検討を行い模擬授業担当者のみならず受講者にとっても実践的力をつける場としていきたい。多くの模擬授業を受ける中で、自分のめざす理科授業の具体的なイメージができることをめざす。

(1)前半の模擬授業：30数年ぶりに中学理科教科書に復活した「放射線」を、2011・3・11東京電力福島第一原発事故と関連させて「原発と放射線」問題の基本を学び、模擬授業につなげていく。

(2)後半の模擬授業：高校物理「力学」分野において教師演示実験を導入に組み入れ、有効に授業本論につなげていく模擬授業を実施する予定である。

#### 到達目標

- (1) .理科教育の目的、目標をふまえた授業プラン(学習指導案、授業プリント、板書計画など)の作成ができる。
- (2) .自分の作成した授業プランに基づいた模擬授業を展開することができる。
- (3) .理科教師の立場および学習する生徒の立場から、自分の模擬授業および友人の模擬授業を的確に分析・評価できる。
- (4) .自分のめざす理科の授業づくりの具体的なイメージができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		(1)学習指導案、授業プリント、模擬授業(50%) (2)模擬授業に対する自己分析と友人の模擬授業評価(20%) (3)随時課す小レポート および最終レポート(30%)

全時間出席を単位修得の前提とする。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	科学入門 増補版...科学的なものの考え方	武谷三男	勁草書房	9784326750313
2	原発事故の理科・社会	安斎育郎	新日本出版	9784406056250
3				

必要な資料などは教室にて適宜 紹介、配布をする。以下の資料は各自準備しておくことが望ましい。

#### 前提学力等

理科教育法 は履修しておくことが望ましい。

#### 履修資格



講義名	教科教育法 (英語)				担当教員	小栗 裕子	
講義コード	1600221	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	204TEA106						

#### 授業概要

英語教育に関するさまざまな要因について学ぶとともに、その指導法についての理解を深める。その過程から外国語としての英語を日本人学習者が学ぶ際直面する問題を考える。同時にそれらの問題を克服する手助けに必要な知識を獲得し、学習者に対する態度の滋養、さらに自分自身の指導法を省察的な態度でみることを目指す。このクラスでは実践面を中心に学ぶ。

#### 到達目標

英語の教師に必要とされる英語教育の  
(1) 理論的知識の習得  
(2) 実践的教育力の習得

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	課題レポート2回(40%)とその発表2回(20%)、最終レポート(10%)
上記以外	30	毎回の討論とその内容レポート

4回以上の欠席は評価の対象としない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新学習指導要領にもとづく英語科教育法	望月昭彦編著	大修館	978-4-469-24558-5
2				
3				

最初の授業時に配布

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	教科教育法 (英語)					担当教員	小栗 裕子
講義コード	1600241	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	304TEA206						

#### 授業概要

教育実習に備えて、英語の指導法についての基礎知識と教師としての心構え、授業で必要とされる指導技術や指導案作成の仕方を学ぶ。

#### 到達目標

英語の授業で必要とされる  
 (1) 基本的な理論を実践に生かすことができる  
 (2) 指導技術を身につける

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	授業見学レポート 20%、最終レポート10%、その他毎回の課題レポート 40% レポートは必ず期限を守ること
上記以外	30	毎回の討論

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『新版英語科教育実習ハンドブック』	米山朝二他	大修館書店	978-4-469-24575-2
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

最初の授業で配布する

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	教科教育法 (英語)					担当教員	小栗 裕子
講義コード	1600242	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	304TEA207						

#### 授業概要

教育実習に備えて、英語の指導法についての基礎知識と教師としての心構え、授業で必要とされる指導技術や指導案の作成の仕方を学ぶ。演習や模擬授業を行なった後、受講者全員で「教え方」についての討論をすることによって、学習者を観察する視点や省察的態度を養い、実践で活かせるスキルを習得する。

#### 到達目標

- (1) 英語の授業で必要とされる基本的な技術を身につける。
- (2) 模擬授業の演習を通して教師として必要な指導力と心構えを身につける。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20	模擬授業の省察レポート
上記以外	80	指導案を含む模擬授業

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

実習校で使用する教科書

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	教育課程論					担当教員	木村 裕
講義コード	1600251	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	304TEA204, 335EDU305						

#### 授業概要

教育課程の歴史的展開、教育課程の構造、教育課程の評価と改善のあり方などについて、文献や映像資料などを用いながら講義する。講義を通して、「学校に基礎を置く教育課程開発」を行うために必要となる基礎的な知識と技能を獲得する機会を提供することをねらいとする。

#### 到達目標

「学校に基礎を置く教育課程開発」を行うために必要となる基礎的な知識と技能を獲得すること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	まとめのレポート
上記以外	50	講義中に提出するワークシートなど

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜、講義中に紹介する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜、講義中に紹介する。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	教職実践演習（栄養教諭）				担当教員	廣瀬 潤子 / 平木 敦子 / 山川 佐代子	
講義コード	1600260	単位数	2	開講期			後期集中
ナンバリング番号	404TEA301						

#### 授業概要

大学4年間で学んだことと栄養教育実習での体験を統合し、栄養教諭として学校給食管理と食に関する指導を行うための実践的指導力や今日的課題に対応できる能力の育成と更なる資質の向上を図る。主な授業の形態として、講義や演習、発表、ロールプレイ等を組み合わせたものとする。

#### 到達目標

教職課程における履修履歴をもとに、学校現場で必要とされる栄養教諭としての技能、知識の不足部分を補完する

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	教職実践記録による評価
上記以外	40	授業への参加姿勢、レポート、発表内容等を総合的に評価

グループ討議のため、欠席は基本的に認められない

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	教職実践演習（栄養教諭）					担当教員	廣瀬 潤子 / 平木 敦子 / 山川 佐代子
講義コード	1600260	単位数	2	開講期	後期集中		
ナンバリング番号	404TEA301						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	（基本方針、学生意識の把握）
第2回	望ましい栄養教諭像	グループ討議
第3回	食育推進コーディネーターとしての役割	グループ討議
第4回	食育推進コーディネーターとしての役割	グループ討議
第5回	授業研究	グループ討議（同一教科）
第6回	授業研究	グループ討議（同一教科）
第7回	授業研究	グループ討議（同一教科）
第8回	授業研究（他教科との関連性）	グループ討議（他教科）：他教科との関連性を討議する
第9回	授業研究（他教科との関連性）	グループ討議（他教科）：他教科との関連性を討議する
第10回	授業研究（他教科との関連性）	グループ討議（他教科）：他教科との関連性を討議する
第11回	よりよい栄養教諭となるための自己課題	教職実践記録集の作成
第12回	教育実習報告（栄養）	教職実践記録集を元に各自の教育実習の実施状況を報告しあい、それぞれの取り組みの評価と栄養教諭における課題を明確にする
第13回	教育実習報告（栄養）	教職実践記録集を元に各自の教育実習の実施状況を報告しあい、それぞれの取り組みの評価と栄養教諭における課題を明確にする
第14回	教育実習報告（栄養）	教職実践記録集を元に各自の教育実習の実施状況を報告しあい、それぞれの取り組みの評価と栄養教諭における課題を明確にする
第15回	まとめ	
担当者から一言		

講義名	教職実践演習（高等学校）				担当教員	福井 雅英 / 木村 裕 / 杉浦 由香里 / 原 未来	
講義コード	1600270	単位数	2	開講期			後期集中
ナンバリング番号	404TEA302						

#### 授業概要

4年間の教職課程の総まとめ科目として、これまでの教職課程の学びを振り返り必要な知識・技能を補完する。さらに今日、教員に求められている資質や能力を身につけ、学校現場で予想される諸問題に対処できるようにする。

#### 到達目標

講義、グループ討論、事例研究、教育実践記録の執筆などを経験するとともに、毎時間、授業の最後に今回学んだ内容と、教職に就いた場合にどう生かしていくかについて議論することによって、実践的な力量を伸ばすとともに、教育者としての基本姿勢を身につける。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

毎時間の授業への参加態度、教育実習への省察に基づき執筆する教育実践記録の成果をもとに成績評価を行う。初回オリエンテーションには必ず出席すること。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義時に案内する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	教職実践演習（中学校）				担当教員	福井 雅英 / 木村 裕 / 杉浦 由香里 / 原 未来	
講義コード	1600280	単位数	2	開講期			後期集中
ナンバリング番号	404TEA303						

#### 授業概要

4年間の教職課程の総まとめ科目として、これまでの教職課程の学びを振り返り、自身の成果と課題を把握した上で、さらに必要な知識・技能を補充する。今日、教員に求められている資質や実践的能力を身につけ、学校現場で予想される諸問題に対処できるようにする。

#### 到達目標

講義、グループ討論、事例研究、教育実践記録の執筆などを経験するとともに、毎時間、授業の最後に今回学んだ内容、教員になった場合、その内容をどのように活かしていくかについて議論することによって、実践的な力量を伸ばすとともに、教育者としての基本姿勢を身につける。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		毎時間の授業への参加態度、教育実習の省察に基づき執筆する教育実践記録の成果を基に成績評価を行う。初回オリエンテーションには必ず出席すること。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキスト：参考書：講義の際に、適宜紹介する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	教職実践演習（養護教諭）				担当教員	八木 利津子 / 伊丹 君和 / 伊藤 あゆみ / 古株 ひろみ / 未定*	
講義コード	1600290	単位数	2	開講期			後期集中
ナンバリング番号	404TEA304						

#### 授業概要

4年間の教職課程の総まとめ科目として、これまでの学びを振り返るとともに、不足している知識・技術を補完する。また、教育実習における学びを実践記録としてまとめ、学びを共有し合う。さらに、実践での学びもふまえて、事例やロールプレイングなどを取り入れながら健康教育のあり方を考えることで、学校現場での養護教諭としての実践に繋がる力を身につける。

#### 到達目標

- (1) 教育実習での学びを実践記録としてまとめ、他者に説明できる。
- (2) 専門的職種（養護教諭）として求められる資質や能力を身につけ、学校現場での実践に繋がる力をつける。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		(1) 実践記録 80% (2) 演習における態度や発表 20% * なお、演習への完全参加が絶対条件となる。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義の際に、資料配布。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考文献については適宜紹介。

#### 前提学力等

教育実習修了または実習中の者

#### 履修資格



講義名	教職論					担当教員	福井 雅英
講義コード	1600300	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	104TEA101						

#### 授業概要

教師の実態や特徴的な実践の紹介などを通して、教師の職務、教職の本質、教育実践のあり方などについて講義する。

#### 到達目標

教師の役割に関する基礎的な知識を習得するとともに、自分なりの暫定的な「めざす教師像」を確立すること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		講義中に提出するワークシートなど(50%)とまとめのレポート(50%)をもとに、総合的に判断する。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストなどは特に定めず、講義中に適宜資料を配布する。また、参考文献を適宜紹介する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

福井雅英『子ども理解のカンファレンス』（かもがわ出版）

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	憲法					担当教員	橋本 豪志
講義コード	1600320	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	101HUM119						

#### 授業概要

人権と統治機構という憲法の基本構造を理解する。その上で、一国民としての個人が、国政を考えるに当たり、正確な基本情報を獲得することの重要性、及び獲得情報をもとに批判的精神を持って政治的意思を持ち、民主主義社会に参画することの重要性を自覚する。

#### 到達目標

「二重の基準」の理解  
 自由権と社会権の違いの理解  
 直接民主制と間接民主制の得失の理解  
 自由主義と民主主義の理解と実践

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	論述式試験による相対評価
レポート課題		
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	憲法入門	長谷部恭男	羽鳥書店	978-4-904702-05-5
2	憲法判例集(第10版)	野中俊彦、江橋崇編著	有斐閣新書	978-4-641-09158-0
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	憲法				担当教員	橋本 豪志	
講義コード	1600320	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	101HUM119						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	概説	ガイダンス
第2回	表現の自由	自己実現の価値と自己統治の価値について
第3回	表現の自由	「二重の基準」について
第4回	表現の自由	違憲審査のあり方について
第5回	学問の自由	大学の自治、その他について
第6回	信教の自由	政教分離原則について
第7回	財産権	財産の収用と補償について
第8回	職業選択の自由	違憲審査のあり方について
第9回	参政権	選挙について
第10回	平等原則	投票価値の平等、その他について
第11回	包括的基本権	「新しい人権」について
第12回	人権享有主体性	外国人の人権、未成年者の人権、その他について
第13回	代表民主制	直接民主制と間接民主制について
第14回	政治部門	議院内閣制について
第15回	憲法改正	改正の限界について

担当者から一言

講義名	職業指導					担当教員	中島 由佳
講義コード	1600360	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	104TEA103						

#### 授業概要

さまざまな職業科の高校生の進路は、必ずしも就職だけではない。専門学校や短大・大学など多様となってきた。そのいずれの進路を志望する生徒、あるいは希望を特にもたない生徒に対しても、厳しく、変化の激しい現代社会への接続を支援する職業指導（進路指導）のあり方を考え、学ぶ。検査の受験や進路情報の収集など実習も織り交ぜながら、実践的・実力の力を養成する。受講生自身の進路選択にも資する内容となっている。

#### 到達目標

- (1) 青少年のキャリア発達についての理解を深める。
- (2) 今日の進路指導において必要とされる知識・技法を身につける。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70%	評価課題（論述試験）の得点（理解の正確さと洞察の深さ）を評価する。
レポート課題	30%	適時に課すレポートより、習熟度、授業姿勢等を評価する。
上記以外		

出席を重視し、全回数の3割以上の欠席をした者には単位を認定しない。

#### 授業外学習

自身の進路選択についての検討を予習とする。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講師が作成したテキストを第1回に配布する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜プリントを配布する。

#### 前提学力等

入門 進路指導・相談（福村出版）

#### 履修資格



講義名	生徒指導論					担当教員	福井 雅英
講義コード	1600370	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	204TEA103						

#### 授業概要

生徒指導概念の出自に関する検討をはじめとして、生活指導概念との比較検討を行いながら、生徒指導の基本課題について考える。後半では、生徒指導の実践的な展開場面を素材にしながら、生徒指導の実践的な課題について考える。

#### 到達目標

生徒指導の目標・課題について理解を深めるとともに指導力量を形成する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		毎回の授業感想及びレポートによって行う。5回以上欠席したら評価の対象にしない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義中に適宜指示する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

福井雅英『子ども理解のカンファレンス』（かがわ出版）

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	道徳教育論				担当教員	福井 雅英	
講義コード	1600390	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	304TEA205, 335EDU306						

#### 授業概要

わが国の道徳教育実践の歴史を振り返りながら、そこで深められた理論的、実践的な問題を究明する。およその概要としては、戦前日本の道徳教育、戦後初期の道徳教育民主化の動向、憲法・教育基本法下の道徳教育のありかた、道徳の概念、道徳性の概念と道徳性の発達過程、道徳の授業実践などについて、考える。

#### 到達目標

道徳教育の目標・方法について理解をはかりながら、指導力量を形成する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

毎回の授業感想及びレポートによって行う。5回以上欠席したら評価の対象としない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

吉田一郎他：『子どもと学ぶ道徳教育』、その他講義中に適宜指示する。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	特別活動論					担当教員	福井 雅英
講義コード	1600400	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	204TEA104						

#### 授業概要

学校教育課程における教科外の領域における教育指導について研究するのが、特別活動論の目的である。日本の生活指導や生徒指導実践のなかで蓄積されてきた特別活動にかかわる教育学的な知見について考える。

#### 到達目標

特別活動の目的・内容について理解を深め、指導する実践力量を形成する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

毎回の授業感想及びレポートによって行う。5回以上欠席したら評価の対象にしない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業の中で適宜紹介する。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	被服学					担当教員	道明 美保子
講義コード	1600410	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	204TEA123						

#### 授業概要

絶えず向上・進歩する衣生活を科学的な視点でとらえ、真の豊かな衣生活のあり方を考える。被服学の領域は非常に広く、周辺科学の境界領域にまたがる。そこで本講義では、日本の被服生活文化のうつりかわり、着心地と素材、被服の整理、装うこと、衣の消費について概説する。

#### 到達目標

中学校、高等学校での指導を考慮し、次の事項に関して教育現場で活かせる知識を得る。  
 (1)被服生活文化 (2)被服素材と着心地 (3)被服整理 (4)装うこと (5)衣の消費

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70%	
レポート課題	30%	民族服、新しい素材、使用洗剤の品質表示調査
上記以外		

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価の対象にしない。

#### 授業外学習

配布プリントに目を通し、理解を深める。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリントを配布する。

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	被服学				担当教員	道明 美保子	
講義コード	1600410	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	204TEA123						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	序説	被服学とは、着衣の起源および被服着用の目的と機能について概説する。
第2回	被服生活文化の移り変わり	日本の伝統的な服装である和服が、歴史の移り変わりの中でどのように様々に姿を変え、発展・変貌を遂げ、現代の姿へとつながったを示す。
第3回	気候と民族服	各自、興味をもった民族服の素材、形態、着装法などを調べ、民族服がその国の風土や歴史をいかに反映しているか等を発表する。
第4回	着心地と素材	着心地のよい被服とは、人体の変形と被服、人体の生理と被服
第5回	着心地と素材 衣服気候と快適性	衣服に要求される性能、体温調節と衣服、衣服気候、快適性の条件、皮膚面に関わる性質
第6回	着心地と素材 被服材料	繊維の種類、繊維の形状と構造、新しい素材、糸、織物各自、新しい素材を調べ、次回発表する。
第7回	着心地と素材 編み物、繊維素材への付加価値の付与	新しい素材について発表 編み物の種類と性能、仕上げ加工、改質加工
第8回	被服の整理	人体の汚染、汚れと被服（汚染付着の機構、着用による機能の低下） 使用洗剤の品質表示調査
第9回	被服の整理の回復 洗浄による機能性の回復	水系洗浄、非水系洗浄、ウェットクリーニング
第10回	被服の整理ぬぎ 漂白、増白、しみぬぎ	漂白、増白、しみぬぎ法を概説する。
第11回	被服の整理と保管 被服の機能性保持と保管	保管環境と機能の低下、機能性保持のための保管環境
第12回	装うこと	役割とライフスタイル、人間を変える装い、装う心
第13回	装うこと	流行と衣生活、人生の節目と衣、衣生活の約束こと
第14回	衣の消費	衣服選択と表示、消費者クレーム、被服の安全性、衣料障害
第15回	被服の廃棄と再利用	廃棄の理由、再利用の方法、被服リサイクルの必要性

担当者から一言

講義名	服飾製作実習				担当教員	法月 紀江	
講義コード	1600420	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	204TEA124						

#### 授業概要

《日常生活に役立つ被服製作》の指導に必要な 基礎知識・技術を習得する。

自身の為の被服製作実習を通して

- ・被服の媒体である【身体】の認識
- ・被服の素材である【布】についての知識
- ・製作の手順・用具の扱い方を学ぶ

#### 到達目標

【布】の扱いを通して その特質の理解・縫製の基礎技術を身に付け 日常生活に於いての工夫する能力を促す

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	製作物完成ごとに手順のレポートを宿題とします。図などを取り入れて わかりやすいものにする。
上記以外	50	製作物に関する計画力・手順・かたづけなど

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	服飾製作実習				担当教員	法月 紀江	
講義コード	1600420	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	204TEA124						

#### 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	被服について	鉛筆による自画像をもとに被服の定義 人体型成型衣服について
第2回	布について	媒体である身体と布 布の特性
第3回	縫製の基礎	縫製の基礎である手縫い 様々な用途に応じた初歩技術をサンプルに仕上げる
第4回	花ふきん	手縫いによるステッチの美しさを応用してふきんを仕上げる
第5回	花ふきん	
第6回	袋	手縫いで物を入れることの出来る簡単な袋の製作をして、手順を覚える。
第7回	袋	
第8回	ミシン	ミシンの扱い 練習
第9回	A4ファイルバックのデザイン	デザインについて デザインとは
第10回	製図・裁断	デザインを形にする。
第11回	部分縫いの紹介	紐・ポケット・ファスナー・ボタン・スナップ・マジックテープ
第12回	縫製	各自縫製
第13回	縫製	各自縫製
第14回	縫製	各自縫製
第15回	合評・まとめ	発表 まとめ

#### 担当者から一言

A4サイズのファイルを収納できる袋ものを製作します。既存の物での不満点・工夫したい点についてあけておく。使用したい布があれば持参する。  
(用尺: 1メートル)

講義名	保育学				担当教員	吉村 啓子	
講義コード	1600440	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号							

#### 授業概要

「保育」と似た言葉に「育児」という言葉がある。一般的に子どもを育てることは「育児」と言われるが、ここで言う「子ども」とは乳幼児期の子どもであり、「育児」とは乳幼児を育てることを意味し、家庭において多くの場合、母親がその役割を担うものとされている。それに対して「保育」は、家庭の育児を補う場で行われる育児をさしている。現在の日本において乳幼児期の子どもが通う場は、保育所、幼稚園、認定こども園の3種類である。それぞれ所轄する官庁が保育所は厚生労働省、幼稚園は文部科学省、認定こども園は厚生労働省と文部科学省の両省であり、保育所は子守的な機関、幼稚園は教育機関、認定こども園がその中間として考えられ、「保育」は「教育」と対立的な概念とみなされる傾向にあった。しかし、『保育所保育指針』に保育所は「養護」と「教育」を一体的に行うものと定義されているように、「保育」は「教育」と対立する概念ではなく、「乳幼児期の発達を保障するための教育」と考えられる。つまり、「保育学」とは「乳幼児期の発達保障に資するための学問」なのである。本授業においては、次の3点を取り上げる。第一に乳幼児期の発達、第二に保育の歴史と制度、最後に保育内容と保育方法の3点である。第一の乳幼児期の発達についてであるが、保育の対象である子どもたちの発達のな変化は人の一生の中で最も大きいものである。その様相を把握していなければ、必要な時期に必要な保育ができない。この授業を通して、子どもの身体的発達、情緒的発達、認知的発達などの知識を身に付けることを目的としている。第二の保育の歴史と制度であるが、保育の思想や制度の変化などを通して保育環境の問題点を理解することを目的としている。最後の保育内容と保育方法であるが、子どもを保育するにあたって知っておくべき保育教材や保育の方法について学ぶことを目的としている。

#### 到達目標

- (1) 乳幼児期の発達についてであるが、保育の対象である子どもたちの発達のな変化は人の一生の中で最も大きいものである。その様相を把握していなければ、必要な時期に必要な保育ができない。この授業を通して、子どもの身体的発達、情緒的発達、認知的発達などの知識を身に付けることを目的としている。
- (2) 保育の歴史と制度であるが、保育の思想や制度の変化などを通して保育環境の問題点を理解することを目的としている。
- (3) 保育内容と保育方法であるが、子どもを保育するにあたって知っておくべき保育教材や保育の方法について学ぶことを目的としている。

この授業を通して、家庭科教師としてどのような授業内容を展開することが中・高校生にとって意義のあることなのかを考えて欲しい。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	
上記以外	50	

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	保育所保育指針		フレーベル館	978-4-577-81241-9
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	保育学					担当教員	吉村 啓子
講義コード	1600440	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	本授業についてのねらいや目的、予定(シラバス参照)について解説し、15回の授業の見通しを立てることを第一の課題とする。次に「保育学」をはどのような学問であるのか理解することを目的とする。
第2回	発達観	保育するものがどのような発達観をもっているかにより、子供の見方が異なり、保育の仕方が変わってくる。子どもを一人の人間として育てるには、子どもの「育つ力」を理解し、その発達を援助する。
第3回	胎児と新生児の発達	授業の内容は3点ある。まず胎児期の発達である。人は胎児期にも発達し誕生する。その過程の理解はその後の発達を考える上で大変重要である。次に新生児期の身体的特徴である。成熟した新生児の発達を観る。
第4回	乳幼児期の身体発達	乳幼児期の発達について3つの視点から概説する。まず身体の発達である。出生から成人までの発達の仕方は臓器によって異なり、その様相を説明する。次に生理的特徴である。最後に発達の評価について概説する。
第5回	乳幼児期の運動発達と欲求	2つのテーマで授業を行う。まず、乳幼児期の運動発達である。子どもは一年の間に、歩き、物をつまめるようになる。その変化について詳細にみる。次に欲求である。欲求の充足は子どもが健康に育つ上で重要な要素である。
第6回	人間関係の中で育つもの	他者の存在の意義を考えていく。その視点は、情緒の発達、言葉の発達、愛着の発達の3点である。
第7回	発達の個別性と保育	発達の方向性と順序性には個人差はないが、その速さは人によって違っている。平均的な発達を知っておくことはではあるが、それにとらわれすぎ、「〇 才だからこうあるべきだ」という考えを捨てる。
第8回	保育に関わる法律や制度	児童に関する法律には児童福祉法・母子および寡婦福祉法・母子保健法・児童手当法・児童扶養手当法、児童虐待防止法などがある。それらについて簡単な説明を行う。また、児童福祉のための機関について概説する。
第9回	保育の思想、歴史-諸外国について	現代の保育にも大きな影響を与えていると考えられるルソー、ペスタロッチ、フレーベル、モンテソーリらの思想を知ることにより、「子ども観」について考える。
第10回	保育の思想、歴史-日本について	現在、乳幼児期の子どもが通うところは、保育所、認定こども園、幼稚園の3種類である。その成立の歴史を見るとこの3つに分かれていることの意味が見えてくる。日本の保育史を紹介する。
第11回	保育の内容	保育内容は「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」によると、健康、人間関係、環境、言葉、表現の5つの領域からなっている。その各領域について簡単に説明し、小学校教育との接続について概説する。
第12回	保育技術-手遊び-	子どもにとって生活の中心は遊びである。遊びの中で、新進全体を働かせ、知らず知らずのうちに発達に必要な経験が相互に関連しあって積み重ねられる。保育が子ども発達を援助するものであると意識する。
第13回	保育技術-絵本、紙芝居-	保育教材として絵本や紙芝居がある。その種類はとでも多く、年齢によって適切なものがある。またそれらの読み方によって子どもが絵本や紙芝居を面白いと感じなかったりする。絵本、紙芝居の読み方について概説する。
第14回	保育方法	まず、家庭保育と集団保育の概説し、問題点を概説する。
第15回	まとめ	14回の授業を振り返り、学びをまとめるものである。

担当者から一言

講義名	学校看護論					担当教員	加納 亜紀
講義コード	1600450	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	304TEA220						

#### 授業概要

学校看護論は、教職課程に位置づけられた専門科目であり、「養護」全般についての概要と養護実践の理論と実際について学ぶ科目である。養護教諭の歴史や役割、職務に関する基本的な事項を学び、養護実践の基本的な方法について、講義や演習を通じて知識理解を深め、基礎的な実践力を養うものとする。

#### 到達目標

1. 養護教諭の役割や職責についての理解を深め深め、理想とする養護教諭のイメージをつかむ
2. 保健管理や保健教育など養護実践を進める上で必要となる基本的・具体的な知識や技術を身に付ける
3. 保健室経営の方法がわかる

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	
レポート課題		
上記以外	50%	課題やレポート、小テストへの取り組み

#### 授業外学習

積極的な授業への参加を求める。授業中に指示するレポートや課題にきちんと取り組んでくること。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	学校保健の課題とその対応 - 養護教諭の職務等に関する調査結果から -	日本学校保健会		
2	児童生徒等の健康診断マニュアル 平成27年度改訂	文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課		
3				

その他、必要に応じて資料を配布する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新訂版 学校保健実務必携(第3次改訂版)	学校保健・安全実務研究会	第一法規株式会社	978-4525184681
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	学校保健論				担当教員	未定* / 加納 亜紀 / 富田 豊 / 橋本 進一	
講義コード	1600460	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	304TEA221						

#### 授業概要

発育・発達期にある児童・生徒の健康は、その人の生涯の健全な生活・幸福な生活の基本となる重要な事項である。この時期に形作られた健全な身体と精神、また教えられた保健知識、養われた保健習慣は、その人の将来の健全な生活の基盤となるものである。このことから、児童・生徒の教育に携わる人たちのための基礎学科である学校保健について理解を深める。

#### 到達目標

1. 現代の子どもの健康問題の実情について理解を深める
2. 保健管理や保健教育など学校保健に関する基本的な知識や考え方を身につける
3. 養護教諭としての知識と資質を修得する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	授業時に課す課題，レポート，小テストにより総合的に評価を行う。

#### 授業外学習

事前にテキストを読み，授業中に指示する課題やレポートにきちんと取り組むこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新訂 学校保健	門田新一郎/大津一義	大学教育出版	978-4-86429-239-9
2				
3				

この他，資料を適宜配布する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	家庭電気・機械					担当教員	廣谷 明
講義コード	1600470	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	204TEA125						

#### 授業概要

家庭では多種・多様な電化製品が使用されており、さらにオール電化やIH調理機器などの技術開発や、ソーラー発電などによる省エネルギー開発が進んできています。これらを合理的かつ安全的に活用するために必要な電気基礎や電気理論、照明・電熱、電子回路や情報技術の知識を習得します。また、電子製作実習をとおして、体験的学習も行います。なお本講では、高等学校家庭科の教員免許状取得に必要な授業方法についてまた、自身の長年にわたる教育実践をもとに講義を行い、教育に携わる者（教員）として必要な態度と資質について解説し、人材育成に務めます。

#### 到達目標

家庭生活で使用されている機械や電気機器の仕組みや環境に配慮した安全な使い方への知識と理解を深める。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	実施しない。
レポート課題	40%	適宜、課題テーマを与えて提出させる。
上記以外	60%	グループワーク・発表(20%) 製作実習の取り組み(20%) 製作実習の作品(20%)

製作実習、課題テーマの未提出者は、評価対象としない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要に応じて授業開始前あるいは、事前に資料を配布します。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新家庭機械・電気	岡部 巍 編著	医歯薬出版	
2				
3				

必要に応じて授業開始前あるいは、事前に資料を配布します。

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	家庭電気・機械				担当教員	廣谷 明	
講義コード	1600470	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	204TEA125						

授業計画
------

回数	タイトル	概要
第1回	はじめに 本科目内容のガイダンス	教職科目「家庭電気・機械」の概略について解説し身近な家庭電気機械について興味を持たせる。自身の教育実践や経験から、教育のあり方について説明し、教育職の魅力について解説します。
第2回	知っておきたい家庭の電気（１）	電気はどのように発生し、どのような経路で家庭に届いているのか（発電・送電について）解説します。
第3回	知っておきたい家庭の電気（２）	電気はどのように発生し、どのような経路で家庭に届いているのか（変電・配電について）解説します。
第4回	知っておきたい家庭の電気（３）	次世代エネルギーについて解説し、今後のエネルギー活用や省エネ対策について、考えあい・話しあう。 グループワークの活用
第5回	電気の基礎について（１）	直流（単相）と単相交流について解説する。
第6回	電気の基礎について（２）	静電気や磁気作用について解説する。
第7回	電気の基礎について（３）	三相交流と電気機器について解説し、洗濯機や冷蔵庫の仕組みについて学びます。
第8回	半導体素子と電子回路について（１）	ダイオードやトランジスターの構造と働きについて説明し、回路動作について学びます。
第9回	半導体素子と電子回路について（２）	LEDの動作と今後の活用について解説する。
第10回	電子工作実習（１）	簡易テスターの製作をととして、電気の仕組みについて学ぶ。
第11回	電子工作実習（２）	コンセント、プラグ等の修理を学ぶ。簡易テスターの動作チェックと考察を行う。
第12回	家庭用機器の整備と安全（１）	身近な家庭生活における熱源、光源、動力の活用と理論について学ぶ。
第13回	家庭用機器の整備と安全（２）	機器の整備と安全点検（感電防止）の実際について学ぶ。 グループワークの活用
第14回	情報技術とモラルについて	高度情報化社会 「光と影」について解説する。情報教育とモラルについて学ぶ。
第15回	本科目のまとめと確認	レポート課題ならびに、小論文をととして本科目のまとめを行う。 グループワークの活用

担当者から一言
---------

講義名	栄養教育実習・事前事後指導				担当教員	山川 佐代子 / 平木 敦子	
講義コード	1600480	単位数	2	開講期			
ナンバリング番号	304TEA214						

#### 授業概要

栄養教育実習とそれにかかわる事前事後の指導である。実際の教育現場での教育指導にあたり、授業技術や生徒理解の方法について直接的、体験的な学習を深める。また、このための事前の学習と事後のまとめ・評価反省を大学において行う。

#### 到達目標

栄養教育の内容の理解。授業実践力の向上。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	実習、事前事後指導の完全参加が基礎条件となる。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

なし

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

資格取得の手引きの3「各学部・学科・専攻における教育職員免許の取得について」の(4)「教育実習・事前事後指導について」を参照して、履修届けを出すこと。

#### 履修資格



講義名	栄養教育実習・事前事後指導				担当教員	山川 佐代子 / 平木 敦子	
講義コード	1600490	単位数	2	開講期			
ナンバリング番号	304TEA214						

#### 授業概要

栄養教育実習とそれにかかわる事前事後の指導である。実際の教育現場での教育指導にあたり、授業技術や生徒理解の方法について直接的、体験的な学習を深める。また、このための事前の学習と事後のまとめ・評価反省を大学において行う。

#### 到達目標

栄養教育の内容の理解。授業実践力の向上。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	実習、事前事後指導の完全参加が基礎条件となる。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

なし

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

資格取得の手引きの3「各学部・学科・専攻における教育職員免許の取得について」の(4)「教育実習・事前事後指導について」を参照して、履修届けを出すこと。

#### 履修資格



講義名	学校栄養指導論					担当教員	平木 敦子 / 成田 幸子 / 山川 佐代子
講義コード	1600500	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	204TEA126						

#### 授業概要

管理栄養士免許に必要な科目を修得したことによって培われた栄養学の専門性に加えて、児童生徒の健全な心身の発達のため、さらには生涯を通じた健康づくりのために、食を通じた健康教育の重要性を理解し、教育者として食に関する指導（学校における食育）ができる能力を養う。

#### 到達目標

- (1) 食に関する指導について、その基礎理論を理解する。
- (2) 栄養教諭の実践演習として、食に関する指導についての学習指導案を作成する。
- (3) 模擬授業、相互評価を通し、指導法や指導効果の向上を目指す。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	到達目標の(1)から(3)はプレゼンテーション能力(40%:各13%)、学習指導案および模擬授業への取り組み(60%:各20%)で評価する。

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象としない。

#### 授業外学習

第9回以降の実践演習に係る学習指導案の作成

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	栄養教諭論 - 理論と実際 -	金田雅代編著	建帛社	
2	食に関する指導の手引	文部科学省	東山書房	
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	博物館学概論					担当教員	市川 秀之 / 亀井 若菜
講義コード	1600551	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	204CUR101						

#### 授業概要

博物館の基本的な問題について講義する。博物館は社会教育施設であるとともに、研究機関としても重要な意味をもつ。博物館の目的、機能、現状、歴史などを講義し、調査研究、資料の整理と収集、公開展示、普及の基本的な考え方を解説する。

#### 到達目標

- (1) 博物館の目的、機能、現状、歴史などについての基本的な知識の取得
- (2) 博物館を分析的に見学する能力の取得
- (3) 展示を主体的に構築する能力
- (4) あるべき博物館像を自ら構築すること

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	博物館の目的、機能、現状、歴史などについての基本的な知識が取得されているか否かを評価する
レポート課題	20	レポートは2回。1回目は展示見学、2回目は県大ミニ博物館の展示プラン
上記以外	40	毎回提出するレスポンスカードにより授業の理解度を評価する

レポートを全部提出しないものは評価対象としない

#### 授業外学習

宿題は特に課さないが、毎回授業のあとで提出するレスポンスカードの内容については評価対象とする。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新時代の博物館学	全国大学博物館学講座協議会西日本部会	芙蓉書房出版	978-4-8295-0551-9
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

毎回レジュメを配布する

#### 前提学力等

特になし

#### 履修資格



講義名	博物館資料論				担当教員	定森 秀夫 / 東 幸代 / 上町 達也 / 浦部 美佐子	
講義コード	1600552	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	204CUR102						

#### 授業概要

博物館においては調査研究活動が必須要件となる。調査研究活動の意義と内容を明らかにして、その成果を社会に還元する必要性について述べる。また、博物館資料は多種多様である。博物館資料の意義・種類およびその資料化の過程を詳述するとともに、博物館資料の収集・整理・活用について具体的にみていく。

#### 到達目標

1. 博物館における調査研究活動を理解する。
2. 博物館資料の収集、整理保管などに関する理論・方法を習得する。
3. 博物館資料に関する基礎的能力を養う。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	小テスト4回(各回25%)

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新時代の博物館学		芙蓉書房	
2				
3				

適宜資料プリントも配布する。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	博物館資料保存論				担当教員	野間 直彦 / 東 幸代 / 市川 秀之 / 未定 * / 横田 尚美	
講義コード	1600553	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	304CUR202						

#### 授業概要

博物館の重要な機能は博物館資料を後世に伝えることである。この授業では博物館資料の保存および博物館における保存・展示環境、環境や景観と博物館、エコミュージアムなどについての基礎知識を講義する。琵琶湖博物館において学芸員から講義を受ける2日間の集中講義を含む。

#### 到達目標

博物館資料の保存に関する基礎的知識を習得する。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

#### 授業外学習

適宜課し、授業中に指示する。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

博物館学概論、博物館資料論を履修していることが望ましい。

#### 履修資格



講義名	博物館情報・メディア論				担当教員	嶋田 容子	
講義コード	1600554	単位数	2	開講期			後期集中
ナンバリング番号	204CUR104						

#### 授業概要

人間の知覚のあり方を踏まえて、博物館におけるメディアの活用を考える。

人が何かを見る・聞く時、外の世界がそのまま脳に映されているのではなく、さまざまな編集・加工がおこなわれている。前半では、視覚聴覚の仕組みとさまざまな錯覚を、メディアを用いて体験しながら、見る・聞くということの不思議を学ぶ。さらに、そのような知覚の不思議を探求するものとして芸術作品を見直し、ヴァーチャルミュージアム等のメディア活用の可能性を考える。

後半は、博物館におけるメディアテクノロジーの活用方法、またデジタル映像の処理やデータベースのあり方について、実際の博物館の事例を参照しながら学ぶ。著作権・個人情報の保護とその扱いについて学ぶ。

#### 到達目標

- (1) 知覚の複雑さを認識し、創作物の展示やメディア利用にあたって人間の知覚を考慮することができるようになる。
- (2) 博物館におけるメディアテクノロジーの活用やデジタルデータの扱い、データベースの作り方について、現状と課題を理解する。
- (3) 知的財産の取り扱いに関するきまりを理解する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80	講義の重要ポイントへの理解度の他に、内容にもとづいて自分で考えることができるかどうかを評価する。
レポート課題	20	講義の中で小レポートを課し、内容の理解度をみる。
上記以外		

#### 授業外学習

講義で紹介する錯覚体験やメディア利用のWeb上の資料を閲覧・体験すること。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	博物館学III	大堀哲・水嶋英治	学文社	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	知覚を刺激するミュージアム	平井康之他	学芸出版社	
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	博物館教育論					担当教員	斎藤 修啓
講義コード	1600555	単位数	2	開講期	前期集中		
ナンバリング番号	304CUR204						

#### 授業概要

博物館が行う事業の中で教育普及という事業は、単にひとつの機能というだけではない。特に利用者の立場からすれば、すべての博物館の事業は、教育普及機能との関わりが見られる。この授業では、博物館教育の理論や歴史をふまえたうえで、具体的な事例について検討し、学びの場としての博物館はいかにあるべきかを考える。

#### 到達目標

- (1) 博物館における教育活動の基盤となる理論や実践に関する知識と方法を習得する。
- (2) 博物館の教育機能に関する基礎的事項を理解する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	与えられた課題について、授業の内容や先行研究等を参照し、十分に考察・記述できているかを評価する。
上記以外	60	授業内での課題・小レポート60%。 与えられた課題について、十分に考察・記述できているかを評価する。

#### 授業外学習

事前にいくつかの博物館の教育事業を体験しておくことが望ましい。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新時代の博物館学	全国大学博物館学講座協議会	芙蓉書房出版	978-4-8295-0551-9
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

博物館学概論を履修していることが望ましい。

#### 履修資格



講義名	博物館実習				担当教員	市川 秀之 / 東 幸代 / 上町 達也 / 浦部 美佐子 / 亀井 若菜 / 小泉 尚嗣 / 野間 直彦 / 原田 英美子	
講義コード	1600556	単位数	3	開講期			前期
ナンバリング番号	404CUR301						

#### 授業概要

近隣の博物館または出身府県の博物館において、博物館資料の取り扱いから展示の実現まで多様な実務について実習する。授業ではその準備として実務に必要な基本的事項について実習し、また事後には実習の成果を発表し反省点などをまとめる。

#### 到達目標

- (1) 博物館の実務に必要な技術・知識の取得
- (2) 展示を実際に構築していく能力

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	実習日誌(館務実習の成果)およびレポートの内容(見学など)を評価する。
上記以外	60	ミニ博物館の内容・取り組み方・各実習での成果品の状況などを評価する

。一度でも無断での欠席・遅刻をした者は単位を認めない。やむを得ず欠席・遅刻をするものは必ず事前に連絡すること。また後期の1回目(月曜3・4限)のみ館務の事後学習として授業をおこなうのでかならず出席すること。

#### 授業外学習

館務実習は博物館という職場にお邪魔して実習をさせていただいているという意識を強くもつこと。授業はそのための準備であり、館務実習同様のモラルを求める。無断での遅刻・欠席などは厳禁である。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

4回生、「博物館学概論」・「博物館資料論」・「博物館情報・メディア論」・「生涯学習論」を含む10単位以上の資格関係科目の単位取得者。例外的に受講を認めることもあるが、かならず事前に担当教員に相談すること。

#### 履修資格



講義名	キャリアデザイン特論				担当教員	菊地 憲次	
講義コード	1601015	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	203CAR101						

#### 授業概要

自己の将来の生き方を捉えるための自己分析、業界、企業しくみや職種を理解させること。このために、社会や企業から求められている能力のなかで、多様な社会現象を客観的、論理的に考察する能力とともに、ビジネスモデルや業界研究を通じて、提言や企画にとりまとめて適切に発信するコミュニケーション能力を養成する。この講義は、主にキャリアカウンセラー 浜口桂によって行われる。

#### 到達目標

具体的にキャリアデザインを考えることが出来るようにするとともに、ビジネスの現場に必要な考える力とコミュニケーション力の基本スキルを身につける。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	毎回の授業でミニレポート課題について解答させ授業中に提出させる。 30%：講義の内容を理解できているか。 50%：レポート課題への解答が妥当か。
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	インターンシップA				担当教員	就職指導担当教員 / 杉野 澄子	
講義コード	1601020	単位数	1	開講期			前期集中
ナンバリング番号	303CAR201						

#### 授業概要

キャリア教育として実施し、学生が企業や団体において就業体験することを通して、勤労観や社会観を育む、自己の適性や志向に照らして進路を考える機会とする。

この授業は以下の3セッションから構成される。

- 1) 事前学習(学内): 事前学習レポートの提出と事前研修を受ける。
- 2) 就業体験(学外): 同一企業・団体等で5日以上9日間の就業体験をする。
- 3) 事後学習(学内): 実習報告レポートの提出と報告会に出席する。

大学と受入企業・団体が、協定書(覚書)を締結して行う「協定型インターンシップ」を基本として自由科目の単位認定をする。

#### 到達目標

- (1) 就業体験を通して、勤労観・社会観を身につける
- (2) 自分の適性や志向に照らし進路を考え、キャリア意識を高める。
- (3) 専門知識の有用性や学習意識を高める。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		なし
レポート課題	50%	1) 事前学習レポート 企業研究 インターンシップ志望動機・目的 2) 実習報告レポート
上記以外	50%	1) 実習日誌 2) 受入先担当者報告書(評価書)

事前研修、就業体験、報告会のすべてに出席することを前提に、上記の4点を総合して評価する。

#### 授業外学習

申込時に、事前学習レポートを作成する。実習希望先の企業・団体について調べ、志望理由・目的を持つこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

ビジネスマナー講座テキスト

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

インターンシップ実習レポート集(報告会で配付)

#### 前提学力等

原則として、学部3回生

#### 履修資格



講義名	インターンシップB				担当教員	就職指導担当教員 / 杉野 澄子	
講義コード	1601030	単位数	2	開講期			前期集中
ナンバリング番号	303CAR202						

#### 授業概要

キャリア教育として実施し、学生が企業や団体において就業体験することを通して、勤労観や社会観を育む、自己の適性や志向に照らして進路を考える機会とする。

この授業は以下の3セクションから構成される。

- 1) 事前学習(学内): 事前学習レポートの提出と事前研修・を受け。
- 2) 就業体験(学外): 同一企業・団体等で10日以上14日間の就業体験をする。
- 3) 事後学習(学内): 実習報告レポートの提出と報告会に出席する。

大学と受入企業・団体が、協定書(覚書)を締結して行う「協定型インターンシップ」を基本として自由科目の単位認定をする。

#### 到達目標

- (1) 就業体験を通して、勤労観・社会観を身につける
- (2) 自分の適性や志向に照らし進路を考え、キャリア意識を高める。
- (3) 専門知識の有用性や学習意識を高める。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		なし
レポート課題	50%	1) 事前学習レポート 企業研究 インターンシップ志望動機・目的 2) 実習報告レポート
上記以外	50%	1) 実習日誌 2) 受入先担当者報告書(評価書)

事前研修・、就業体験、報告会のすべてに出席することを前提に、上記の4点を総合して評価する。

#### 授業外学習

申込時に、事前学習レポートを作成する。実習希望先の企業・団体について調べ、志望理由・目的を持つこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

ビジネスマナー講座テキスト

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

インターンシップ実習レポート集(報告会で配付)

#### 前提学力等

原則として、学部3回生

#### 履修資格



講義名	インターンシップE				担当教員	就職指導担当教員 / 菊地 憲次 / 杉野 澄子	
講義コード	1601033	単位数	3	開講期			前期集中
ナンバリング番号	303CAR203						

#### 授業概要

キャリア教育として実施し、学生が企業や団体において就業体験することを通して、勤労観や社会観を育む、自己の適性や志向に照らして進路を考える機会とする。

この授業は以下の3セクションから構成される。

- 1) 事前学習(学内)：事前学習レポートの提出と事前研修・ を受ける。
- 2) 就業体験(学外)：同一企業・団体等で15日間以上の就業体験をする。
- 3) 事後学習(学内)：実習報告レポートの提出と報告会に出席する。

大学と受入企業・団体が、協定書(覚書)を締結して行う「協定型インターンシップ」を基本として自由科目の単位認定をする。

#### 到達目標

- (1) 就業体験を通して、勤労観・社会観を身につける
- (2) 自分の適性や志向に照らし進路を考え、キャリア意識を高める。
- (3) 専門知識の有用性や学習意識を高める。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		なし
レポート課題	50%	1) 事前学習レポート 企業研究 インターンシップ志望動機・目的 2) 実習報告レポート
上記以外	50%	1) 実習日誌 2) 受入先担当者報告書(評価書)

事前研修・、就業体験、報告会のすべてに出席することを前提に、上記の4点を総合して評価する。

#### 授業外学習

申込時に、事前学習レポートを作成する。実習希望先の企業・団体について調べ、志望理由・目的を持つこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

ビジネスマナー講座テキスト

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

インターンシップ実習レポート集(報告会で配付)

#### 前提学力等

原則として、学部3回生

#### 履修資格



講義名	ボランティア活動（前期）				担当教員	福井 雅英 / 鶴飼 修	
講義コード	1601060	単位数	1	開講期			前期集中
ナンバリング番号	103CAR101						

#### 授業概要

【復興支援活動】  
東日本大震災などの災害救助援助法が適用される災害に対する復興支援活動にボランティアとして従事したことを、大学が単位として認定します。  
現地での活動経験は、自分自身のかけがえない体験、様々な人とのつながりの創造になるとともに、単位認定により就職活動等での自己アピールのひとつとすることが可能です。  
【学校ボランティア活動】  
学校や教育委員会から要請のあった教育支援活動など教育現場等で行なうボランティア活動に対して単位を認定します。教員を目指す学生にとって、大学の早い時期から教育現場を体験しておくことは、子どもを理解したり、学校教育の状況を把握する貴重な機会となります。

#### 到達目標

- ・ボランティア活動を実践できる
- ・体験を通じた「つながり」が形成できる
- ・子どもとのふれあいを通じて、子どもとの関わり方を理解できる

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	ボランティア活動（後期）				担当教員	福井 雅英 / 鶴飼 修	
講義コード	1601070	単位数	1	開講期			後期集中
ナンバリング番号	103CAR101						

#### 授業概要

【復興支援活動】  
東日本大震災などの災害救助援助法が適用される災害に対する復興支援活動にボランティアとして従事したことを、大学が単位として認定します。  
現地での活動経験は、自分自身のかけがえない体験、様々な人とのつながりの創造になるとともに、単位認定により就職活動等での自己アピールのひとつとすることが可能です。  
【学校ボランティア活動】  
学校や教育委員会から要請のあった教育支援活動など教育現場等で行なうボランティア活動に対して単位を認定します。教員を目指す学生にとって、大学の早い時期から教育現場を体験しておくことは、子どもを理解したり、学校教育の状況を把握する貴重な機会となります。

#### 到達目標

- ・被災地域でボランティア活動を実践できる
- ・体験を通じた「つながり」が形成できる
- ・子どもとのふれあいを通じて、子どもとの関わり方を理解できる

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	地域行動論					担当教員	鶴飼 修
講義コード	1901010	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号							

#### 授業概要

デザイン思考の理念・手法を用いた問題解決デザインのケースワークを通じて、様々な問題に創造的な解決策を提示する能力の修得を目指す。具体的には、デザイン思考が求められる社会的背景および、その理念と意義を理解し、具体的なケースを用いてデザイン思考の手法を理解し、自らが活用できるようワーキングを行い、グループで課題に対して創造的な解決方法の提示を試みる。

#### 到達目標

- (1) デザイン思考の理念及び手法を理解している
- (2) 課題解決にデザイン思考の手法を用いることができる
- (3) 課題解決にあたって、デザイン思考の手法を用いて創造的な提案ができる

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	(1) デザイン思考の理念及び手法を理解している：ミニレポート50%
上記以外	50	(2) 課題解決にデザイン思考の手法を用いることができる：理解度確認中間ふりかえり20% (3) 課題解決にあたって、デザイン思考の手法を用いて創造的な提案ができる：30%

#### 授業外学習

グループで成果物を作成するため時間外の活動が生じる場合がある

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	デザイン思考が世界を変える	ティム・ブラウン著 千葉敏生訳	ハヤカノンライオン文庫	4150504075
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	地域実践学				担当教員	鶴飼 修	
講義コード	1901021	単位数	2	開講期			前期集中
ナンバリング番号							

#### 授業概要

本学が連携自治体内に設置した「地域デザイン・カレッジ」の企画・運営に、地元関係者とともに携わる。各デザイン・カレッジの設置の趣旨や課題は多様であり、カレッジごとにステークホルダーの顔ぶれや実施事業、イベントも異なる中で企画力、合意形成力、マネジメント力の育成を図る。

具体的には、本学が彦根市、長浜市、米原市、近江八幡市、東近江市の各市内において地域の様々な主体と連携して設置・展開する5か所の「地域デザインカレッジ」のうちいずれかの運営に参画しながら、地域課題解決のために多様な主体が連携することの大切さや楽しさ、そうした連携を育み促す機会や場の意義を学び、そうした場を創出し運営する「プロデューサー」に必要な知識とスキルを獲得する。

- ・開講日程及び開講の形態はプロジェクトやチームの状況に合わせて相談しながら設定する。
- ・チームに分かれてのフィールドワークや制作・ワークショップ等を行う。
- ・優れた提案や企画については、連携企業や関係団体の支援を得ながら現実に事業化（起業支援・商品化等）することも想定している。
- ・以上の事を含めて詳細は年度当初に開催するガイダンスで説明する。

#### 到達目標

- (1)地域デザインの理念及びノウハウを理解している
- (2)地域デザインのノウハウを用いることができる

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	(1)地域デザインの理念及びノウハウを理解している：面談50% (2)地域デザインのノウハウを用いることができる：成果物50%

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

時間外の活動が生じる場合がある。  
学外で行われる講座の聴講等、学外での授業がある。

#### 履修資格



講義名	地域実践学				担当教員	上田 洋平	
講義コード	1901031	単位数	2	開講期			後期集中
ナンバリング番号							

#### 授業概要

チームに分かれて、各種地域団体や地元企業・商店等のパンフレットやポスター、WEBコンテンツ等の広報媒体の作成過程に参加することを通じて、デザインの力によって様々な地域資源に光を当て、地域課題の解決につなげるための考え方や技能を学ぶとともに、地元企業・商店およびそれに携わる人びとの魅力や可能性に対する理解を深める。

実習フィールドに関しては、本学と連携して「地域デザイン・カレッジ」を運営する地域団体、企業を対象とする。地元経済団体、デザイナー、クリエイター、広告代理店、印刷業者等と連携し、実践的なマーケティング力、デザイン力、発信力を身に付ける。

- ・開講日程及び開講の形態はプロジェクトやチームの状況に合わせて相談しながら設定する。
- ・チームに分かれてのフィールドワークや制作・ワークショップ等を行う。
- ・優れた提案や企画については、連携企業や関係団体の支援を得ながら現実に事業化（起業支援・商品化等）することも想定している。
- ・以上の事を含めて詳細は年度当初に開催するガイダンスで説明する。

#### 到達目標

- (1)地域デザインの理念及びノウハウを理解している
- (2)地域デザインのノウハウを用いることができる

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	(1)地域デザインの理念及びノウハウを理解している：面談50% (2)地域デザインのノウハウを用いることができる：成果物50%

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

時間外の活動が生じる場合がある。  
学外で行われる講座の聴講等、学外での授業がある。

#### 履修資格

